

New2016F51HyperMonster 製品使用マニュアル

<目次>

1. はじめに P2
2. 2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm に追加したシートと異なるシート P3
 - (1) ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm の場合 P3
 - (2) ファイル
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xslm～
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xslm の場合 P10
3. 2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm と異なるユーザーフォームの部分 P11
 - (1) ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm の場合 P11
 - (2) ファイル
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xslm～
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xslm の場合 P35
4. ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm
のシート「ファイル作成コピー用 5 1 結合」を用いて、最大 1,000,000 レコード 816,000 フィールドのデータの中から必要なデータを取り出してシステムに組み込まれたマクロ機能を用いて、データを次々変更しながら、印刷したり、また、印刷フォームの印刷範囲を PDF の添付ファイルとして該当者または該当組織にメール送信するシステムを構築する方法 P40
 - (1) データファイルのデータの入力等について P40
 - (2) ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm のシートの設定 P67
 - (3) ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) のシート「ファイル作成コピー用 5 1 結合」の印刷フォームシートへの複写について P69
 - (4) 印刷フォームの様式作成について P81
 - ① 単票形式の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信するための「印刷フォーム」シート等の印刷部分の設計 P81
 - ② 「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の 1 行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式设计 P90
 - (5) シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷・メール送信について P116
 - ① 票形式の印刷の場合の入力、印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合 P126
 - ② 「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」における表の 1 行当たりをそれぞれ「印刷フォーム」シートで横に複数列に配置して表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の入力、印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合 P141

I. はじめに

New2016F51HyperMonsteFile 製品は、
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xlsm
の 50 個データファイルと

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のメインファイルの計 51 個のファイルから構成されています。これら 51 個のファイル全体を一つのシステムと捉えてご利用頂く製品です。

51 個のファイルは、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

をもとに作成されたもので、機能や構造的にはこのファイルとほとんど変わりありません。

これらの 51 個のファイルにはそれぞれ 80 枚の入力シートがあり、1 枚の入力シートには 200 のフィールドがあり、デフォルトでは 50 レコード入力のかたちですが、最大 1,000,000 レコードまで増加させることができます。

そして、50 個のデータファイルのシート「4 結合ファイル作成コピー用」とファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「5 1 結合ファイル作成コピー用」はそれぞれのファイル内の 80 枚の入力シートの内容を表示させることができます。そして更にファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「5 1 結合ファイル作成コピー用」は、50 個のデータファイルのシート「4 結合ファイル作成コピー用」と関数でリンクされており、50 個のデータファイルのシート「4 結合ファイル作成コピー用」の内容を表示させることができます。つまり、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「5 1 結合ファイル作成コピー用」は、最大 1,000,000 レコード 816,000 フィールドの内容を表示することができ、最大 1,000,000 レコード 816,000 フィールドのデータの中から必要なデータを取り出してシステムに組み込まれたマクロ機能を用いて、データを次々変更しながら、印刷したり、また、印刷フォームの印刷範囲を PDF の添付ファイルとして該当者または該当組織にメール送信する処理を行うことが可能です。

上で述べたように New2016F51HyperMonsteFile 製品の 51 個のファイルは、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

機能や構造的にはこのファイルとほとんど変わりありませんが、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

や

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xlsm

の 50 個データファイルにはファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

とはワークシートの種類やユーザーフォームの機能に若干違いがあります。これらの違いを中心に下の 2、3 で説明させていただきます。

なお、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

と全く同じ構造・機能を持っている

a1

016 V Da aBa

an

16000

準備 pdf ファイルの保存方法.pdf のダウンロード

- 1.CV-excel database ファイルの使用から印刷までの基本的な流れ.pdf のダウンロード
- 2.基本的なシート.pdf のダウンロード
- 3.ファイル名の変更、ファイルの上書き保存マニュアル.pdf のダウンロード
- 4.シート名変更マクロ処理マニュアル.pdf のダウンロード
- 5.項目表示作成マニュアル.pdf のダウンロード
- 6.入力シートの行数追加に関するマクロ処理マニュアル.pdf のダウンロード
- 7.「印刷編集シート」の編集領域色塗り替え処理マクロマニュアルのダウンロード
- 8.入力シートデーターのシート「印刷フォームソートデーター」等への複写マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 9.シート「ファイル作成コピー用」のシート「印刷フォーム」等への複写マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 10.「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式设计マニュアル.pdf のダウンロード
- 11.印刷マクロ命令入力シートであるシート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷マニュアル.pdf のダウンロード
- 12.入力シート間の列単位複写マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 13.追加ワークシート名設定マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 14.編集シートから入力シートへの表データー複写マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 15.システムの初期化、シートデーターの削除・消去等マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 16.一覧表付ファイル作成入力設定の連続印刷マニュアル.pdf のダウンロード
- 17.セルの値を利用したメールの送信者ごとの見やすいメール本文の作成の仕方.pdf のダウンロード

2. 2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm に追加したシートと異なるシート:

- (1) ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm の場合:

追加したシートは「CallDataFile の登録」です。

このシートは、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

およびファイル

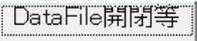
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xlsm

の 50 個データファイルのドライブ、フォルダー名、ファイル名の管理、ファイルの開閉状況を管理するためのシートです。ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

を開いていき、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ  を選択すると次の[図 1]の画面ようになります。

[図1]

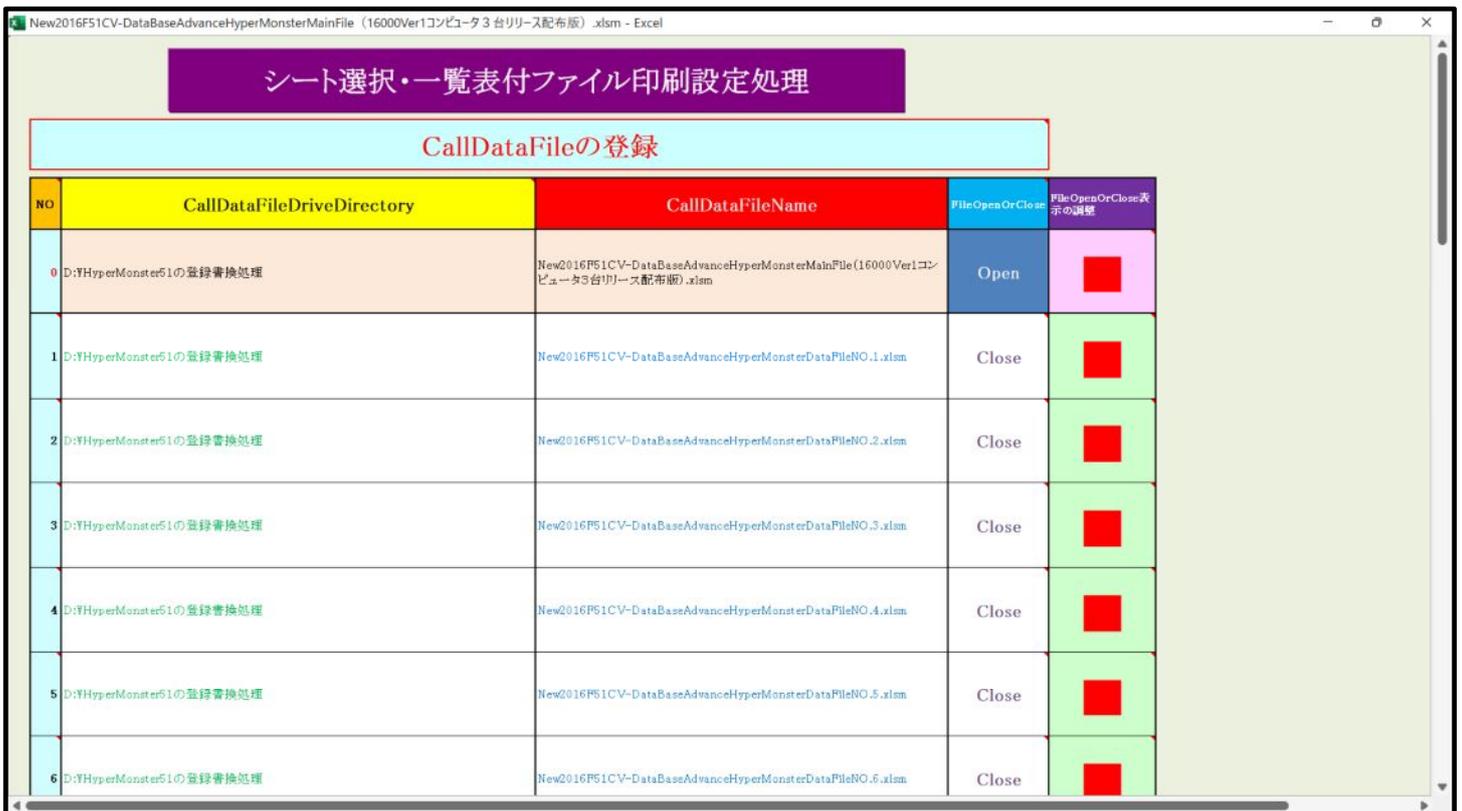


上の[図1]の画面のコマンドボタン

CallDataFileの登録シート選択

をクリックすると、次の[図2]の画面のようになりシート「CallDataFileの登録」が選択できます。

[図2]



また、変更したシートはシート「ファイル作成コピー用51結合」です。

ファイル

2021CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm

のシート「4 結合ファイル作成コピー用」を改造しシート「ファイル作成コピー用 5 1 結合」としました。このシートは50個のデータファイルの各シート「4 結合ファイル作成コピー用」と関数でリンクされており、リンク先管理をおこなうシートです。

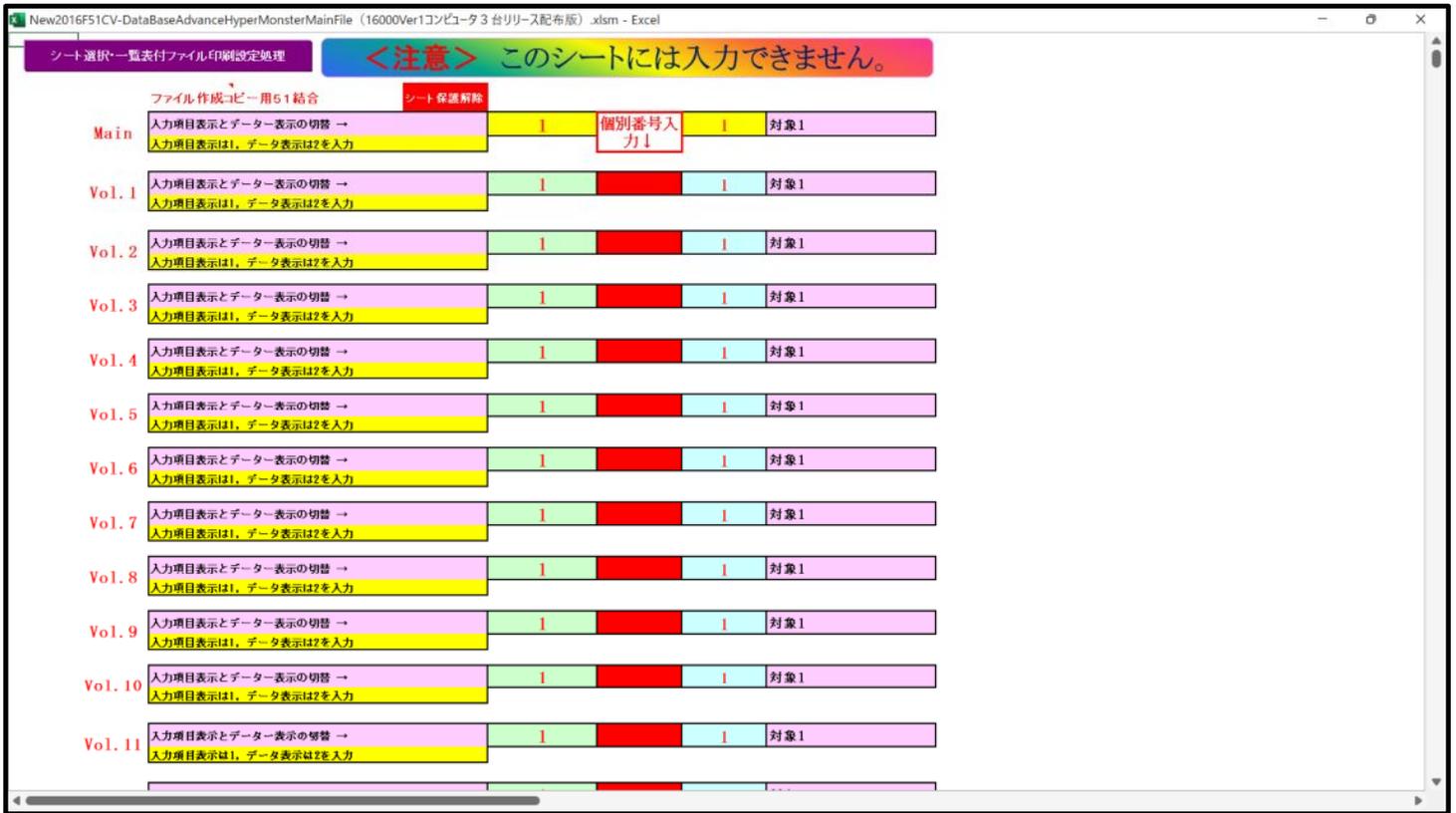
ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ **シート選択, 処理呼出1** を選択すると次の [図 3] の画面ようになります。

[図 3]



上の [図 3] の画面の Command ボタン **ファイル作成コピー用51結合** をクリックすると、次の [図 4] の画面のようにシート「ファイル作成コピー用 5 2 結合」が選択できます。

[図 4]



上の[図 4]の画面でコマンドボタン **標準画面表示** をクリックして標準画面表示に切り替え、セル **シート保護解除** の部分をダブルクリックするとシートの保護が解除されリンクの編集が可能となり、次の[図 5]の画面ようになります。

[図 5]



上の[図5]の画面の上側の「**データ**」の部分をクリックすると次の[図6]の画面のようになります。

[図6]



上の[図6]の画面の「**リンクの編集**」をクリックすると次の[図7]の画面のようになり、リンクの編集をすることが可能となります。

先ずファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

を開いたら、[図7]の画面の

各ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xlsm

に対して、リンク元の部分でそれぞれファイルを選択し、次の[図7]の画面の「**リンク元を開く(O)**」をクリックしてリンク元を開いてください。そして、データファイルを開いたらファイルを保存して閉じてください。この操作をデータファイルの個数の 50 回繰り返してください。そして最後に、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

を開いて、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わっているマクロ機能を用いて、各データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xlsm

を開いて編集場合、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に対しての各リンク元のファイルとして容易に各データファイルができます。リンク元を開き上の一連の操作が完了したら必ず上の[図5]の画面のセル  の部分をダブルクリックしてとシート「ファイル作成コピー用51結合」を保護してください。

但し、リンク元の変更をする必要はほとんどありません。ファイルのマクロ機能を用いデータファイルを呼び出し、そのファイル名を変更すると、元のファイル名のリンク先が自動的にファイル名変更先のリンクに変更されます。例えば、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

をメインファイルのマクロ機能を用いて呼び出し、ファイル名を

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 変更テスト.xlsm

とすると、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のリンク先が自動的に

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 変更テスト.xlsm

に変更されます。

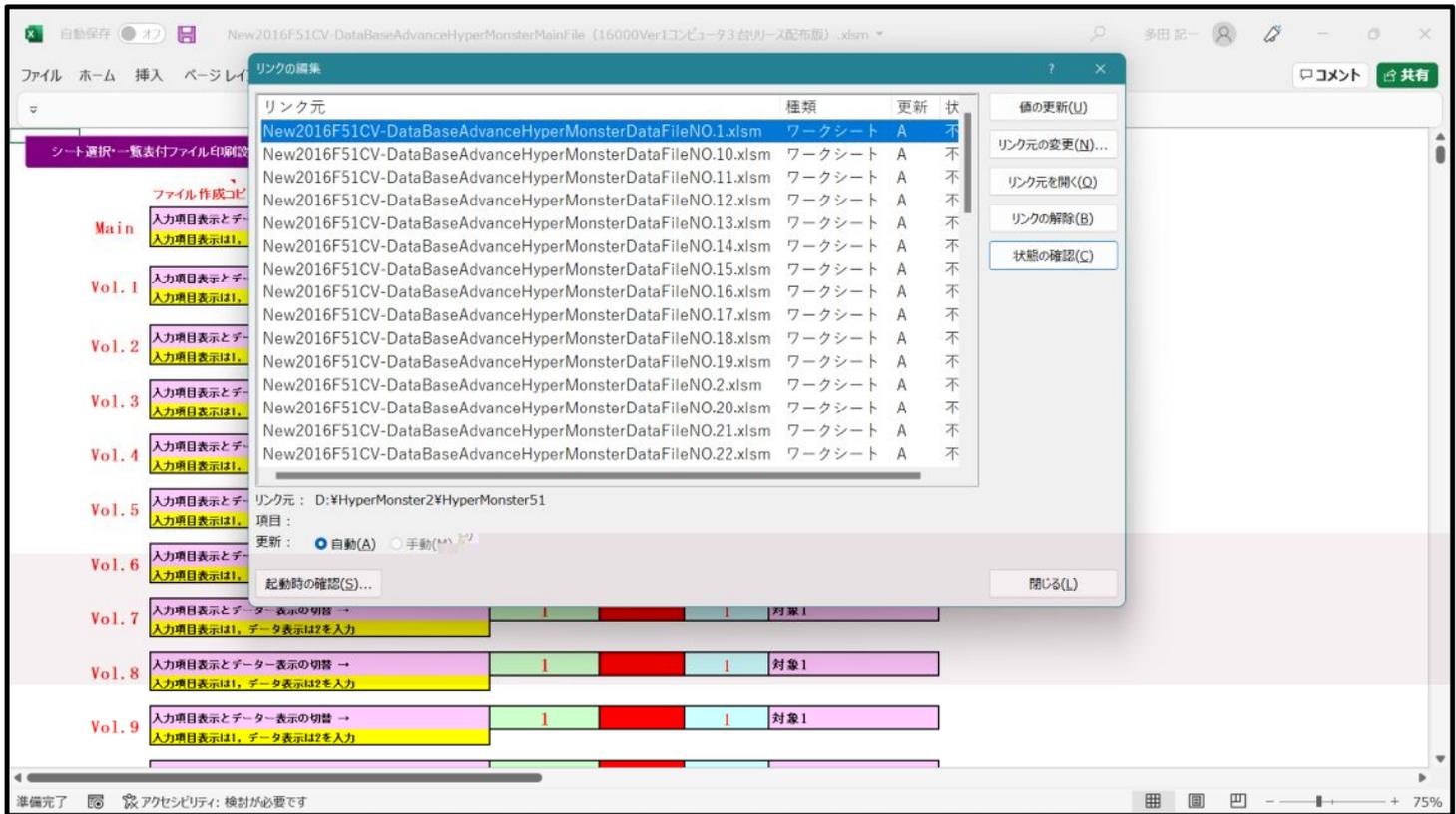
リンク先を変更する操作はどうしても必要な場合に限っておこなってください。なおその場合、リンク元の変更

処理が済んだら、必ず上の[図5]の画面のセル  の部分をダブルクリックしてとシート

「ファイル作成コピー用52結合」を保護してください。

特にご注意ください。シート「ファイル作成コピー用51結合」において、行列やセルの削除は絶対やらないでください。もともとシート「ファイル作成コピー用51結合」は、メインファイルに備わったマクロ機能を用い、「印刷フォーム」シートに複写し、「印刷フォーム」シート上で編集するものです。シート「ファイル作成コピー用51結合」を複写した「印刷フォーム」シート上では行列やセルの削除を編集のためにおこなうことはできます。ですが、シート「ファイル作成コピー用51結合」において、行列やセルの削除は絶対やらないでください。重ねてご注意申し上げます。

[図7]



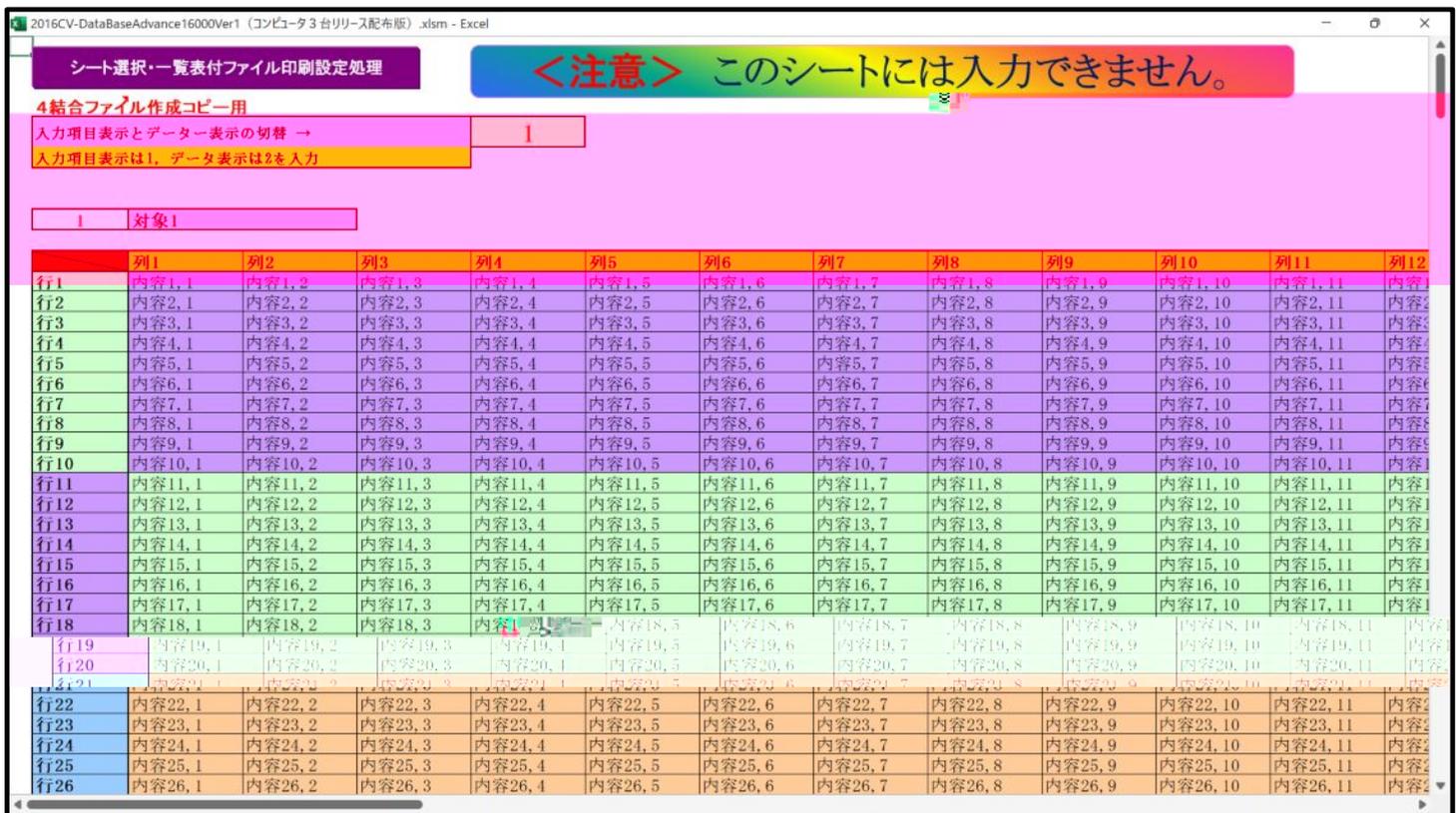
因みにファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「4 結合ファイル作成コピー用」を示すと次の[図8]の画面のようになります。

これと比較して、シート「ファイル作成コピー用 5 2 結合」は見かけ上も機能の面でも大きく変更されています。

[図8]



(2) ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xlsm の場合：

これらの50個のデータファイルは全て同じですので、
ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xlsm
のうち、代表してファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
を用いて説明させていただきます。

ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
を開いてユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録

を選択すると次の[図9]の画面ようになります。

[図9]



上の[図9]の画面のコマンドボタン

Fileの登録シート選択

をクリックすると、次の[図10]の画面のようになりシート「Fileの登録」が選択できます。

このシートは、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版) .xlsm

およびファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のデータファイルのドライブ、フォルダー名、ファイル名の管理、ファイルの開閉状況を管理するためのシートです。

[図 1 0]

NO	DriveDirectory	FileName	File Open Or Close	File Open Or Close 表示の調整
0	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile(16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xlsm	Close	<input type="checkbox"/>
1	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm	Close	<input type="checkbox"/>

3. 2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm と異なるユーザーフォームの部分

- (1) ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm の場合:

ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

を開いていき、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ DataFile開閉等 を選択すると次の[図 1 1]の画面ようになります。

[図11]



ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ **DataFile開閉等** を選択した上の[図 1 1]の画面の部分がファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm

と異なるユーザーフォームの部分です。タブ **DataFile開閉等** の右側の全てのタブは、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm

と全く同じユーザーフォームで機能も全く同じです。

タブ **DataFile開閉等** で表示されているコマンドボタン

CallDataFileの登録シート選択

については既に説明済みですので、これ以外のタブ **DataFile開閉等** のユーザーフォームのコマンドボタンの機能等について説明してまいります。

上のコマンドボタン

選択DataFileOpen処理呼出

をクリックすると次の[図 1 2]の画面になります。

[図 1 2]



上のユーザーフォーム[図 1 2]の画面はデータファイルを読み出すためのもので、タブが

Page1 | Page2 | Page3 | Page4 | Page5 の 5 個あり、そのうちのファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm

のファイルを読み出すことができるタブ **Page1** が選択されている状態です。

- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.7.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.8.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.9.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm

の部分で呼び出したいファイルにチェックを入れて、例えば、

- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.7.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.8.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.9.xlsm
- New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm

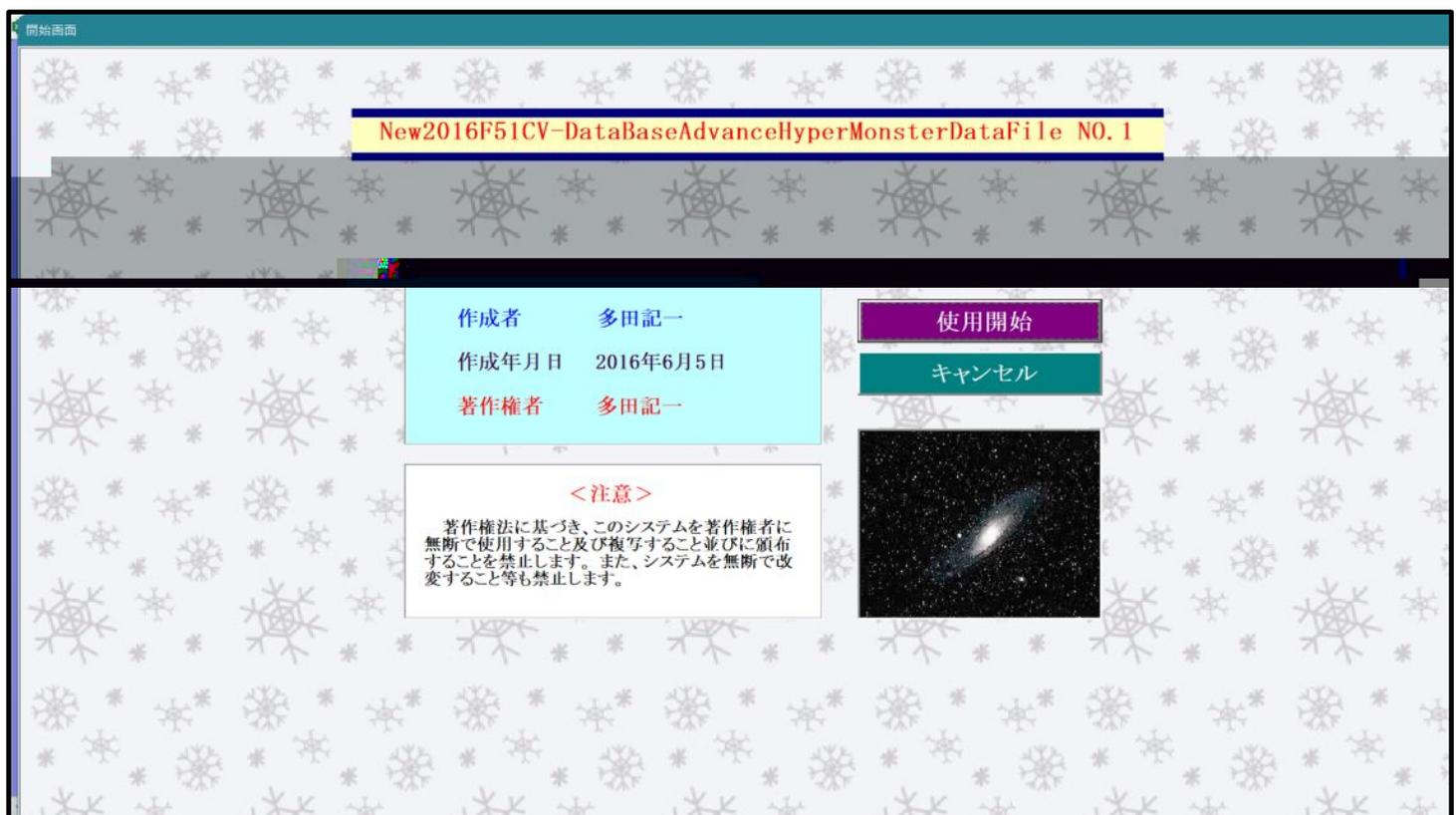
選択DataFileオープン処理

としてコマンドボタン **選択DataFileオープン処理** をクリックすると、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

の呼び出しが開始されます。呼び出しが開始されると、次の立ち上がり画面である[図 1 3]の画面が表示されます。

[図 1 3]



使用開始

上の[図 1 3]の画面のコマンドボタン **使用開始** をクリックすると次の[図 1 4]の画面が表示された後その次の[図 1 5]の画面のが表示されます。

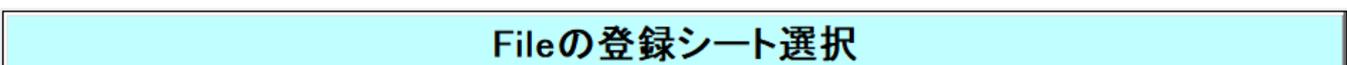
【図 1 4】



【図 1 5】



そして上の【図 1 5】の画面のコマンドボタン



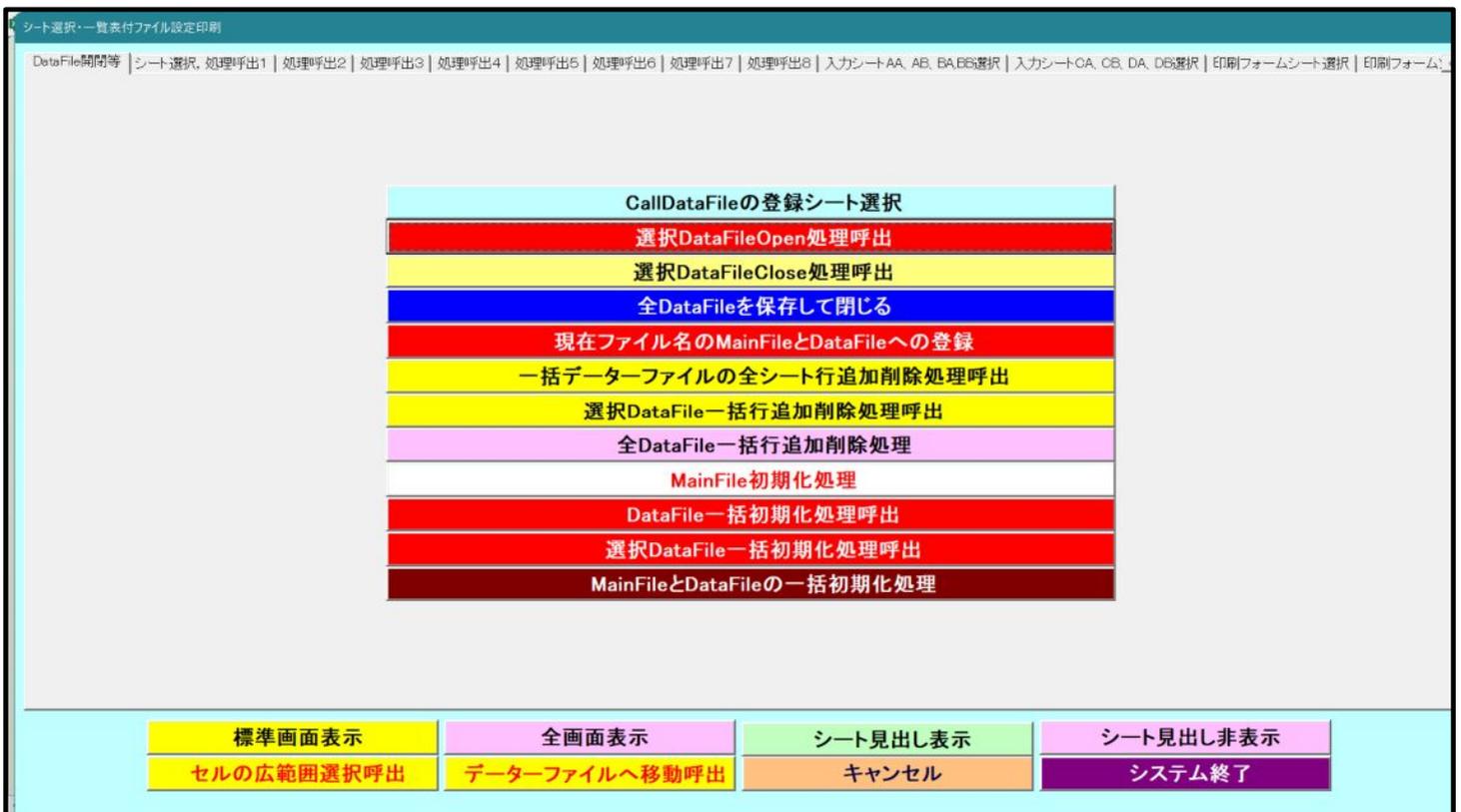
をクリックすると引き続き次の【図 1 6】の画面が表示されます。

[図 1 6]



そしたら[図 1 6]の画面の**シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ**をクリックすると次の[図 1 7]の画面になり、ファイル **New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm** の呼び出しが完了と「なります。

[図 1 7]



なお、このユーザーフォームでは、50個のデータファイルにチェックを入れて50個のデータファイルを同時に呼び出すことのような形も可能なようにも思いますが、それは今のPCのスペックでは不可能です。私どものPCは基本速度2.8GB、最高速度4.7GBのCPU搭載で32GBのメモリー搭載のPCで呼び出し処理のテストをしましたが、入力シートのレコードがデフォルトの50でデータを入力していない全く初期状態でデータファイルを読み出す場合、せいぜい20個を同時に呼び出すのが限界でした。ましてや入力シートのレコード数を増やし、また、実際にデータを入力した場合は、同時にデータファイルを読み出す個数はもっともっと制限されてしまいますのでご承知おきください。

次に[図11]の画面のcommandボタン

選択DataFileClose処理呼出

をクリックすると次の[図18]の画面になります。

[図18]

<現在開いているDataFile>	
NO.1	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
NO.2	
NO.3	
NO.4	
NO.5	
NO.6	
NO.7	
NO.8	
NO.9	
NO.10	

注意
表示されていないファイルは開かれておりません。

上の[図18]の画面のユーザーフォームは、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版) .xlsm

に備わったデータファイルを読み出すマクロによって開かれているデータファイルを閉じる処理をおこなうマクロです。この画面ではデータファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

が開かれた状態です。

データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

を閉じるには、[図18]の画面のcommandボタン **DataFileNO.1を閉じる** をクリックするとファイルを保存して閉じることができます。なお、ファイルを保存しないで閉じるには、先ず、[図11]の

画面のcommandボタン **データファイルへ移動呼出** をクリックし、次の[図19]のユーザーフォームの画面を表示させます。

[図 1 9]

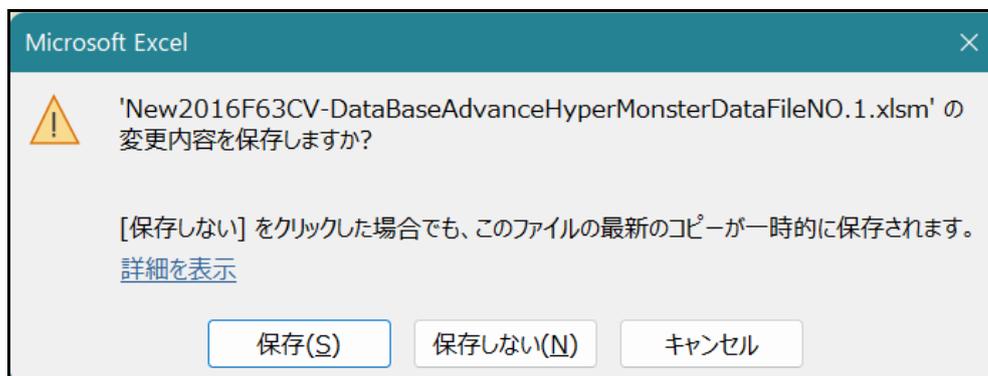


そして、上の[図 1 9]の画面のcommandボタン **DataFileNO.1へ移動** をクリックして、次の[図 2 0]の画面のようにファイル **New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm** のシート「File の登録」を表示させます。

[図 2 0]

NO	DriveDirectory	FileName	FileOpenOrClose	FileOpenOrClose表示の調整
0	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile(16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xlsm	Open	■
1	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm	Open	■

そしたら、[図 2 0]の画面の右上の  の部分をクリックすると、メッセージ



が表示されますので  をクリックしてファイルを閉じてください。

更にファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「CallDataFile の登録」を表示させて次の[図 2 1]の画面のようにします。

[図 2 1]

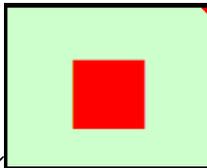
シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

CallDataFileの登録

NO	CallDataFileDriveDirectory	CallDataFileName	File Open Or Close	File Open Or Close 表示の調整
0	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile(16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xism	Open	
1	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xism	Open	
2	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xism	Close	
3	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xism	Close	
4	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xism	Close	
5	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xism	Close	
6	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xism	Close	

そして、上の[図 2 1]の画面の

1	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xism	Open	
---	--------------------------	---	------	--



の部分の最も右側のセルをダブルクリックして、シート「CallDataFileの登録」の状況を上の[図 2 1]の画面の状況から次の[図 2 2]の画面の状況に必ず変更してください。

[図 2 2]



次に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

全DataFileを保存して閉じる

をクリックすると、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わっているマクロを通して開いているデータファイルがある場合、開いているデータファイルを全て保存して閉じることができます。

次に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

現在ファイル名のMainFileとDataFileへの登録

をクリックすると、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わっているマクロを通して開いているデータファイルがある場合、それらの全てのデータファイルのシート「File の登録」とファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「CallDataFile の登録」に現在のファイル名を登録することができ、今後改めてファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

を立ち上げた場合、登録したファイルを呼び出して開くことができます。

次に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

一括データファイルの全シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図 2 3]の画面になります。

この場合、ファイル

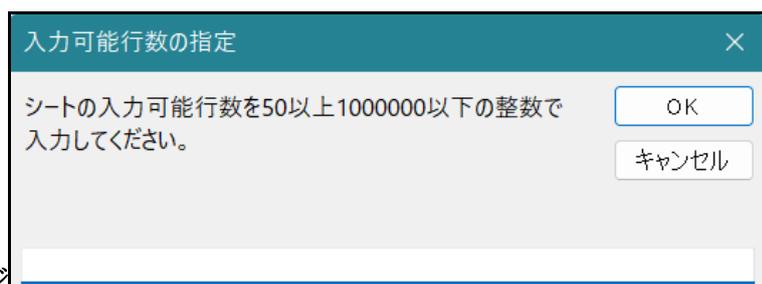
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

版) .xlsm
に備わったマクロ機能によって2つのデータファイル
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
と
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
が呼び出されファイルが開かれています。

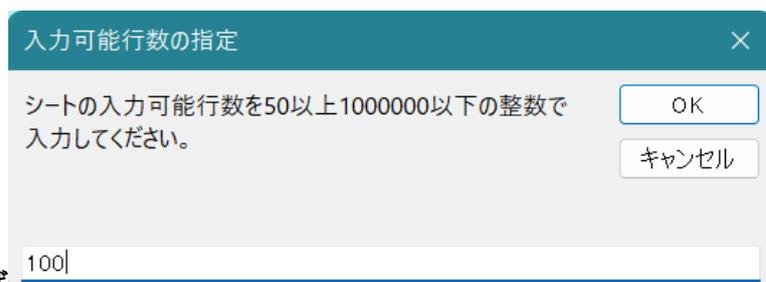
[図 2 3]



上の[図 2 3]の画面のの**コマンドボタン DataFileNO.1の行追加削除処理**をクリックするとメ



ッセージが表示されますが入力シートの行数を下側に



入力し例えばと入力してボタン **OK** をクリッ
クすると DataFileNO.1 の 80-枚の全ての入力シートの入力可能行数が 100 に設定されます。

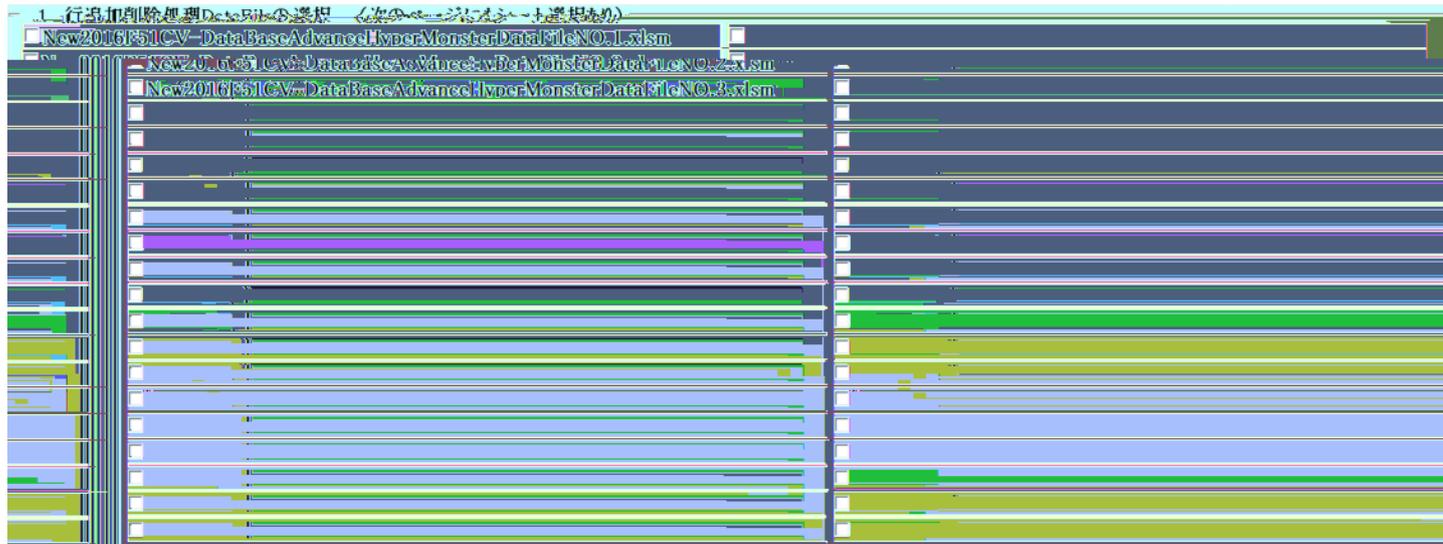
コマンドボタン **DataFileNO.2の行追加削除処理** をクリックして、同様にして DataFileNO.2
の 80 枚の全ての入力シートの入力行数を設定できます。

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm

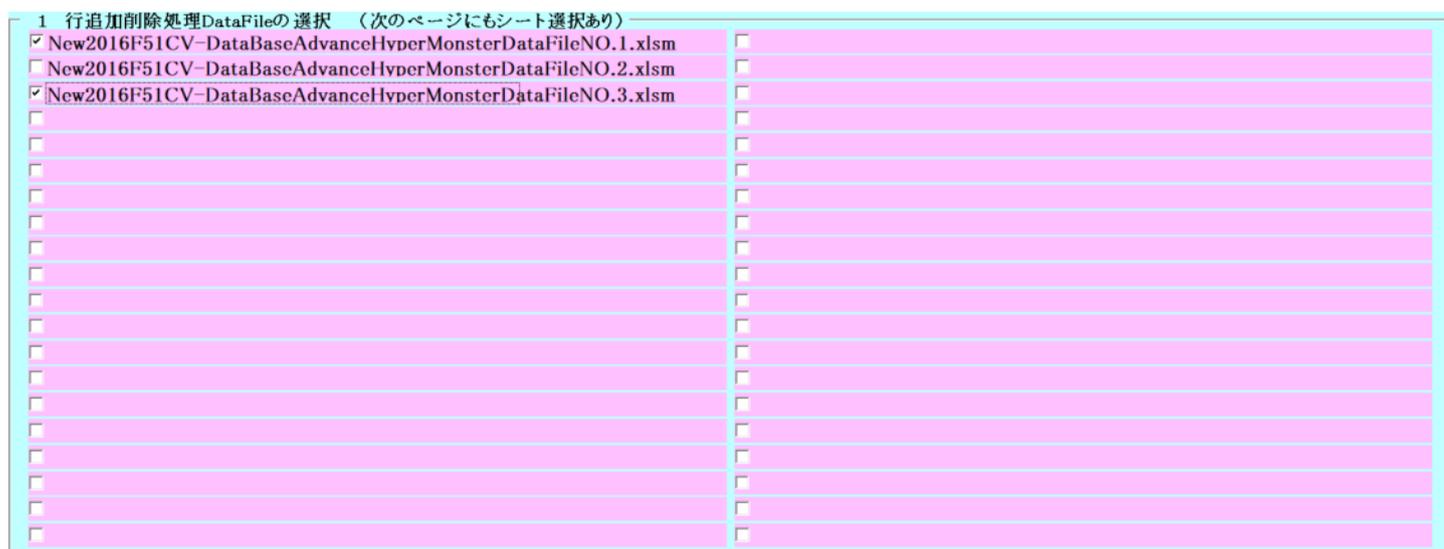
がファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わったマクロ機能によって開かれています。



で入力シートの入力可能行数を設定をおこないたいファイルにチェックを入れて、



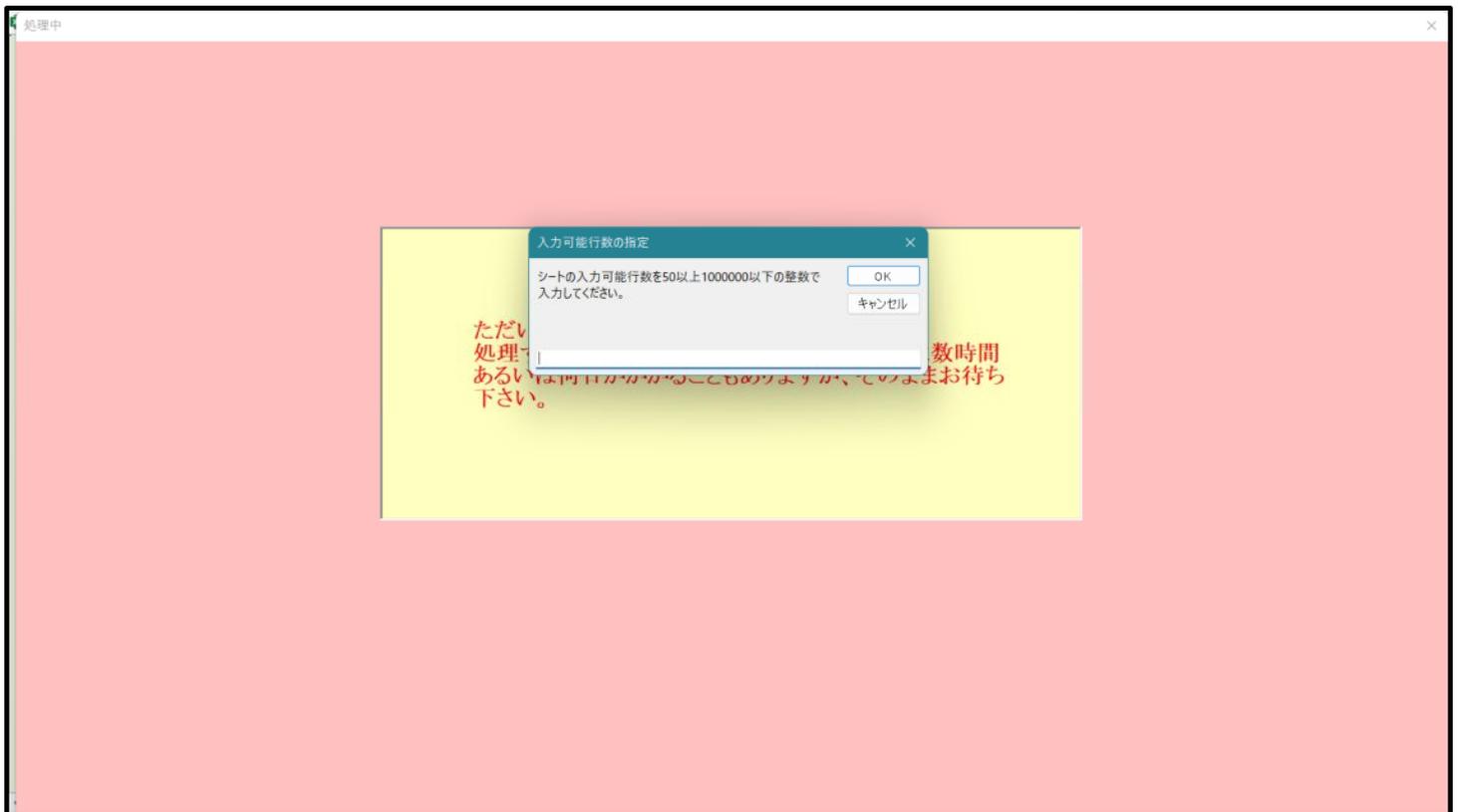
選択DataFile行追加削除処理開始

として上の次の[図 2 4]の画面の Command ボタン

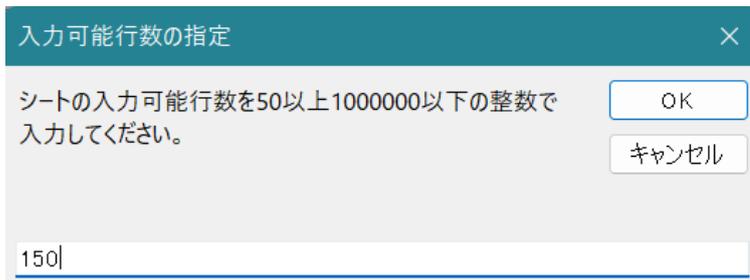
をクリック

すると次の[図 2 5]の画面のようにメッセージが表示されます。

[図 2 5]



上の[図 2 5]の画面のでメッセージの入力欄に



と入力し、ボタン をクリックするとファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm

の 80 枚の全ての入力シートの入力可能行数を 150 行に設定できます。

次に[図 1 1]の画面のcommandボタン

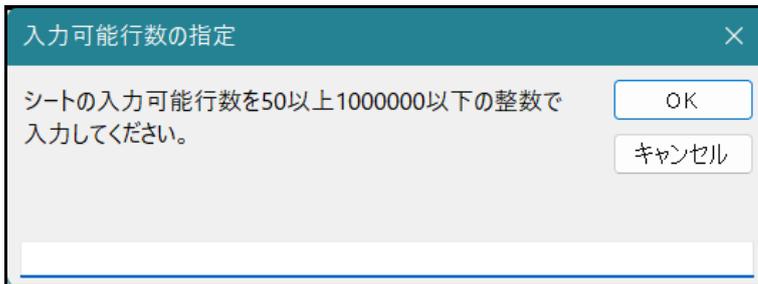
全DataFile一括行追加削除処理

をクリックすると、次の[図 2 6]の画面のようにメッセージが表示されます。

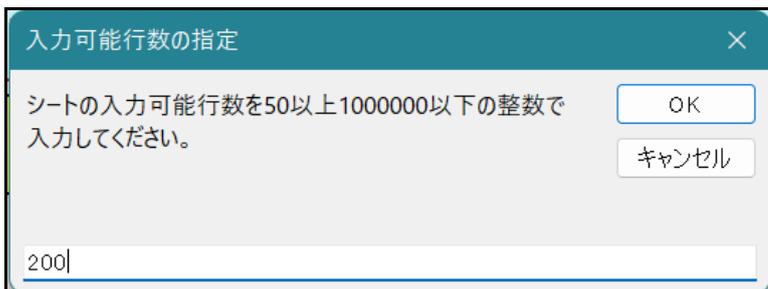
[図 2 6]



メッセージ



の下側の入力欄に



と入力してボタン をクリックすると

開かれている全てのデータファイルの 80 枚全て入力シートの入力可能行数を 200 に設定できます。

今データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

が開かれているので、この2つのデータファイルの 80 枚全て入力シートの入力可能行数を 200 に設定されます。

次に[図 1 1]の画面のcommandボタン



について説明します。

メインファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のファイル名を変更し、

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (テスト用) .xlsm

とし、様々な編集をおこなったとします。

コマンドボタン

MainFile初期化处理

をクリックすると下の[図 2 7]の画面が表示され、ファイル名

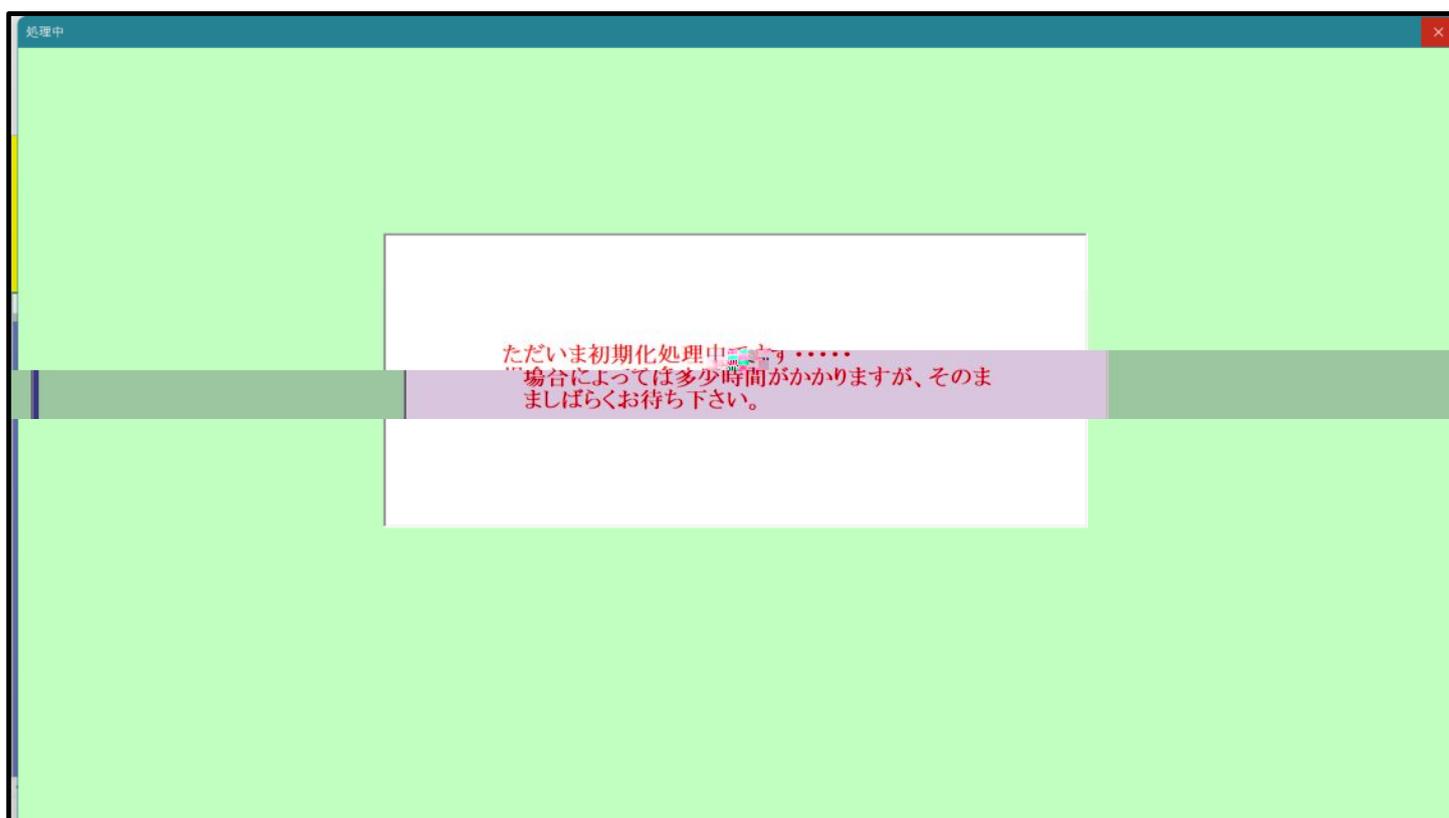
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (テスト用) .xlsm

をこのファイル名の初期設定

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のファイル名に変更するとともに、様々な編集をおこなった状態も、購入したときの状態に戻す処理が実行されます。処理が完了すると、その下の[図 2 8]の画面が表示されます。

[図 2 7]



[図 2 8]



なお、この処理が完了したら、上のコマンドボタン

現在ファイル名のMainFileとDataFileへの登録

をクリックして、必ずメインファイルと関連するデータファイルへ、ファイル名の登録をおこなってください。

ファイル名

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (テスト用) .xslsm

をこのファイル名の初期設定

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslsm

のファイル名に変更するとともに、様々な編集をおこなった状態も、購入したときの状態に戻ります。

次に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

DataFile一括初期化処理呼出

について説明します。

データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xslsm

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xslsm

のファイル名を変更し、それぞれ

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xslsm

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xslsm

のファイル名になっており、このファイル名で様々なファイルの編集をおこなったとします。

そしてメインファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslsm

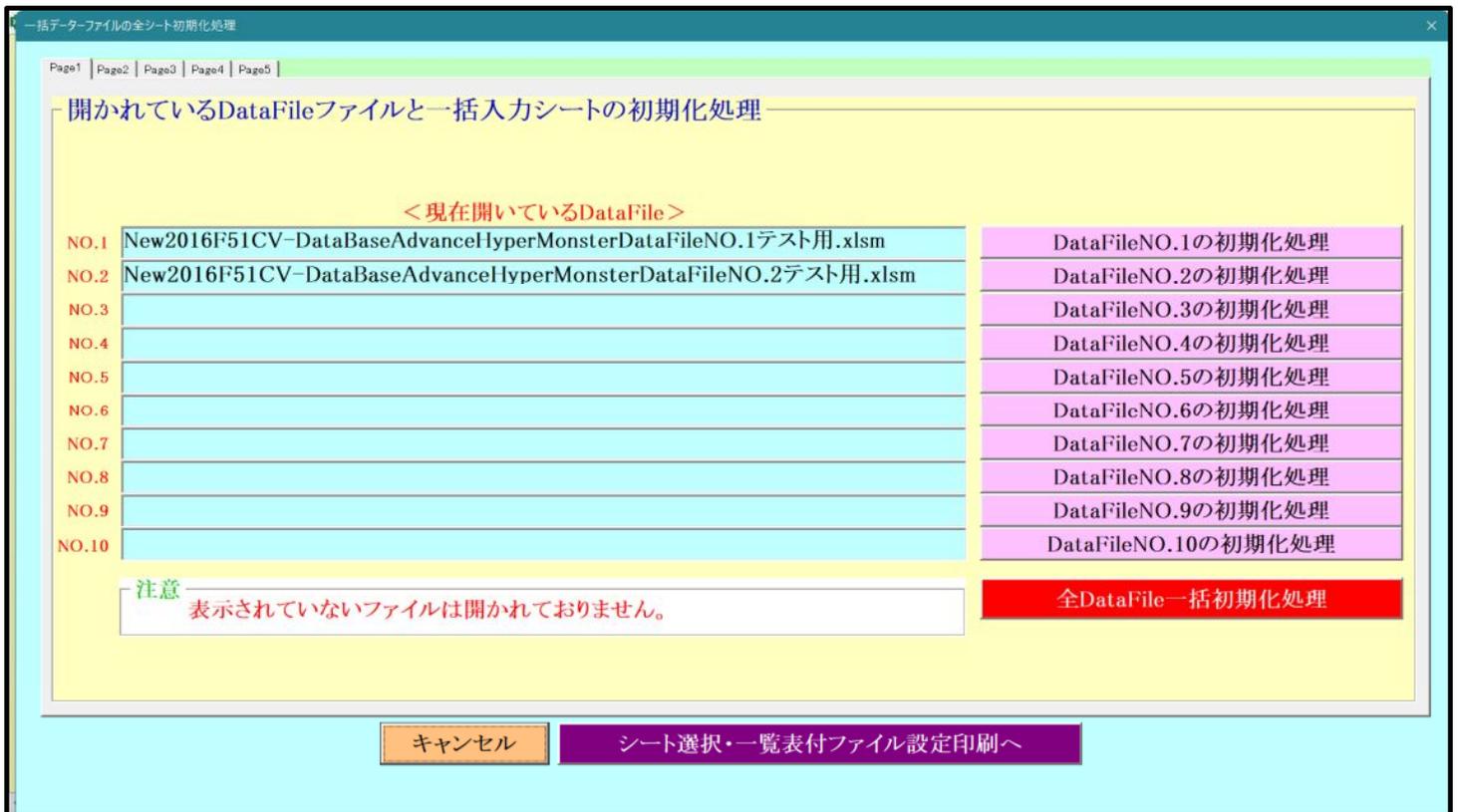
に備わっているマクロ機能によって2つのデータファイルが開かれているとします。

この状況でコマンドボタン

DataFile一括初期化処理呼出

をクリックすると次の[図 2 9]の画面が表示されます。

[図 2 9]



上の[図 2 9]の画面の Command ボタン **DataFileNO.1の初期化処理** をクリックすると、
データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm
の初期化がおこなわれ、ファイル名が
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
に変更されるとともに、編集されたファイルの状況が購入された時点の状況に初期化処理されます。

また、上の[図 2 9]の画面の Command ボタン **DataFileNO.2の初期化処理** をクリックすると、
データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm
の初期化がおこなわれ、ファイル名が
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
に変更されるとともに、編集されたファイルの状況が購入された時点の状況に初期化処理されます。

更にデータファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
のファイル名を変更し、それぞれ

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm
のファイル名になっており、このファイル名で様々なファイルの編集をおこなったとします。

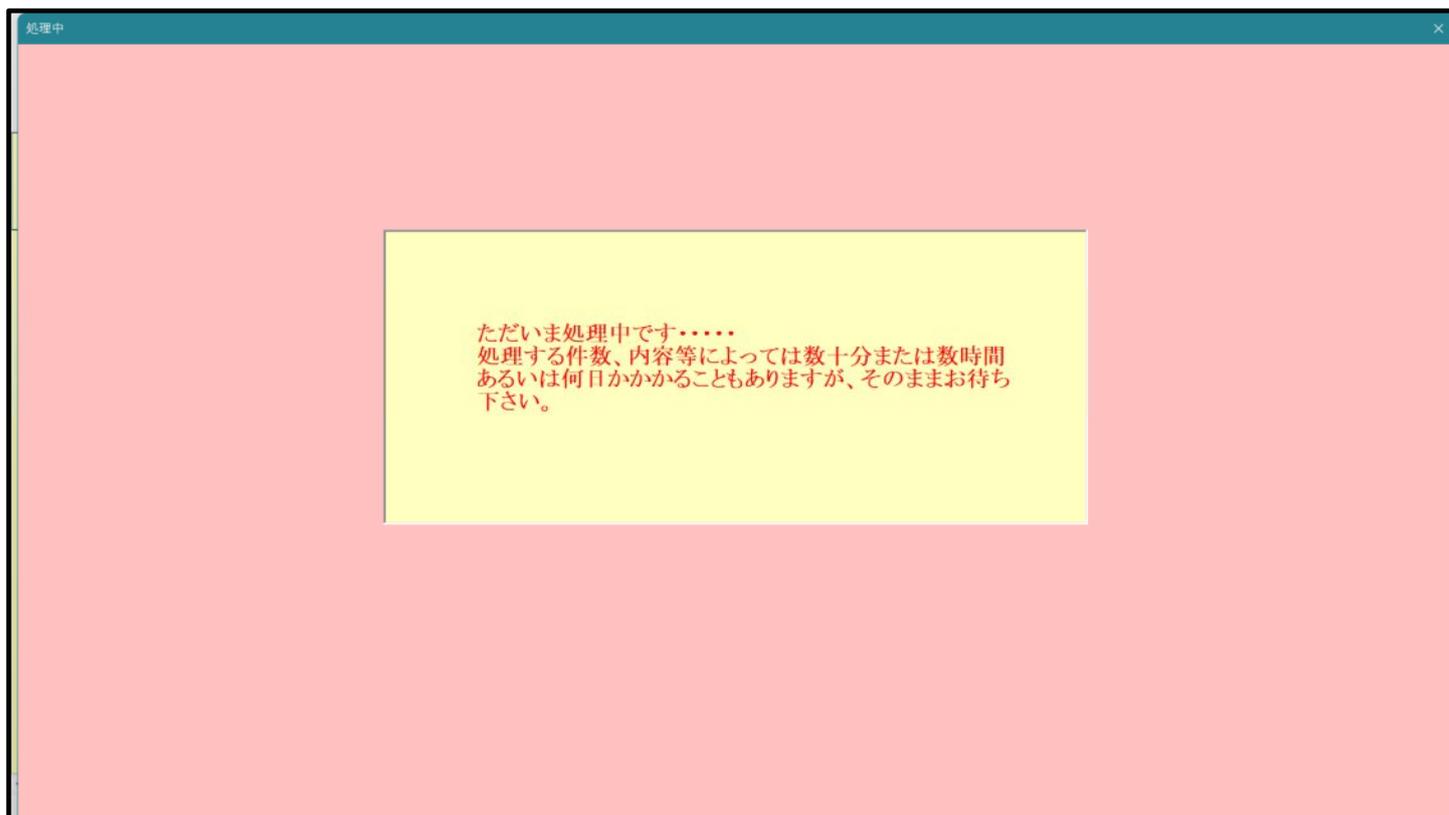
そしてメインファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
に備わっているマクロ機能によって 2 つのデータファイルが開かれているとします。

この状況で上の[図 2 9]の Command ボタン **全DataFile一括初期化処理** をクリックすると、

2 つのデータファイル

【図 3 1】



【図 3 2】



この初期化によって、2つのデータファイル
 New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm
 New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3 テスト用.xlsm
 のファイル名が、それぞれ
 New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm

に変更されるとともに、このファイル名で様々なファイルの編集をおこなっていたら、編集されたファイルの状況を購入された時点の状況に初期化处理されます。

最後に[図 1 1]の画面の Command ボタン

MainFileとDataFileの一括初期化处理

について説明します。

この Command ボタンをクリックすると、メインファイルとファイルに備わったマクロ機能で呼び出されている全てのデータファイルの初期化がおこなわれます。

例えば、メインファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
のファイル名を変更して

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)
テスト用.xlsm

として様々な編集をおこない、また、この変更したメインファイルに備わっているマクロ機能を用いて2つのデータファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

を呼び出して、この2つデータファイルでも様々な編集をおこなっていたとします。

このような状況のもとで、Command ボタン

MainFileとDataFileの一括初期化处理

をクリックするとメインファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)
テスト用.xlsm

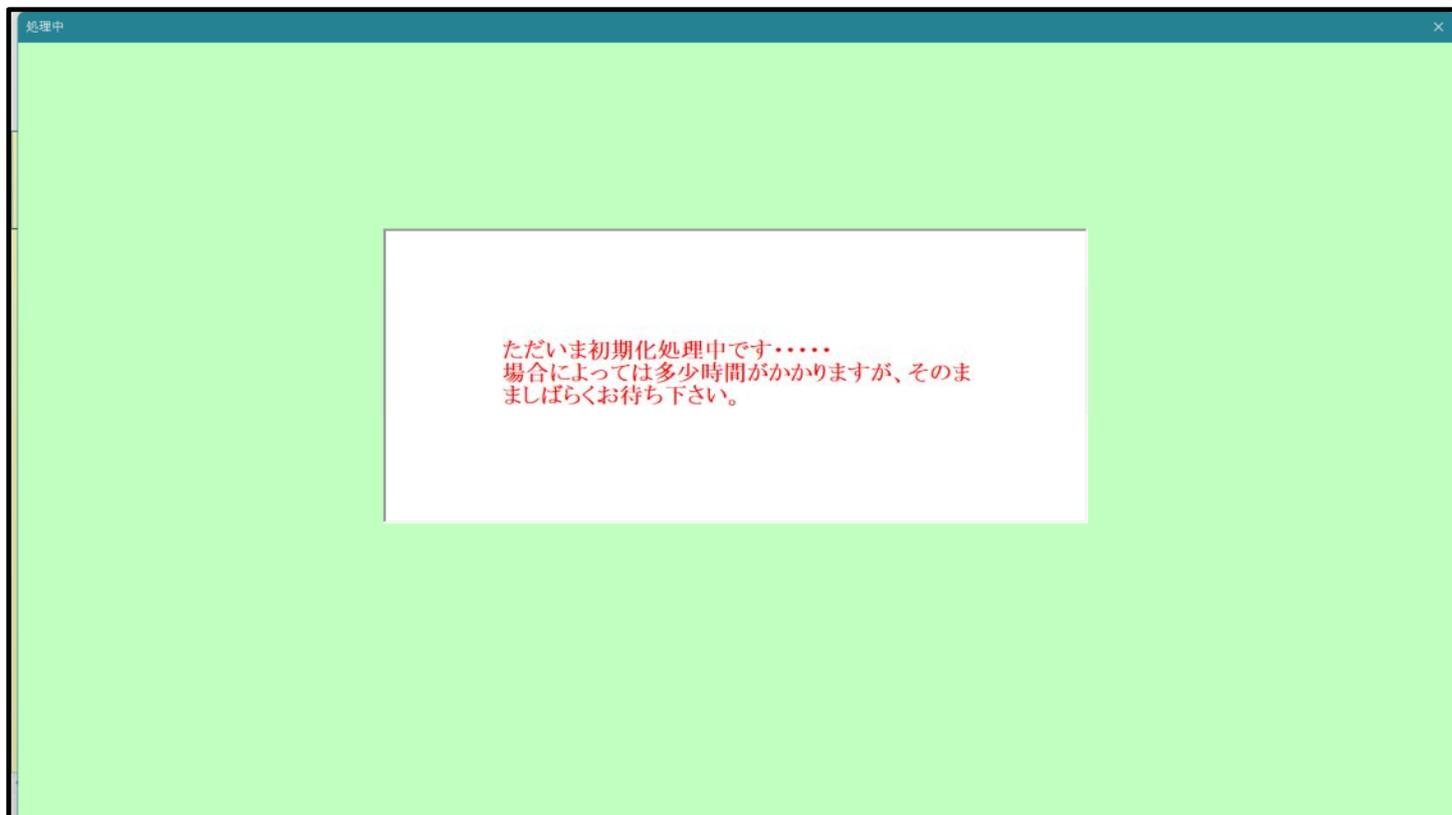
および2つのデータファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

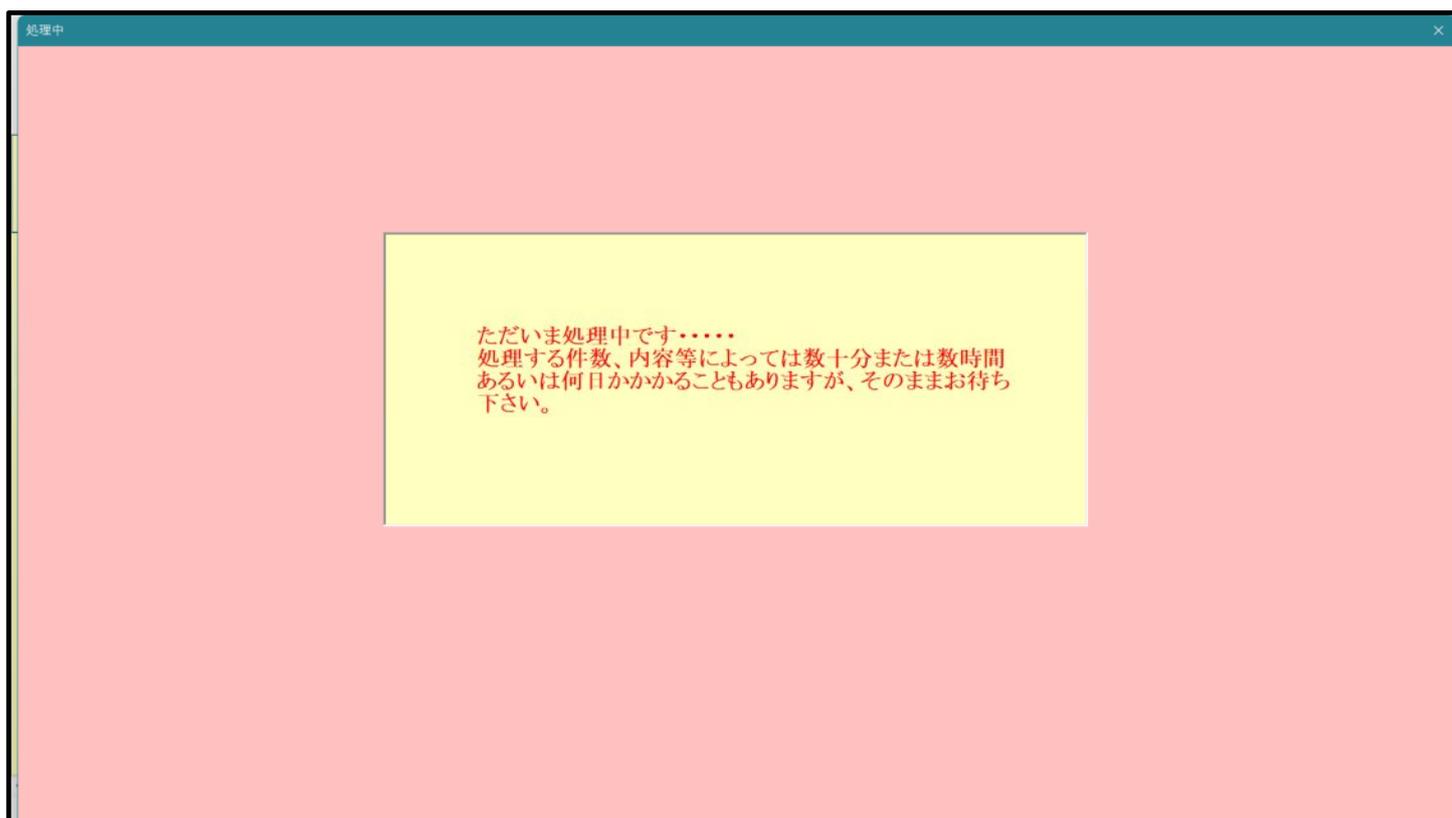
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

の初期化が開始されます。開始されると、次の[図 3 3]の画面が表示された後、[図 3 4]の画面が表示され、更にその次の[図 3 5]の画面が表示されたら初期化が完了となります。

[図 3 3]



[図 3 4]



[図 3 5]



この初期化によって、メインファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

テスト用.xlsm

のファイル名は

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (

16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に

データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

のファイル名は

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

に

データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

のファイル名は

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

にそれぞれ変更されるとともに、これらのファイル名で様々なファイルの編集をおこなっていたら、編集されたファイルの状況を購入された時点の状況に初期化处理されます。

(2) ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xlsm の場合：

ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xlsm

のどのデータファイルについても同じなので、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

を用いて説明いたします。

ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

はもともと原則的にはメインファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わったマクロ機能用いて開くべきファイルです。メインファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わったマクロ機能用いてファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

開いていき、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録を選択すると次の[図36]の画面ようになります。

[図36]



ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ3台リリース配布版）.xlsm
と異なるユーザーフォームの部分です。

タブ Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 の右側の全てのタブは、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ3台リリース配布版）.xlsm
と全く同じユーザーフォームで機能も全く同じです。

タブ Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 で表示されているコマンドボタン

Fileの登録シート選択

については既に説明済みですので、上のコマンドボタン

現在ファイル名のMainFileとDataFileへの登録

について説明いたします。

このコマンドボタンは、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

またはこのファイル名を変更した場合、そのファイル名をメインファイルおよびそのデータファイルに登録して、今後改めて、メインファイルを通してそのデータファイルを呼び出しをおこなうことができるようにするためのものです。

例えば、メインファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版）.xlsm

に備わったマクロ機能を用いてファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

呼び出し、データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のファイル名を

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

と変更した場合、ファイルを一旦閉じて再びメインファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版）.xlsm

に備わったマクロ機能を用いてファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

を呼び出して開くにはメインファイルとデータファイルに登録が必要で、そのための登録用のマクロボタンです。

メインファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版）.xlsm

のシート「CallDataFileの登録」

と

データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のシート「Fileの登録」の状況がそれぞれ次の[図37]、[図38]の画面のようになっていたとします。

[図37]

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xlsx - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

CallDataFileの登録

NO	CallDataFileDriveDirectory	CallDataFileName	File Open Or Close	File Open Or Close 表示の調整
0	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xlsx	Open	<input type="checkbox"/>
1	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsx	Open	<input type="checkbox"/>
2	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsx	Close	<input type="checkbox"/>
3	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsx	Close	<input type="checkbox"/>
4	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xlsx	Close	<input type="checkbox"/>
5	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xlsx	Close	<input type="checkbox"/>
6	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xlsx	Close	<input type="checkbox"/>

【図 3 8】



そして今度は、データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のファイル名を

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

に変更してコマンドボタン

現在ファイル名のMainFileとDataFileへの登録

をクリックすると、メインファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「CallDataFile の登録」

と

データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

のシート「File の登録」の状況はそれぞれ次の[図 3 9]、[図 4 0]の画面のようになります。

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

CallDataFileの登録

NO	CallDataFileDriveDirectory	CallDataFileName	File Open Or Close	File Open Or Close 表示の調整
0	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xism	Open	<input type="checkbox"/>
1	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1テスト用.xism	Open	<input type="checkbox"/>
2	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xism	Close	<input type="checkbox"/>
3	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xism	Close	<input type="checkbox"/>
4	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xism	Close	<input type="checkbox"/>
5	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xism	Close	<input type="checkbox"/>
6	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xism	Close	<input type="checkbox"/>

[図 4 0]

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

Fileの登録

NO	DriveDirectory	FileName	File Open Or Close	File Open Or Close 表示の調整
0	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xism	Open	<input type="checkbox"/>
1	D:\HyperMonster51の登録書換処理	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1テスト用.xism	Open	<input type="checkbox"/>

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「ファイル作成コピー用51結合」を用いて、最大 1,000,000 レコード 816,000 フィールドのデータの中から必要なデータを取り出してシステムに組み込まれたマクロ機能を用いて、データを次々変更しながら、印刷したり、また、印刷フォームの印刷範囲を PDF の添付ファイルとして該当者または該当組織にメール送信するシステムを構築する方法:

ここでは、単票形式の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する「一学期中間考査個票」と

「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の 1 行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する「修正前期募集校長宛可否通知書」を作成して説明してまいります。

(1) データファイルのデータの入力等について:

「一学期中間考査個票」を作成するためにデータファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のデータの入力等について次のように行います。

まず、ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

を立ち上げ、シート「ファイル作成コピー用51結合」を選択します。そして Esc を押すと標準画面となり、次の[図 4 1]の画面のようになります。

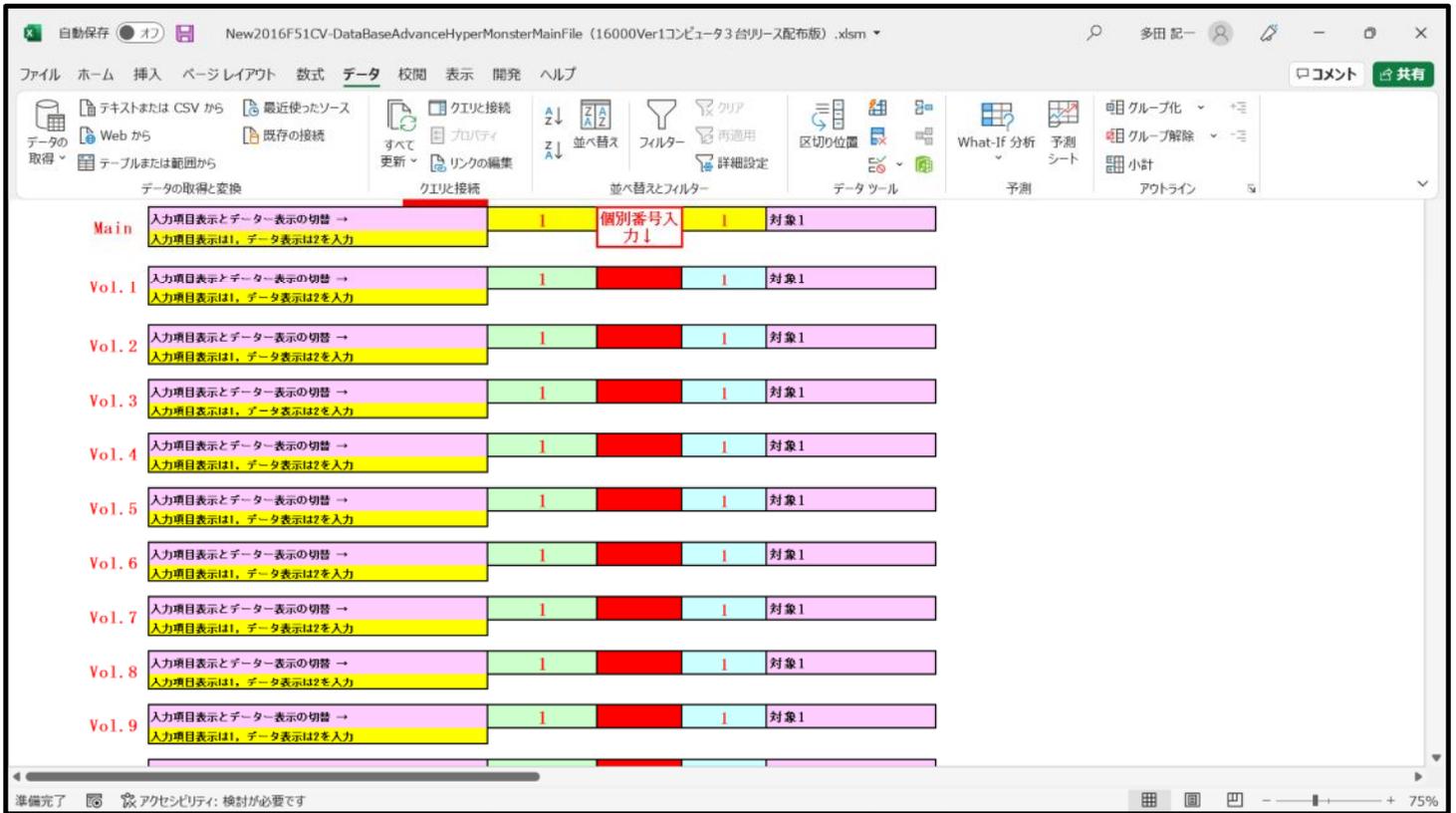
[図 4 1]



そして更に、上の[図 4 1]の画面のセル **シート保護解除** を選択してダブルクリックしてシートの保護

を解除し、**データ** を選択すると、次の[図 4 2]の画面のようになります。

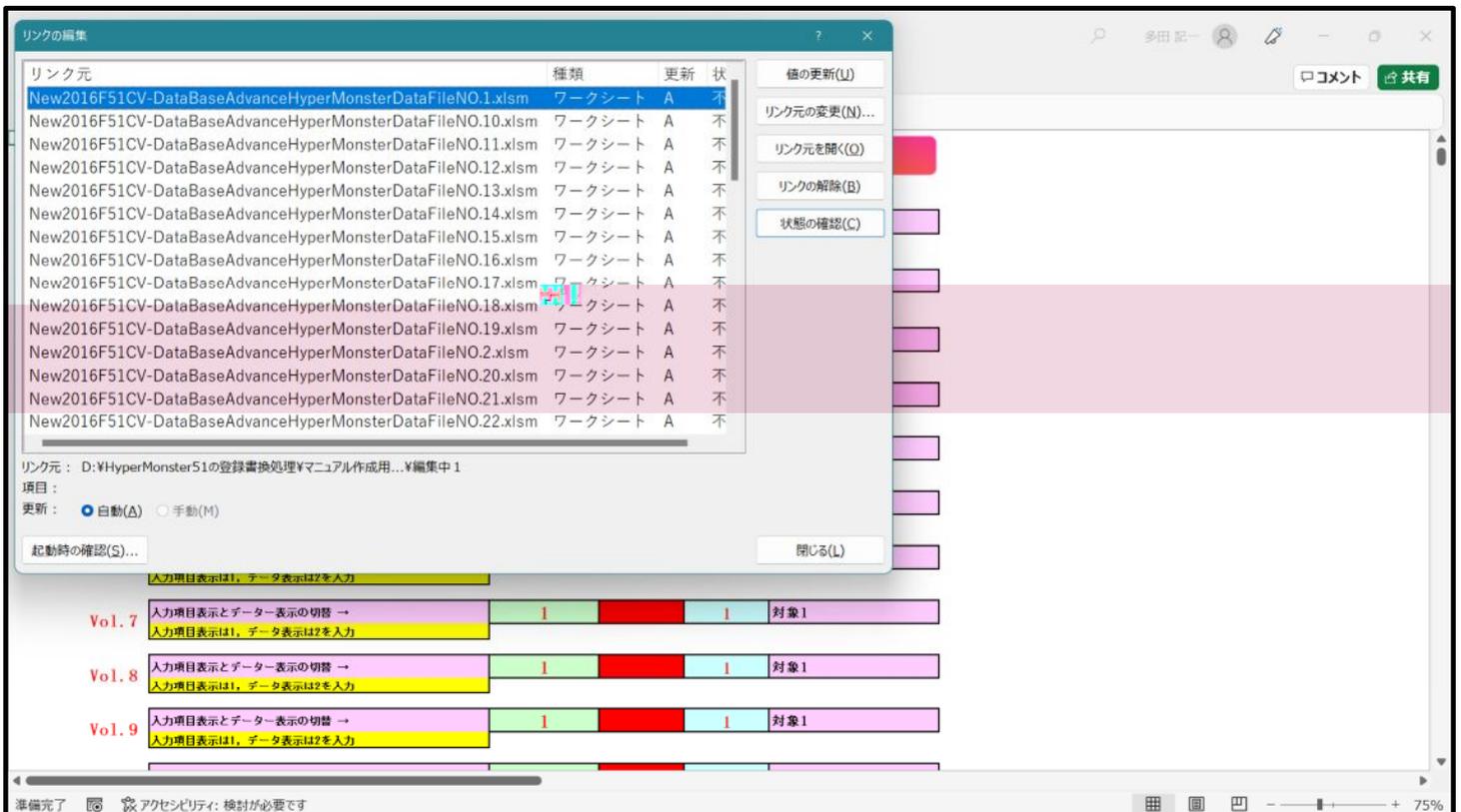
[図 4 2]



リンクの編集

更に上の[図 4 2]の画面のこの部分を選択すると次の[図 4 3]の画面のようになります

[図 4 3]

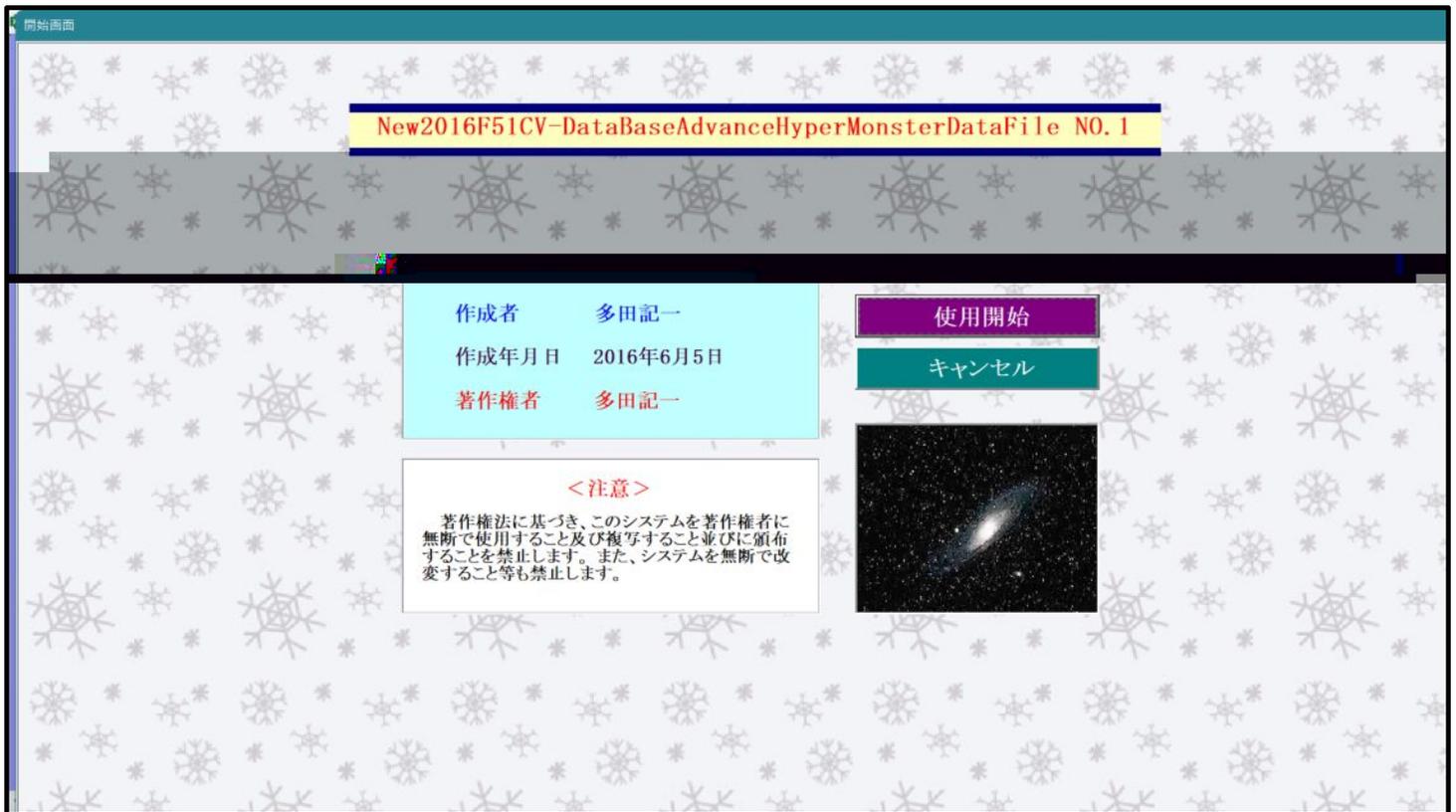


リンク元を開く(O)

上の[図 4 3]の画面のボタンをクリックするとリンク元のファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
開かれてまいります、最初に次の[図 4 4]の画面が表示されます。

[図 4 4]



上の[図 4 4]の画面の Command ボタン

使用開始

をクリックすると次の[図 4 5]

の画面が表示された後、その次の[図 4 6]の画面が表示されます。

[図 4 5]



[図 4 6]



上の[図 4 6]の画面のタブ **シート選択, 処理呼出1** を選択すると次の[図 4 7]の画面になります。

【図 4 7】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷			
Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 [シート選択, 処理呼出1] 処理呼出2 処理呼出3 処理呼出4 処理呼出5 処理呼出6 処理呼出7 処理呼出8 入力シートAA, AB, BA, BB選択 入力シートCA, CB, DA, DB選択 印刷			
シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20
標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
MeinFileへ移動	セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了

上の【図 4 7】の画面の**シート名設定**をクリックすると次の【図 4 8】の画面になります。但し【図 4 8】の画面は表示倍率が 50%のものです。

【図 4 8】

自動保存 [オフ] New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDatafileNO.1.xlsx 検索 (ALT+Q) 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

※注意 変更するシート等の名前を入力した後は、追加したシート選択・一覧表付ファイル印刷設定を再確認し、変更後に再度「F5」キーを押すことで完了します。また、このシート選択・一覧表付ファイル印刷設定は、変更後に再度「F5」キーを押すことで完了します。また、同じシート名を入力した場合は、そのシート名も自動的に変更されますのでご注意ください。なお、「確定」ボタンをクリックした後は、入力内容が保存されますのでご注意ください。

NO	シート名・インターフェース新設名	NO	シート名・インターフェース新設名	NO	シート名・インターフェース新設名	NO	シート名・インターフェース新設名	NO	シート名・インターフェース新設名
1	101 入力シート	101	101 入力シート						
2	102 入力シート	102	102 入力シート						
3	103 入力シート	103	103 入力シート						
4	104 入力シート	104	104 入力シート						
5	105 入力シート	105	105 入力シート						
6	106 入力シート	106	106 入力シート						
7	107 入力シート	107	107 入力シート						
8	108 入力シート	108	108 入力シート						
9	109 入力シート	109	109 入力シート						
10	110 入力シート	110	110 入力シート						
11	111 入力シート	111	111 入力シート						
12	112 入力シート	112	112 入力シート						
13	113 入力シート	113	113 入力シート						
14	114 入力シート	114	114 入力シート						
15	115 入力シート	115	115 入力シート						
16	116 入力シート	116	116 入力シート						
17	117 入力シート	117	117 入力シート						
18	118 入力シート	118	118 入力シート						
19	119 入力シート	119	119 入力シート						
20	120 入力シート	120	120 入力シート						
21	121 入力シート	121	121 入力シート						
22	122 入力シート	122	122 入力シート						
23	123 入力シート	123	123 入力シート						
24	124 入力シート	124	124 入力シート						
25	125 入力シート	125	125 入力シート						
26	126 入力シート	126	126 入力シート						
27	127 入力シート	127	127 入力シート						
28	128 入力シート	128	128 入力シート						
29	129 入力シート	129	129 入力シート						
30	130 入力シート	130	130 入力シート						
31	131 入力シート	131	131 入力シート						
32	132 入力シート	132	132 入力シート						
33	133 入力シート	133	133 入力シート						
34	134 入力シート	134	134 入力シート						
35	135 入力シート	135	135 入力シート						
36	136 入力シート	136	136 入力シート						
37	137 入力シート	137	137 入力シート						
38	138 入力シート	138	138 入力シート						
39	139 入力シート	139	139 入力シート						
40	140 入力シート	140	140 入力シート						
41	141 入力シート	141	141 入力シート						
42	142 入力シート	142	142 入力シート						
43	143 入力シート	143	143 入力シート						
44	144 入力シート	144	144 入力シート						
45	145 入力シート	145	145 入力シート						
46	146 入力シート	146	146 入力シート						
47	147 入力シート	147	147 入力シート						
48	148 入力シート	148	148 入力シート						
49	149 入力シート	149	149 入力シート						
50	150 入力シート	150	150 入力シート						

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

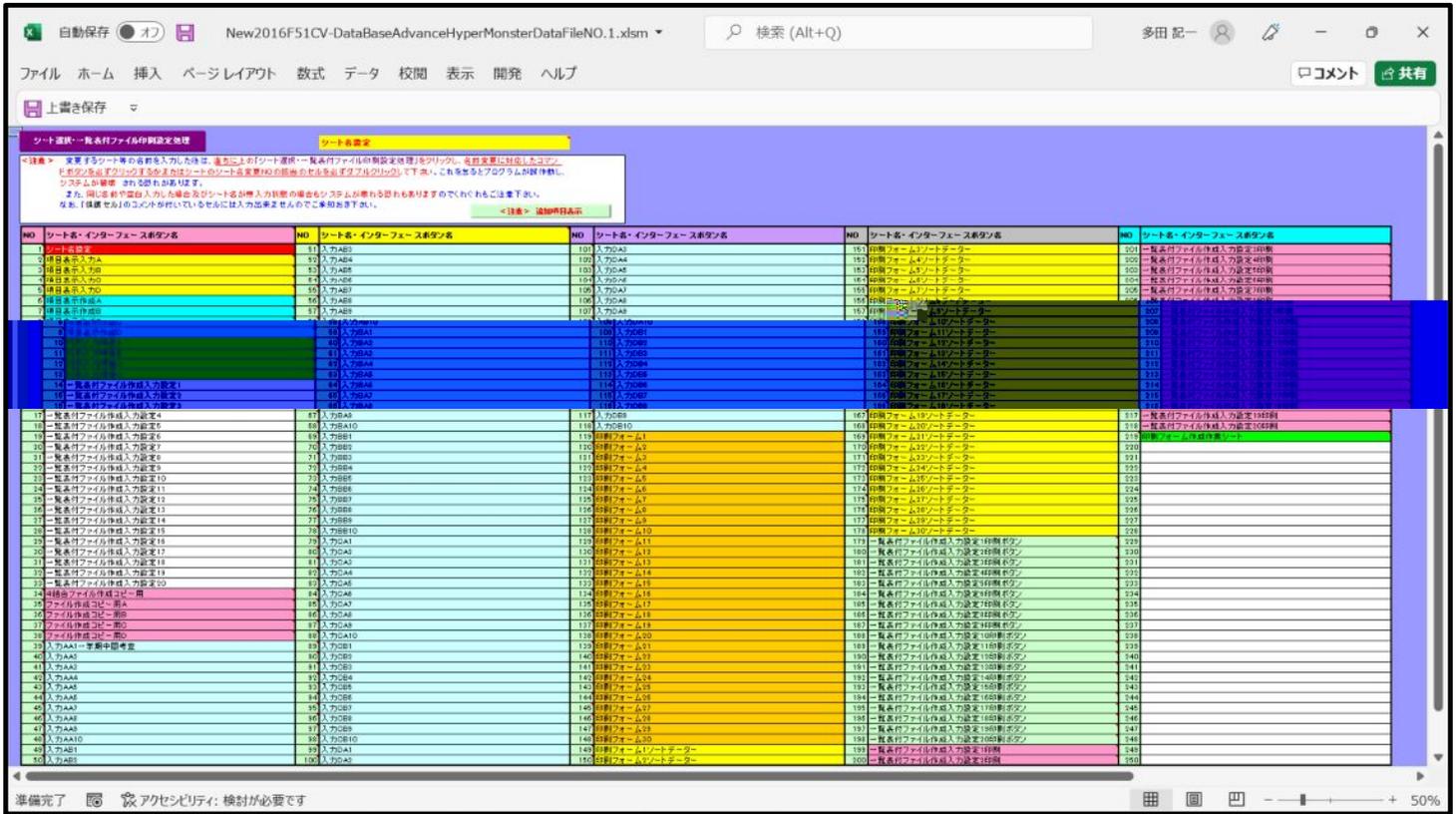
50%

そして次の【図 4 9】の画面のように

39 入力AA1一学期中間考査

の部分の右側のセルの値を変更し、セル **39** をダブルクリックすると入力シート「入力 AA1」のシート名が「入力 AA1 一学期中間考査」に変更され入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」が選択され、下の [図 5 0] の画面のようになります。

[図 4 9]



[図 5 0]



引き続き上の[図 5 0]の画面の**シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理**をクリックすると、次の[図 5 1]の画面のようになります。

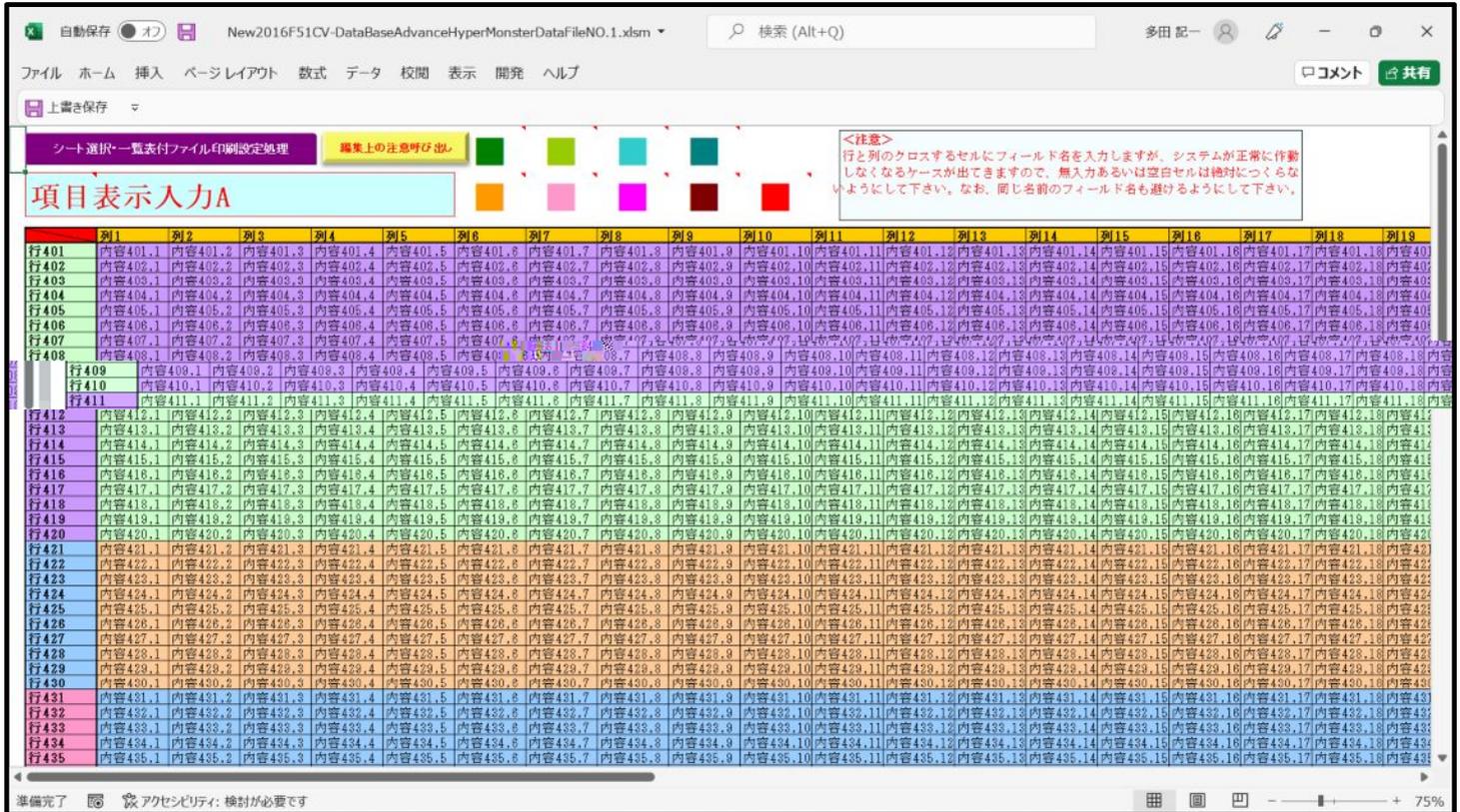
[図 5 1]



項目表示入力A

上の【図 5 1】の画面のボタン 項目表示入力A をクリックすると次の【図 5 2】の画面のようになりますが、入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」の表の項目表示を設定します。

【図 5 2】

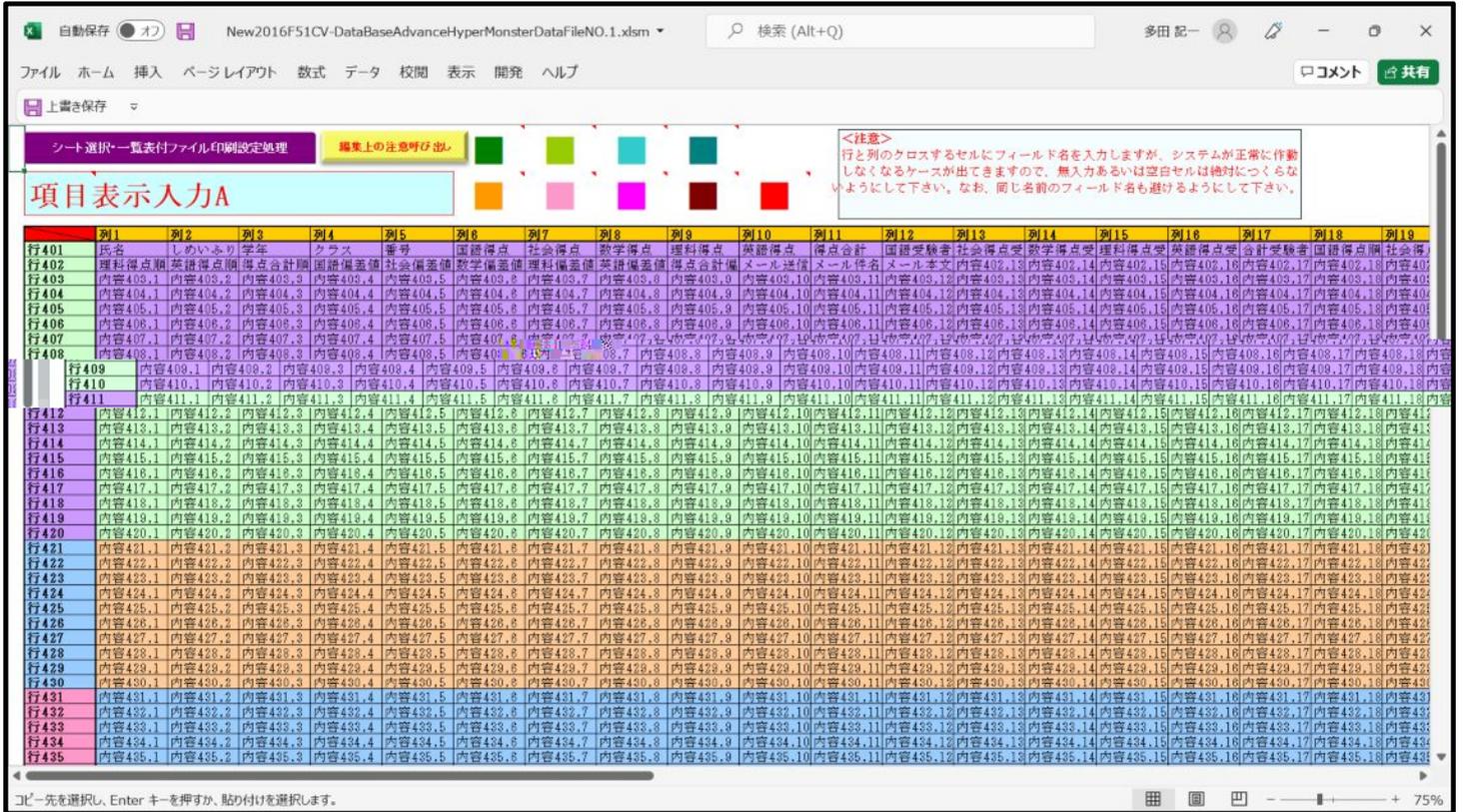


上の【図 5 2】の画面の

行	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14	列15	列16	列17	列18	列19	列20
行401	内容401.1	内容401.2	内容401.3	内容401.4	内容401.5	内容401.6	内容401.7	内容401.8	内容401.9	内容401.10	内容401.11	内容401.12	内容401.13	内容401.14	内容401.15	内容401.16	内容401.17	内容401.18	内容401.19	内容401.20
行402	内容402.1	内容402.2	内容402.3	内容402.4	内容402.5	内容402.6	内容402.7	内容402.8	内容402.9	内容402.10	内容402.11	内容402.12	内容402.13	内容402.14	内容402.15	内容402.16	内容402.17	内容402.18	内容402.19	内容402.20

の部分に次の【図 5 3】の画面の入力します。

【図 5 3】



そして、上の【図 5 3】の画面の**項目表示入力A**のボタンをクリックすると次の【図 5 4】の画面になります。

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理のボタンをクリックすると次の【図 5 4】の画面になります。

【図 5 4】



上の【図 5 4】の画面のタブ **入力シートAA, AB, BA, BB** を選択すると次の【図 5 5】の画面になりますが、
【図 5 5】の画面のコマンドボタン

入力AA1一学期中間考査

をクリックすると入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」が選択され下の【図 5 6】の画面のようになります。

【図 5 5】

シート選択・一覧表示付ファイル設定印刷

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 | シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印

入力AA1一学期中間考査	入力BA1
入力AA2	入力BA2
入力AA3	入力BA3
入力AA4	入力BA4
入力AA5	入力BA5
入力AA6	入力BA6
入力AA7	入力BA7
入力AA8	入力BA8
入力AA9	入力BA9
入力AA10	入力BA10
入力AB1	入力BB1
入力AB2	入力BB2
入力AB3	入力BB3
入力AB4	入力BB4
入力AB5	入力BB5
入力AB6	入力BB6
入力AB7	入力BB7
入力AB8	入力BB8
入力AB9	入力BB9
入力AB10	入力BB10

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示
MeinFileへ移動 セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

【図 5 6】



上の[図 5 6]の画面でシートの保護を槐樹押し項目表示を縦型に編集し直したのが次の[図 5 7]の画面です。

[図 5 7]



そして、[図 5 7]の画面の表にデータを入力したのが次の[図 5 8]の画面です。ただし、この入力データはテスト用のものです。

[図 5 8]

自動保存 (オフ) New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsx 検索 (Alt+Q) 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 **入力可能行数 50行**

入力AA1一学期中間考査

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破壊につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び切り取り・貼り付け操作
②第1行～7行、表の最後の最終停止行及びA列、B列、C列での入力または消去操作
③データのシート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で実装します。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出
<注意>追加内容呼び出し

ID	対象	氏名		りしめ ないふ	学年	クラス	番号	国語 得点	社会 得点	数学 得点	理科 得点	英語 得点	得点 合計
		列1 行401	列2 行401										
1	対象1	橋太郎	ももたろう	1年	1組	1番	100	100	100	100	100	100	500
2	対象2	浦島太郎	うらしまたろう	1年	1組	2番	87	80	65	88	45	365	
3	対象3	金太郎	きんたろう	1年	1組	3番	33	87	44	56	88	308	
4	対象4	犬	いぬ	1年	1組	4番	89	78	28	79	97	371	
5	対象5	熊	くま	1年	1組	5番	98	66	80	90	45	379	
6	対象6	雉	きじ	1年	1組	6番	45	75	98	45	70	333	
7	対象7	鬼ちゃん	おにちゃん	1年	1組	7番	66	79	76	99	65	385	
8	対象8	一寸法師	いっすんぼし	1年	1組	8番	45	45	79	42	55	266	
9	対象9	爺さん	じいさん	1年	1組	9番	58	61	56	34	43	252	
10	対象10	婆さん	ばあさん	1年	1組	10番	77	70	85	74	98	404	
11	対象11	姫	ひめ	2年	2組	1番	60	75	74	89	56	354	
12	対象12	ドラエモン	どらえもん	2年	2組	2番	66	69	78	100	77	390	
13	対象13	のびのび太	のびのびた	2年	2組	3番	88	98	55	99	81	421	
14	対象14	スネ夫	すねお	2年	2組	4番	77	99	49	80	98	403	
15	対象15	ジャイアン	じゃいあん	2年	2組	5番	56	100	30	70	34	290	
16	対象16	静香ちゃん	しずかちゃん	2年	2組	6番	52	64	11	65	0	192	
17	対象17	サザエさん	さざえさん	2年	2組	7番	69	75	45	51	85	325	
18	対象18	マスおさん	ますおさん	2年	2組	8番	82	78	69	70	90	389	
19	対象19	フクオさん	ふくおさん	2年	2組	9番	42	41	100	90	45	318	

準備完了 設定 アクセシビリティ: 検討が必要です

次に「修正前期募集校長宛合否通知書」を作成するためにデータファイル
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsx
のデータの入力等について次のように行います。

まず、ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

を立ち上げ、シート「ファイル作成コピー用51結合」を選択します。そして Esc を押すと標準画面
となり、次の[図59]の画面のようになります。

[図59]

自動保存 (オフ) New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xlsx 多田 記一

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 **<注意> このシートには入力できません。**

ファイル作成コピー用51結合 シート保護解除

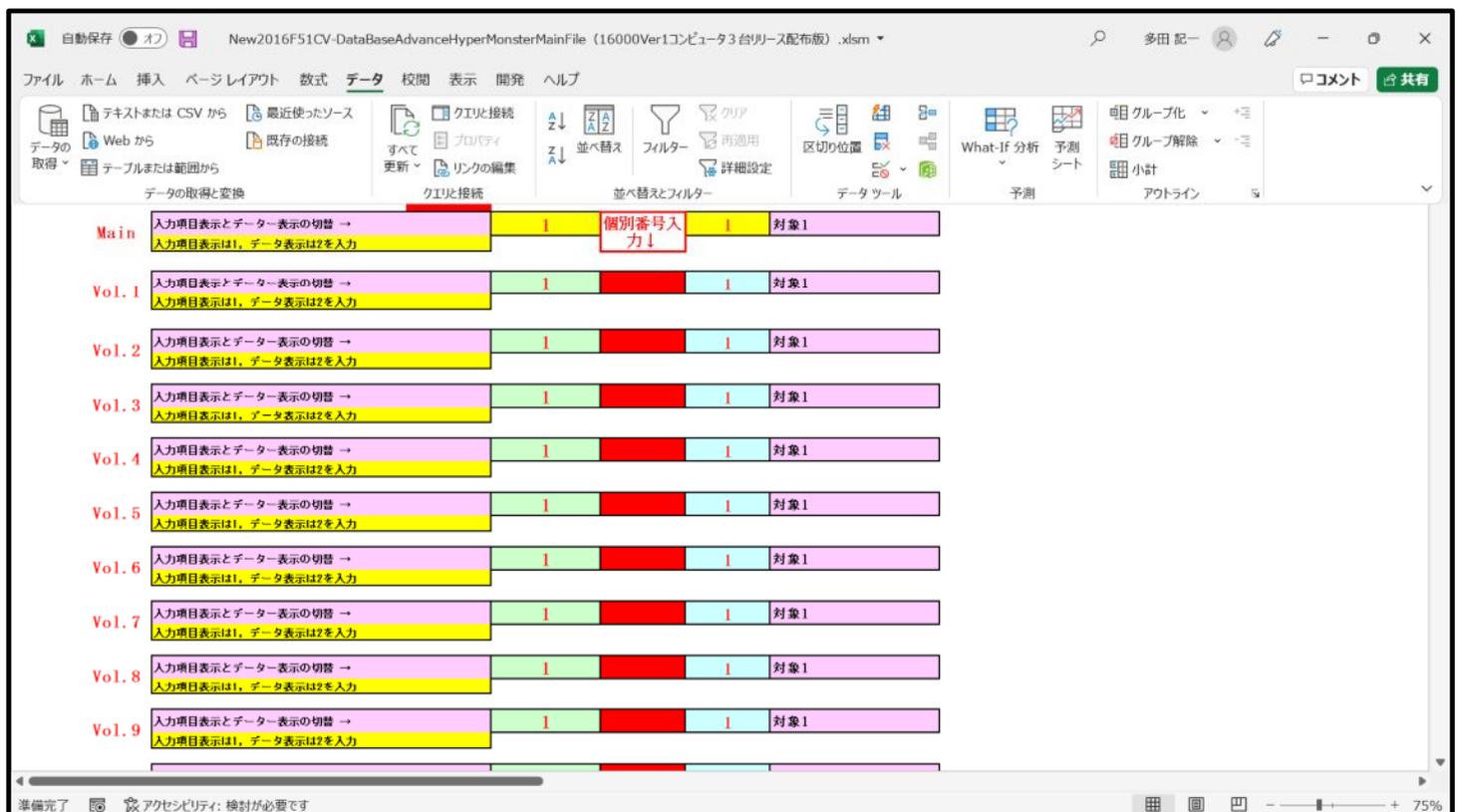
	入力項目表示とデータ表示の切替 →	入力項目表示は1, データ表示は2を入力	個別番号入力!	対象1
Main				
Vol.1				
Vol.2				
Vol.3				
Vol.4				
Vol.5				
Vol.6				
Vol.7				
Vol.8				
Vol.9				

準備完了 設定 アクセシビリティ: 検討が必要です

そして更に、上の[図 5 9]の画面のセル **シート保護解除** を選択してダブルクリックしてシートの保護

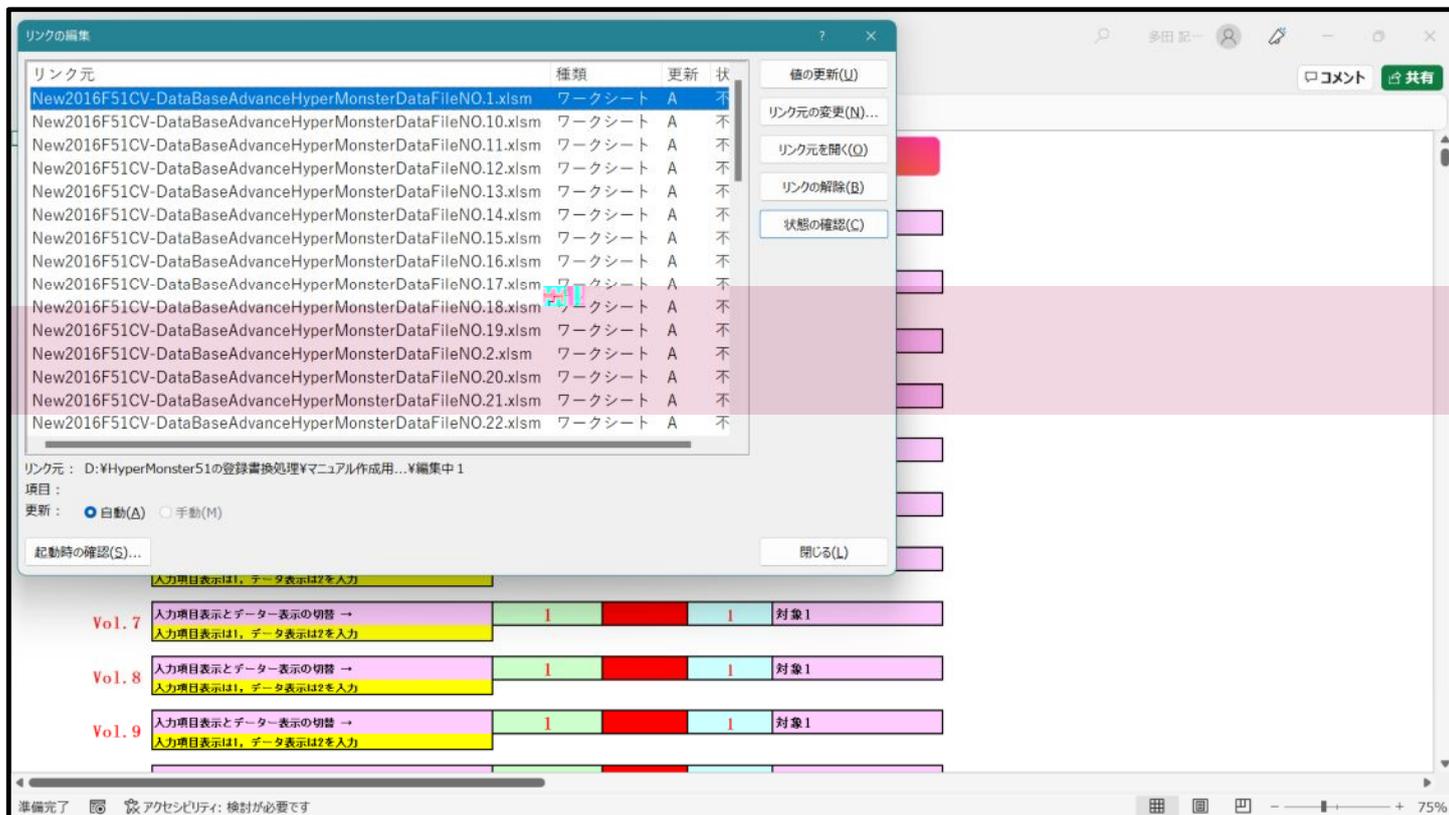
を解除し、 **データ** を選択すると、次の[図 6 0]の画面のようになります。

[図 6 0]



更に上の[図 6 0]の画面の **リンクの編集** の部分を選択すると次の[図 6 1]の画面のようになります

[図 6 1]

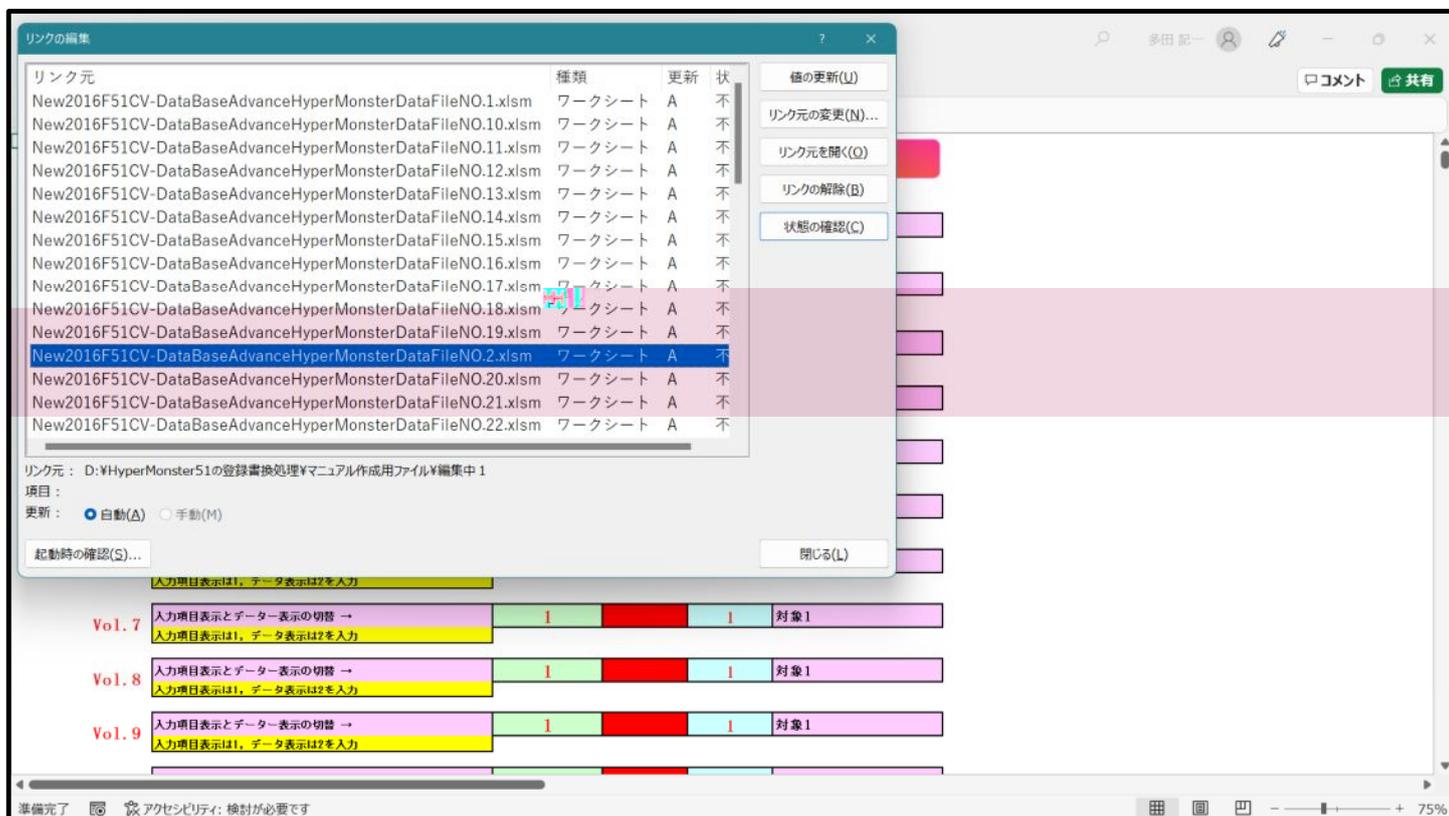


上の【図 6 1】の画面のリンク元の部分で

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm ワークシート A 不

を選択して次の【図 6 2】の画面のようにします。

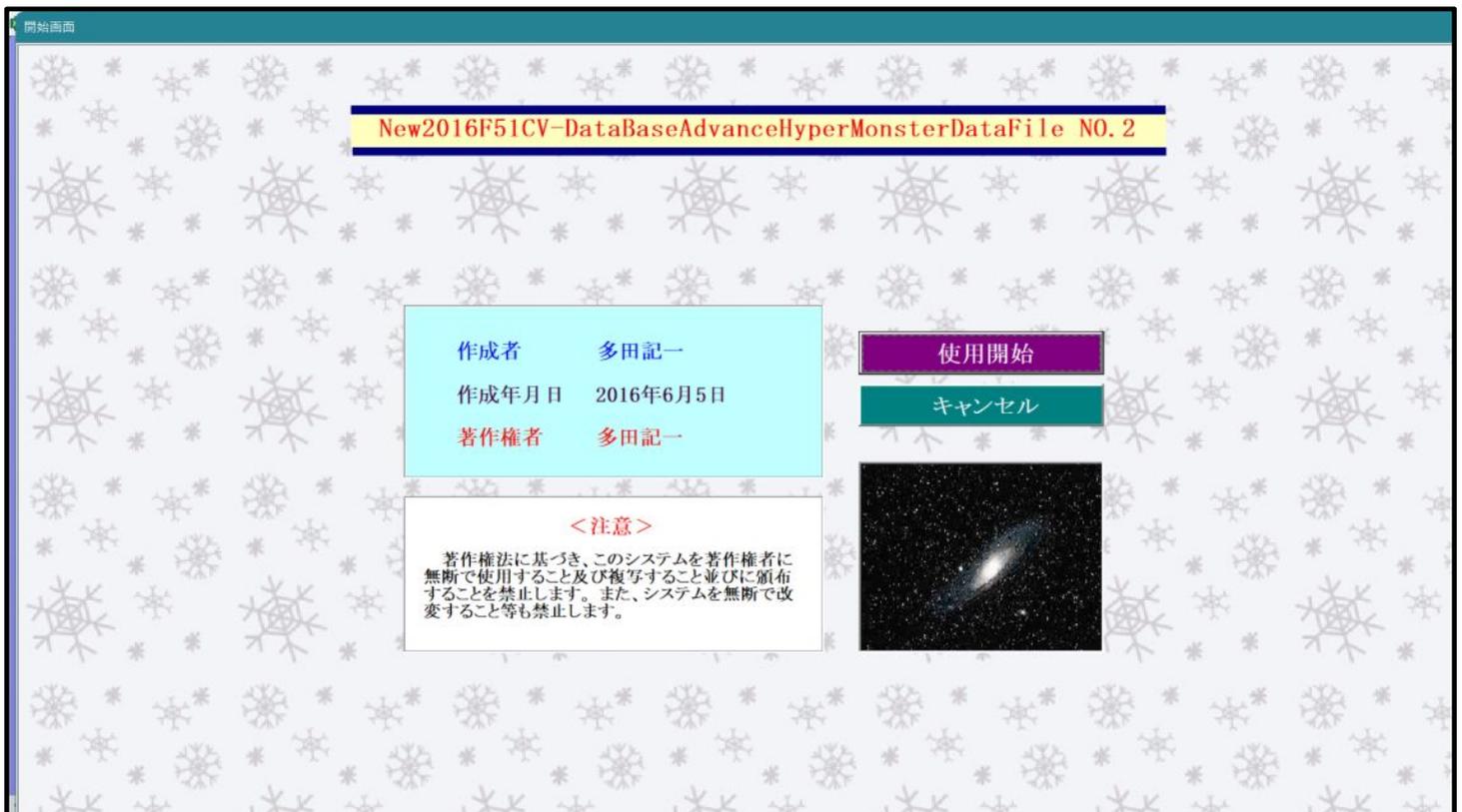
【図 6 2】



そして上の【図 6 2】の画面のボタン リンク元を開く(O) をクリックするとリンク元のファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
開かれてまいります、最初に次の【図 6 3】の画面が表示されます。

【図 6 3】



上の【図 6 3】の画面の Command ボタン **使用開始** をクリックすると次の【図 6 4】の画面が表示された後、その次の【図 6 5】の画面が表示されます。

【図 6 4】



[図 6 5]



上の[図 6 5]の画面のタブ **シート選択, 処理呼出1** を選択すると次の[図 6 6]の画面になります。

[図 6 6]

シート選択・一覧表示ファイル設定印刷			
Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 [シート選択, 処理呼出1 処理呼出2 処理呼出3 処理呼出4 処理呼出5 処理呼出6 処理呼出7 処理呼出8 入力シートAA, AB, BA,BB選択 入力シートCA, CB, DA, DB選択 印			
シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20
標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
MeinFileへ移動	セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了

シート名設定

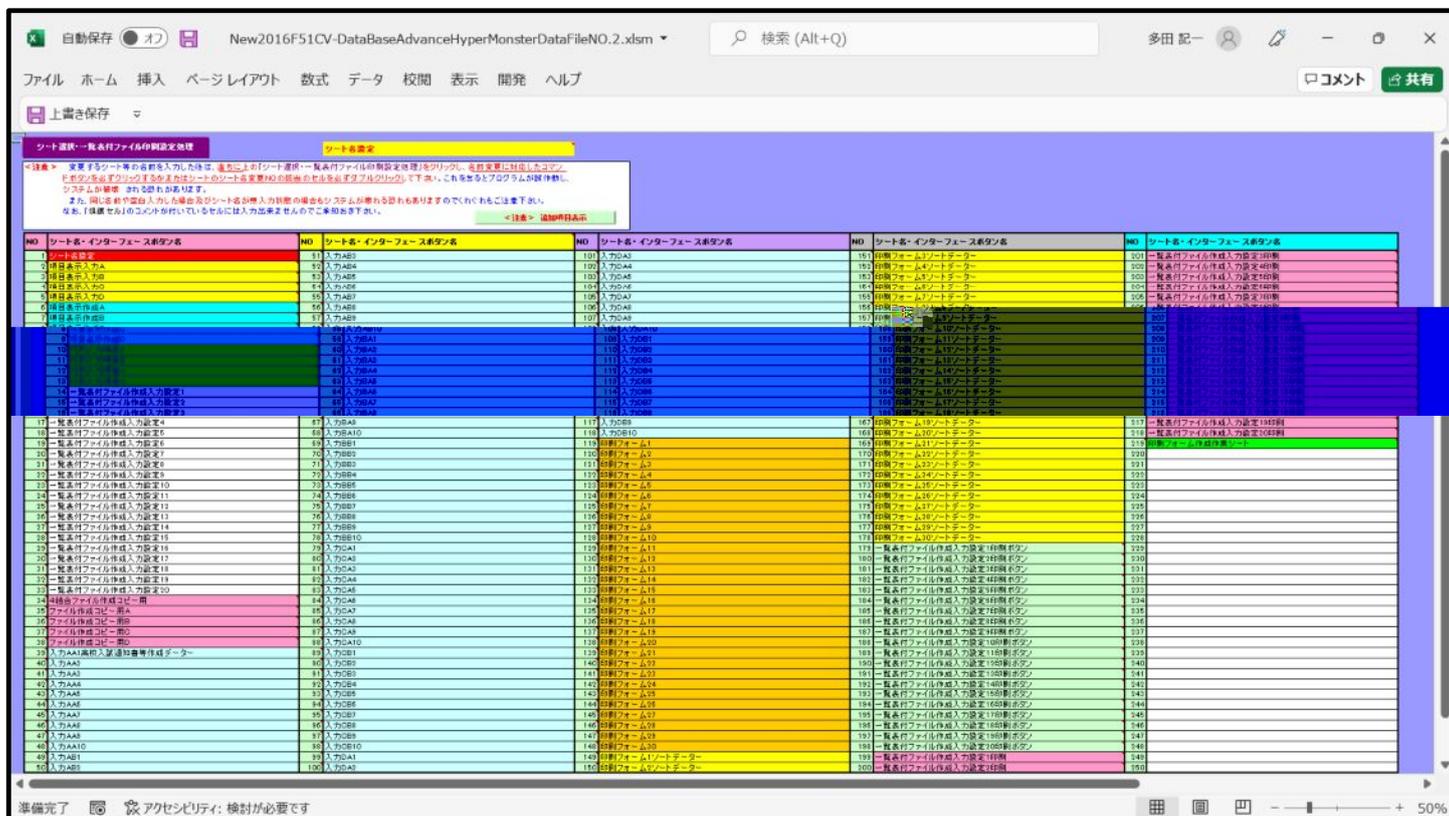
上の[図 6 6]の画面のコマンドボタン **シート名設定** をクリックすると次の[図 6 7]の画面になります。但し[図 6 7]の画面は表示倍率が50%のものです。
[図 6 7]

そして次の[図 6 8]の画面のように

39 入力AA1 (高校入試通知書等作成データ)

の部分の右側のセルの値を変更し、セル **39** をダブルクリックすると入力シート「入力 AA1」のシート名が「入力 AA1（高校入試通知書等作成データ）」に変更され入力シート「入力 AA1（高校入試通知書等作成データ）」が選択され、下の[図 6 9]の画面のようになります。

[図 6 8]



[図 6 9]



引き続き上の[図69]の画面の**シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理**をクリックすると、次の[図70]の画面のようになります。

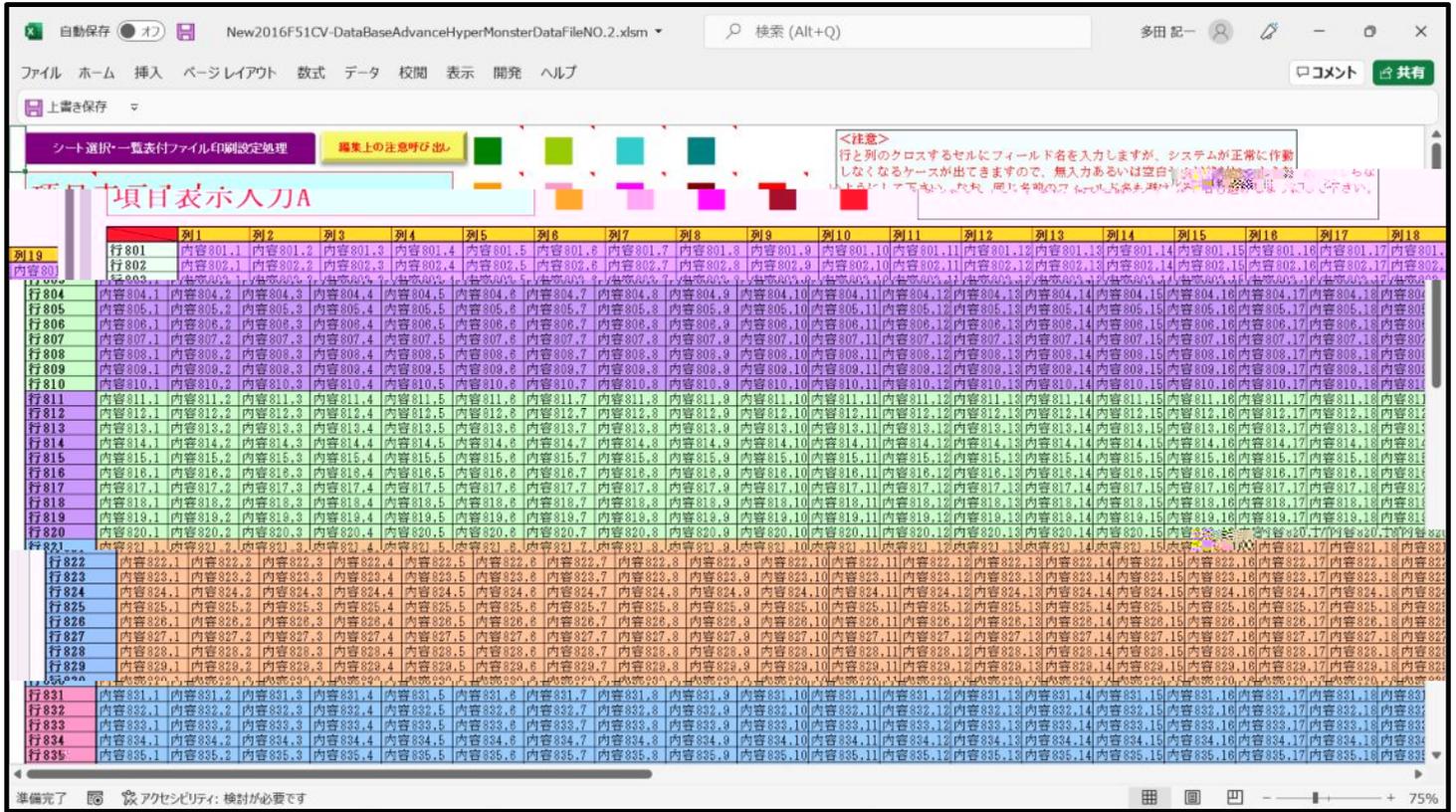
[図70]



項目表示入力A

上の【図70】の画面のボタン「項目表示入力A」をクリックすると次の【図71】の画面のようになりますが、入力シート「入力AA1（高校入試通知書等作成データ）」の表の項目表示を設定します。

【図71】

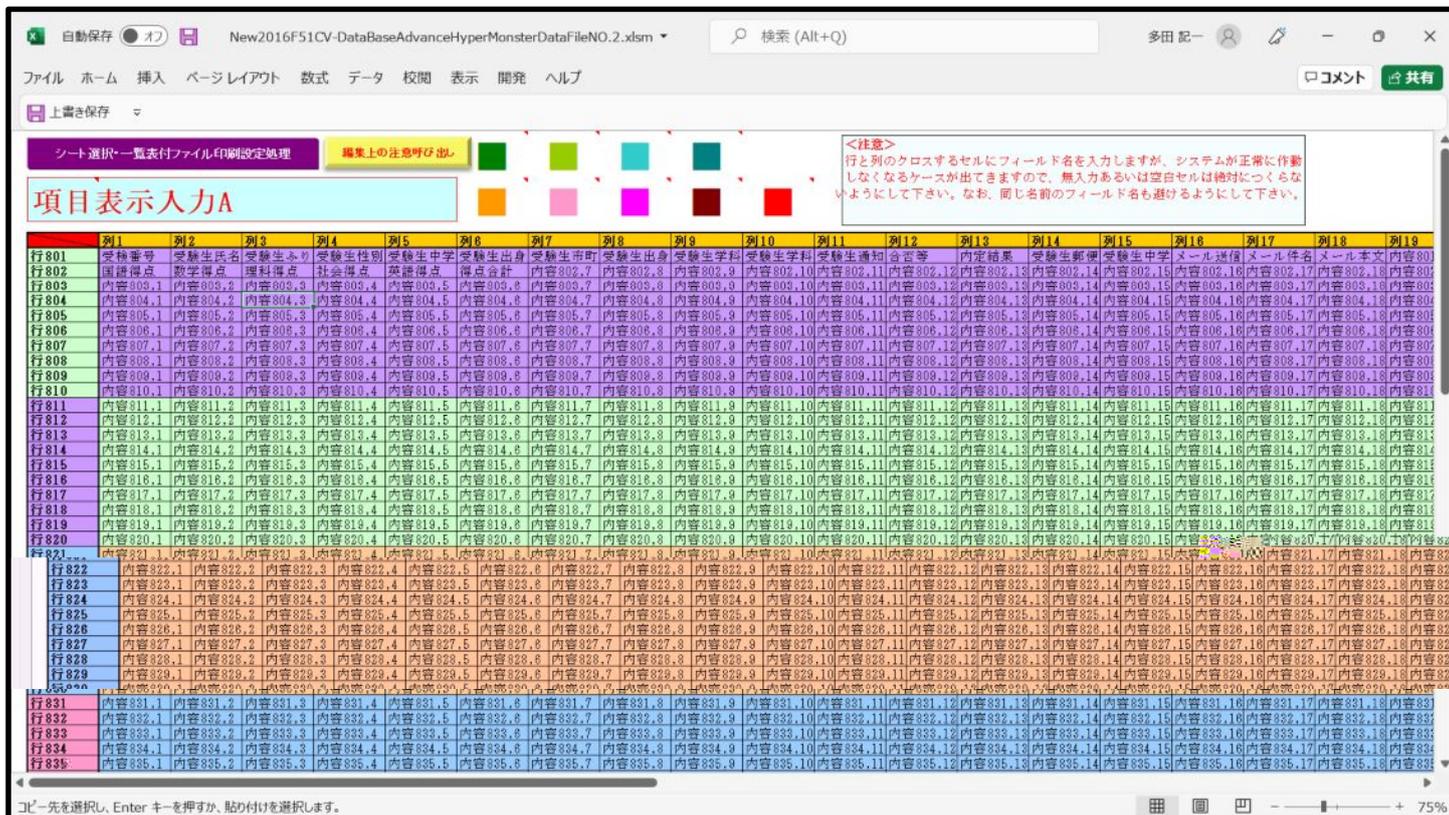


上の【図71】の画面の

列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14	列15	列16	列17	列18	列19	列20	
行401	内容401.1	内容401.2	内容401.3	内容401.4	内容401.5	内容401.6	内容401.7	内容401.8	内容401.9	内容401.10	内容401.11	内容401.12	内容401.13	内容401.14	内容401.15	内容401.16	内容401.17	内容401.18	内容401.19	内容401.20
行402	内容402.1	内容402.2	内容402.3	内容402.4	内容402.5	内容402.6	内容402.7	内容402.8	内容402.9	内容402.10	内容402.11	内容402.12	内容402.13	内容402.14	内容402.15	内容402.16	内容402.17	内容402.18	内容402.19	内容402.20

の部分に次の【図72】の画面のように入力します。

【図72】



そして、上の[図7 2]の画面のコマンドボタン
次の[図7 3]の画面になります。

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

をクリックすると

[図7 3]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷			
Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 シート選択, 処理呼出1 処理呼出2 処理呼出3 処理呼出4 処理呼出5 処理呼出6 処理呼出7 処理呼出8 入力シートAA, AB, BA,BB選択 入力シートCA, CB, DA, DB選択 印			
シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
MeinFileへ移動	セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了

上の[図7 3]の画面のタブ **入力シートAA, AB, BA,BB選択** を選択すると次の[図7 4]の画面になりますが、
[図7 4]の画面のコマンドボタン

入力AA1 (高校入試通知書等作成データ)

をクリックすると入力シート「入力 AA 1 (高校入試通知書等作成データ)」が選択され下の[図7 5]の画面のようになります。

[図7 4]



[図 7 5]



上の[図 7 5]の画面でシートの保護を解除し、項目表示を縦型に編集し直したのが次の[図 7 6]の画面です。

[図 7 6]

自動保存 (オフ) | New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm | 検索 (ALT+Q) | 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 **入力可能行数 50行**

入力AA1高校入試通知書等作成データ

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの障害につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び貼り取り・貼り付け操作
の第1行～1行、表の最後の削除禁止行及びA1列、B1列、C1列での入力または消去操作
②データの一時的な処理
など、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出
<注意>追加内容呼び出し

ID	対象	受検番号	受験生氏名	が受験生ふり	受験生性別	受験生中学	中受験生出身	村受験生市町	名中受験生長出身	等受1受験生学科	等受2受験生学科	区書受験生成命通知
		列1 行801	列2 行801	列3 行801	列4 行801	列5 行801	列6 行801	列7 行801	列8 行801	列9 行801	列10 行801	列11 行801
1	対象1											
2	対象2											
3	対象3											
4	対象4											
5	対象5											
6	対象6											
7	対象7											
8	対象8											
9	対象9											
10	対象10											
11	対象11											
12	対象12											
13	対象13											
14	対象14											
15	対象15											
16	対象16											
17	対象17											
18	対象18											
19	対象19											

準備完了 | アクセシビリティ: 検討が必要です | 95%

上の【図76】の画面の表にデータを入力していきたいのですが、入力する前に、表の入力可能行数が50行と少ないので、表の入力可能行数が500行に増加したいと思います。これからその手順を説明いたします。

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の【図76】の画面の**シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理**をクリックすると次の【図77】の画面になります。

[図 7 7]

シート選択・一覧表示付ファイル設定印刷

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 | シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印

入力AA1 (高校入試通知書等作成データ)	入力BA1
入力AA2	入力BA2
入力AA3	入力BA3
入力AA4	入力BA4
入力AA5	入力BA5
入力AA6	入力BA6
入力AA7	入力BA7
入力AA8	入力BA8
入力AA9	入力BA9
入力AA10	入力BA10
入力AB1	入力BB1
入力AB2	入力BB2
入力AB3	入力BB3
入力AB4	入力BB4
入力AB5	入力BB5
入力AB6	入力BB6
入力AB7	入力BB7
入力AB8	入力BB8
入力AB9	入力BB9
入力AB10	入力BB10

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示
 MeinFileへ移動 セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

上の[図 7 7]の画面のタブ **処理呼出6** を選択すると次の[図 7 8]の画面になります。

[図 7 8]

シート選択・一覧表示付ファイル設定印刷

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 | シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | **処理呼出6** | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印

選択入力シート行追加削除処理呼出	選択編集シート行挿入罫線区切りDATA入力準備処理呼出
入力シート行調整消去処理呼出	選択編集シート行挿入罫線区切り無しDATA入力準備処理呼出
選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出	選択編集シート行削除罫線区切りDATA入力準備処理呼出
入力シート行調整消去等処理罫線区切り無し処理呼出	選択編集シート行削除DATA入力準備罫線無し準備処理呼出
入力罫線5本区切り作成処理呼出	選択編集シート罫線5本区切り作成処理呼出
入力罫線5本区切り無し作成処理呼出	選択編集シート罫線5本区切り無し作成処理呼出
選択入力シート罫線5本区切り作成処理呼出	選択編集シートIDナンバリング罫線5本区切り処理呼出
選択入力シート罫線区切り無し作成処理呼出	選択編集シートIDナンバリング罫線5本区切り無し処理呼出

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示
 MeinFileへ移動 セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

上の[図 7 8]の画面のコマンドボタン

選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると次の[図 7 9]の画面になります。

[図 7 9]



上のチェックボックス

入力AA1 (高校入試通知書等作成データー)

にチェックを入れて

入力AA1 (高校入試通知書等作成データー)

1 行の指定

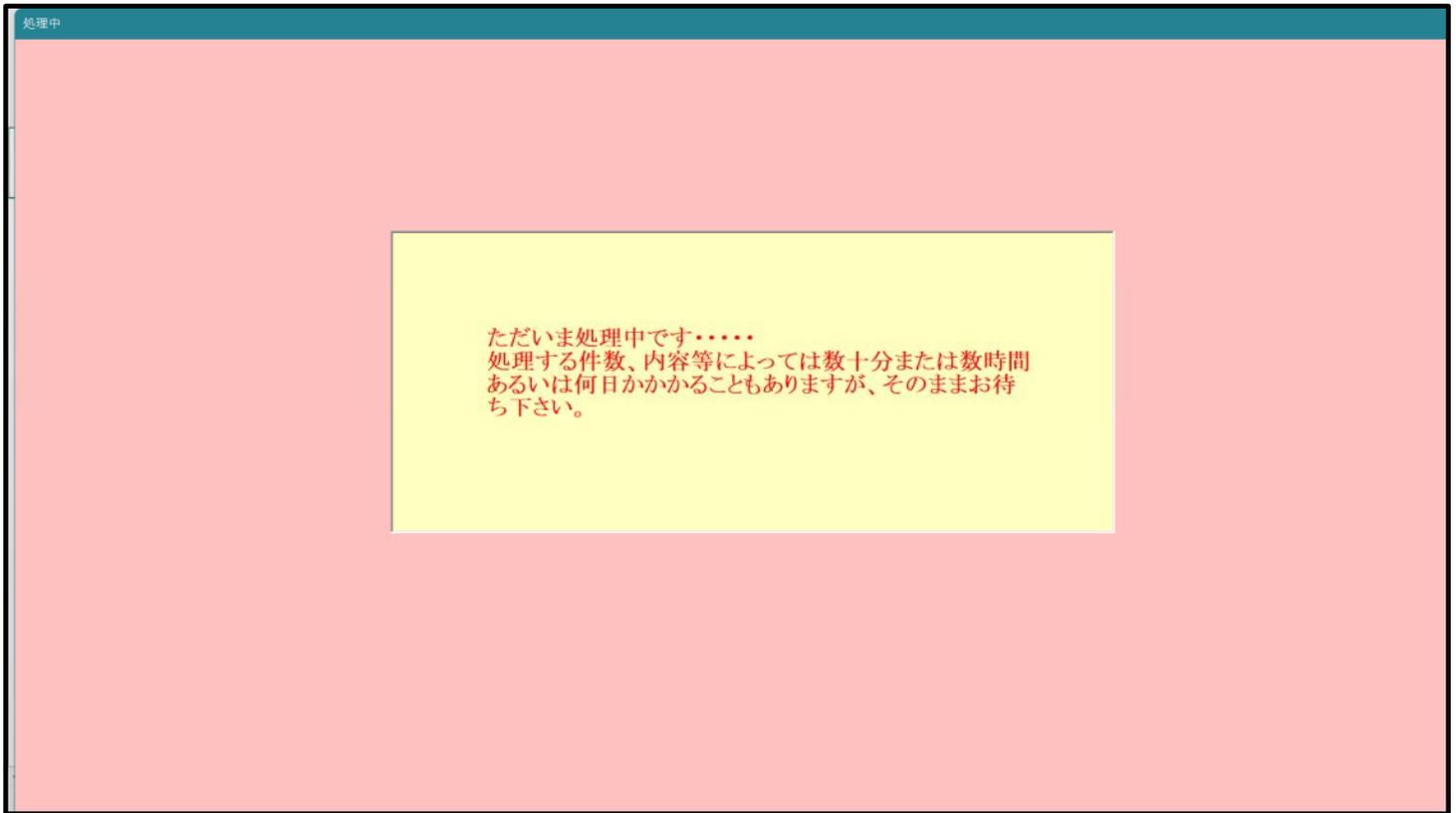
1 行の指定

として、そして に と入力し、コマンドボタン

行追加削除処理開始

をクリックすると表の入力可能行数の追加処理が開始されます。表の入力可能行数の追加処理が開始されると次の[図 8 0]の画面が表示され、追加処理が終了するとその下の[図 8 1]の画面が表示されます。

[図 8 0]

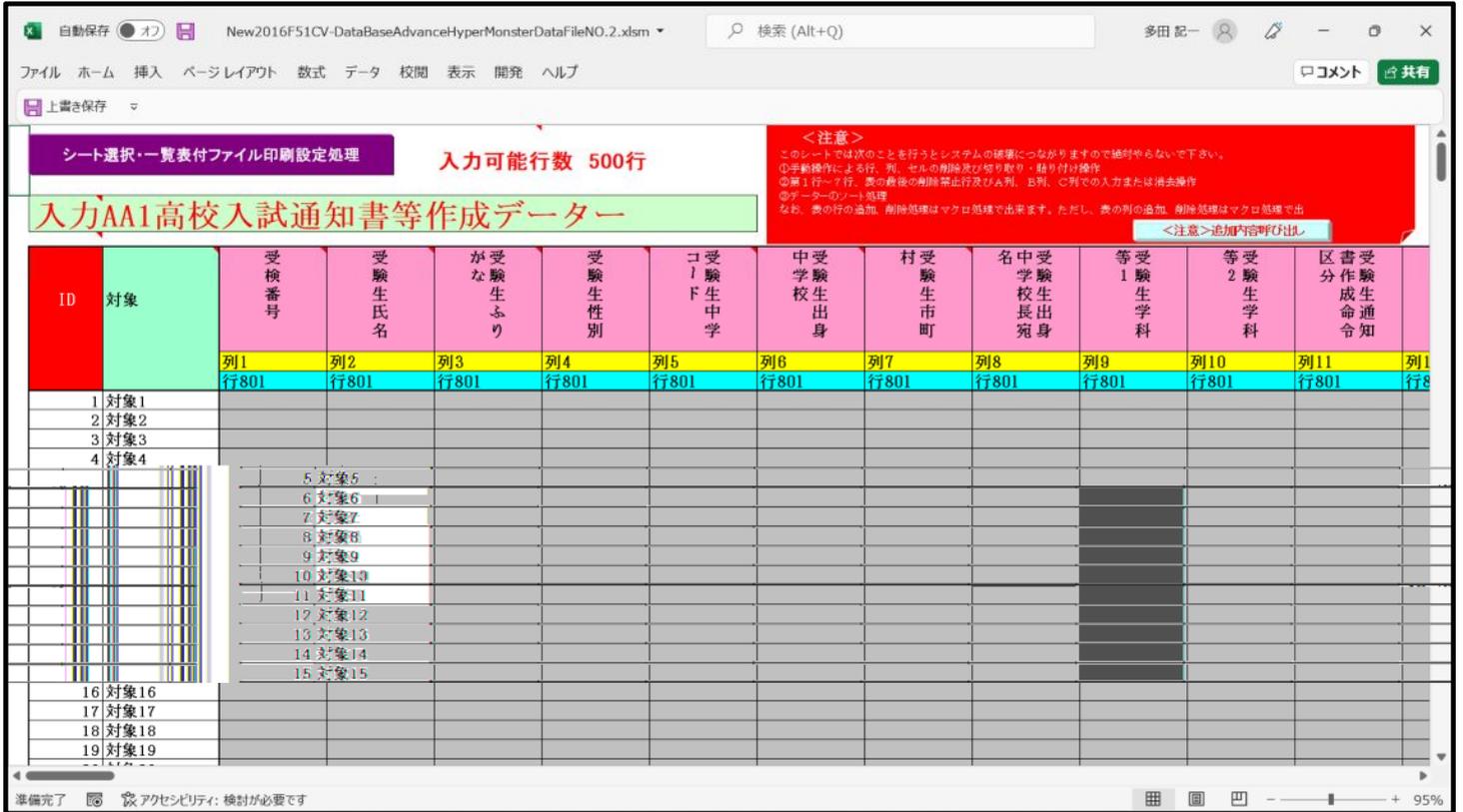


[図 8 1]



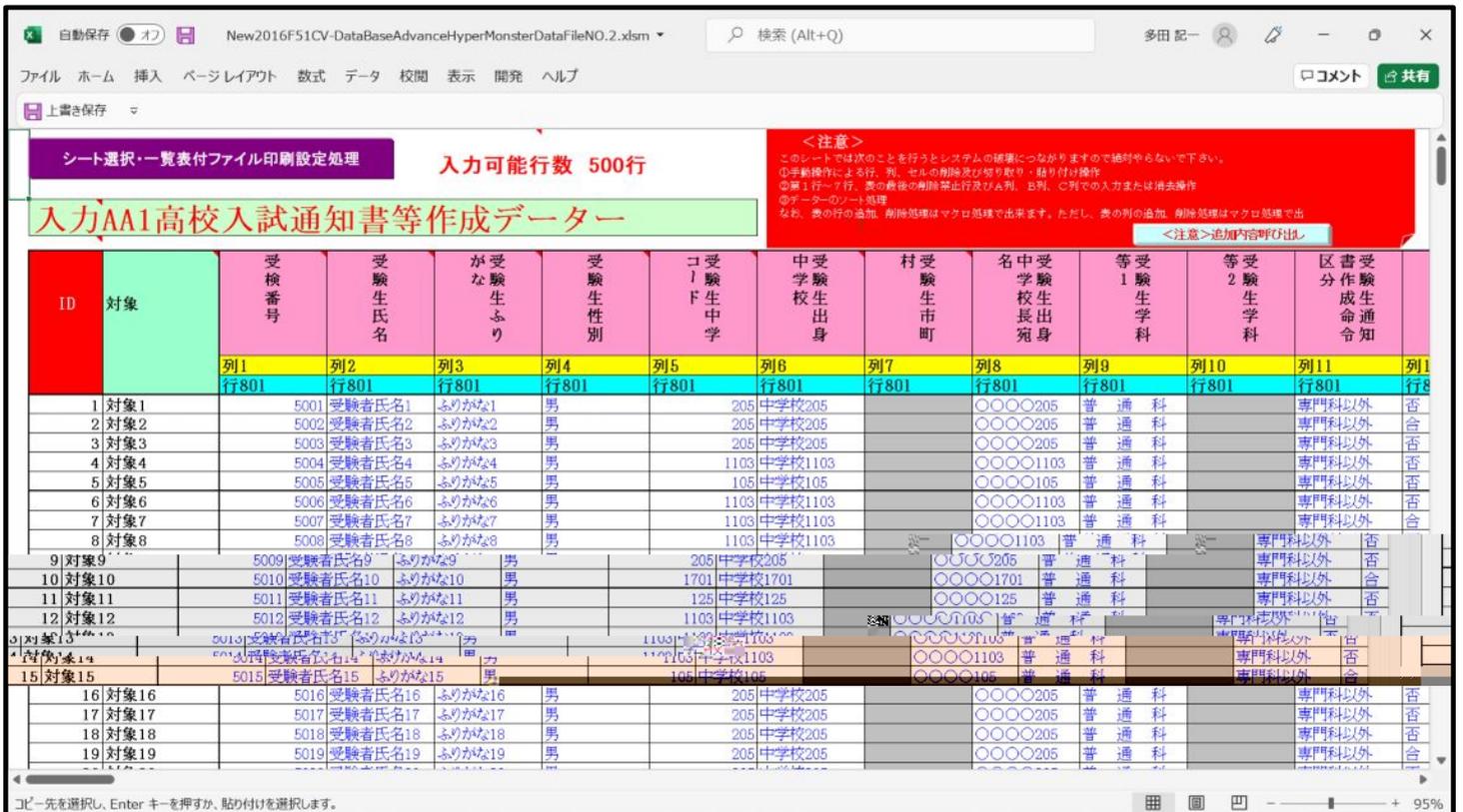
そして、上の[図 8 1]の画面の**キャンセル**をクリックすると、次の上の[図 8 2]の画面のようになり、入力シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の表の入力可能行数が500行になっていることが確認できます。

【図 8 2】



これで、入力シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データー）」の表の入力可能行数を500行に追加する手順についての説明は終了します。
 そして、【図 8 2】の画面の表にデーターを入力したのが次の【図 8 3】の画面です。ただし、この入力データーはテスト用のものです。

【図 8 3】

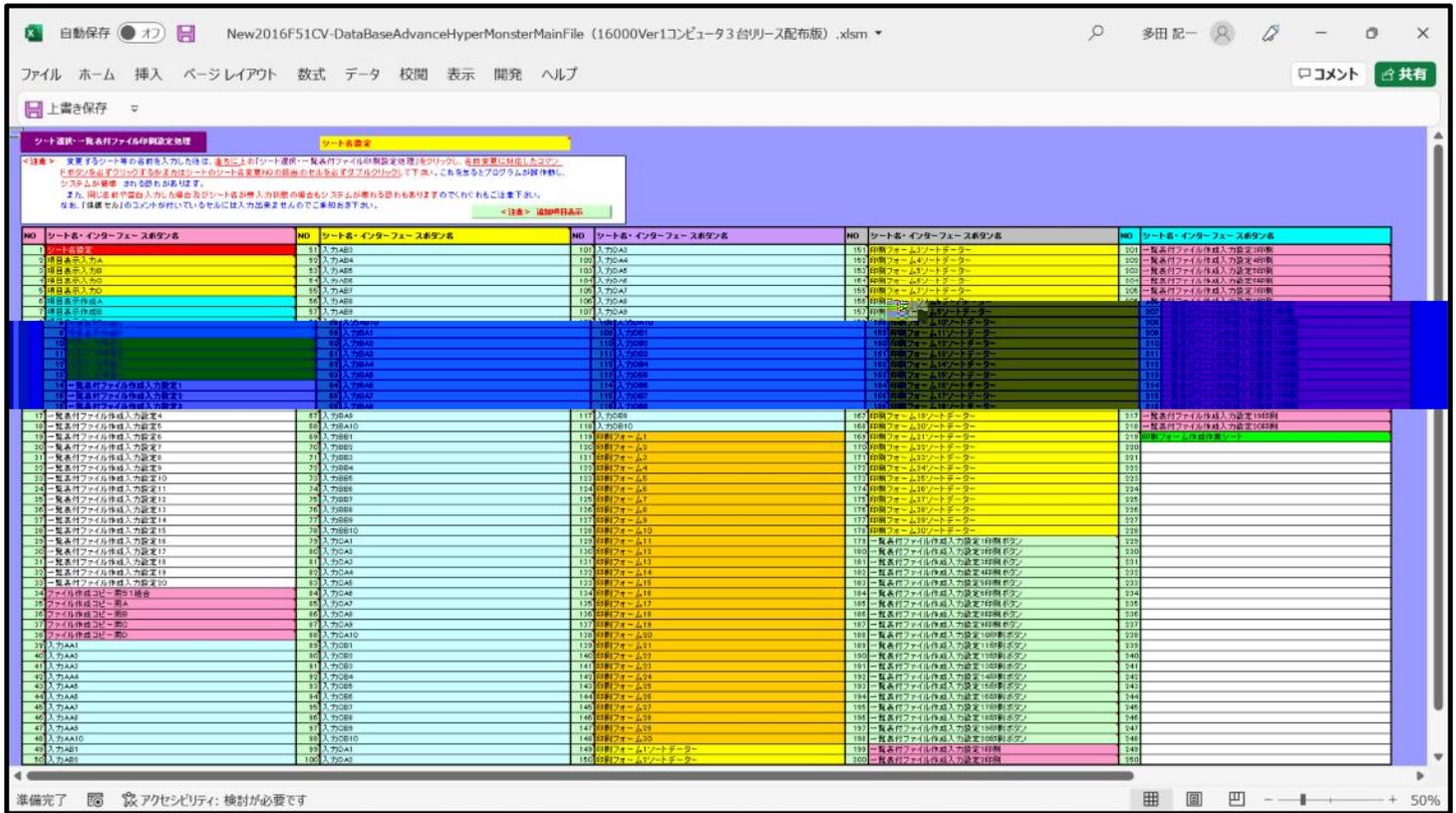


(2) ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm のシートの設定:

ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

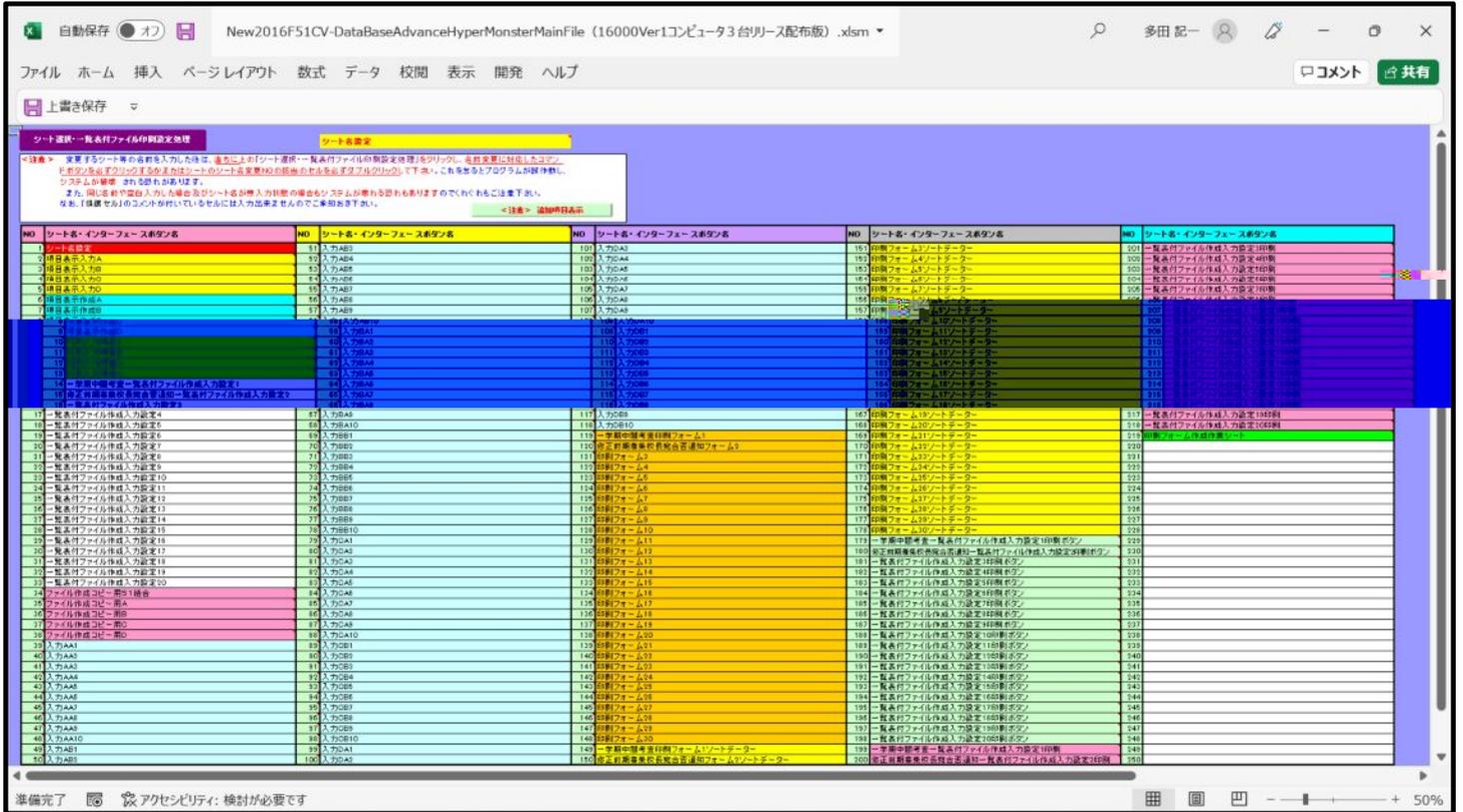
を立ち上げシート「シート名設定」を選択すると次の[図 8 4]の画面のようになります。但し画面の表示倍率は 50%です。

[図 8 4]



上の[図 8 4]の画面でセルの値を次の[図 8 5]の画面のように変更します。

【図 8 5】



つまり

14	一覧表付ファイル作成入力設定1
15	一覧表付ファイル作成入力設定2

の部分を

14	一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1
15	修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定2

に、

119	印刷フォーム1
120	印刷フォーム2

の部分を

119	一学期中間考査印刷フォーム1
120	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

に、

149	印刷フォーム1ソートデータ
150	印刷フォーム2ソートデータ

の部分を

149	一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ
150	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ

に、それぞれ変更します。そして、右側のセルのように値を変更した後、左側の数値のセルの部分をダブルクリックするとシート名が変更されて変更されたシート選択がされます。

たとえば、

14	一覧表付ファイル作成入力設定1
----	-----------------

の右側のセルの値を

14 一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1

と変更し、左側のセル **14** をダブルクリックするとシート

「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」が選択されて次の[図86]の画面のようになります。他のケースについても同様です。シート名を変更した全ての部分について、同様の操作を行ってください。

[図86]

1. 入力元の設定	
シート名	内容
デ	先頭セル
テ	終止セル
異	行数
デ	For
	Next
	の
	増
	分

2. 入力先の設定	
シート名	内容
入	入力先
通	区分別
通	区分別
区	区分別
区	区分別

3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定	
印刷処理かファイルのメール送信の設定	内容
印刷処理かファイルのメール送信の設定	印刷処理かファイルのメール送信の設定

(3) ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版)のシート「ファイル作成コピー用51結合」の印刷フォームシートへの複写について：

この複写処理をおこなう前に、以後の処理を比較的やりやすくするために複写先のシート等の背景色を設定したいと思います。但しこの背景色の設定は必ずやる必要はありません。それでは背景色の設定の仕方について説明いたします。

各シートに配置されているコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定処理」が表示され、次の[図87]の画面が表示されます。但し[図87]の画面はタブ **シート選択, 処理呼出し** が選択されている状態です。

[図 8 7]



上の[図 8 7]の画面のタブ **処理呼出5** を選択すると次の[図 8 8]の画面になります。

[図 8 8]



上の[図 8 8]の画面のコマンドボタン

選択編集シート編集領域色塗り替え処理呼出

をクリックすると次の[図 8 9]の画面になります。

[図 8 9]

選択編集シート編集領域色塗り替え処理

Page1(印刷フォームシートデータ) | Page2(印刷フォーム) | Page3(追加シート1~30) | Page4(追加シート31~60) | Page5(追加シート61~64)

1 色の選択
色の番号の入力

3 処理

全シート選択	全チェックキャンセル	色塗り替え処理開始
Page1シート全選択	Page1チェックキャンセル	

2 編集領域色塗り替え処理対象シート選択

<input type="checkbox"/> 一学期中間考査印刷フォーム1シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム16シートデータ
<input type="checkbox"/> 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム17シートデータ
<input type="checkbox"/> 印刷フォーム3シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム18シートデータ
<input type="checkbox"/> 印刷フォーム4シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム19シートデータ
<input type="checkbox"/> 印刷フォーム5シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム20シートデータ
<input type="checkbox"/> 印刷フォーム6シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム21シートデータ
<input type="checkbox"/> 印刷フォーム7シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム22シートデータ
<input type="checkbox"/> 印刷フォーム8シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム23シートデータ
<input type="checkbox"/> 印刷フォーム9シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム24シートデータ
<input type="checkbox"/> 印刷フォーム10シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム25シートデータ
<input type="checkbox"/> 印刷フォーム11シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム26シートデータ
<input type="checkbox"/> 印刷フォーム12シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム27シートデータ
<input type="checkbox"/> 印刷フォーム13シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム28シートデータ
<input type="checkbox"/> 印刷フォーム14シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム29シートデータ
<input type="checkbox"/> 印刷フォーム15シートデータ	<input type="checkbox"/> 印刷フォーム30シートデータ

色の番号調査・入力へ キャンセル シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ

そして、上の[図 8 9]の画面の Command ボタン

色の番号調査・入力へ

をクリックすると次の[図 9 0]の画面になります。

[図 9 0]

左側のコマンドボタンの番号は、右の対応する位置の色のカラーコードを表しています。対応するコマンドボタンをクリックすると、この画面の前の画面「選択編集シート編集領域色塗り替え処理」の「色の番号の入力」欄に塗りたい色に対応するカラーコードが入力されます。

<注意> 右の「色なし」は「0」を指定

| 番号 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 53 | 52 | 51 | 49 | 11 | 55 | 56 |
| 9 | 46 | 12 | 10 | 14 | 5 | 47 | 16 |
| 3 | 45 | 43 | 50 | 42 | 41 | 13 | 48 |
| 7 | 44 | 6 | 4 | 8 | 33 | 54 | 15 |
| 38 | 40 | 36 | 35 | 34 | 37 | 39 | 2 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 |

キャンセル 戻る



上の[図90]の画面の右側の色のサンプル



のうち  の色を背景色として設定したいので上の[図90]の画面の左側の

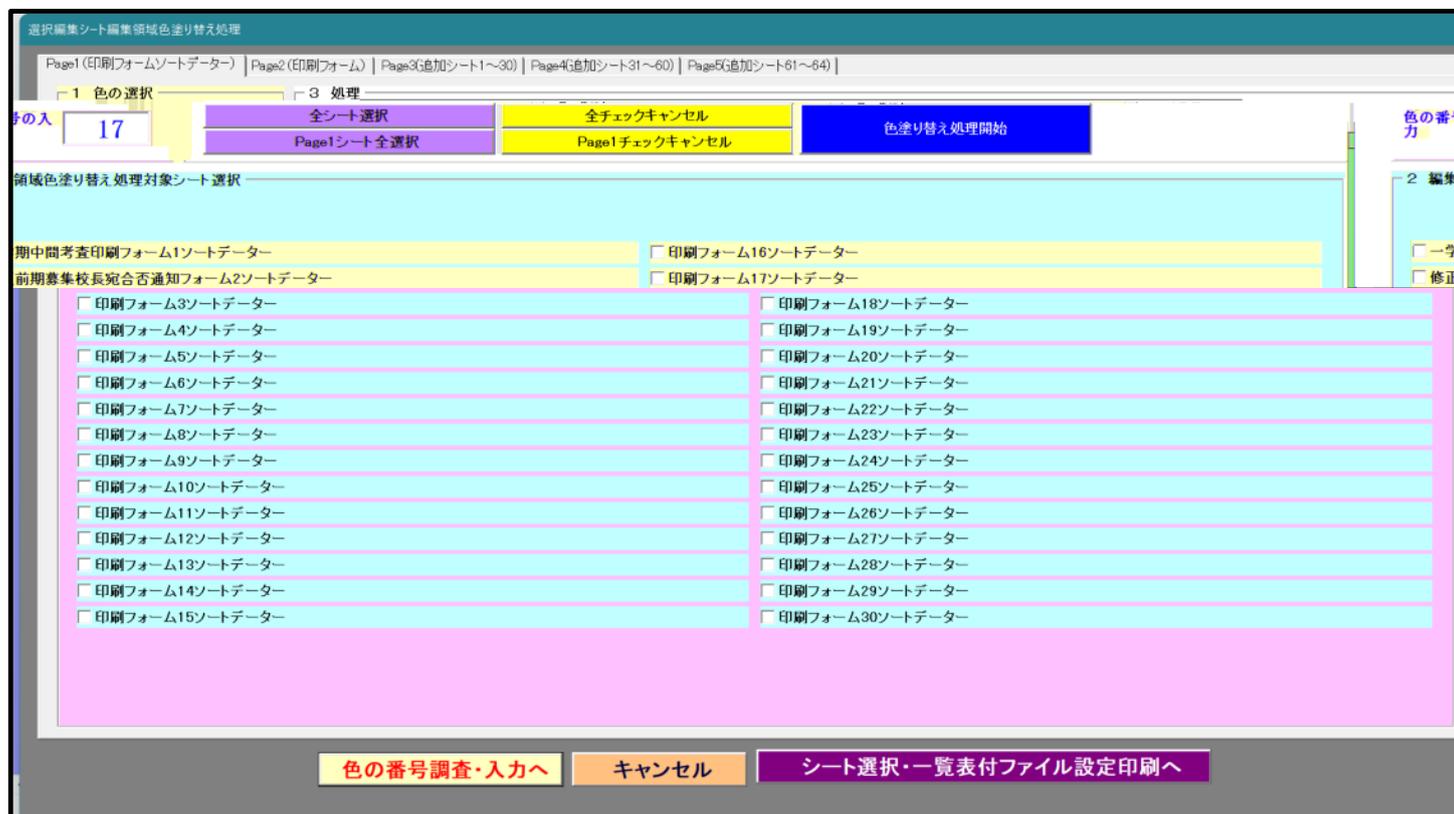
<注意> 右の「色なし」は「0」を指定							番号 0
番号 1	番号 53	番号 52	番号 51	番号 49	番号 11	番号 55	番号 56
番号 9	番号 46	番号 12	番号 10	番号 14	番号 5	番号 47	番号 16
番号 3	番号 45	番号 43	番号 50	番号 42	番号 41	番号 13	番号 48
番号 7	番号 44	番号 6	番号 4	番号 8	番号 33	番号 54	番号 15
番号 38	番号 40	番号 36	番号 35	番号 34	番号 37	番号 39	番号 2
番号 17	番号 18	番号 19	番号 20	番号 21	番号 22	番号 23	番号 24
番号 25	番号 26	番号 27	番号 28	番号 29	番号 30	番号 31	番号 32

中から  と相対的に同じ位置にある

番号 17

 の部分をクリックすると次の[図91]の画面が表示されます。

[図91]



上の[図91]の画面で

- 一学期中間考査印刷フォーム1ソートデーター
- 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデーター

の部分にチェックを入れて

- 一学期中間考査印刷フォーム1ソートデーター
- 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデーター

とし、また上の[図9 1]の画面でタブ Page2 (印刷フォーム) を選択すると次の[図9 2]の画面になりますが、[図9 2]の画面の

- 一学期中間考査印刷フォーム1
- 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

の部分にもチェックを入れて

- 一学期中間考査印刷フォーム1
- 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

とします。

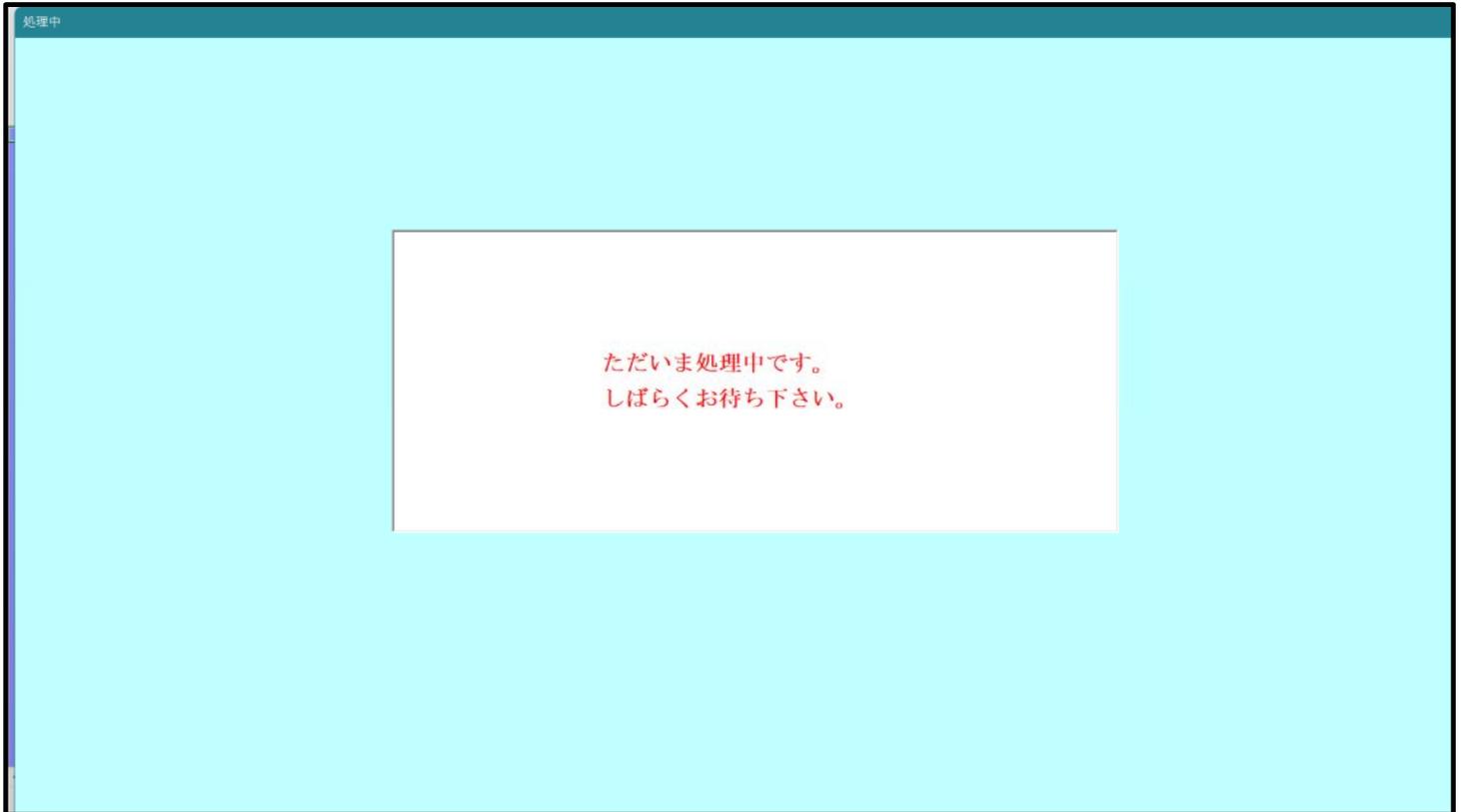
[図9 2]



色塗り替え処理開始

そしたら、[図9 2]の画面の Command ボタン をクリックすると
チェックを入れた4個のシートの背景色の設定が開始されます。途中下の[図9 3]の画面が表示され、
[図9 4]の画面が表示されたら処理は完了となります。

[図9 3]

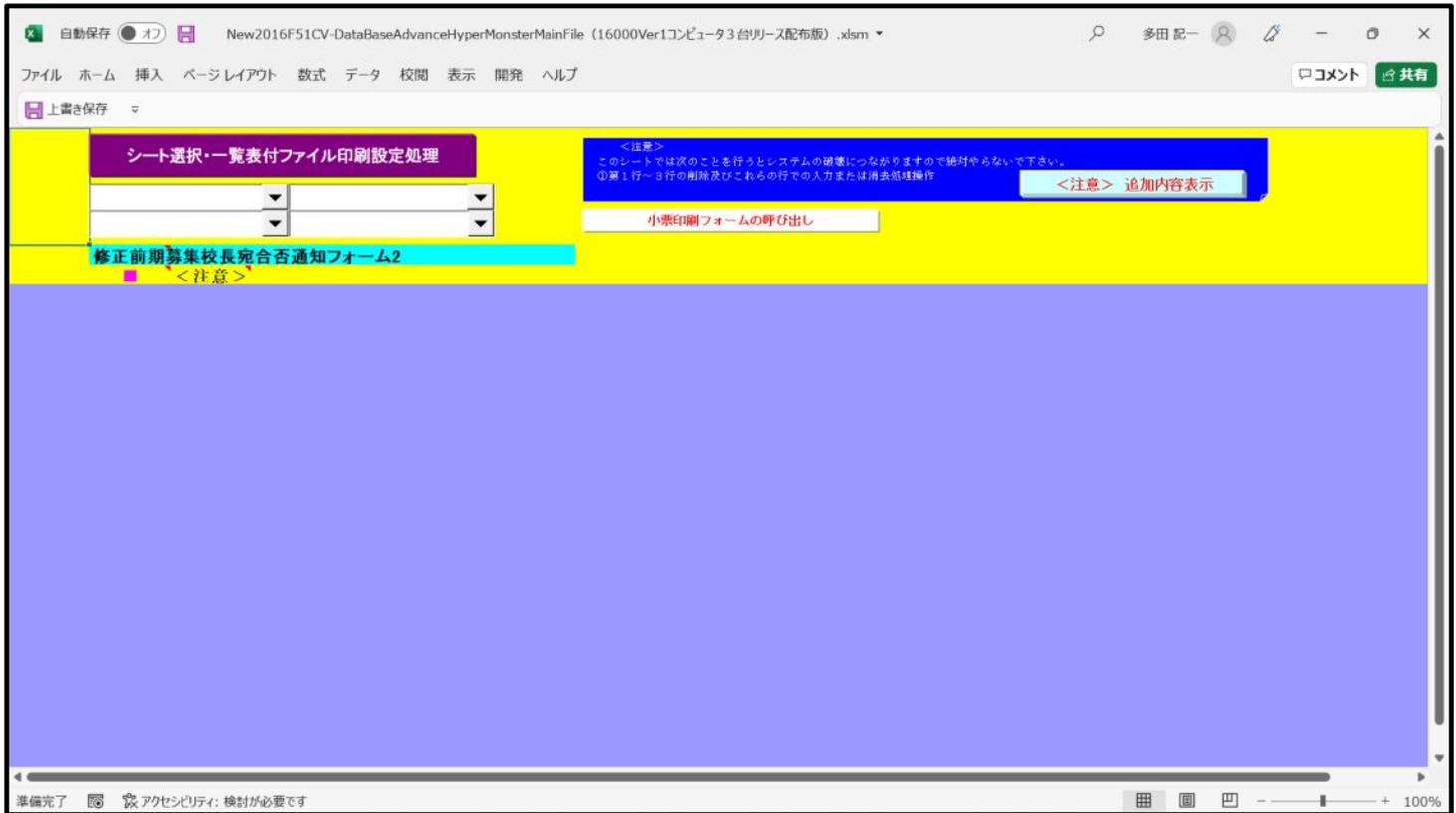


[図9 4]



因みに、上の[図94]の画面のコマンドボタン **キャンセル** をクリックすると、シート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム2 ソートデータ」が表示され、次の[図95]の画面のようにになっていることが確認できます。

[図95]



これでシートの背景色の設定の説明は終了いたします。

それでは、これからファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版)

のシート「ファイル作成コピー用51結合」の印刷フォームシートへの複写の仕方について説明いたします。

各シートに配置してあるコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択。一覧表付ファイル印刷設定処理」が表示され、次の[図96]の画面が表示されます。但し[図96]の画面はタブ **DataFile開閉等** が選択されている状態のもので、

[図96]の画面のタブ **処理呼出2** を選択すると [図97]の画面になります。

[図96]



[図 9 7]

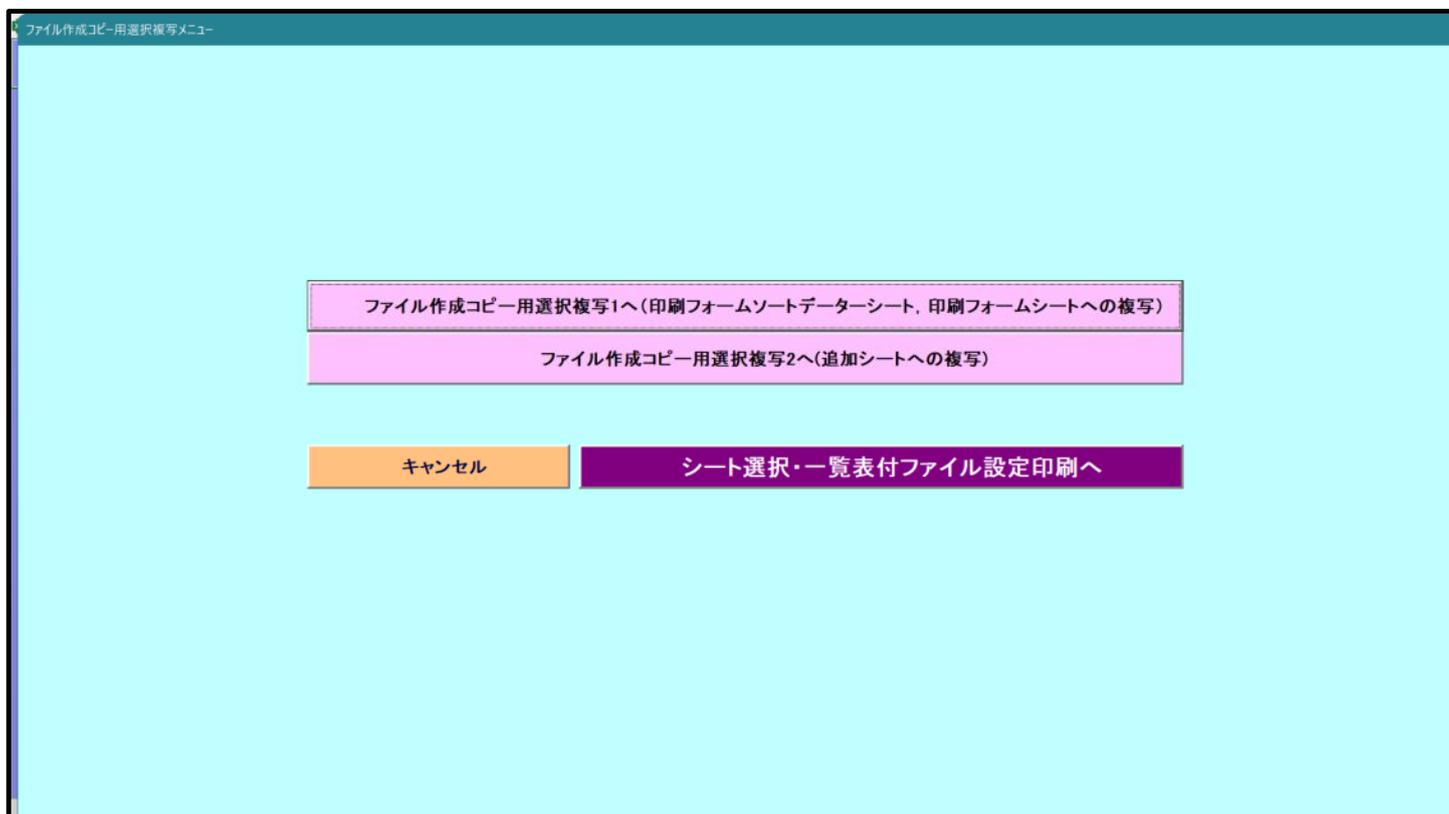


上の[図97]の画面の Command ボタン



をクリックすると次の[図98]の画面になります。

[9 8]

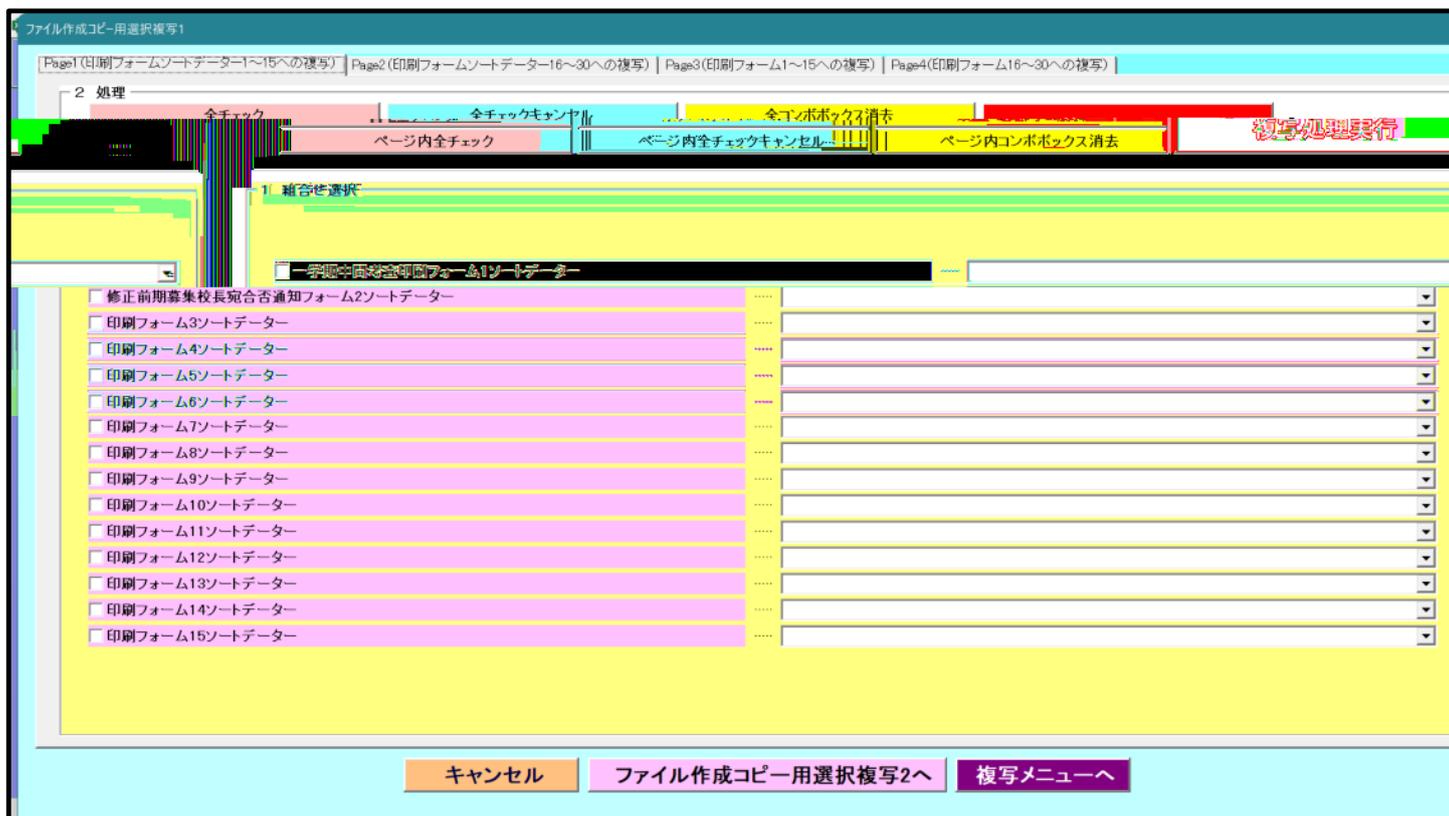


上の[図98]画面の Command ボタン

ファイル作成コピー用選択複写1へ(印刷フォームソートデータシート, 印刷フォームシートへの複写)

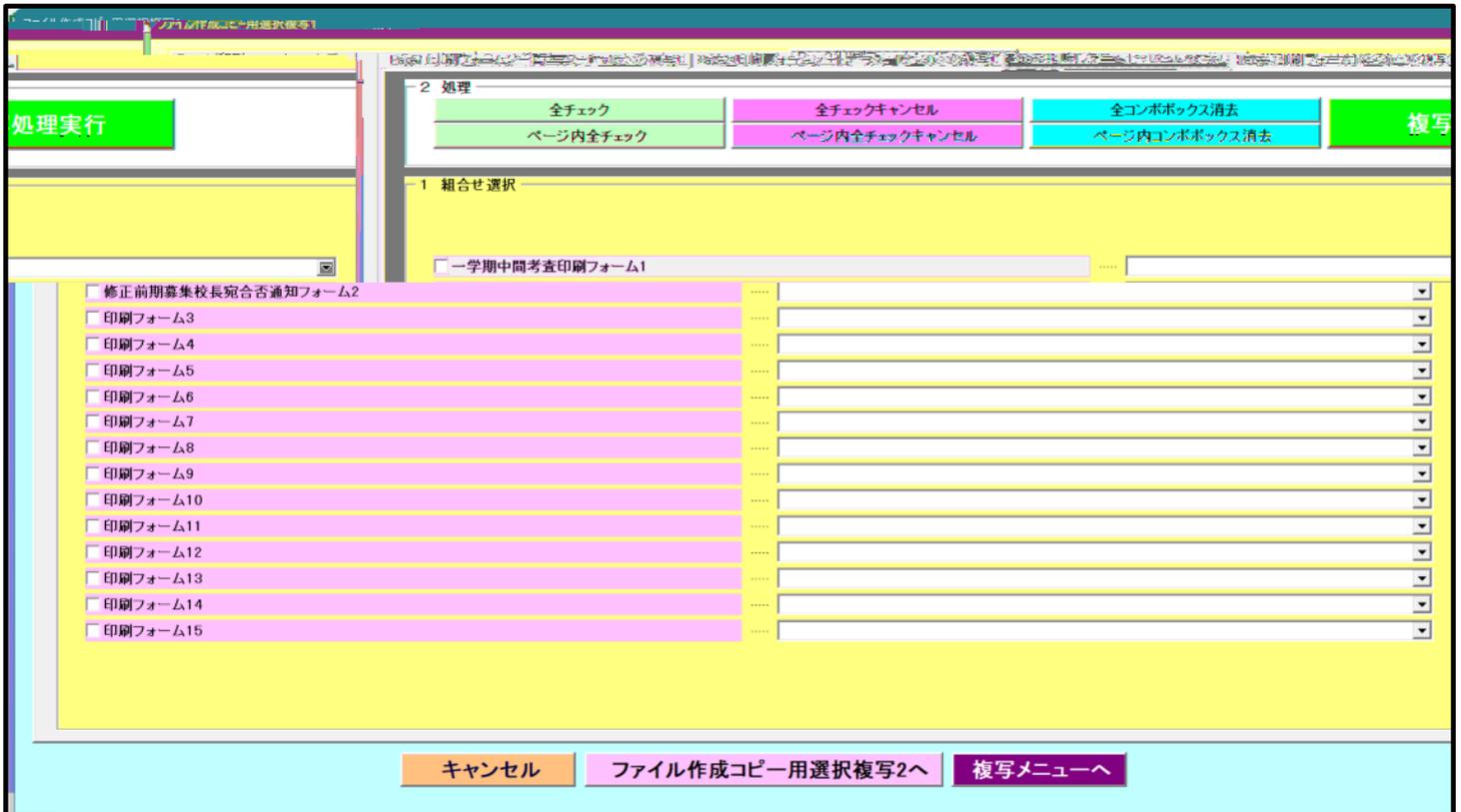
をクリックすると次の[図99]画面になります。

[図99]



そして、上の[図99]画面のタブ **Page3(印刷フォーム1~15への複写)** を選択すると次の[図100]画面になります。

[図100]



上の[図100]の画面の

- 一学期中間考査印刷フォーム1
- 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

の部分にチェックを入れて

- 一学期中間考査印刷フォーム1
- 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

とし、そしてこれらのチェックボックスの右側のコンボボックス

Two empty dropdown menus with arrow indicators on the right side.

でそれぞれ

Two dropdown menus, each containing the text 'ファイル作成コピー用51 結合' (File Creation Copy 51 Combined).

複写処理実行

と選択し、[図100]の画面の Command ボタン をクリック

すると、シート「ファイル作成コピー用51 結合」が2つの「印刷フォーム」シート

「一学期中間考査印刷フォーム1」

「修正前期募集校長宛合否通知フォーム2」

へ複写処理が開始されます。複写処理が開始されると、途中[図101]の画面が表示され、[図102]の画面が表示されたら複写は完了となります。ただ、シート「ファイル作成コピー用51 結合」には複雑な関数が40列×25,000行ほど入力されており、複写処理にはかなりの時間が必要です。

【図101】

【図102】

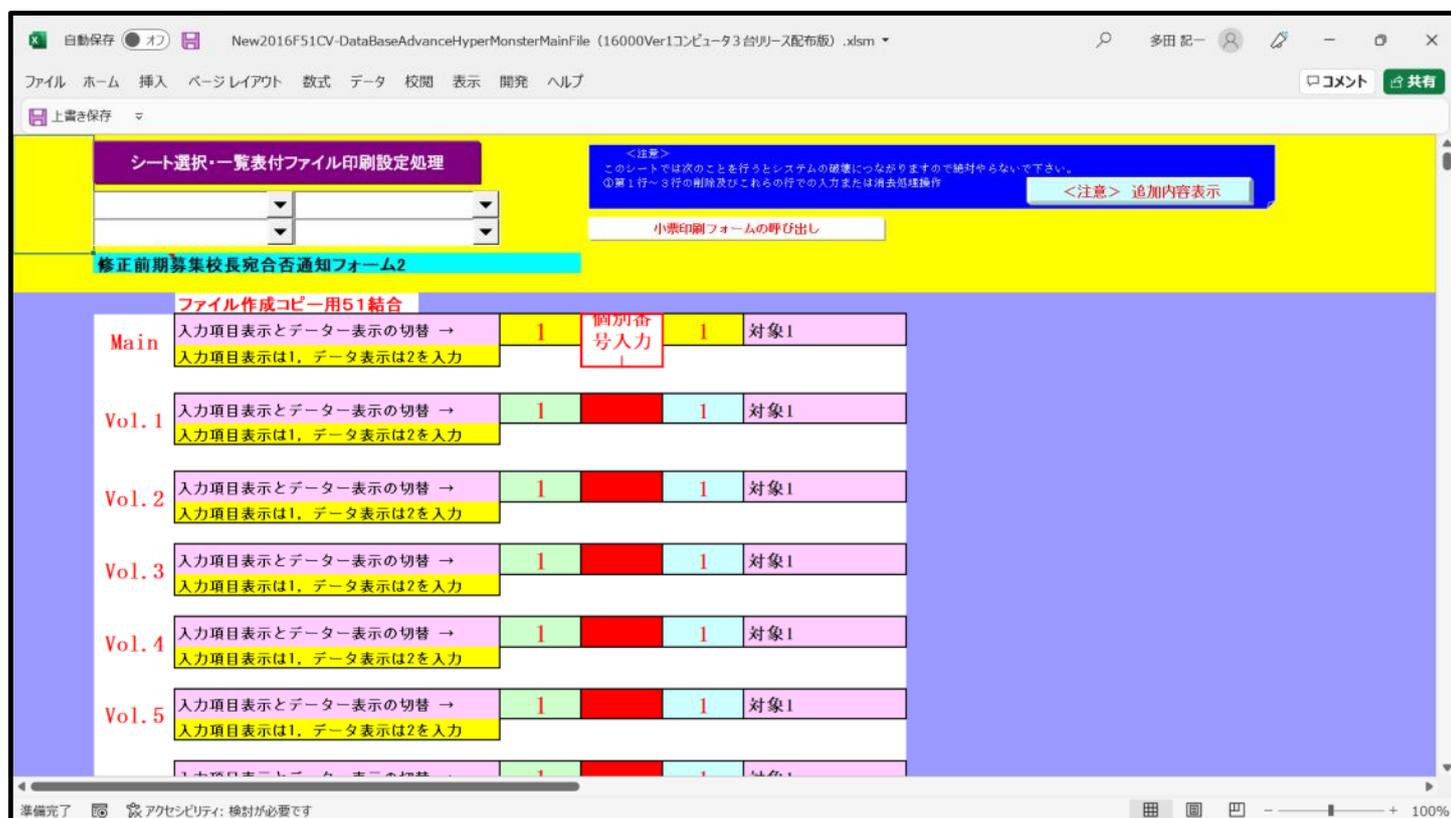
なお、上の【図102】の画面のコマンドボタン



をクリック

図102 コ 修正前期募集 宛

[図 1 0 3]



(4) 印刷フォームの様式作成について:

ここでは、印刷フォーム作成の仕方について印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」、「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」を例に説明してまいります。

- ① 単票形式の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信するための「印刷フォーム」シート等の印刷部分の設計 :

ここでは、印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」の印刷部分の設計を例に説明してまいります。

一学期中間考査のデータは、データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のシート「入力 AA1 一学期中間考査」において作成しました。

また、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

のシート「ファイル作成コピー用 5 1 結合」の印刷フォームシートへの複写の際、このファイルの 2 つの印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」と「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」に複写しましたが、このうち印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」を加工して、印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」の印刷部分の設計をおこなってまいります。

さて、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

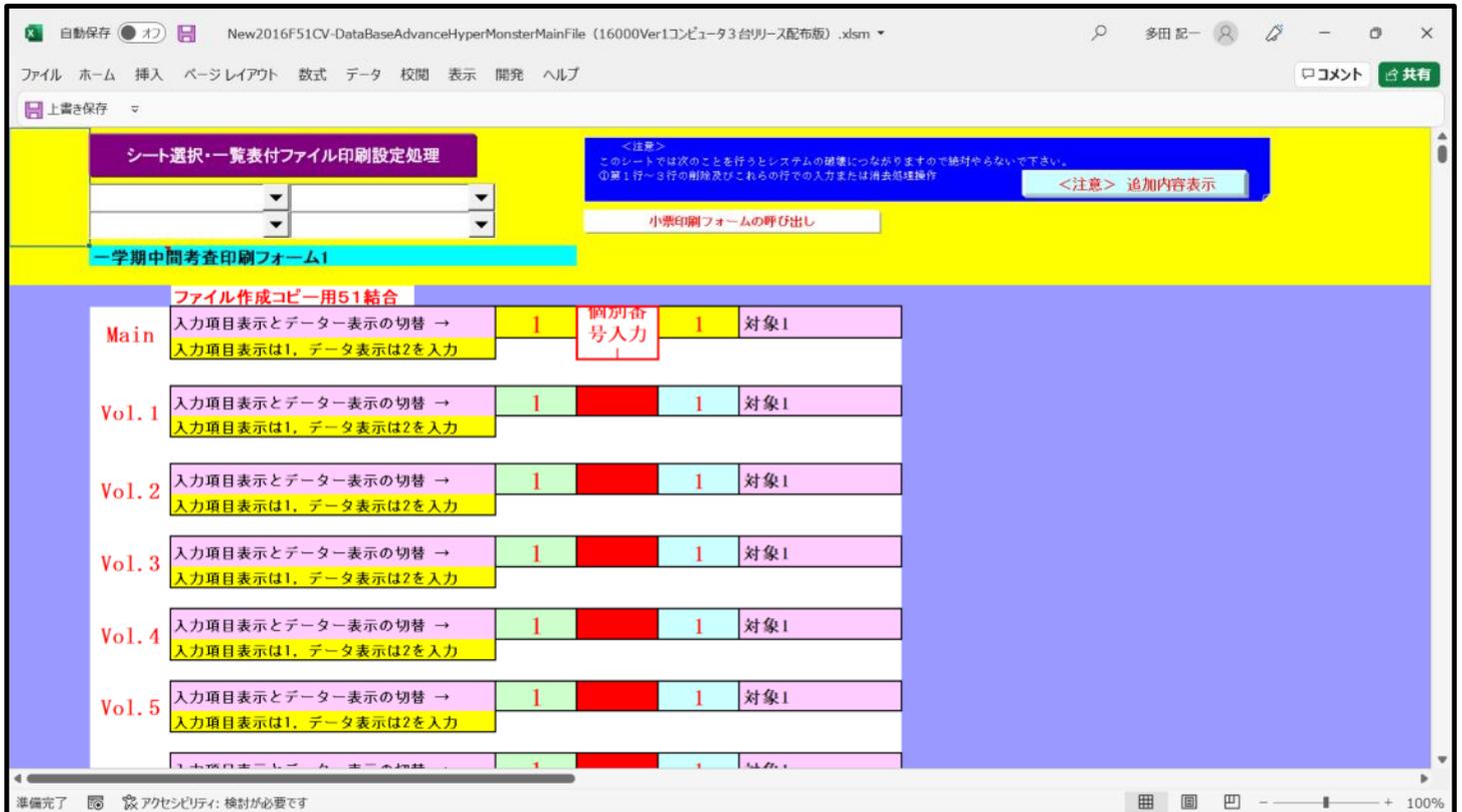
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

のシート「ファイル作成コピー用 5 1 結合」を印刷フォームシート

「一学期中間考査印刷フォーム 1」へ複写した印刷フォームシート

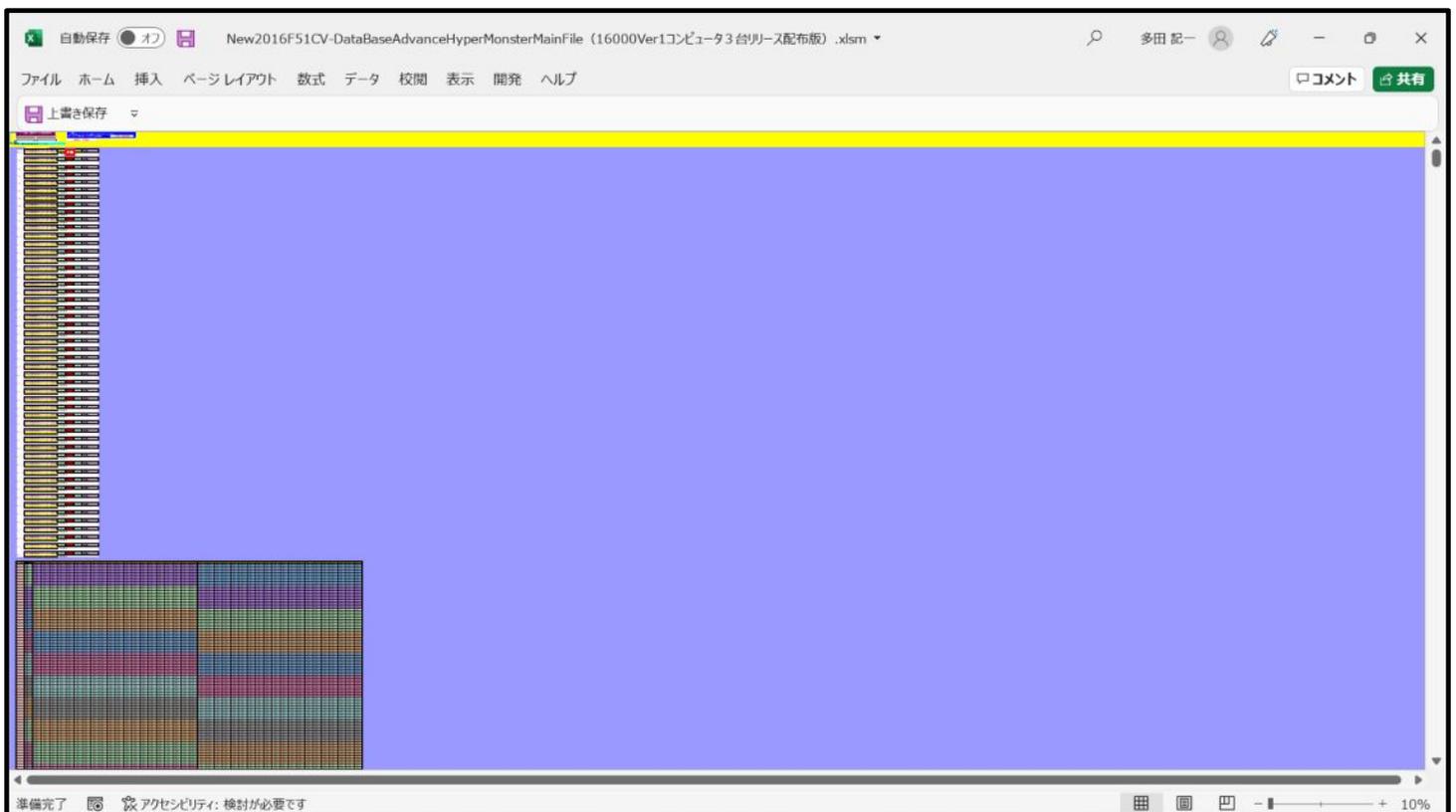
「一学期中間考査印刷フォーム 1」の状況は次の[図 1 0 4]の画面のようになっています。

[図 1 0 4]



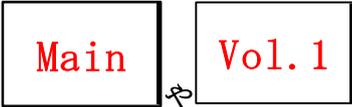
上の[図 1 0 4]の画面である程度のシートの全体の様子が見られるように表示倍率を 10%まで下げたのが次の[図 1 0 5]の画面です。

[図 1 0 5]



ここで、上の[図 1 0 4]の画面で印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」に関係のない部分つまりデータファイル
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm のシート

「入力 AA1 一学期中間考査」の表示に関係のない部分を全て削除していきます。



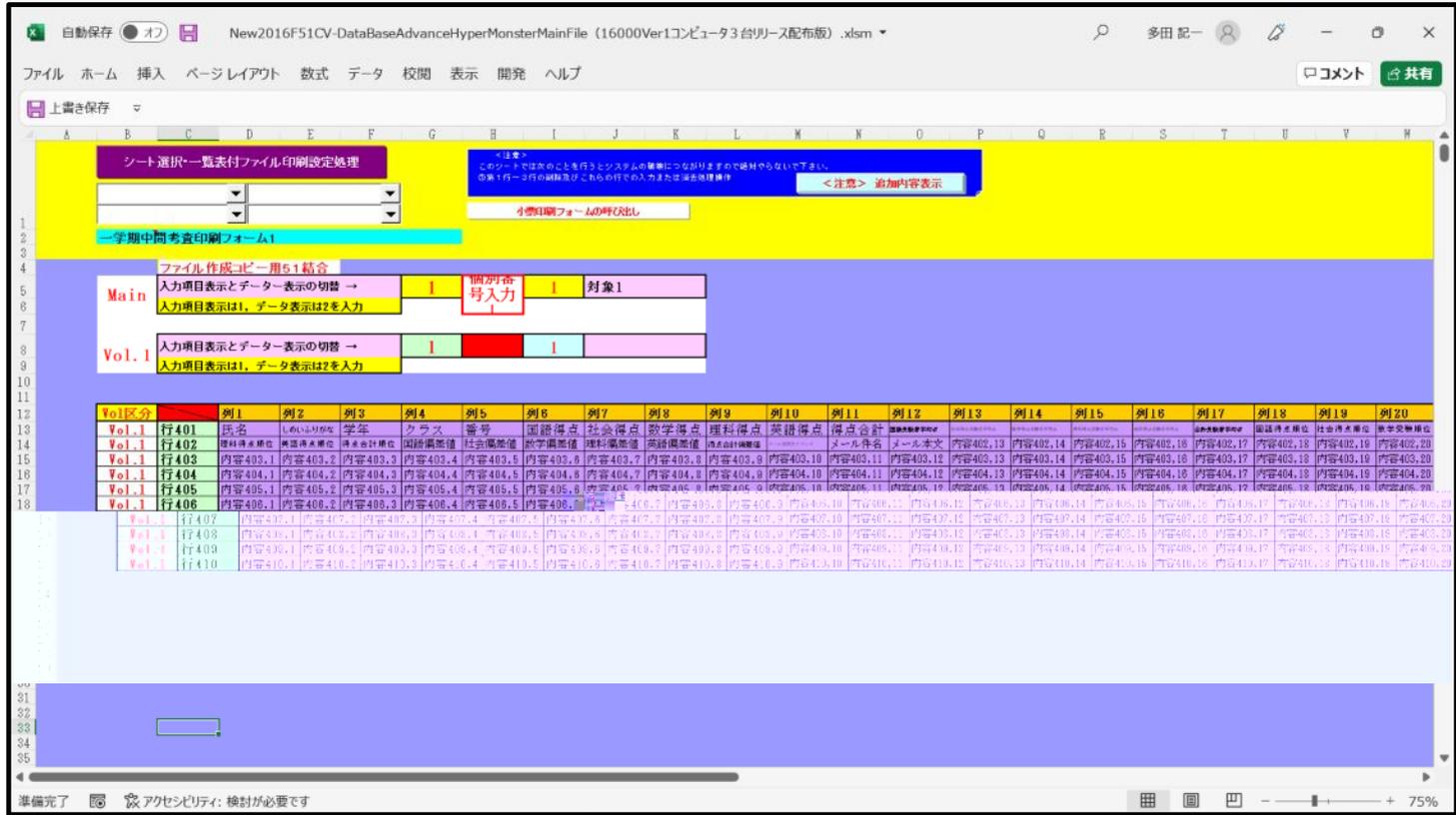
具体的には、**Main** や **Vol.1** が表示されていない行、および画面をどんどん下側にスクロール

しながら **Vol.1** と表示されていない行および **Vol.1** と表示されていても

Vol.1	行401	氏名	しんじろうがな	学年	クラス	番号	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計	国語受験順位	社会得点順位	数学受験順位	理科受験順位	英語受験順位	得点合計順位	国語得点順位	社会得点順位	数学受験順位
Vol.1	行402	理科得点順位	英語得点順位	得点合計順位	国語偏差値	社会偏差値	数学偏差値	理科偏差値	英語偏差値	得点合計偏差値	メール件名	メール本文	内容402_13	内容402_14	内容402_15	内容402_16	内容402_17	内容402_18	内容402_19	内容402_20	内容403_20
Vol.1	行403	内容403_1	内容403_2	内容403_3	内容403_4	内容403_5	内容403_6	内容403_7	内容403_8	内容403_9	内容403_10	内容403_11	内容403_12	内容403_13	内容403_14	内容403_15	内容403_16	内容403_17	内容403_18	内容403_19	内容403_20
Vol.1	行404	内容404_1	内容404_2	内容404_3	内容404_4	内容404_5	内容404_6	内容404_7	内容404_8	内容404_9	内容404_10	内容404_11	内容404_12	内容404_13	内容404_14	内容404_15	内容404_16	内容404_17	内容404_18	内容404_19	内容404_20
Vol.1	行405	内容405_1	内容405_2	内容405_3	内容405_4	内容405_5	内容405_6	内容405_7	内容405_8	内容405_9	内容405_10	内容405_11	内容405_12	内容405_13	内容405_14	内容405_15	内容405_16	内容405_17	内容405_18	内容405_19	内容405_20
Vol.1	行406	内容406_1	内容406_2	内容406_3	内容406_4	内容406_5	内容406_6	内容406_7	内容406_8	内容406_9	内容406_10	内容406_11	内容406_12	内容406_13	内容406_14	内容406_15	内容406_16	内容406_17	内容406_18	内容406_19	内容406_20
Vol.1	行407	内容407_1	内容407_2	内容407_3	内容407_4	内容407_5	内容407_6	内容407_7	内容407_8	内容407_9	内容407_10	内容407_11	内容407_12	内容407_13	内容407_14	内容407_15	内容407_16	内容407_17	内容407_18	内容407_19	内容407_20
Vol.1	行408	内容408_1	内容408_2	内容408_3	内容408_4	内容408_5	内容408_6	内容408_7	内容408_8	内容408_9	内容408_10	内容408_11	内容408_12	内容408_13	内容408_14	内容408_15	内容408_16	内容408_17	内容408_18	内容408_19	内容408_20
Vol.1	行409	内容409_1	内容409_2	内容409_3	内容409_4	内容409_5	内容409_6	内容409_7	内容409_8	内容409_9	内容409_10	内容409_11	内容409_12	内容409_13	内容409_14	内容409_15	内容409_16	内容409_17	内容409_18	内容409_19	内容409_20
Vol.1	行410	内容410_1	内容410_2	内容410_3	内容410_4	内容410_5	内容410_6	内容410_7	内容410_8	内容410_9	内容410_10	内容410_11	内容410_12	内容410_13	内容410_14	内容410_15	内容410_16	内容410_17	内容410_18	内容410_19	内容410_20

と表示されていない全ての行を削除していきます。全て削除した結果の状況は、次の[図106]の画面のようになります。

[図106]



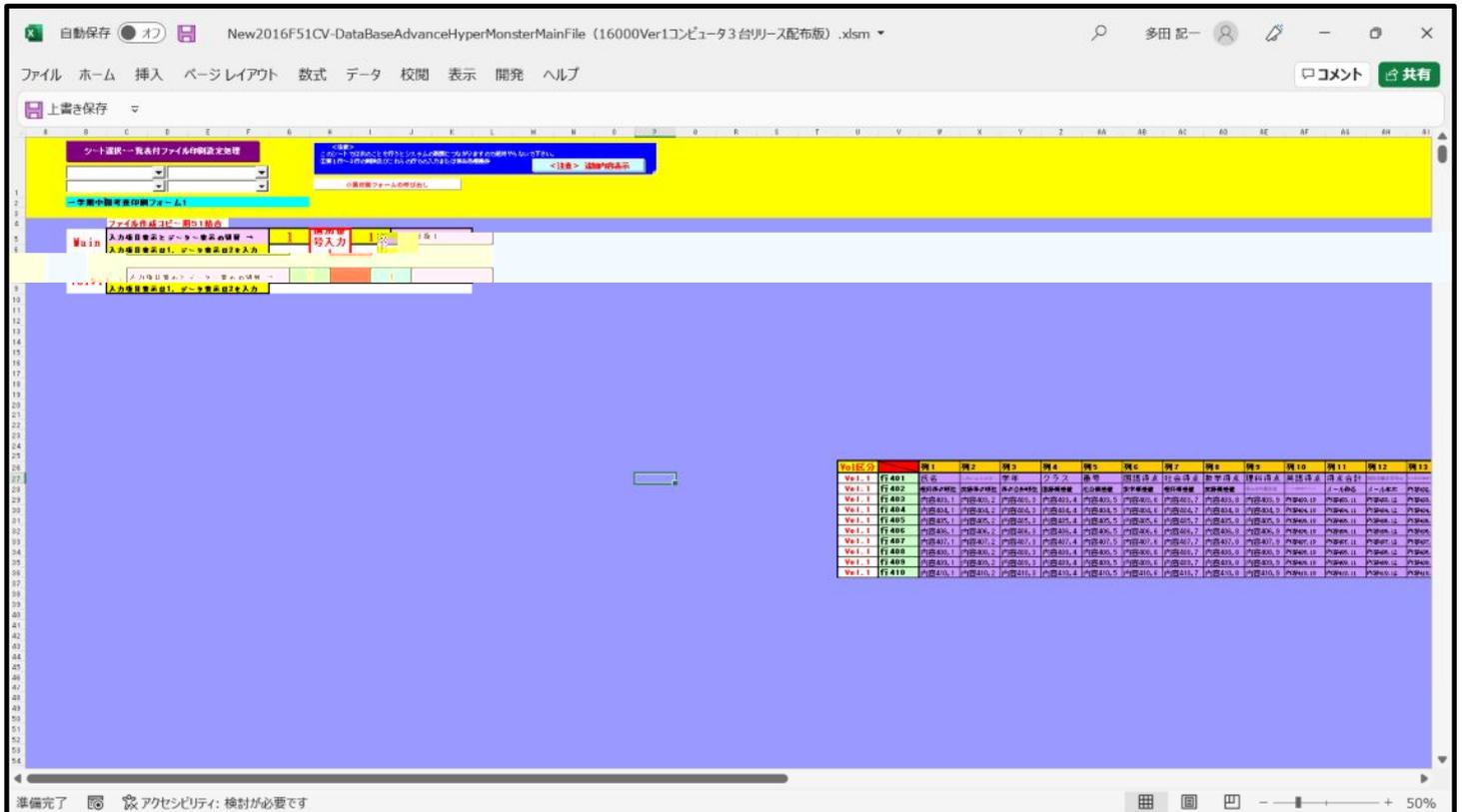
それではこれから単票形式の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信するための「印刷フォーム」シート等の印刷部分の設計をおこなってまいります。先ず、設計をおこなうための編集部分を確保する必要があります。

[図106]の画面の

Vol.区分	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14	列15	列16	列17	列18	列19	列20	
Vol.1	行401	氏名	しんじろうがな	学年	クラス	番号	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計	国語受験順位	社会得点順位	数学受験順位	理科受験順位	英語受験順位	得点合計順位	国語得点順位	社会得点順位	数学受験順位
Vol.1	行402	理科得点順位	英語得点順位	得点合計順位	国語偏差値	社会偏差値	数学偏差値	理科偏差値	英語偏差値	得点合計偏差値	メール件名	メール本文	内容402_13	内容402_14	内容402_15	内容402_16	内容402_17	内容402_18	内容402_19	内容402_20	
Vol.1	行403	内容403_1	内容403_2	内容403_3	内容403_4	内容403_5	内容403_6	内容403_7	内容403_8	内容403_9	内容403_10	内容403_11	内容403_12	内容403_13	内容403_14	内容403_15	内容403_16	内容403_17	内容403_18	内容403_19	内容403_20
Vol.1	行404	内容404_1	内容404_2	内容404_3	内容404_4	内容404_5	内容404_6	内容404_7	内容404_8	内容404_9	内容404_10	内容404_11	内容404_12	内容404_13	内容404_14	内容404_15	内容404_16	内容404_17	内容404_18	内容404_19	内容404_20
Vol.1	行405	内容405_1	内容405_2	内容405_3	内容405_4	内容405_5	内容405_6	内容405_7	内容405_8	内容405_9	内容405_10	内容405_11	内容405_12	内容405_13	内容405_14	内容405_15	内容405_16	内容405_17	内容405_18	内容405_19	内容405_20
Vol.1	行406	内容406_1	内容406_2	内容406_3	内容406_4	内容406_5	内容406_6	内容406_7	内容406_8	内容406_9	内容406_10	内容406_11	内容406_12	内容406_13	内容406_14	内容406_15	内容406_16	内容406_17	内容406_18	内容406_19	内容406_20
Vol.1	行407	内容407_1	内容407_2	内容407_3	内容407_4	内容407_5	内容407_6	内容407_7	内容407_8	内容407_9	内容407_10	内容407_11	内容407_12	内容407_13	内容407_14	内容407_15	内容407_16	内容407_17	内容407_18	内容407_19	内容407_20
Vol.1	行408	内容408_1	内容408_2	内容408_3	内容408_4	内容408_5	内容408_6	内容408_7	内容408_8	内容408_9	内容408_10	内容408_11	内容408_12	内容408_13	内容408_14	内容408_15	内容408_16	内容408_17	内容408_18	内容408_19	内容408_20
Vol.1	行409	内容409_1	内容409_2	内容409_3	内容409_4	内容409_5	内容409_6	内容409_7	内容409_8	内容409_9	内容409_10	内容409_11	内容409_12	内容409_13	内容409_14	内容409_15	内容409_16	内容409_17	内容409_18	内容409_19	内容409_20
Vol.1	行410	内容410_1	内容410_2	内容410_3	内容410_4	内容410_5	内容410_6	内容410_7	内容410_8	内容410_9	内容410_10	内容410_11	内容410_12	内容410_13	内容410_14	内容410_15	内容410_16	内容410_17	内容410_18	内容410_19	内容410_20

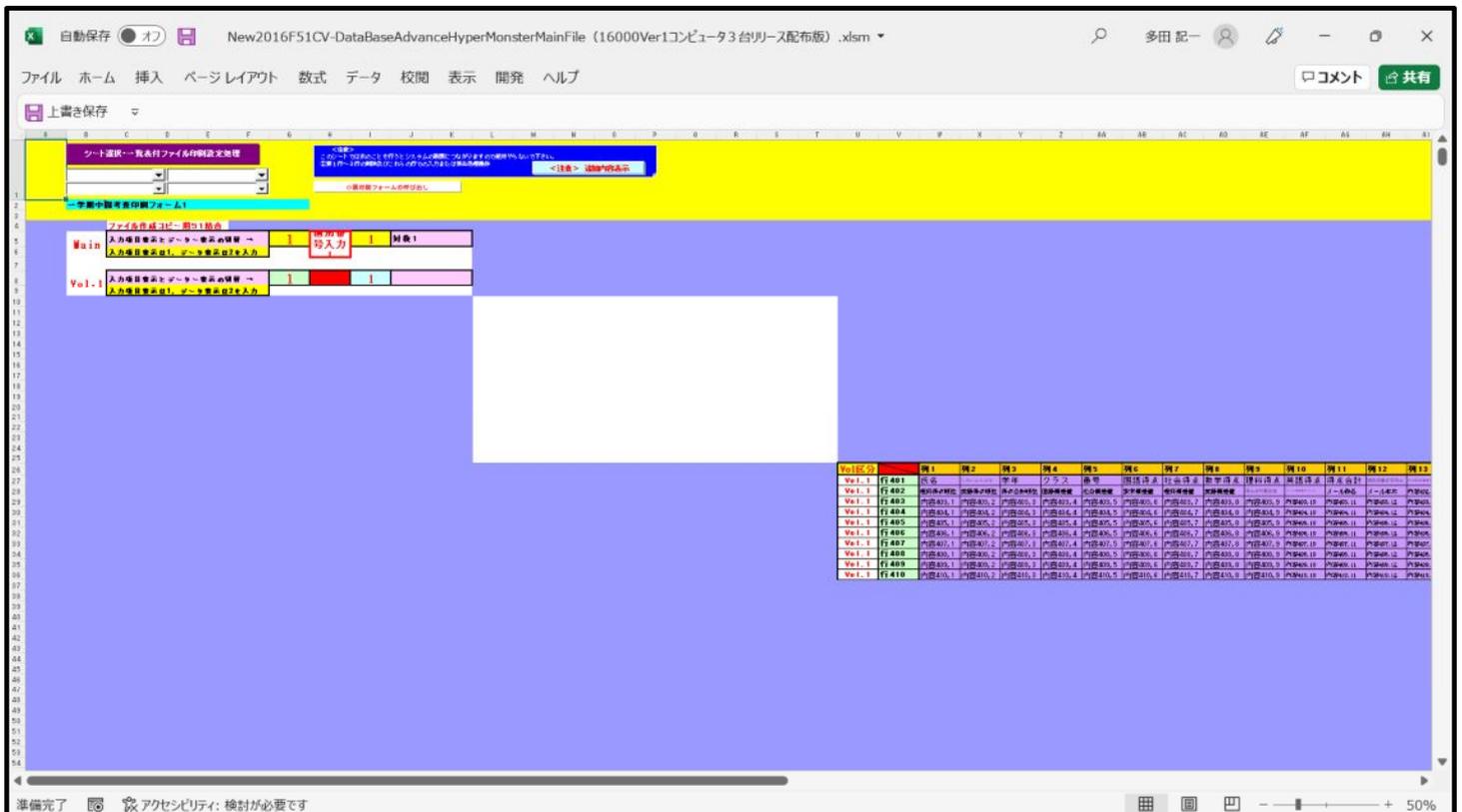
部分を切り取り、次の[図107]の画面の位置にとりあえず貼り付けておきます。

【図107】



そして【図107】の画面のにおいて、部分的に背景色を色抜きにしますが、色抜きにしたものを次の【図108】の画面に表示させます。色抜きにする範囲は後からいくらでも調整できますので、適当に範囲は選択して結構です。

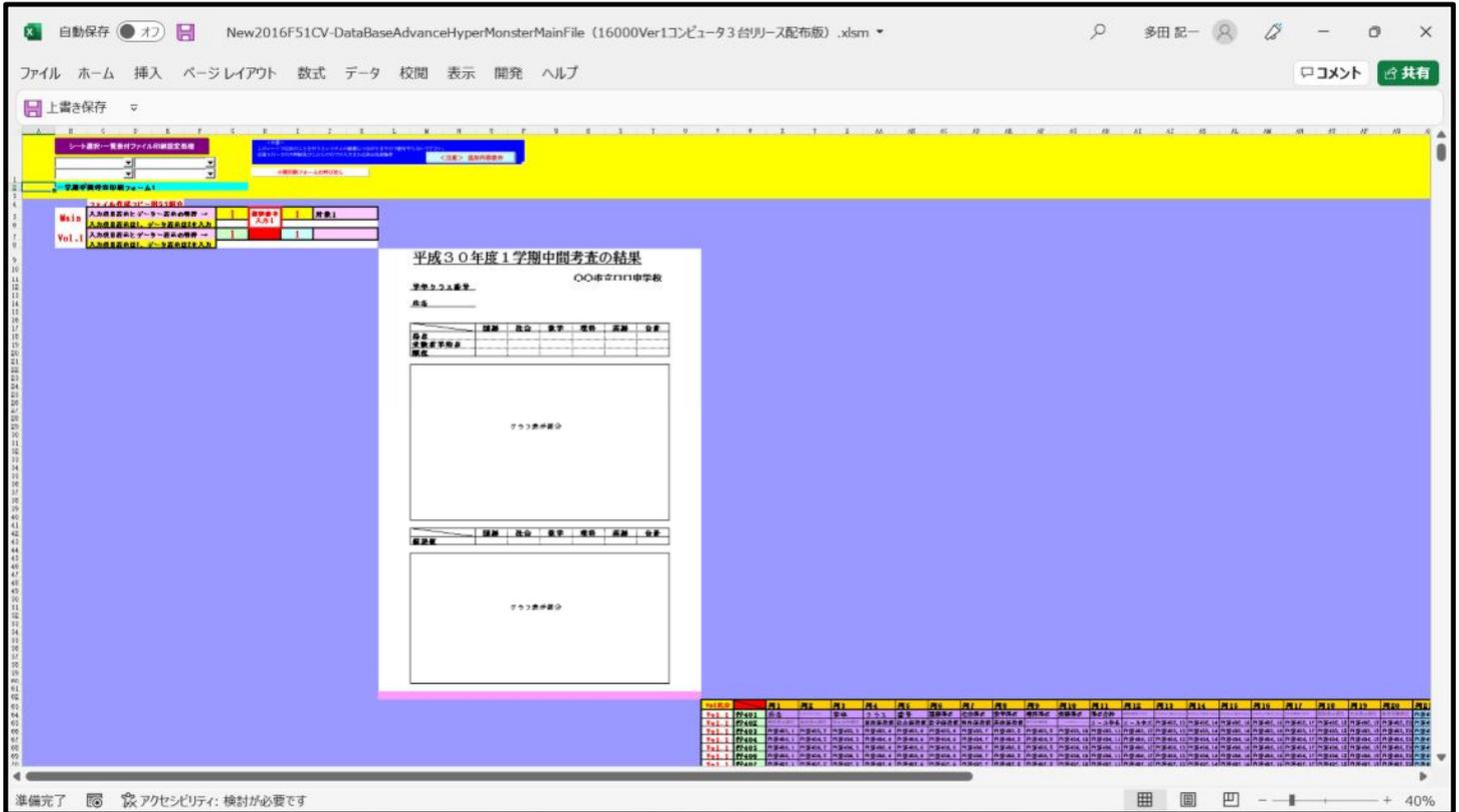
【図108】



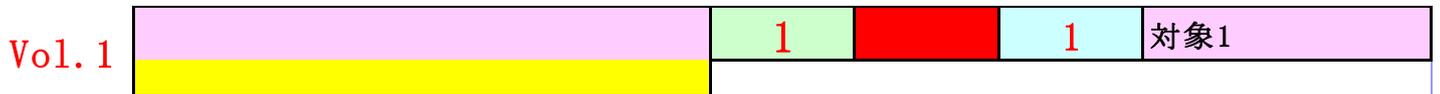
上の【図108】の画面の背景色を色抜きにした部分に、どのような様式に設計していくのかそのアウトラインを作成しておきます。アウトラインを作成したのが次の【図109】の画面」です。但し、

表示倍率を 40%としています。

[図 1 0 9]

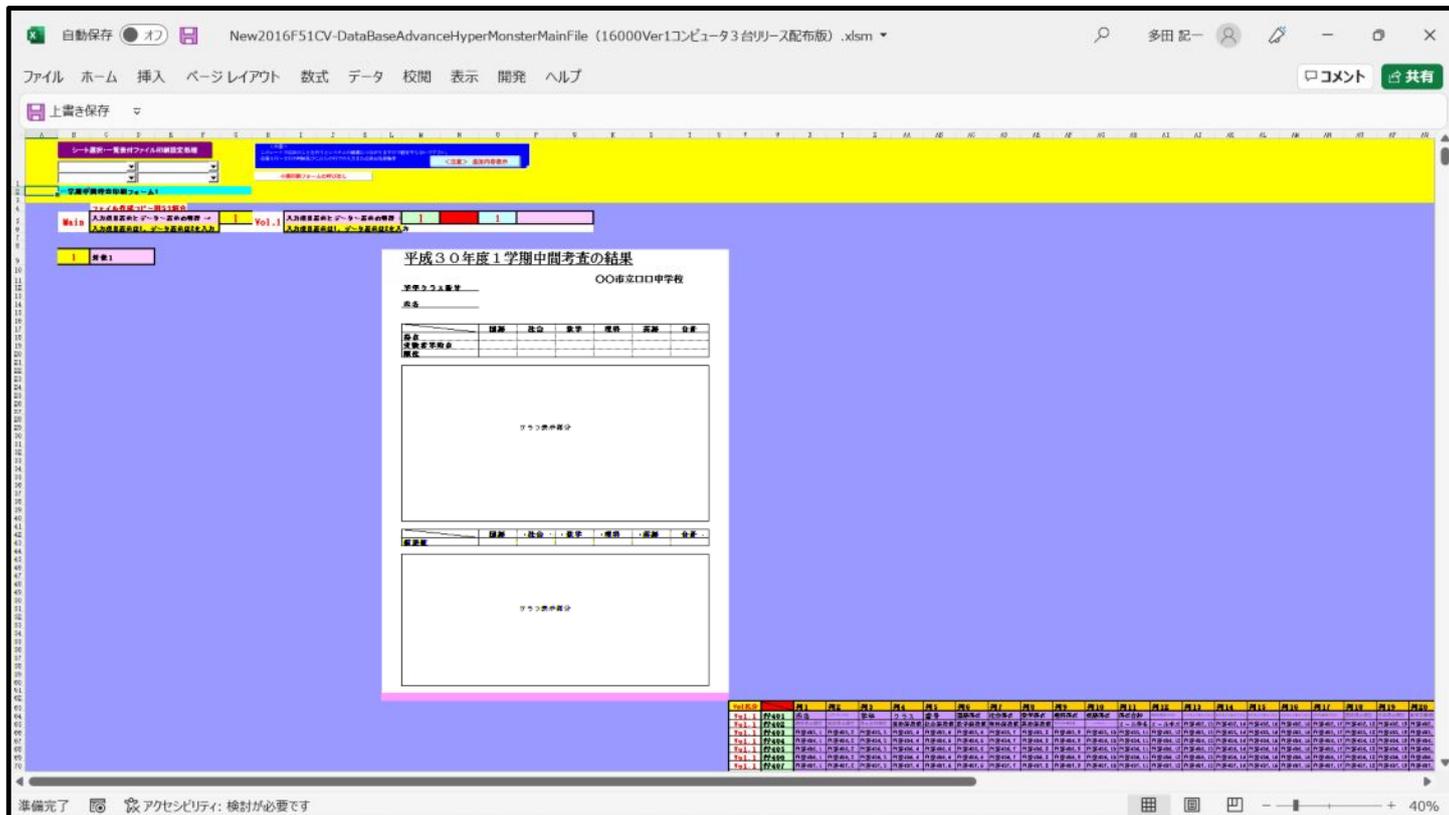


そして、上の[図 1 0 9]の画面の **1** 対象1 部分および



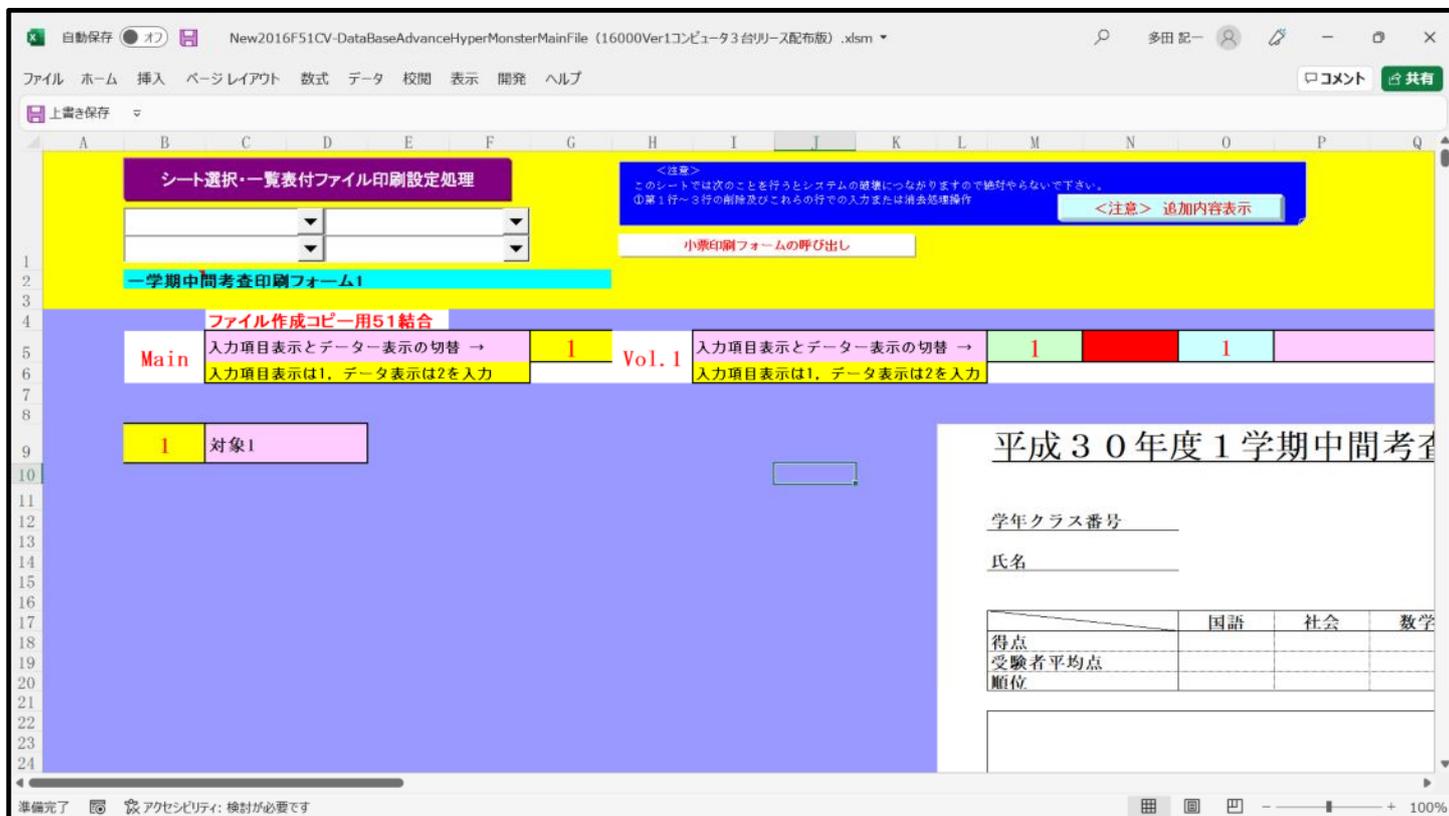
の部分を切り取って貼り付け、シートの行および列の削除も行い、次の[図 1 1 0]の画面のようにします。

[図 1 1 0]



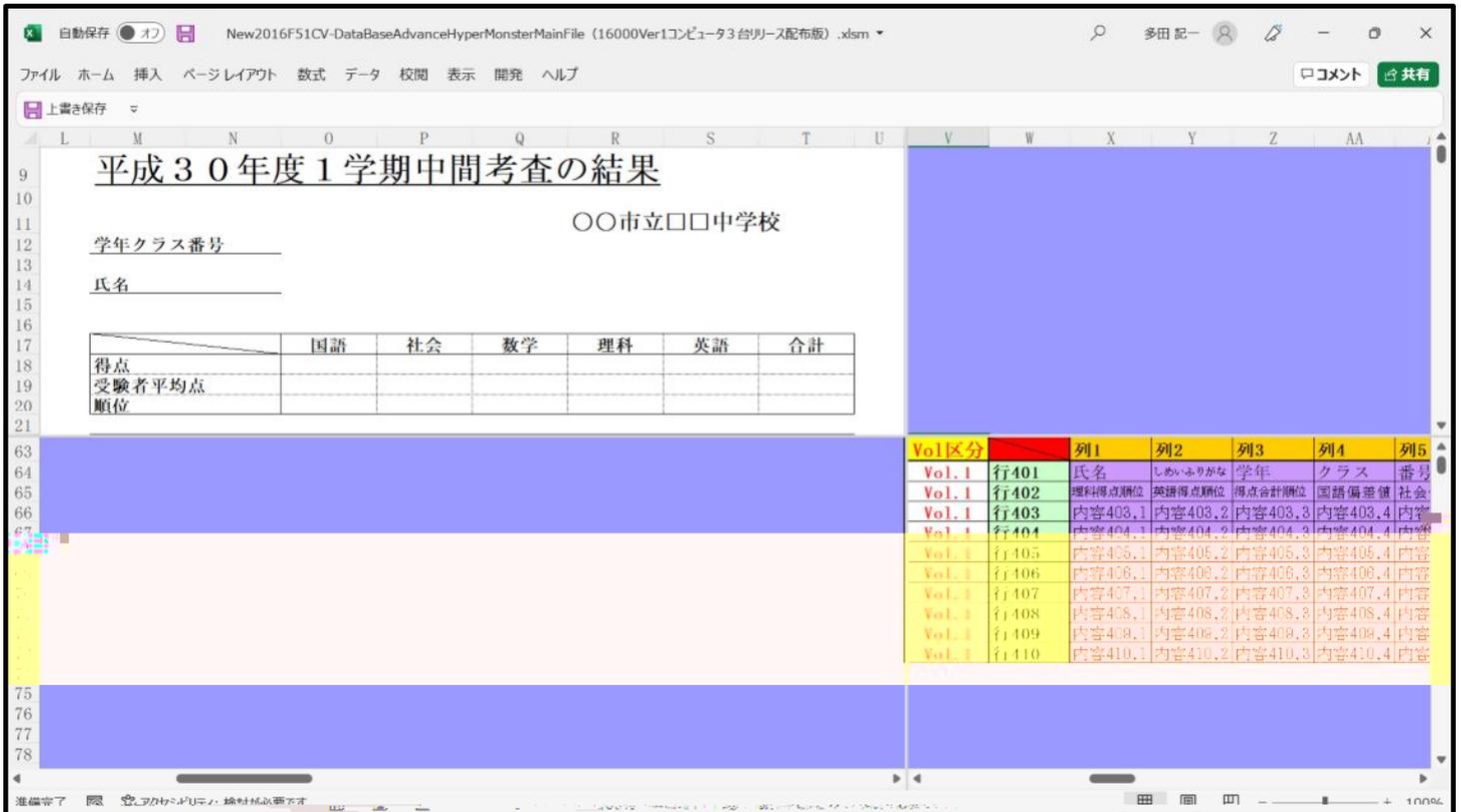
次に上の図 1 1 0]の画面の表示倍率を 100%上げたのが次の[図 1 1 1]の画面です。

[図 1 1 1]



上の[図 1 1 1]の画面で画面分割をおこない、次の[図 1 1 2]の画面のように設定します。

【図 1 1 2】



上の【図 1 1 2】の画面の左上の画面のセルを選択し、=を入力し

右下の画面のセルを選択して&と入力し、右下の画面のセルを選択して

&と入力し、更に右下の画面のセルを選択して&と入力して Enter キーを押します。

つまり、左上の画面のセルと表示されているセルには式

「=Z65&AA65&AB65」

が入力されて表示されます。そして、と表示されている

セルを選択し、=を入力し右下の画面のセルを選択して Enter キーを押します。つまり

と表示されているセルには式「=X65」が入力されて

と

表示されます。

次に左上の国語の得点を表示するセルを選択し、=を入力したら右下の画面を右にスクロールさせてセル

を選択します。つまり、左上の画面の国語の得点を表示するセルには式「=AC65」が入力され、

セルはと表示されます。以下社会、数学、理科、英語、得点合計を表すセルについても同様な

操作を行っていきます。また、国語、社会、数学、理科、英語、得点合計の受験者平均点および国語、

社会、数学、理科、英語、得点合計の順位を表す各セルについても同様な操作で式を入力していきます。

上のこれらのセルの式の入力が済んだら、分割画面を上下左右にスクロールさせて次の【図 1 1 3】の画面

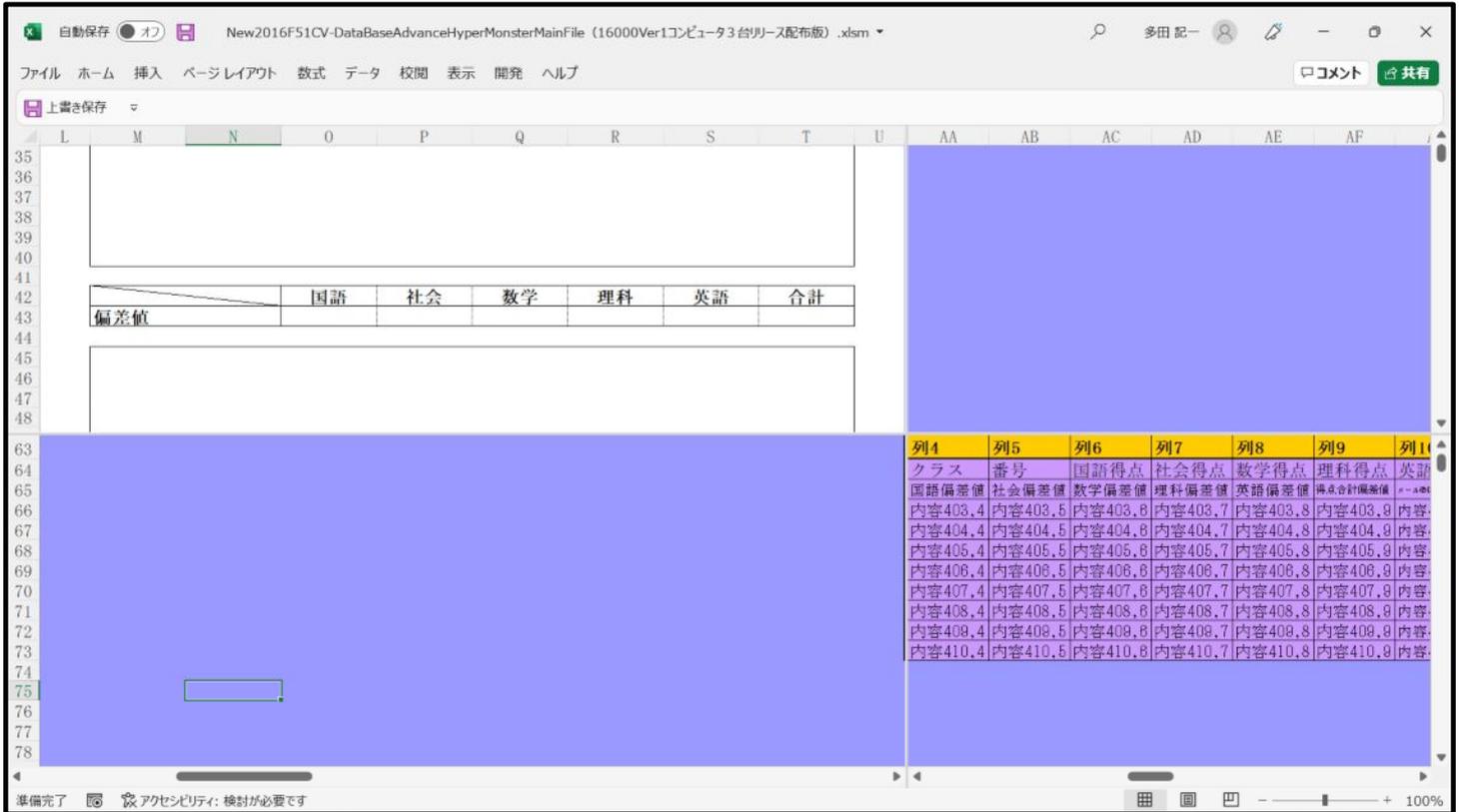
のように設定して、国語、社会、数学、理科、英語、得点合計の偏差値を表すセルに同様に式を入力

していきます。これらの式の入力が済んだ後画面分割を解除し表示倍率を 50%で表示したのが次の

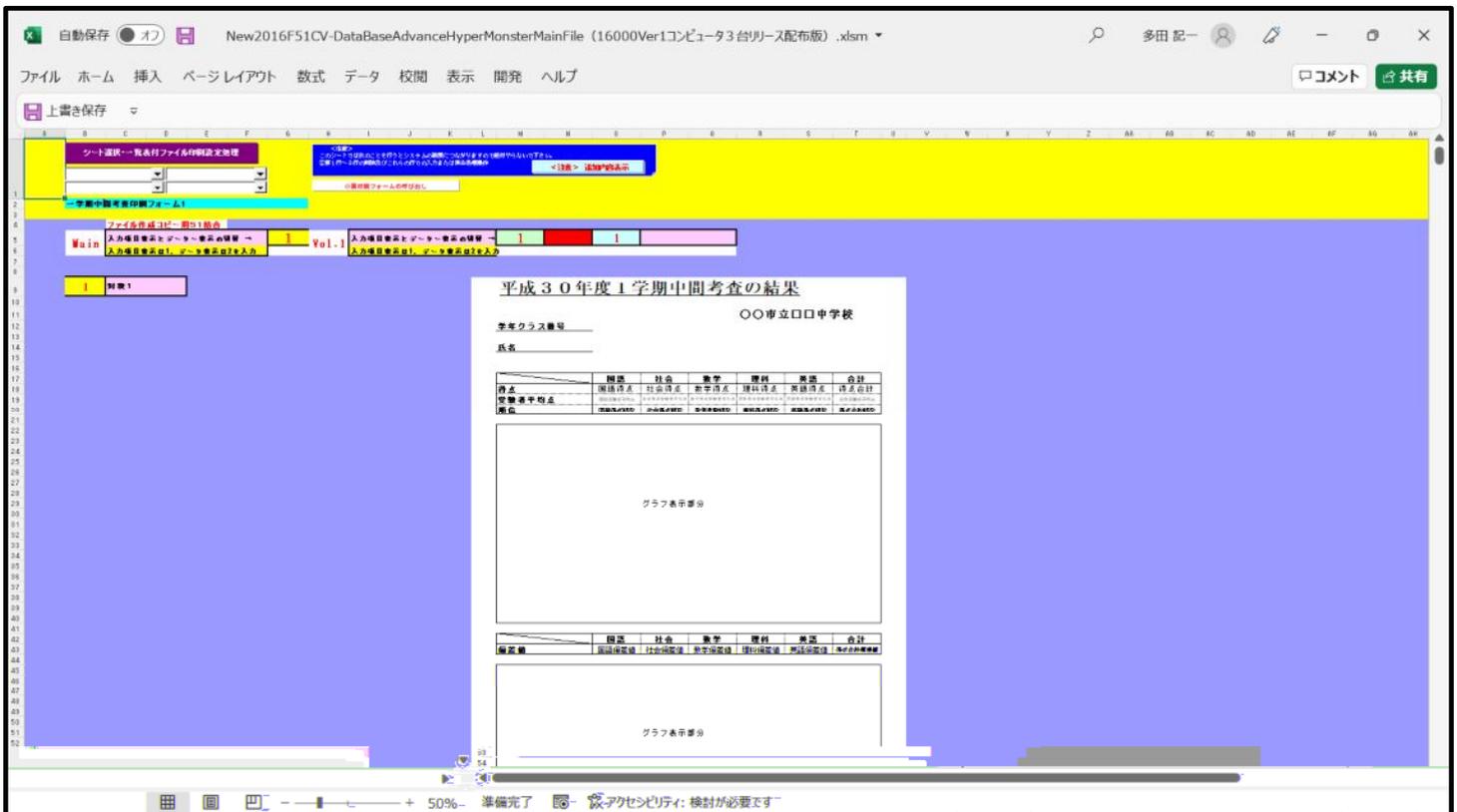
【図 1 1 4】の画面です。但し、表示内容がわかるように、式を入力した各セルは縮小して全体を表示する

ように設定してあります。

【図 1 1 3】



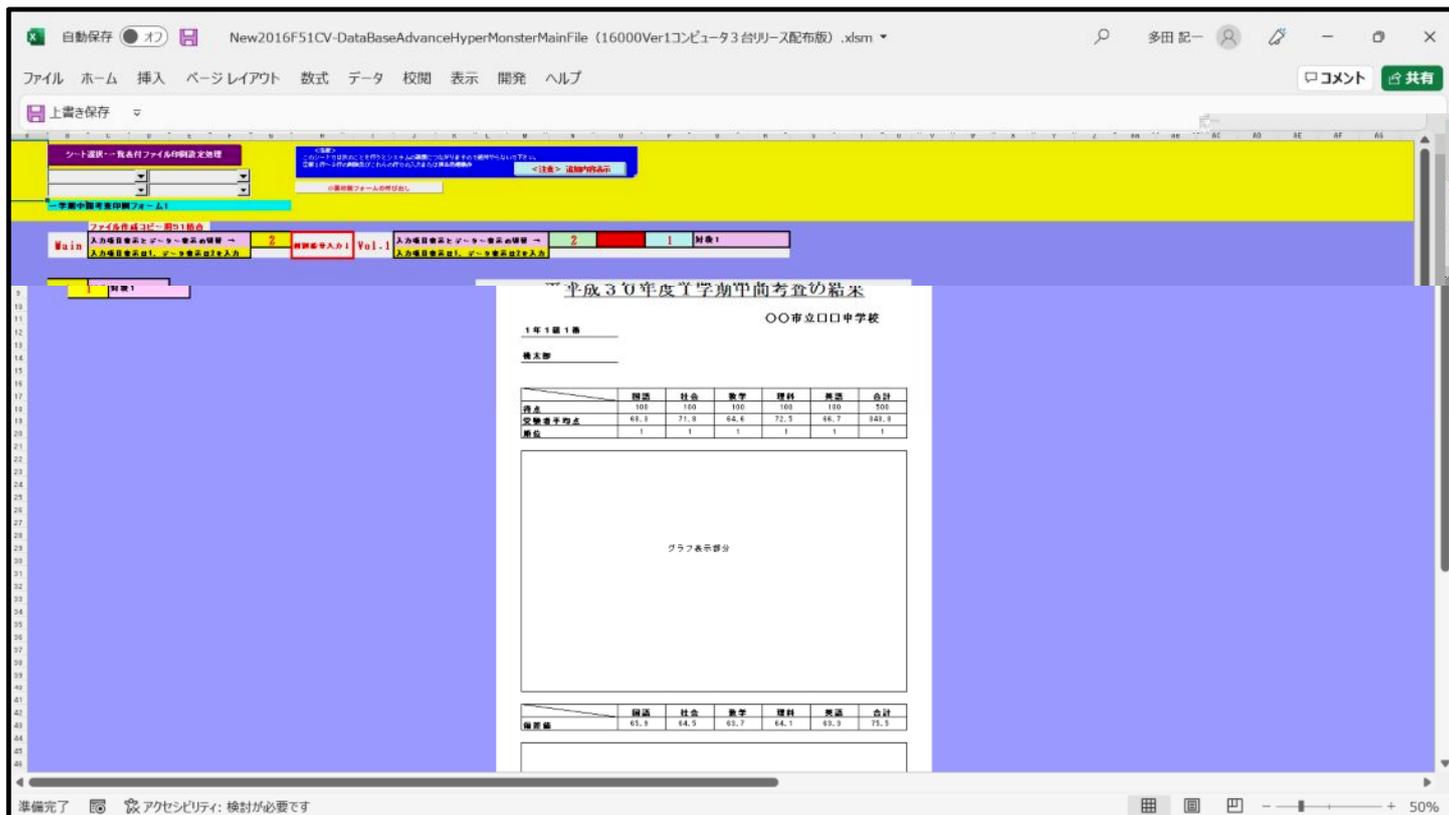
【図 1 1 4】



なお、上の【図 1 1 1】の画面のセル **1** の値を **2** と入力すると、データファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm の入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」の表の第 1 行目が表示されて、次の【図 1 1 5】の画面のよう

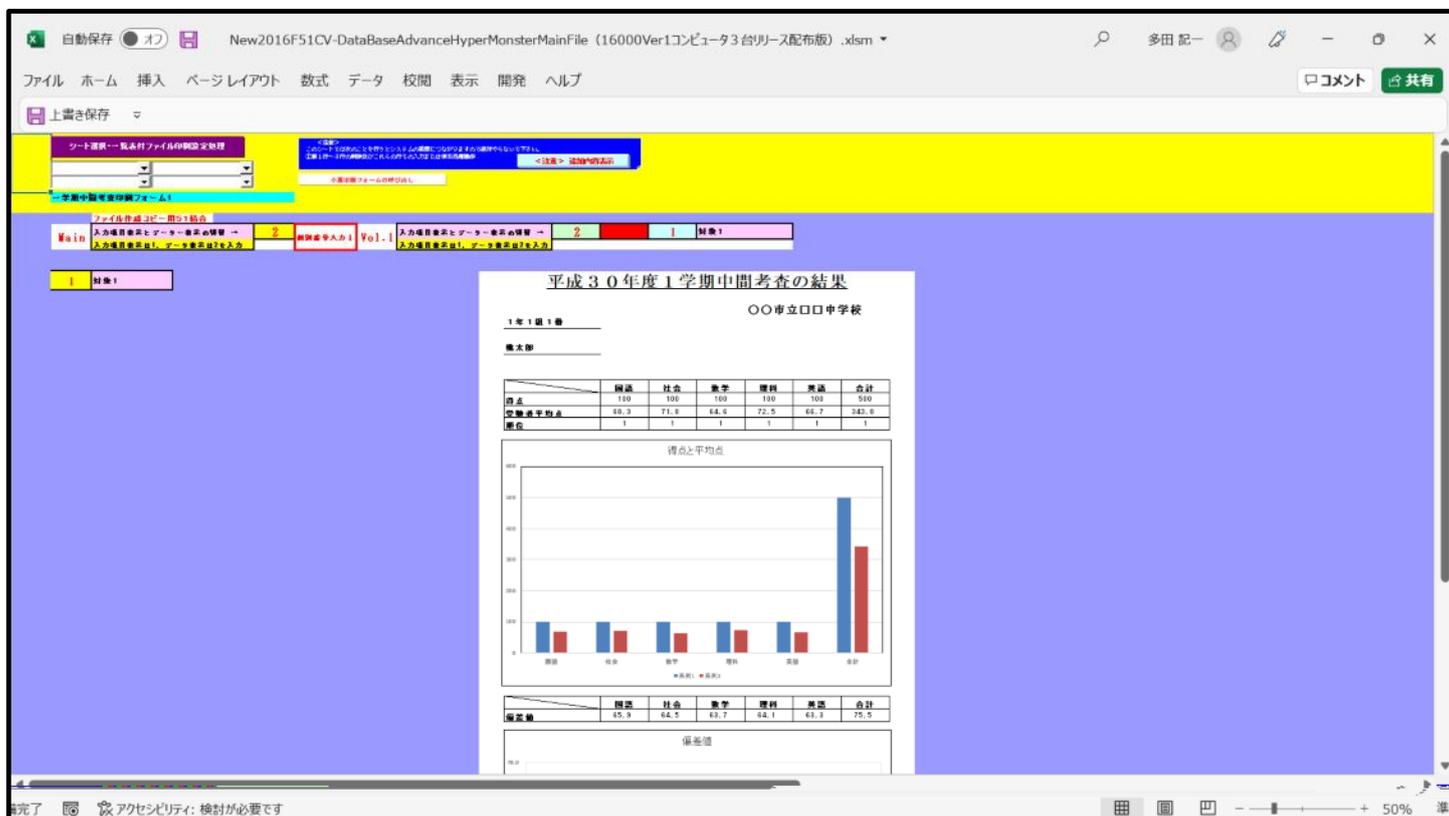
になります。但し表示倍率は50%です。

【図115】



上の【図115】の画面に対してグラフを作成して表示したのが次の【図116】の画面です。

【図116】



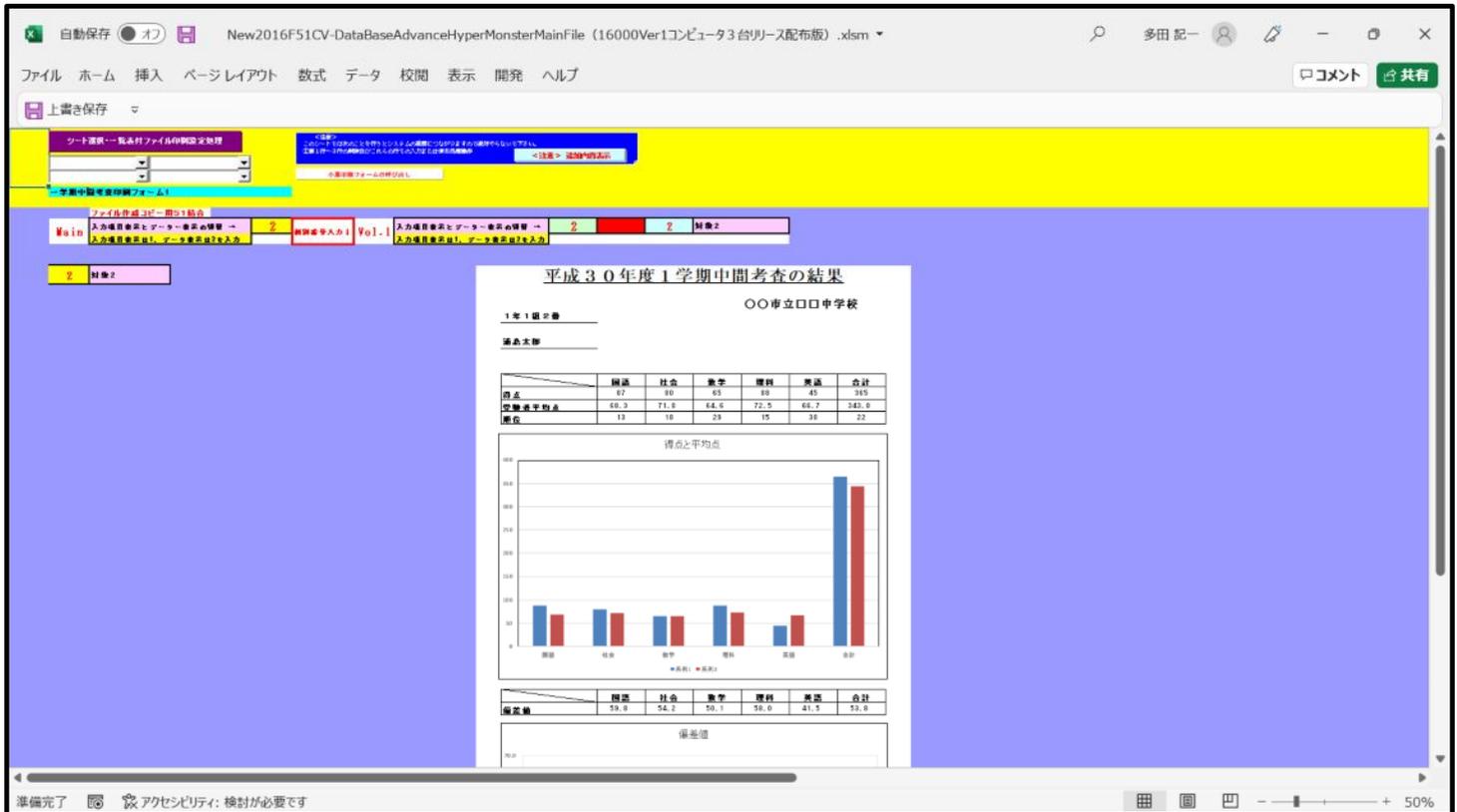
また、上の[図 1 1 6]の画面でセル **1** の値を **2** にしたままで、

1 対象1 の部分で左側のセル **1** の値を **2** に変更すると
データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

の入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」の表の第 2 行目が表示されて、次の[図 1 1 7]の画面のようになります。

[図 1 1 7]



② 「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の 1 行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式设计:

ここでは、印刷フォームシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」の印刷部分の設計を例に説明してまいります。

高校入試通知書等作成データは、データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

の入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データ」において作成しました。

また、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

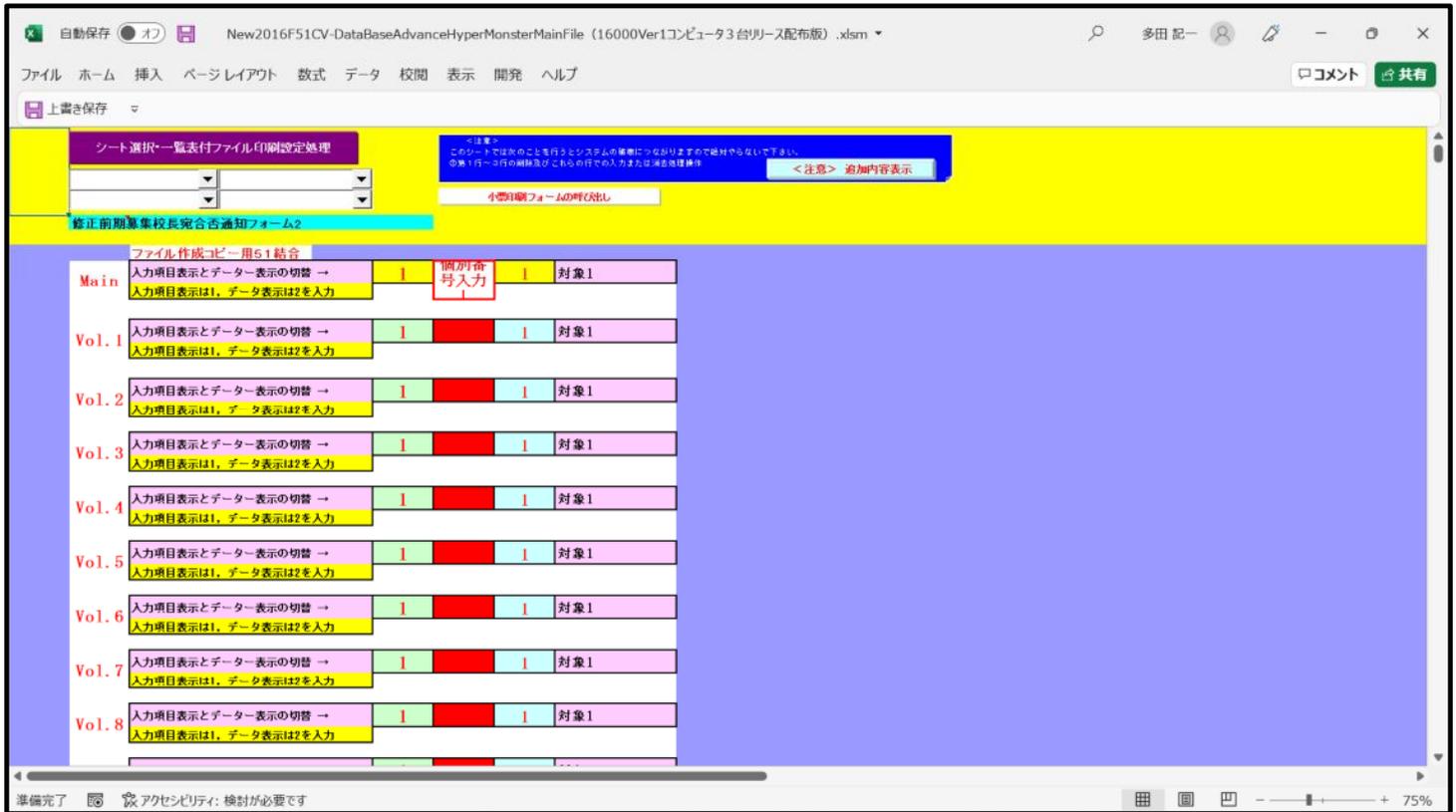
のシート「ファイル作成コピー用 5 1 結合」の印刷フォームシートへの複写の際、このファイルの 2 つの印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」と「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」に複写しましたが、このうち印刷フォームシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」を加工して、印刷フォームシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」の印刷部分の設計をおこなってまいります。

さて、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

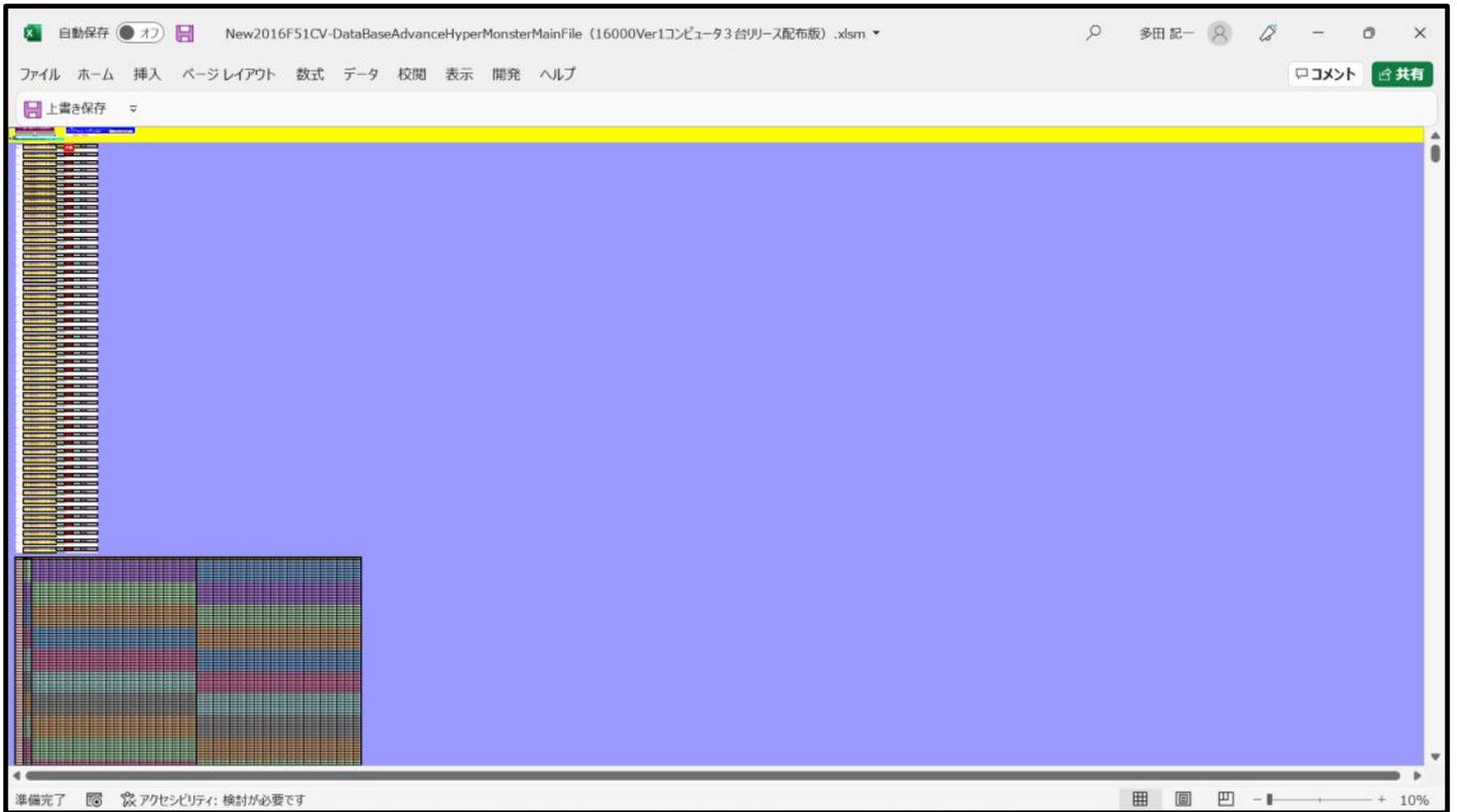
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)
 のシート「ファイル作成コピー用 5 1 結合」を印刷フォームシート
 「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」へ複写した印刷フォームシート
 「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」の状況は次の[図 1 1 8]の画面のようになっています。

[図 1 1 8]

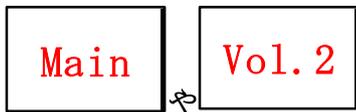


上の[図 1 1 8]の画面である程度のシートの全体の様子が見られるように表示倍率を 10%まで下げたのが次の[図 1 1 9]の画面です。

[図 1 1 9]



ここで、上の[図 1 1 8]の画面で印刷フォームシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」に関係のない部分つまりデータファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xslm のシート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データ」の表示に関係のない部分をシートの保護を解除して全て削除していきます。

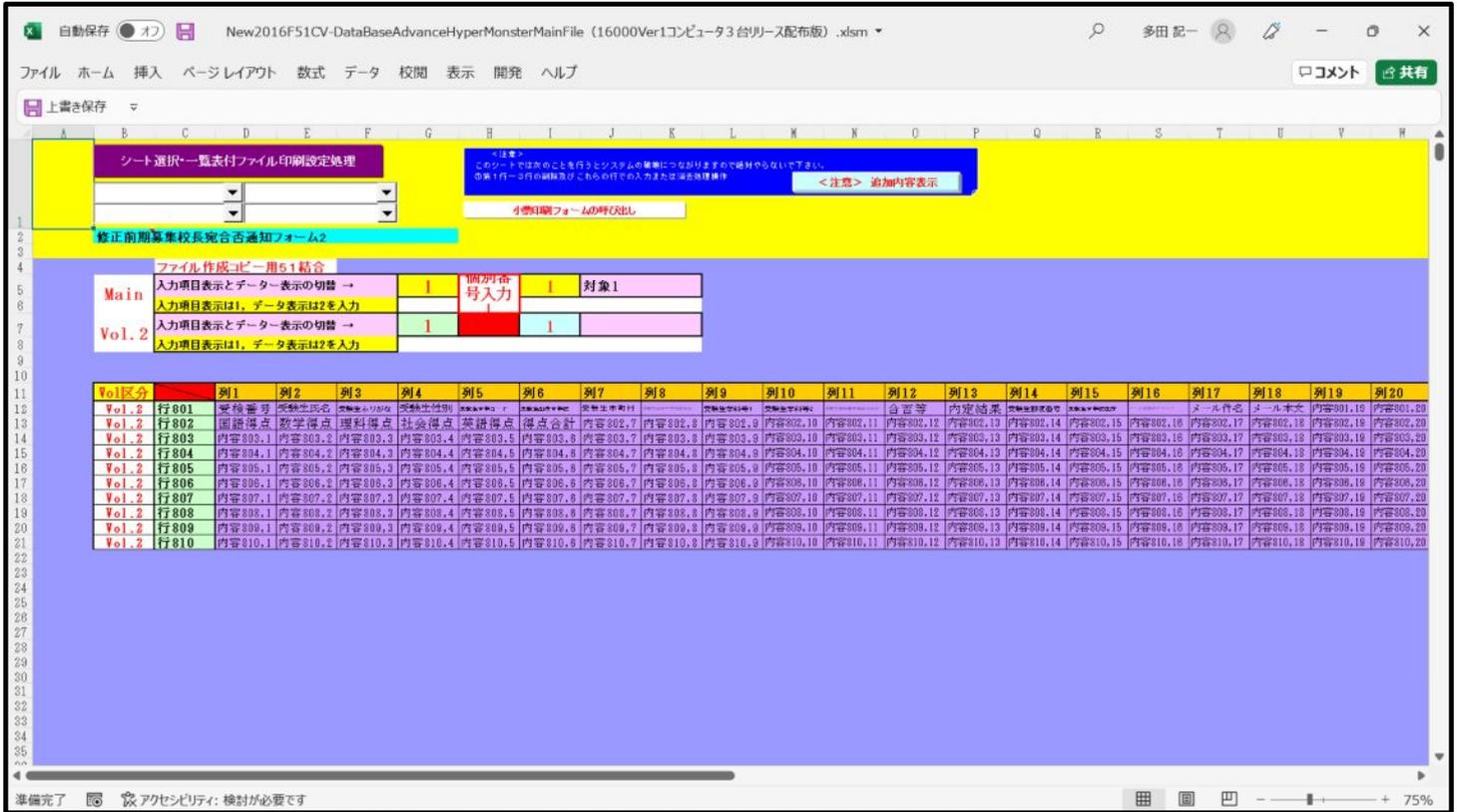


具体的には、**Main** や **Vol. 2** が表示されていない行、および画面をどんどん下側にスクロールしながら **Vol. 2** と表示されていない行および **Vol. 2** と表示されていても

Vol. 2	行801	受験番号	受験生氏名	受験生ふりがな	受験生性別	受験生中学校コード	受験生出身中学校	受験生市町村	*****	受験生学科等1	受験生学科等2	*****	合否等	内定結果	受験生郵便番号	受験生中学校住所	*****	メール件名	メール本文	内容801_19	内容801_20
Vol. 2	行802	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計	内容802_7	内容802_8	内容802_9	内容802_10	内容802_11	内容802_12	内容802_13	内容802_14	内容802_15	内容802_16	内容802_17	内容802_18	内容802_19	内容802_20
Vol. 2	行803	内容803_1	内容803_2	内容803_3	内容803_4	内容803_5	内容803_6	内容803_7	内容803_8	内容803_9	内容803_10	内容803_11	内容803_12	内容803_13	内容803_14	内容803_15	内容803_16	内容803_17	内容803_18	内容803_19	内容803_20
Vol. 2	行804	内容804_1	内容804_2	内容804_3	内容804_4	内容804_5	内容804_6	内容804_7	内容804_8	内容804_9	内容804_10	内容804_11	内容804_12	内容804_13	内容804_14	内容804_15	内容804_16	内容804_17	内容804_18	内容804_19	内容804_20
Vol. 2	行805	内容805_1	内容805_2	内容805_3	内容805_4	内容805_5	内容805_6	内容805_7	内容805_8	内容805_9	内容805_10	内容805_11	内容805_12	内容805_13	内容805_14	内容805_15	内容805_16	内容805_17	内容805_18	内容805_19	内容805_20
Vol. 2	行806	内容806_1	内容806_2	内容806_3	内容806_4	内容806_5	内容806_6	内容806_7	内容806_8	内容806_9	内容806_10	内容806_11	内容806_12	内容806_13	内容806_14	内容806_15	内容806_16	内容806_17	内容806_18	内容806_19	内容806_20
Vol. 2	行807	内容807_1	内容807_2	内容807_3	内容807_4	内容807_5	内容807_6	内容807_7	内容807_8	内容807_9	内容807_10	内容807_11	内容807_12	内容807_13	内容807_14	内容807_15	内容807_16	内容807_17	内容807_18	内容807_19	内容807_20
Vol. 2	行808	内容808_1	内容808_2	内容808_3	内容808_4	内容808_5	内容808_6	内容808_7	内容808_8	内容808_9	内容808_10	内容808_11	内容808_12	内容808_13	内容808_14	内容808_15	内容808_16	内容808_17	内容808_18	内容808_19	内容808_20
Vol. 2	行809	内容809_1	内容809_2	内容809_3	内容809_4	内容809_5	内容809_6	内容809_7	内容809_8	内容809_9	内容809_10	内容809_11	内容809_12	内容809_13	内容809_14	内容809_15	内容809_16	内容809_17	内容809_18	内容809_19	内容809_20
Vol. 2	行810	内容810_1	内容810_2	内容810_3	内容810_4	内容810_5	内容810_6	内容810_7	内容810_8	内容810_9	内容810_10	内容810_11	内容810_12	内容810_13	内容810_14	内容810_15	内容810_16	内容810_17	内容810_18	内容810_19	内容810_20

と表示されていない全ての行を削除していきます。全て削除した結果の状況は、次の[図 1 2 0]の画面のようになります。

【図 1 2 0】



それではこれから「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の1行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲をPDFの添付ファイルとしてメール送信する場合の「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式設計をおこなってまいります。

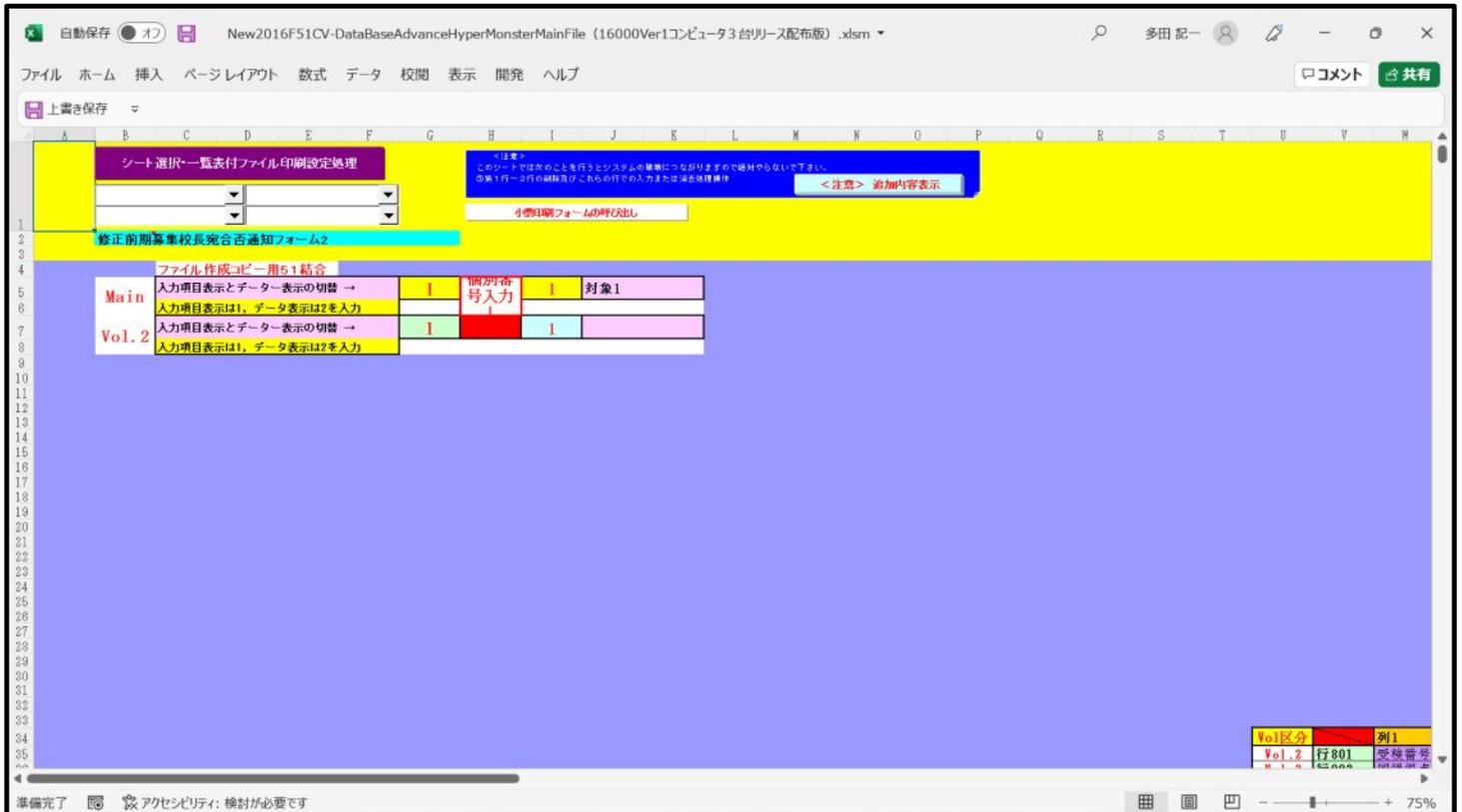
先ず、設計をおこなうための編集部分を確保する必要があります。

上の【図 1 2 0】の画面の

Vol. 2	行801	受験番号	受験生氏名	受験生ふりがな	受験生性別	受験生学年	受験生市町村	受験生学科1	受験生学科2	合否等	内定結果	受験生郵便番号	受験生住所	メール件名	メール本文	内容801, 19	内容801, 20	
Vol. 2	行802	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計	内容802, 7	内容802, 8	内容802, 9	内容802, 10	内容802, 11	内容802, 12	内容802, 13	内容802, 14	内容802, 15	内容802, 16	内容802, 17
Vol. 2	行803	内容803, 1	内容803, 2	内容803, 3	内容803, 4	内容803, 5	内容803, 6	内容803, 7	内容803, 8	内容803, 9	内容803, 10	内容803, 11	内容803, 12	内容803, 13	内容803, 14	内容803, 15	内容803, 16	内容803, 17
Vol. 2	行804	内容804, 1	内容804, 2	内容804, 3	内容804, 4	内容804, 5	内容804, 6	内容804, 7	内容804, 8	内容804, 9	内容804, 10	内容804, 11	内容804, 12	内容804, 13	内容804, 14	内容804, 15	内容804, 16	内容804, 17
Vol. 2	行805	内容805, 1	内容805, 2	内容805, 3	内容805, 4	内容805, 5	内容805, 6	内容805, 7	内容805, 8	内容805, 9	内容805, 10	内容805, 11	内容805, 12	内容805, 13	内容805, 14	内容805, 15	内容805, 16	内容805, 17
Vol. 2	行806	内容806, 1	内容806, 2	内容806, 3	内容806, 4	内容806, 5	内容806, 6	内容806, 7	内容806, 8	内容806, 9	内容806, 10	内容806, 11	内容806, 12	内容806, 13	内容806, 14	内容806, 15	内容806, 16	内容806, 17
Vol. 2	行807	内容807, 1	内容807, 2	内容807, 3	内容807, 4	内容807, 5	内容807, 6	内容807, 7	内容807, 8	内容807, 9	内容807, 10	内容807, 11	内容807, 12	内容807, 13	内容807, 14	内容807, 15	内容807, 16	内容807, 17
Vol. 2	行808	内容808, 1	内容808, 2	内容808, 3	内容808, 4	内容808, 5	内容808, 6	内容808, 7	内容808, 8	内容808, 9	内容808, 10	内容808, 11	内容808, 12	内容808, 13	内容808, 14	内容808, 15	内容808, 16	内容808, 17
Vol. 2	行809	内容809, 1	内容809, 2	内容809, 3	内容809, 4	内容809, 5	内容809, 6	内容809, 7	内容809, 8	内容809, 9	内容809, 10	内容809, 11	内容809, 12	内容809, 13	内容809, 14	内容809, 15	内容809, 16	内容809, 17
Vol. 2	行810	内容810, 1	内容810, 2	内容810, 3	内容810, 4	内容810, 5	内容810, 6	内容810, 7	内容810, 8	内容810, 9	内容810, 10	内容810, 11	内容810, 12	内容810, 13	内容810, 14	内容810, 15	内容810, 16	内容810, 17

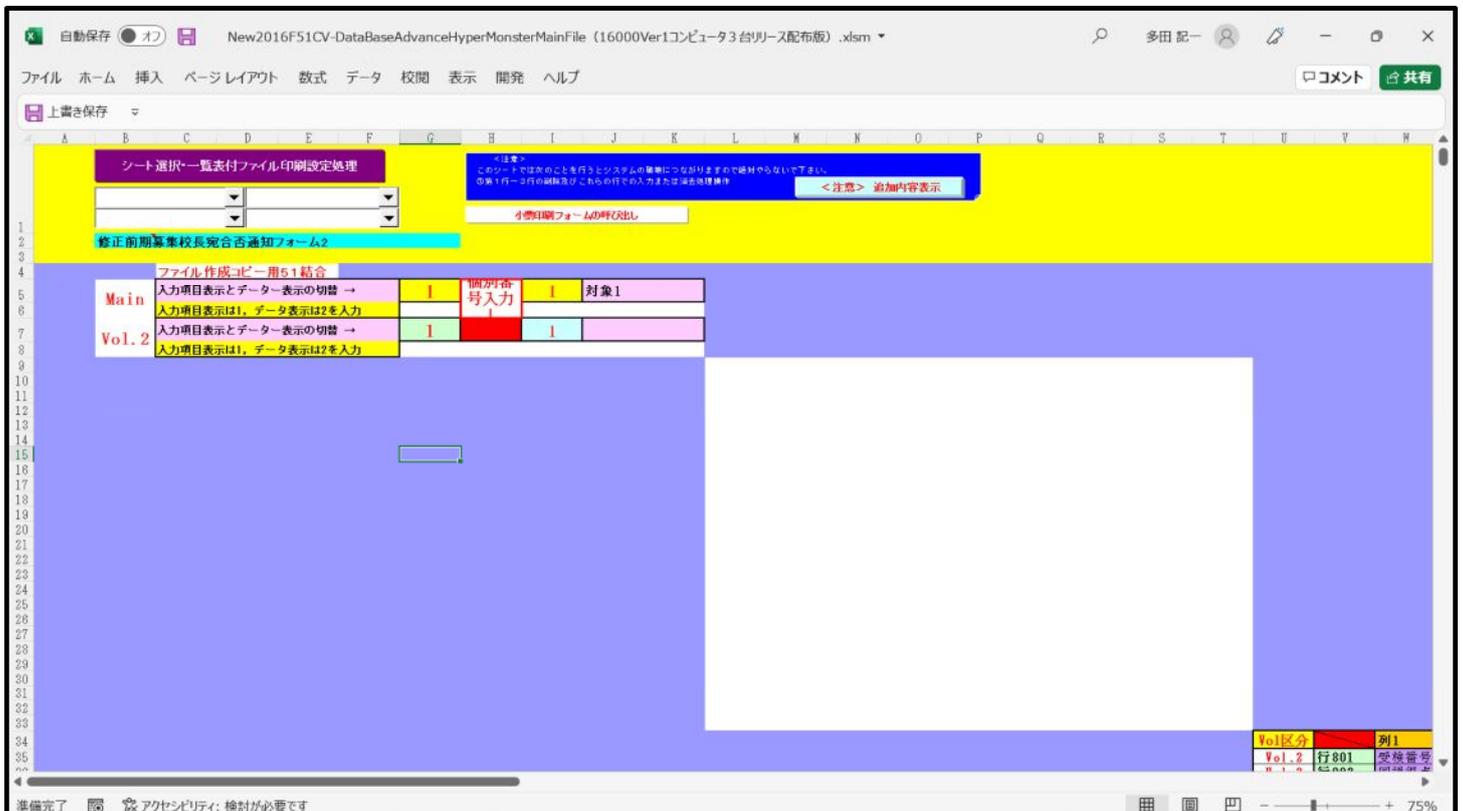
部分を切り取り、次の【図 1 2 1】の画面の位置にとりあえず貼り付けておきます。

[図 1 2 1]



そして上の[図 1 2 1]の画面において、部分的にセル範囲の背景色を色抜きにしますが、色抜きにしたものを次の[図 1 2 2]の画面に表示させます。色抜きにする範囲は後からいくらでも調整できますので、適当に範囲は選択して結構です。

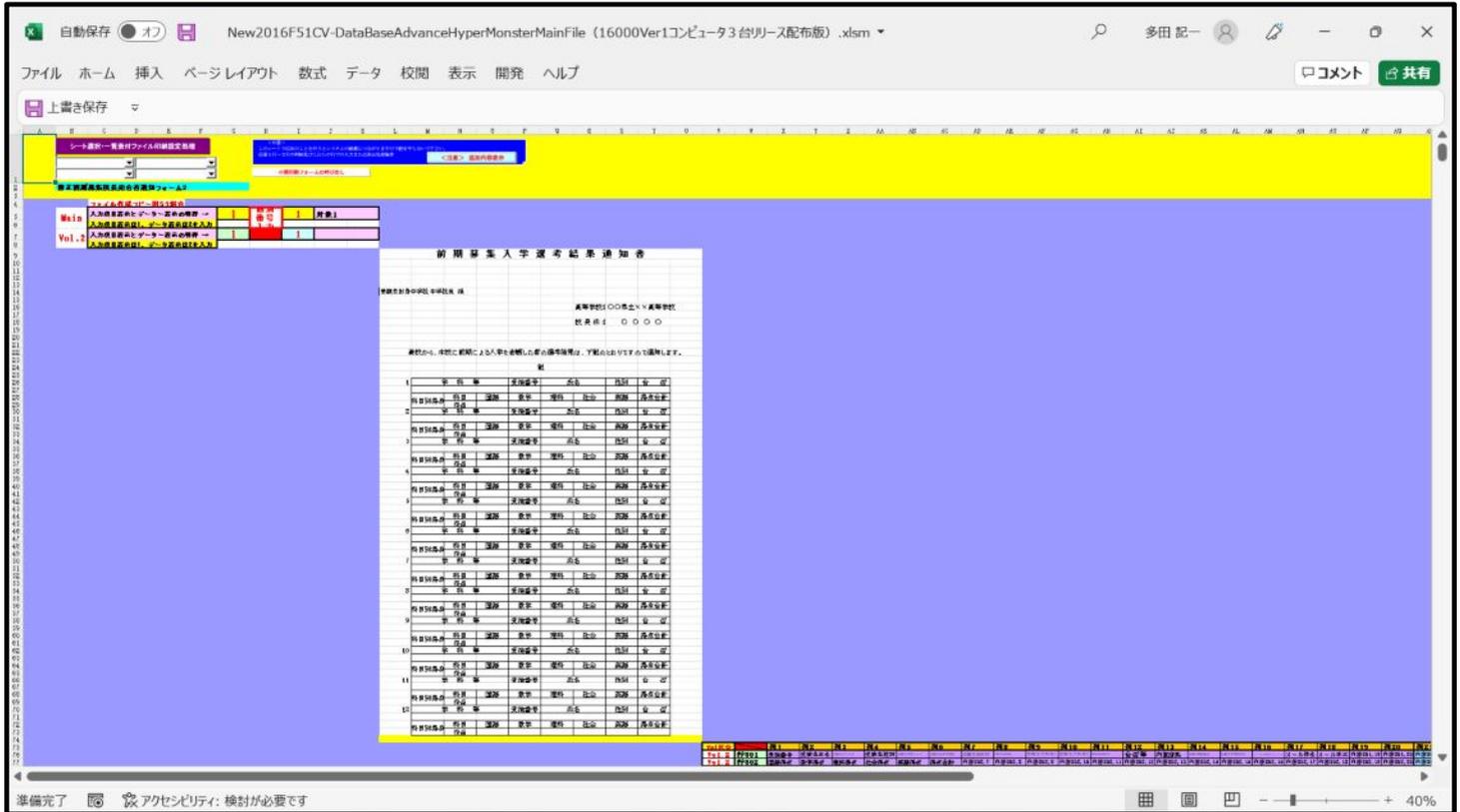
[図 1 2 2]



上の[図 1 2 2]の画面の背景色を色抜きにしたセル範囲の部分に、どのような様式に設計していくのかそのアウトラインを作成しておきます。アウトラインを作成したのが次の[図 1 2 3]の画面です。但し、表示倍

率を 40%としています。

[図 1 2 3]



そして、

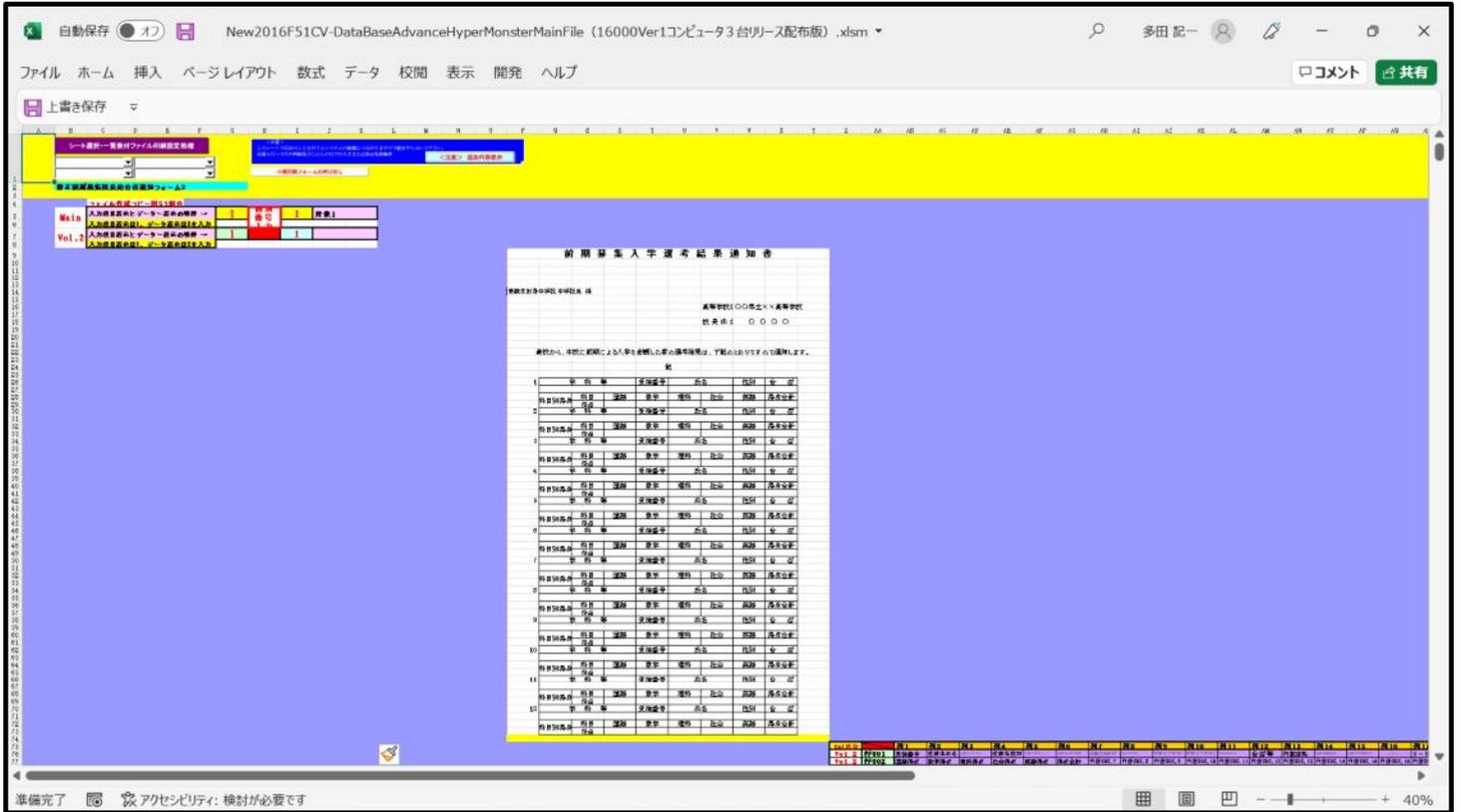
1	対象1
---	-----

部分および

Vol.2		1		1	対象1		
-------	--	---	--	---	-----	--	--

の部分を切り取って貼り付けるため、上の[図 1 2 3]の画面のシートの H9 から K85 のセル範囲を選択し、列を 4 列挿入し右方向にシフトさせ、次の[図 1 2 4]の画面のようにします。

[図 1 2 4]



そして、

1	対象1
---	-----

部分および

Vol. 2		1		1	対象1
--------	--	---	--	---	-----

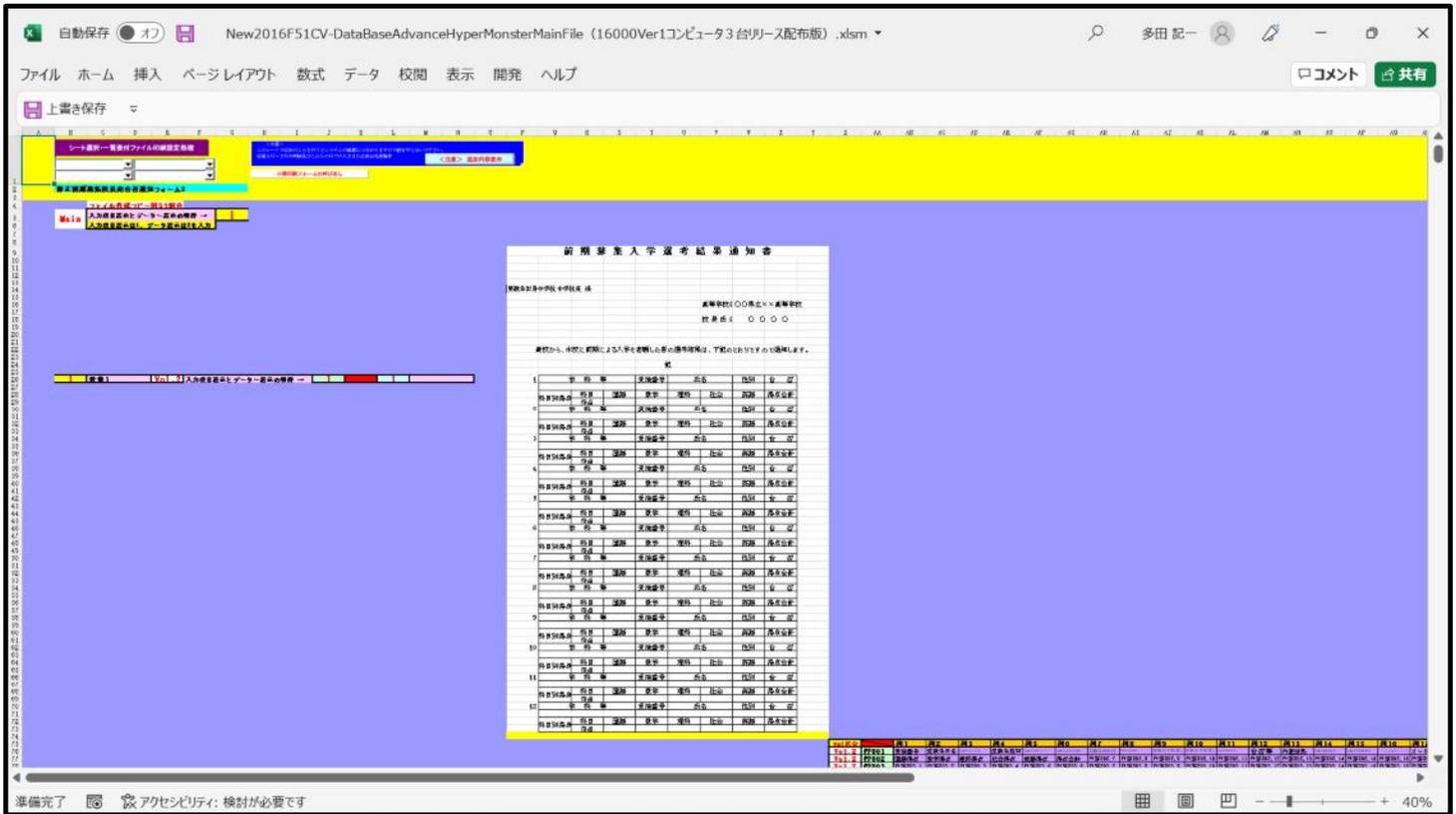
の部分を切り取って、次の[図 1 2 5]の画面のように B26 から N26 までのそれぞれの位置に貼り付けま

す。但し、

Vol. 2

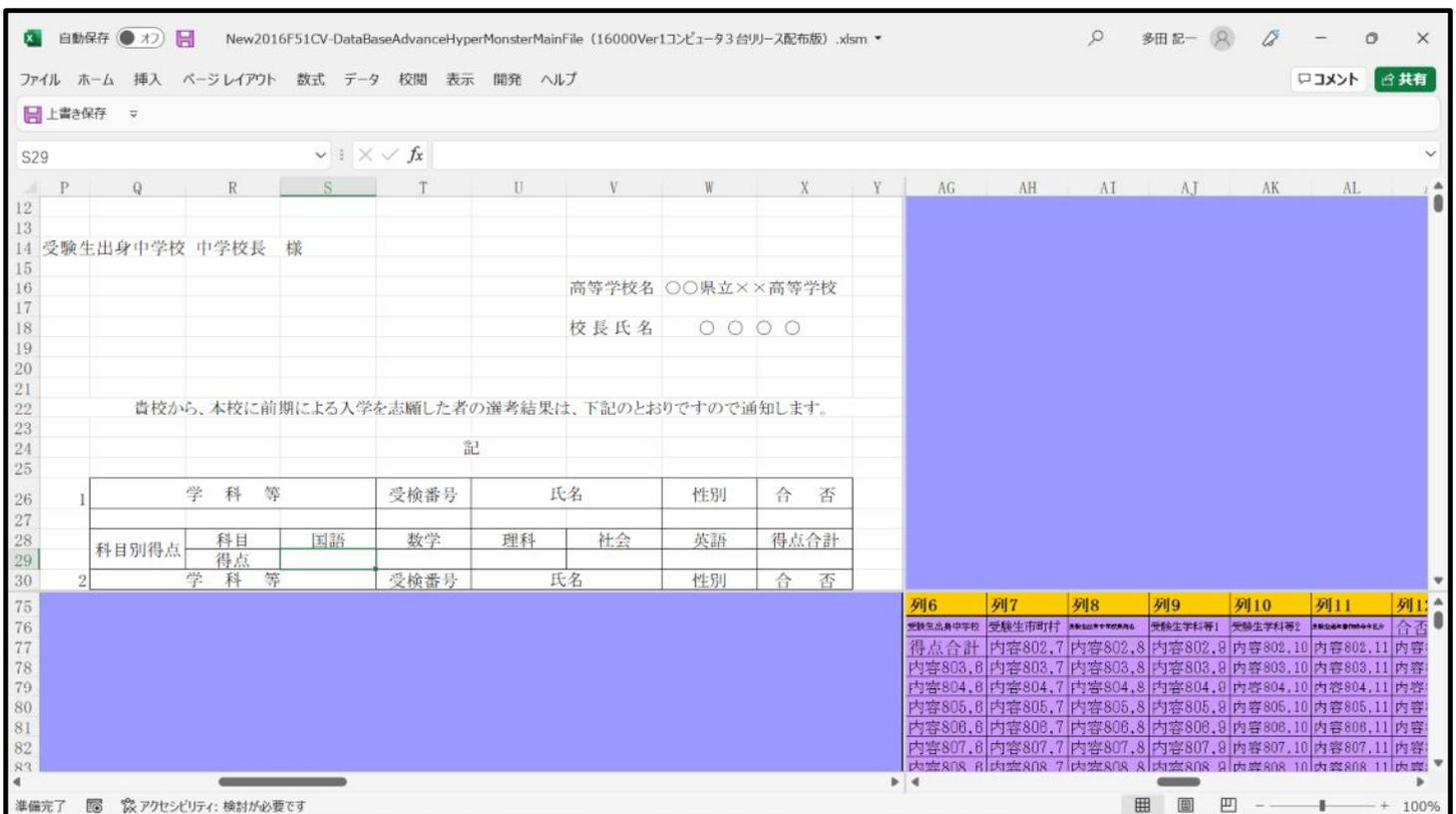
と表示されているセルは、セルが結合されているので、結合を解除する必要があります。また、必要に応じて不要なセル等を削除をし行高も変更しています。

【図 1 2 5】



上の【図 1 2 5】の画面の表示倍率を 100%に上げてで画面分割をおこない、次の【図 1 2 6】の画面のように設定します。

【図 1 2 6】



それではこれから具体的な編集作業をおこなってまいります。

先ず、上の【図 1 2 6】の画面の右下の「受験生出身中学校」と表示されているセルを切り取り右上の

受験生出身中学校 中学校長 様

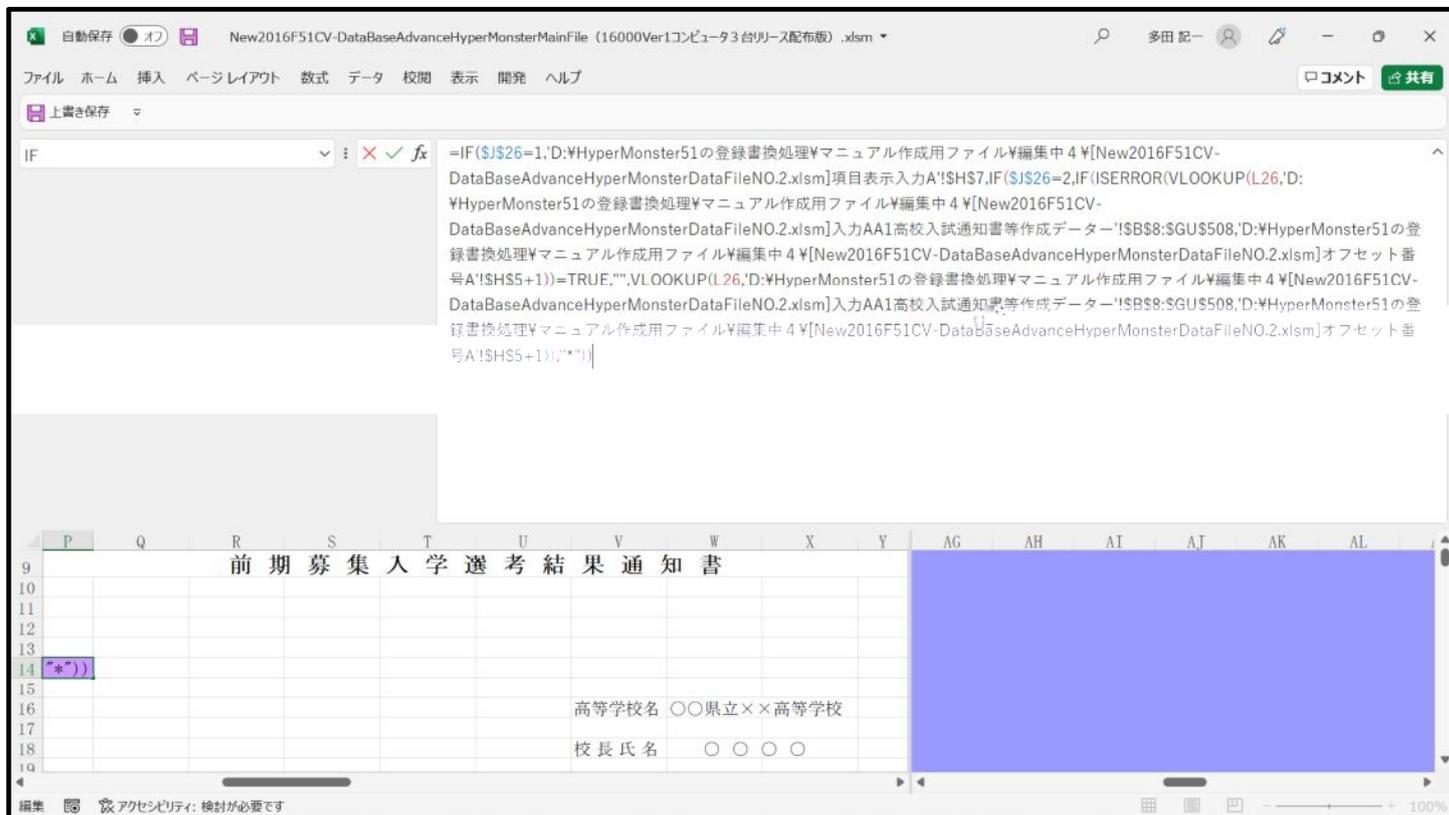
と表示されている最も左側のセルに貼り付けます。貼り付け

表示

数式バー

たら をクリックし とチェックを入れ、貼り付けたセルを選択し数式バーの内容全体を表示させ次の[図 1 2 7]の画面のように設定します。

[図 1 2 7]



そしたら上の[図 1 2 7]の画面の数式の表示部分

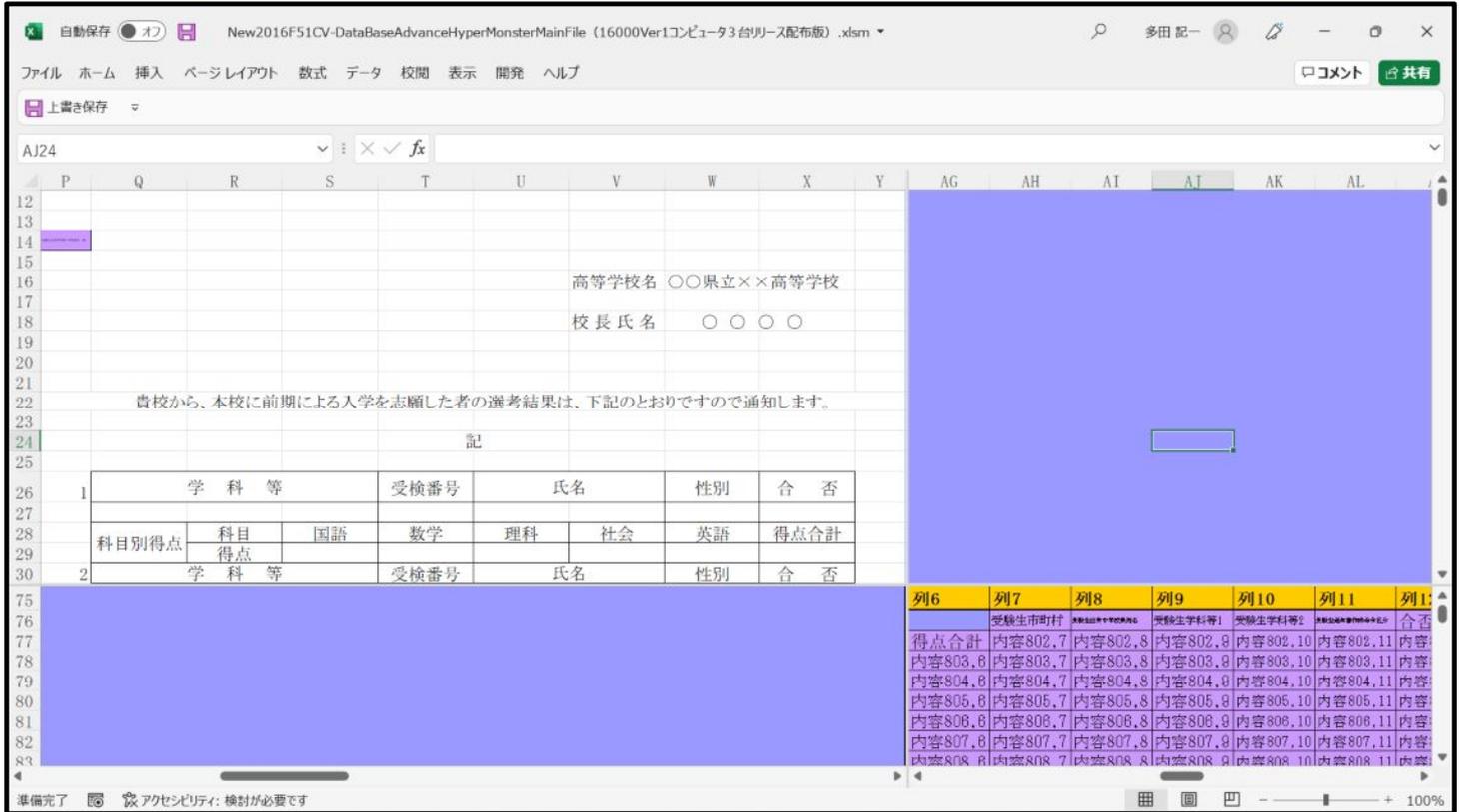
```
=IF($J$26=1,'D:¥HyperMonster51の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中4 ¥[New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]項目表示入力A!$H$7,IF($J$26=2,IF(ISERROR(VLOOKUP(L26,'D:¥HyperMonster51の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中4 ¥[New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]入力AA1高校入試通知書等作成データー!$B$8:$GU$508,'D:¥HyperMonster51の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中4 ¥[New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]オフセット番号A!$H$5+1))=TRUE,"",VLOOKUP(L26,'D:¥HyperMonster51の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中4 ¥[New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]入力AA1高校入試通知書等作成データー!$B$8:$GU$508,'D:¥HyperMonster51の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中4 ¥[New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]オフセット番号A!$H$5+1)),"*"))
```

の最後の部分に「& 中学校長 様」と付け加えます。つまり、数式の全体は、

```
=IF($J$26=1,'D:¥HyperMonster51の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中4 ¥[New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]項目表示入力A!$H$7,IF($J$26=2,IF(ISERROR(VLOOKUP(L26,'D:¥HyperMonster51の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中4 ¥[New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]入力AA1高校入試通知書等作成データー!$B$8:$GU$508,'D:¥HyperMonster51の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中4 ¥[New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]オフセット番号A!$H$5+1))=TRUE,"",VLOOKUP(L26,'D:¥HyperMonster51の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中4 ¥[New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]入力AA1高校入試通知書等作成データー!$B$8:$GU$508,'D:¥HyperMonster51の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中4 ¥[New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]オフセット番号A!$H$5+1)),"*"))&" 中学校長 様"
```

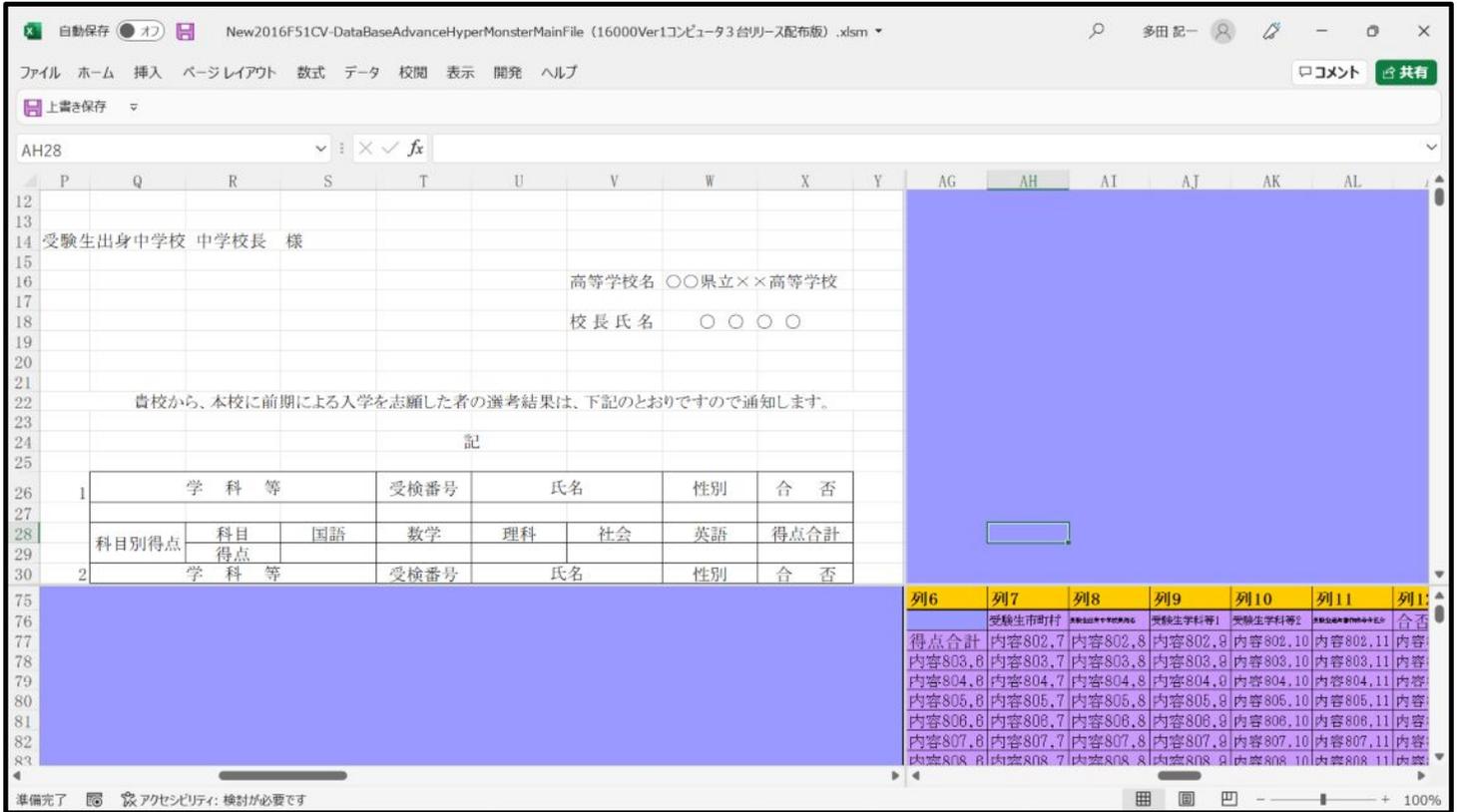
のようになります。そして、**Enter** キーを押して数式のチェックを外して 数式バー とすると上の
 [図 1 2 6]の画面は次の[図 1 2 8]の画面のようになります。

[図 1 2 8]



そして、上の[図 1 2 8]の画面の 4 個のセル を選択してセルを結合しセルの背景色を抜くと次の[図 1 2 9]の画面のようになります。

【図 1 2 9】

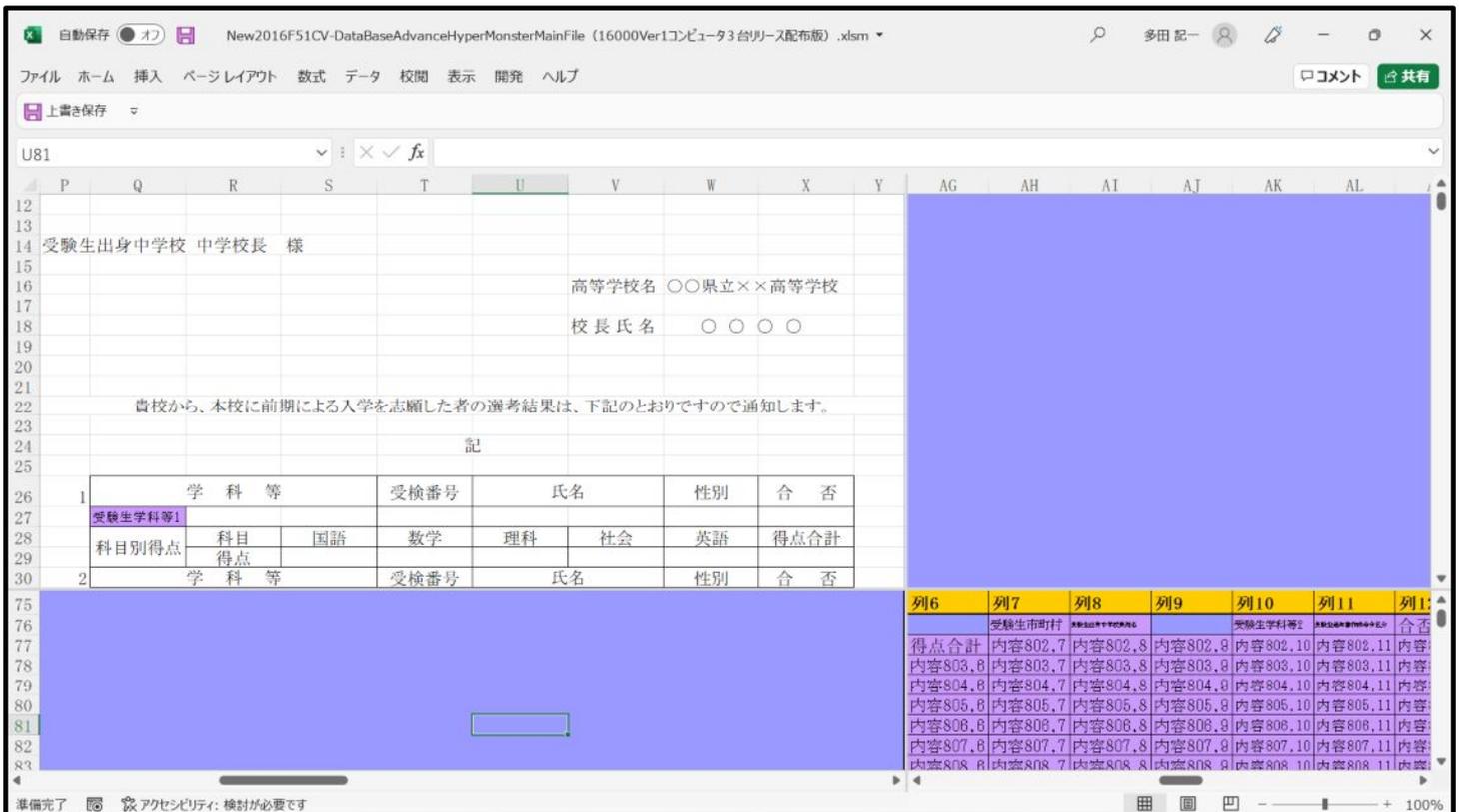


編集を続けます。上の【図 1 2 9】の画面の右下の「受験生学科等1」と表示されているセルを切り取り、左上の



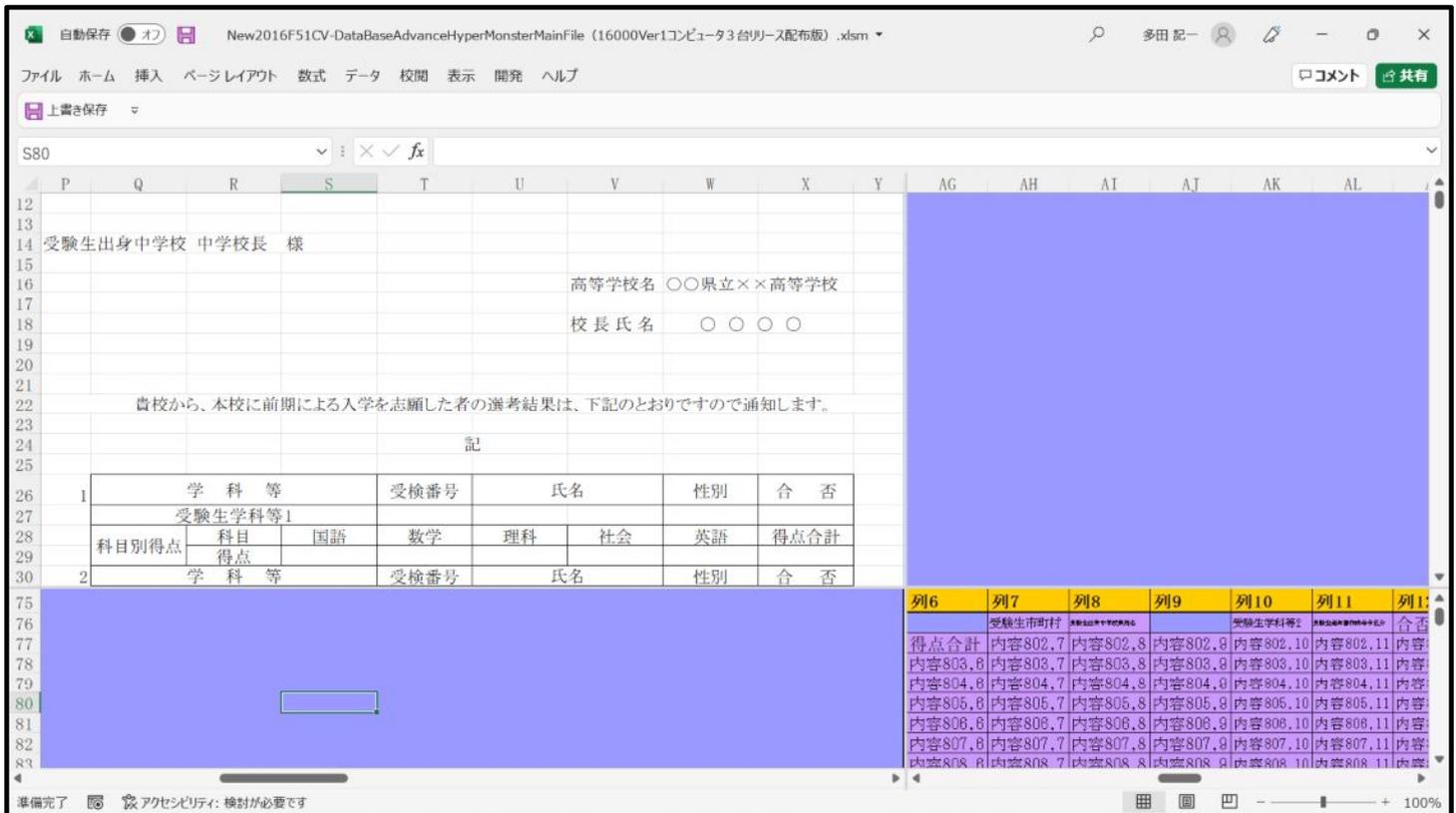
と表示されている下側の3個の空白のセルのうち最も左側のセルに貼り付けます。その結果次の【図 1 3 0】の画面のようになります。

【図 1 3 0】



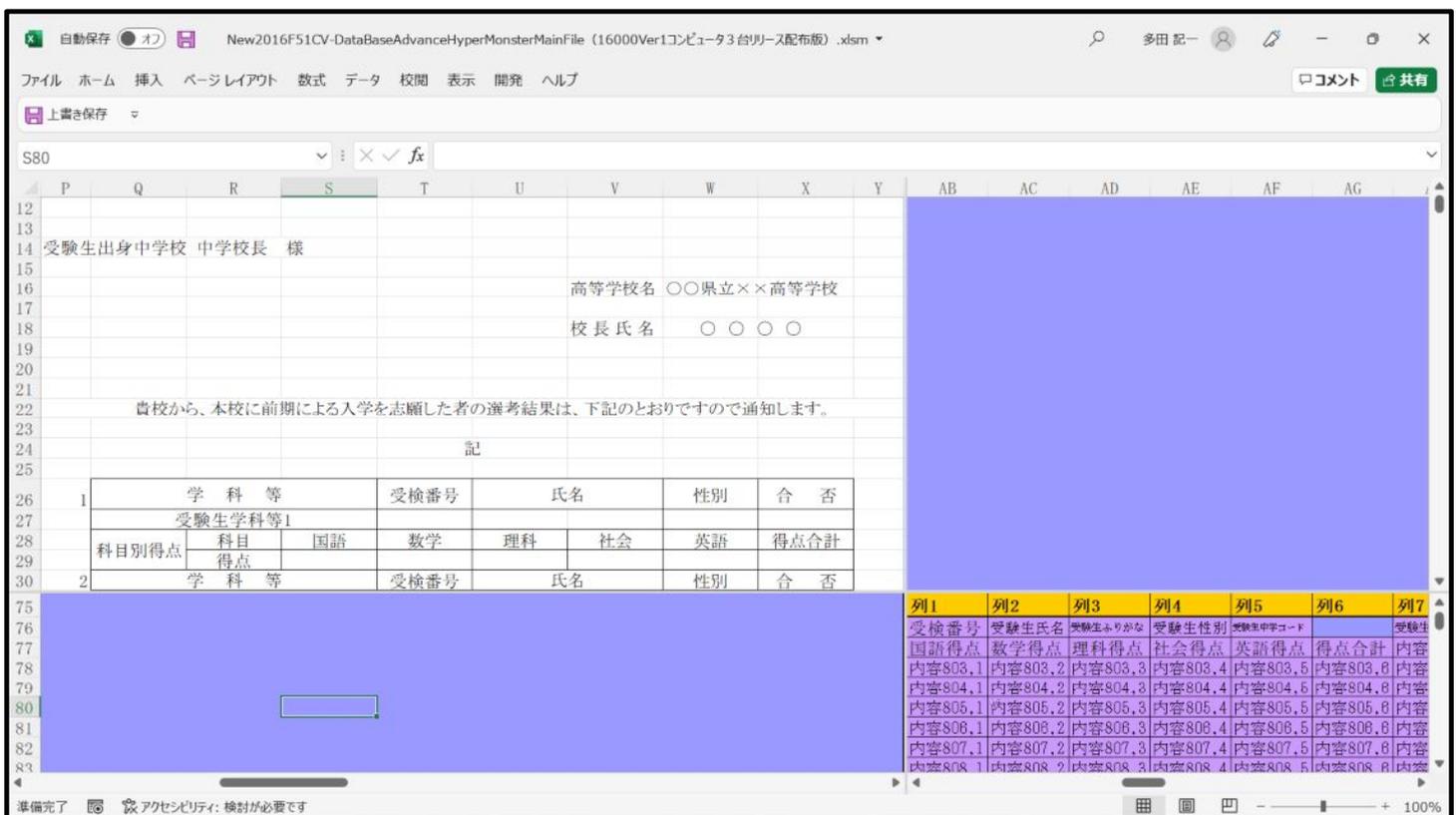
そして、上の[図130]の画面の受験生学科等1 と表示されている3個のセルを結合し背景色を抜くと、次の上の[図131]の画面のようになります。

[図131]

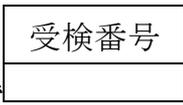


次に上の[図131]の画面の右下の部分を実際に左側にスライドして、次の[図132]の画面のようになります。

[図132]

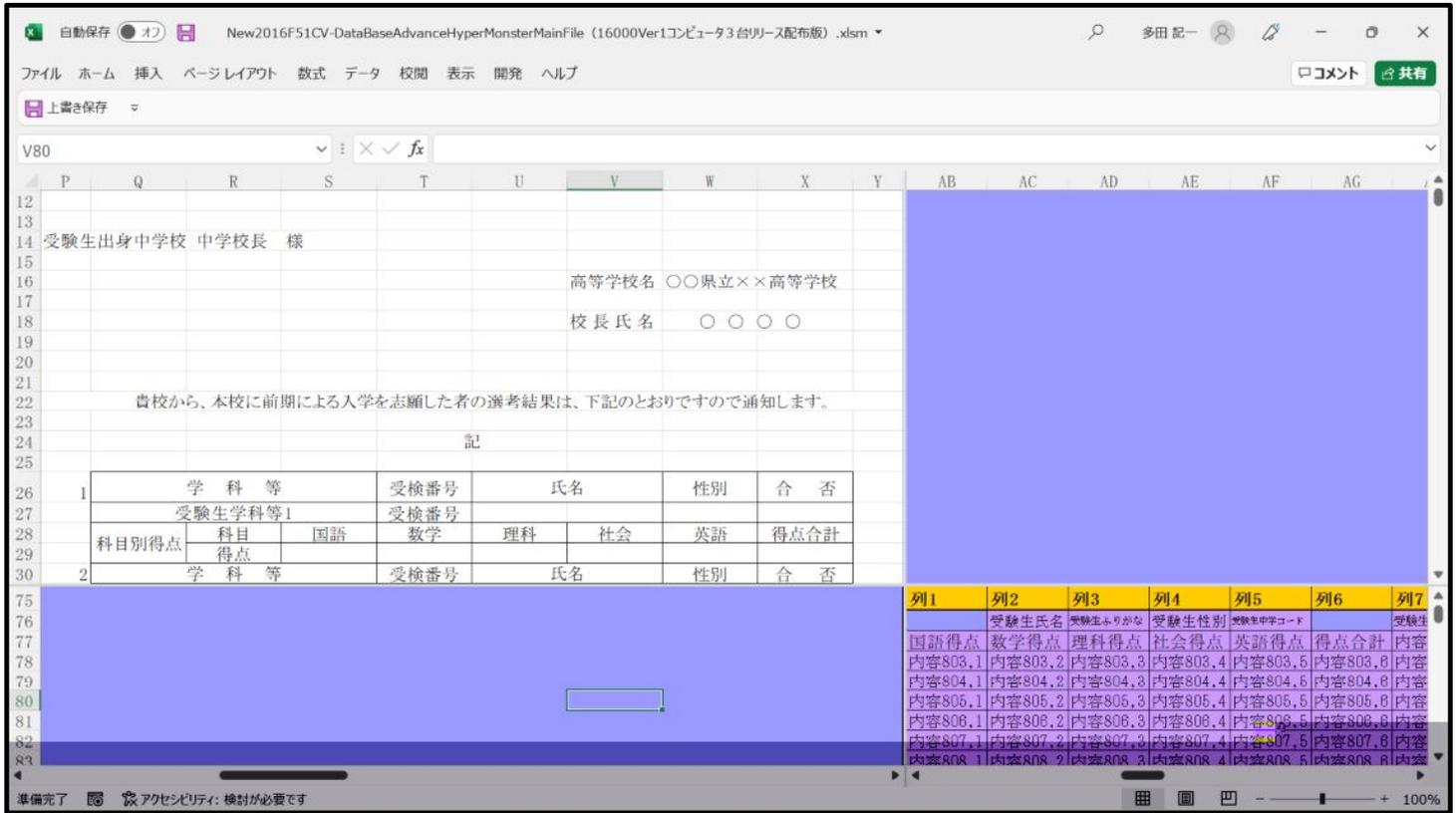


次に上の[図 1 3 2]の画面の右の下側の「受験番号」と表示されているセルを切り取り、



左上の画面で「」と表示されている下側の空白のセルに貼り付けます。貼り付けたらセルの背景色抜くと次の[図 1 3 3]の画面のようになります。

[図 1 3 3]

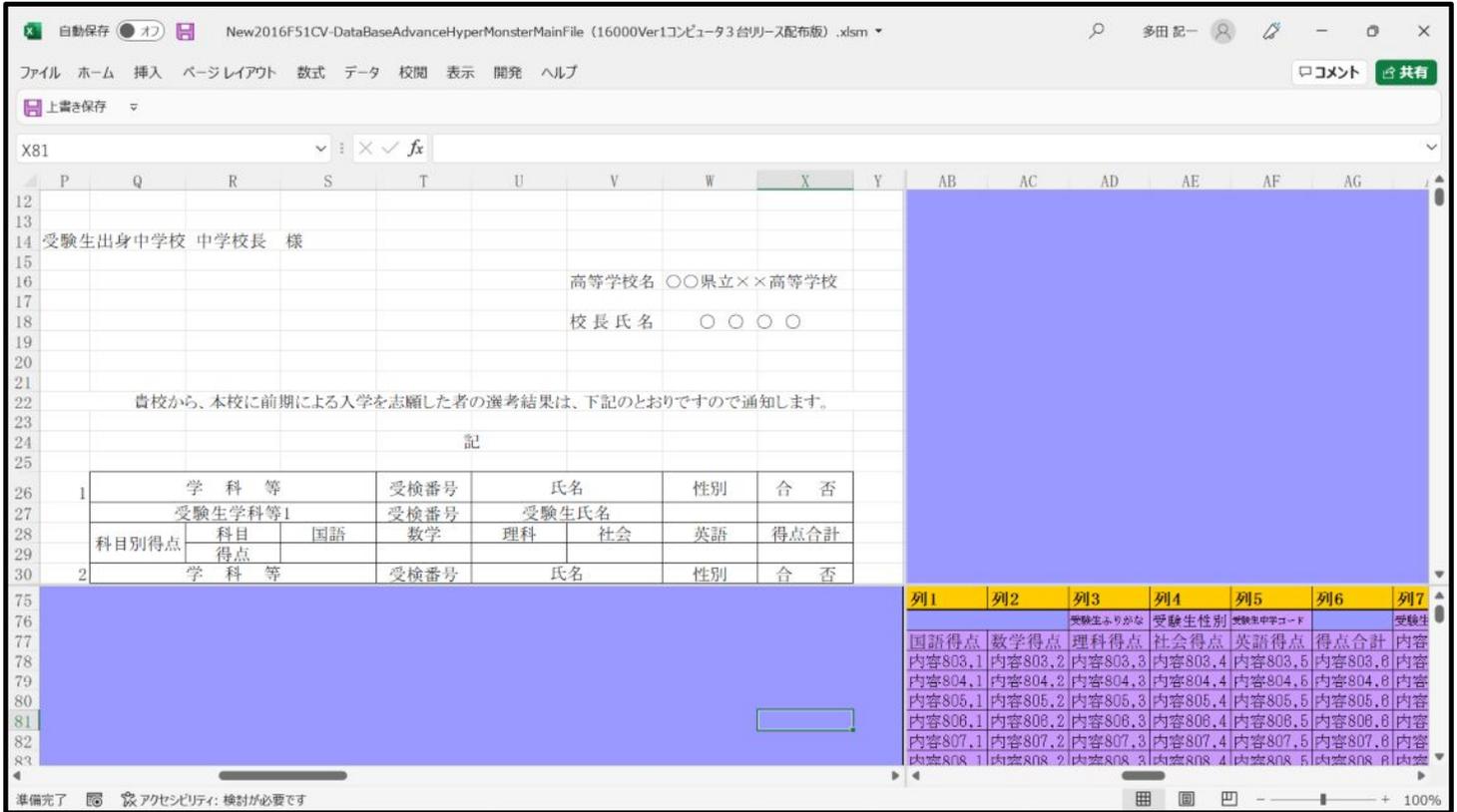


次に上の[図 1 3 3]の画面の右下の画面で「受験生氏名」と表示されているセルを切り取り、左上の



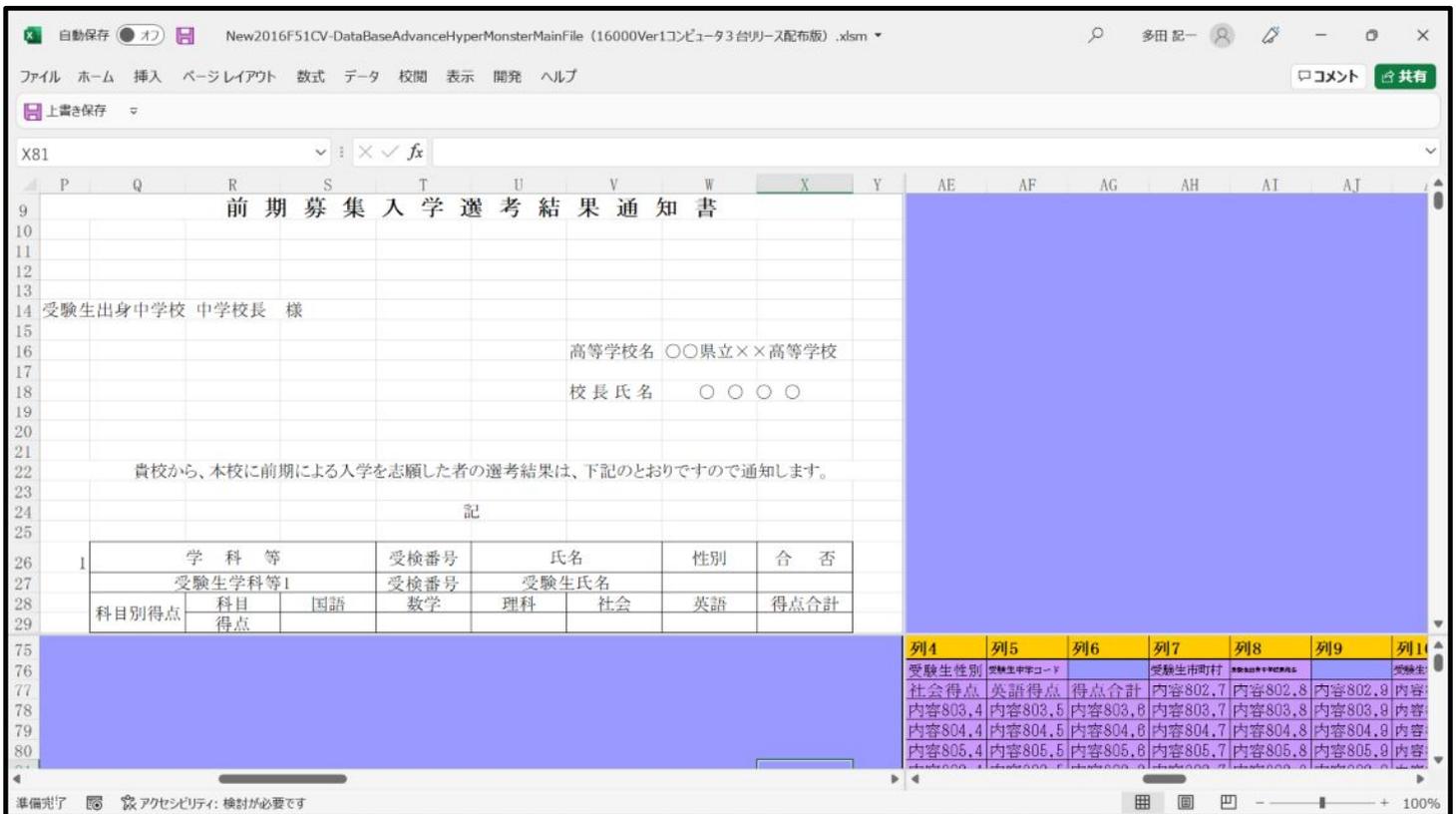
「」と表示されている下側の2個の空白のセルのうち左のセルに貼り付けます。貼り付けたらして側の2個のセルを結合し背景色を抜くと、次の[図 1 3 4]の画面のようになります。

【図 1 3 4】



次に上の【図 1 3 4】の画面で右下の画面を右にスライドさせて、次の【図 1 3 5】の画面のようにします。

【図 1 3 5】

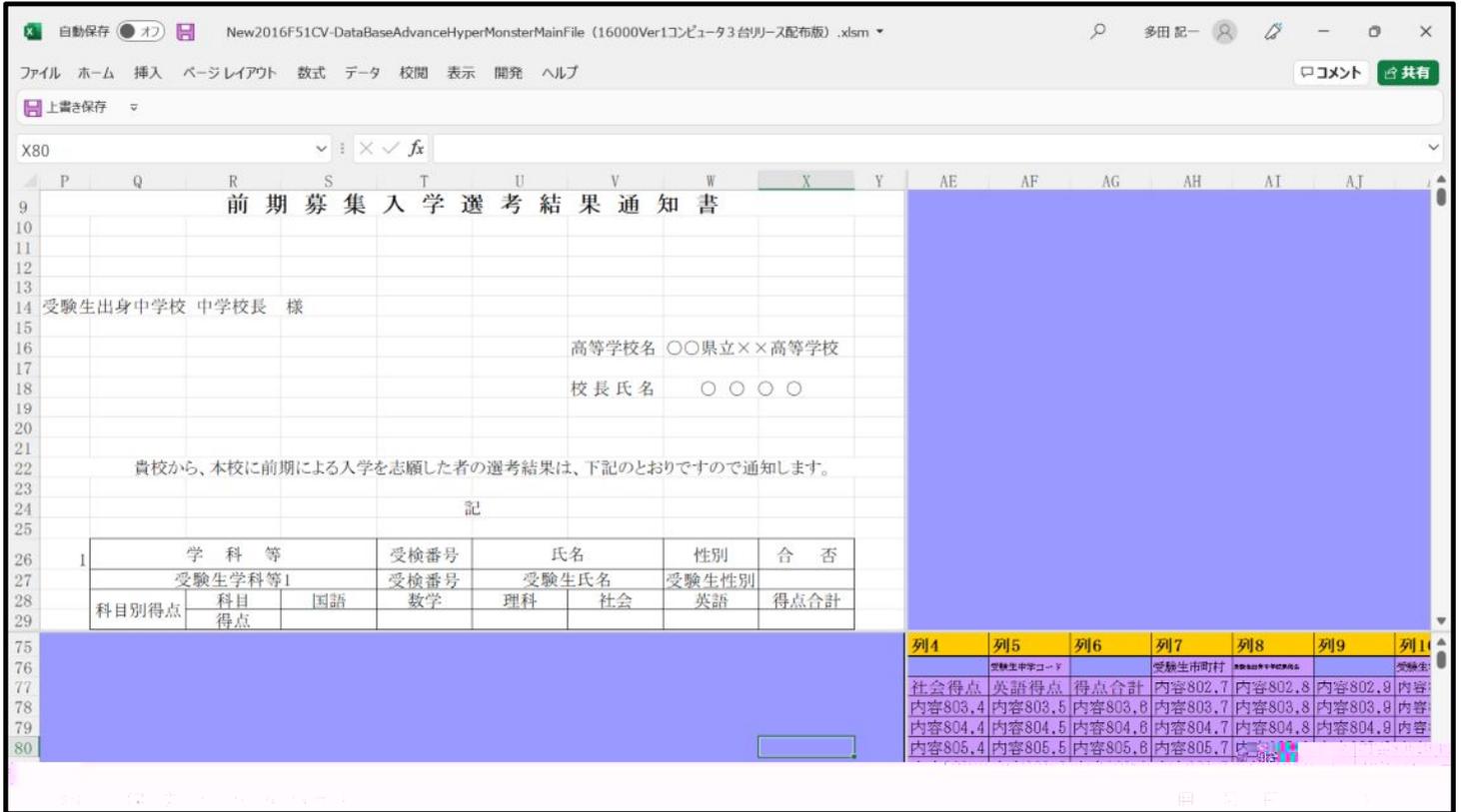


そして、上の【図 1 3 5】の画面の右下の「受験生性別」と表示されているセルを切り取り、左上の

性別

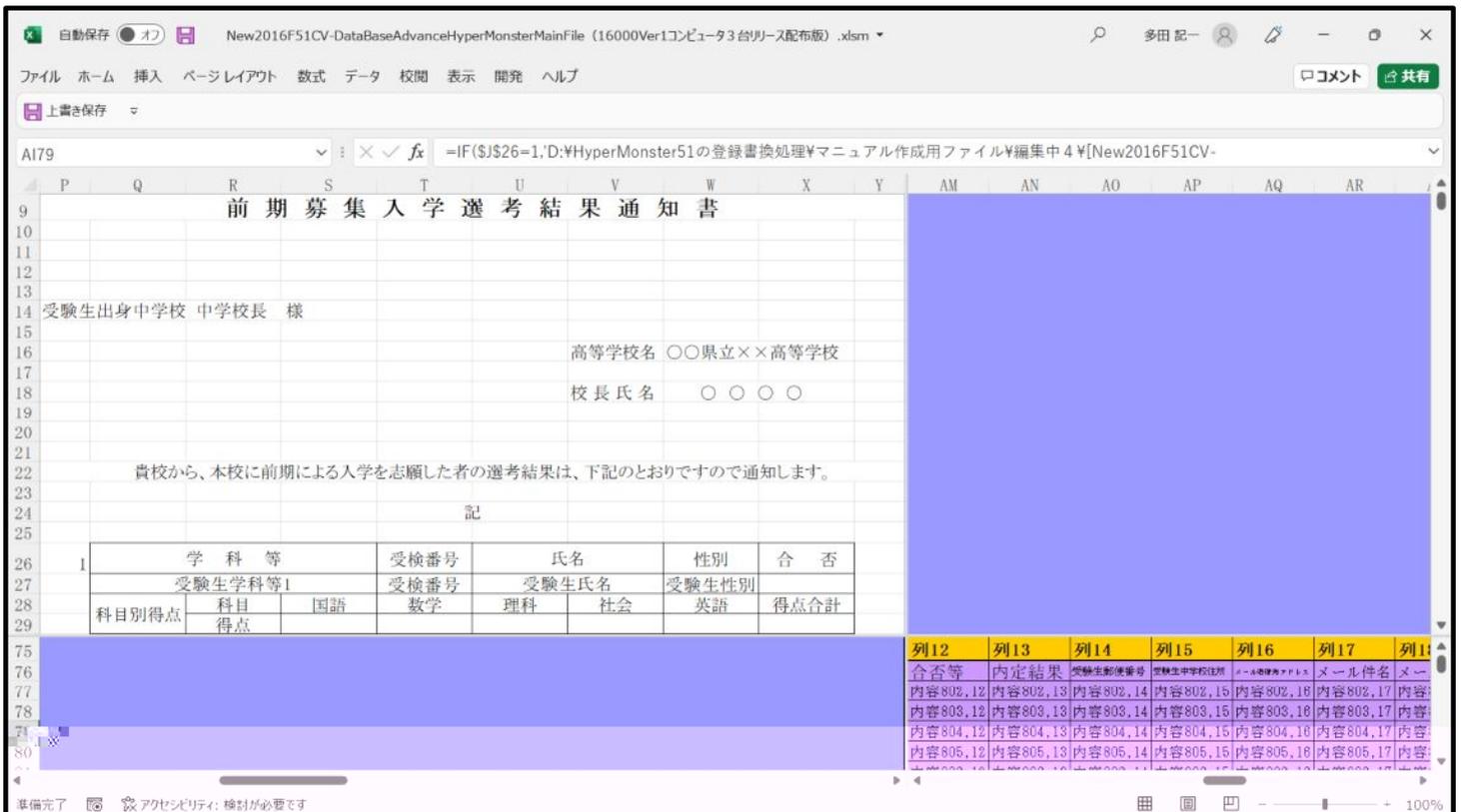
と表示されている部分の下側の空白のセルに貼り付けセルの背景色を抜くと、次の【図136】の画面のようになります。

【図136】



そして、上の【図136】の画面の右下を右にスライドさせて次の【図137】の画面のようになります。

【図137】



合 否

上の【図 1 3 7】の画面の右下の【合否等】と表示されているセルを切り取り、左上のと表示されている部分の下側の空白のセルに貼り付けます。貼り付けセルの背景色を抜くと次の【図 1 3 8】のようになります。

【図 1 3 8】

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following content:

9 前期募集入学選考結果通知書

14 受験生出身中学校 中学校長 様

16 高等学校名 ○○県立××高等学校

18 校長氏名 ○ ○ ○ ○

22 貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

24 記

学 科 等	受検番号	氏名	性別	合 否			
受験生学科等I	受検番号	受験生氏名	受験生性別	合否等			
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計

75 列12 列13 列14 列15 列16 列17 列18

76 内容802,12 内容802,13 内容802,14 内容802,15 内容802,16 内容802,17 内容802,18

77 内容803,12 内容803,13 内容803,14 内容803,15 内容803,16 内容803,17 内容803,18

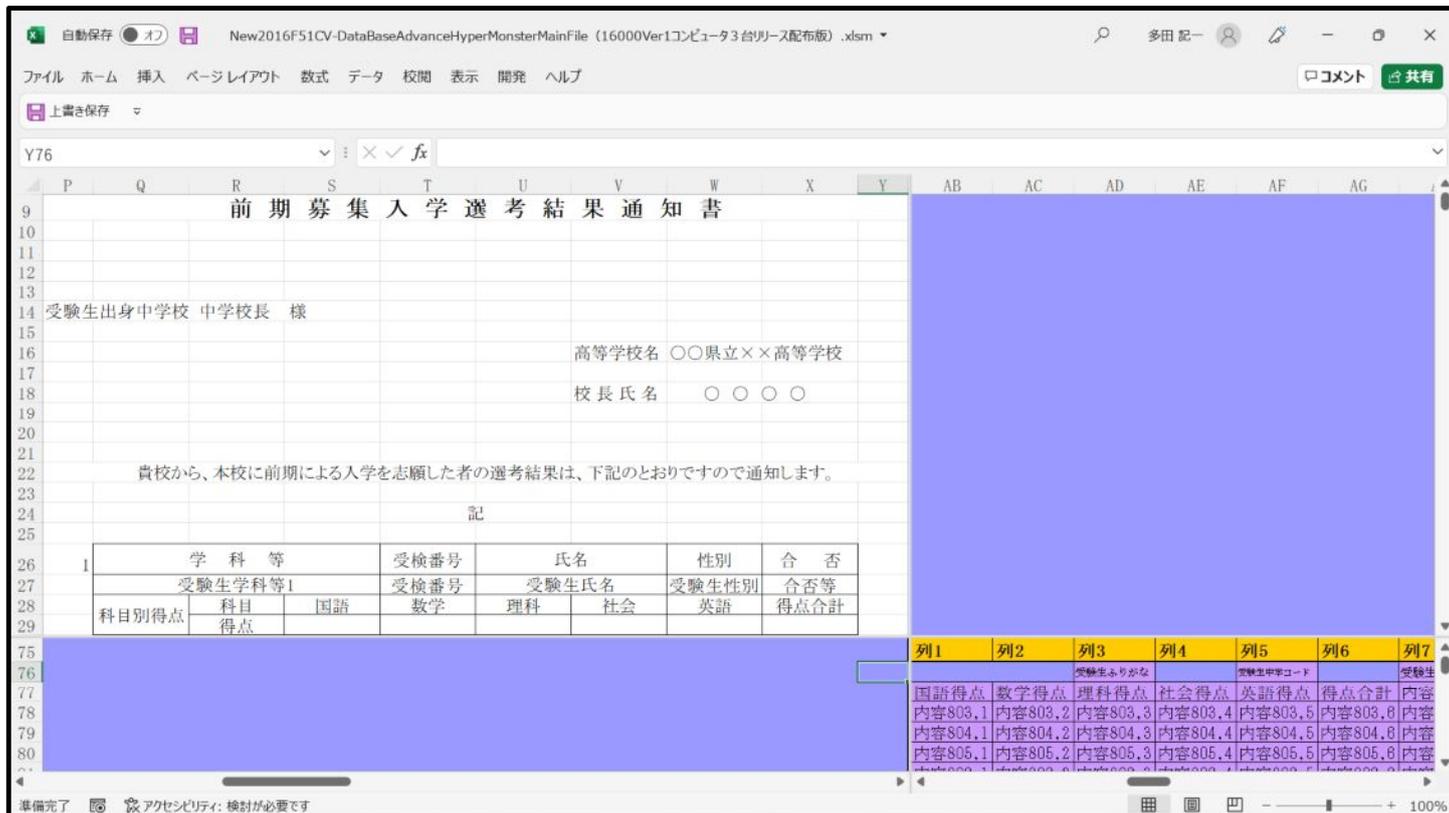
78 内容804,12 内容804,13 内容804,14 内容804,15 内容804,16 内容804,17 内容804,18

79 内容805,12 内容805,13 内容805,14 内容805,15 内容805,16 内容805,17 内容805,18

80 内容806,12 内容806,13 内容806,14 内容806,15 内容806,16 内容806,17 内容806,18

そして今度は得点の部分の編集です。上の【図 1 3 8】の画面の右下の部分を中心に左にスライドさせて次の【図 1 3 9】の画面に設定します。

【図 1 3 9】

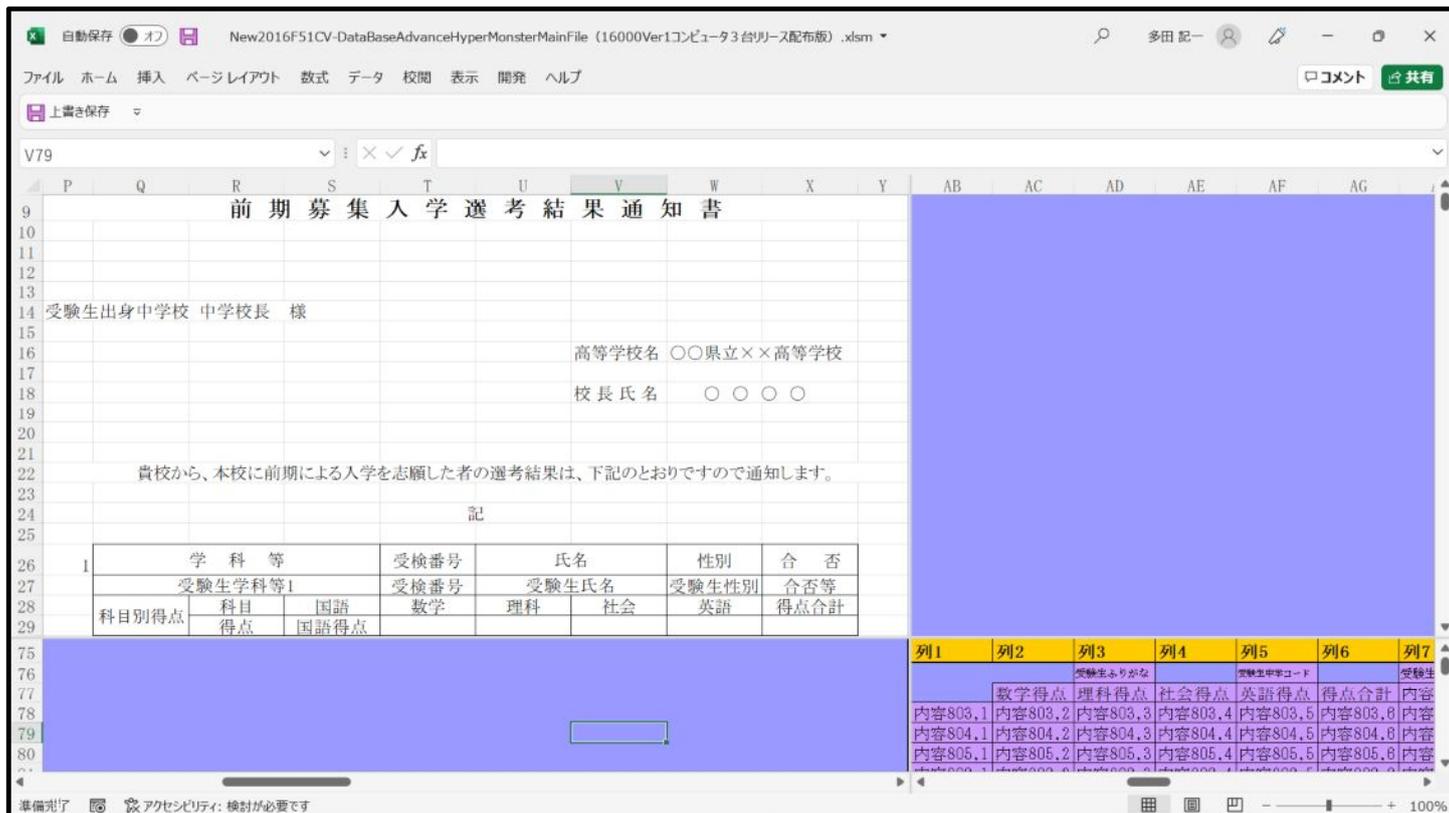


上の【図 1 3 9】の画面の右下の「国語得点」のセルを切り取り、左上の

国語

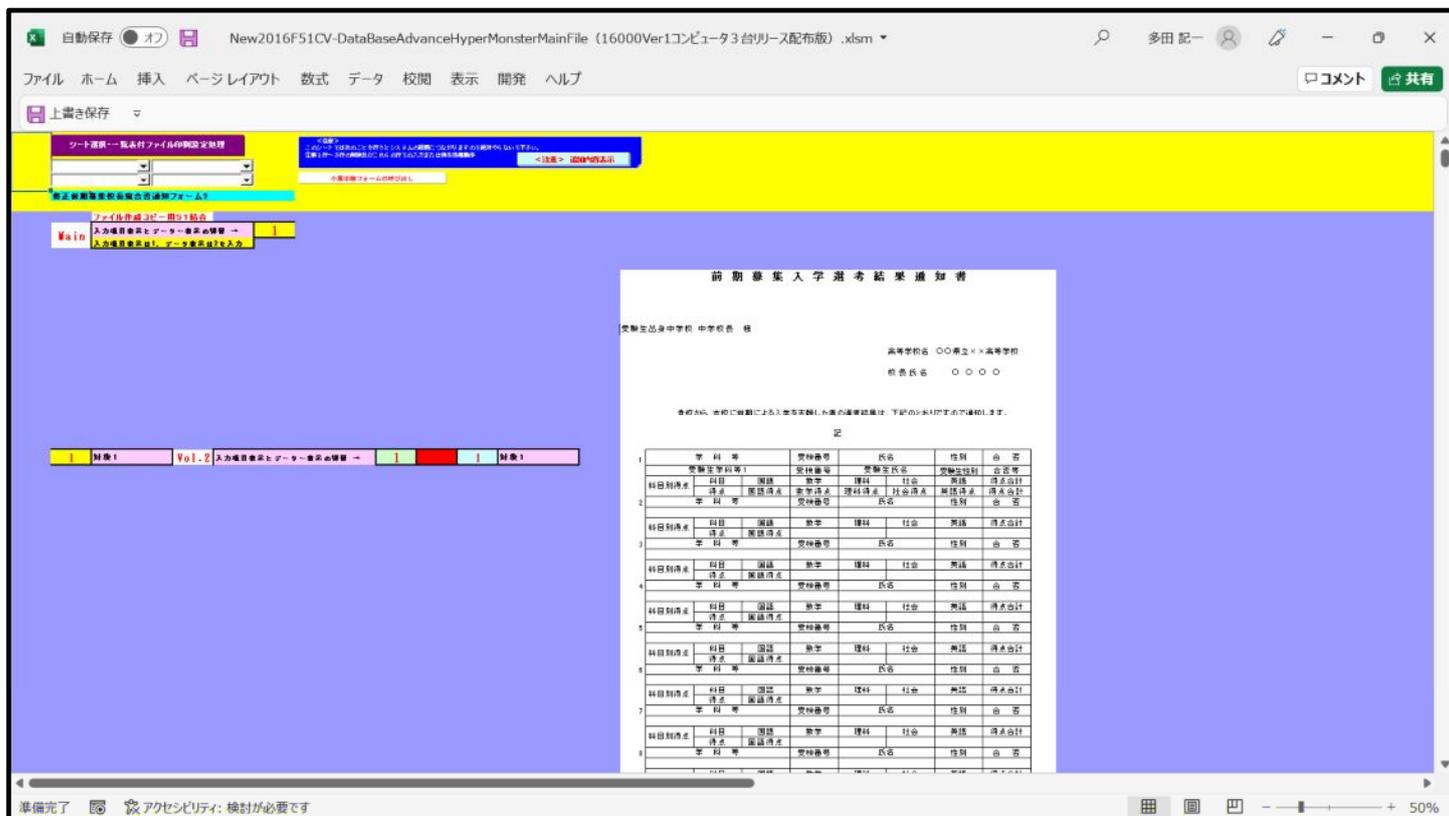
 と表示されている下側の空白のセルへ貼り付けて、貼り付けたらセルの背景色を抜くと次の【図 1 4 0】の画面のようになります。

【図 1 4 0】

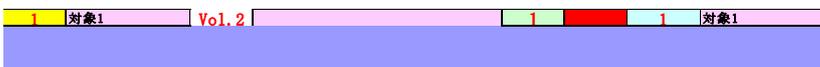


上の「国語得点」のセルの編集と同様な手順で「数学得点」、「理科得点」、「社会得点」、「英語得点」、「得点合計」について編集を行い、画面の分割を解除すると次の[図 1 4 1]の画面のようになります。但し、表示倍率は 50%です。

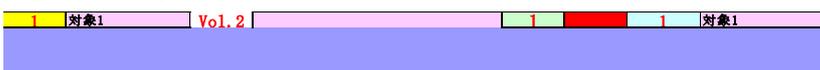
[図 1 4 1]



次に上の[図 1 4 1]の画面の



の部分を選択して

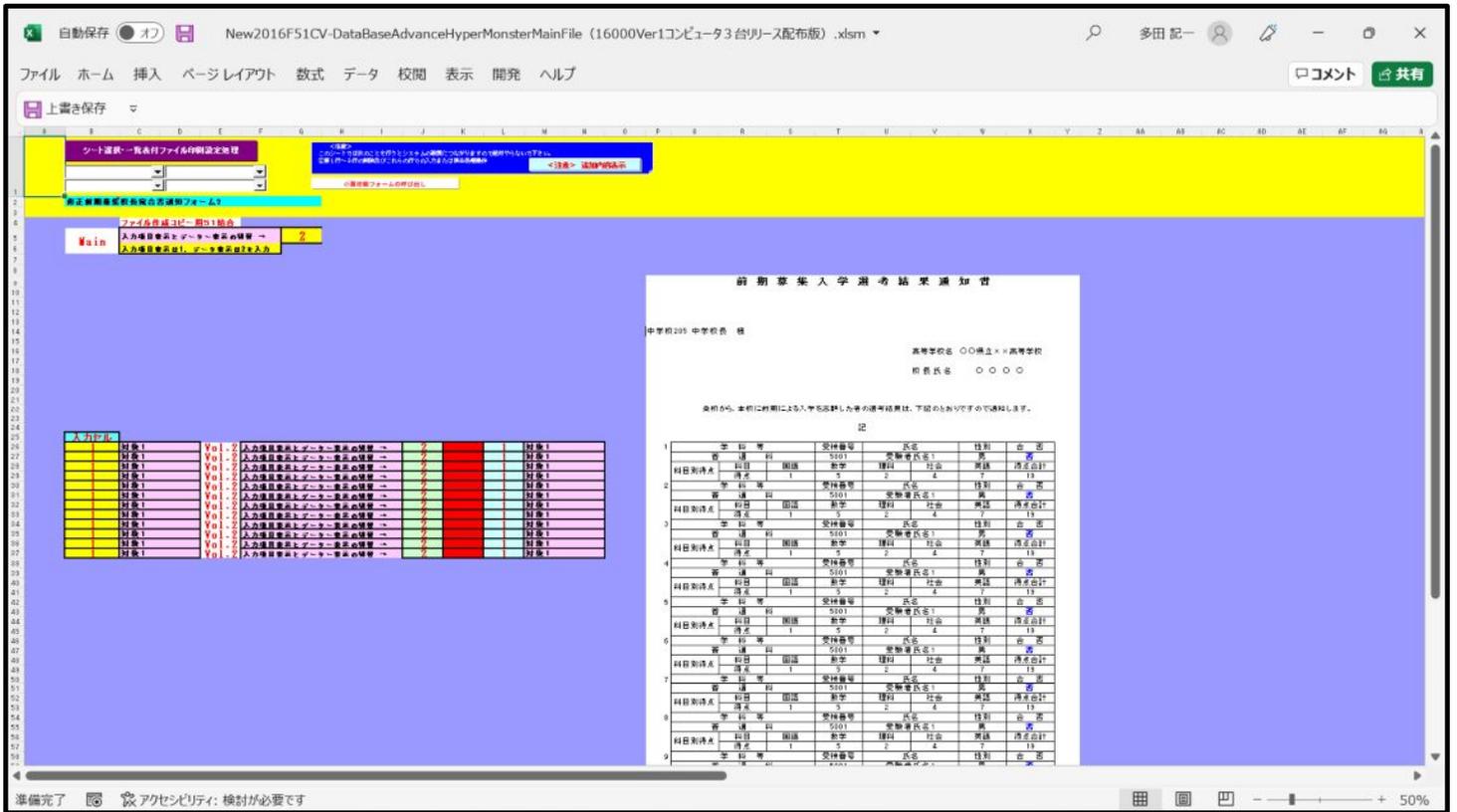


の部分のすぐ下側に **1** 対象1 の左右の位置が同じ位置になるよう複写します。つまり、次の[図 1 4 2]の画面のように複写します。

学 科 等	受験番号	氏名	性別	合 否		
受験生学科等1	受験番号	受験生氏名	受験生性別	合否等		
科目別得点	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計

学 科 等	受験番号	氏名	性別	合 否		
受験生学科等1	受験番号	受験生氏名	受験生性別	合否等		
科目別得点	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計

[図 1 4 4]



上の[図 1 4 4]の画面の

Main



の部分の最も右の 1 と表示されているセルの値を 2 に変更すると上の[図 1 4 4]の画面の背景色なしの部分の部分は次の[図 1 4 5]の画面からその下の[図 1 4 6]の画面に変化します。

前期募集入学選考結果通知書

受験生出身中学校 中学校長 様

高等学校名 ○○県立××高等学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
2	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
3	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
4	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
5	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
6	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
7	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
8	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
9	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
10	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
11	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
12	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計

[図146]

前期募集入学選考結果通知書

中学校205 中学校長 様

高等学校名 ○○県立××高等学校

校長氏名 ○○○○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
2	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
3	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
4	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
5	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
6	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
7	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
8	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
9	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
10	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
11	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
12	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19

上の[図146]の画面の1~12の各データはデータファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

における入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データ」の表の上から1行目のデータです。

さらに、次の[図147]の画面において

1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
1	対象1	Vol.2		2		1	対象1

最も左側の **1** と表示されている 1 2 個のセルの値を書き換えて

1	対象1	Vol.2		2		1	対象1
2	対象2	Vol.2		2		2	対象2
3	対象3	Vol.2		2		3	対象3
4	対象4	Vol.2		2		4	対象4
5	対象5	Vol.2		2		5	対象5
6	対象6	Vol.2		2		6	対象6
7	対象7	Vol.2		2		7	対象7
8	対象8	Vol.2		2		8	対象8
9	対象9	Vol.2		2		9	対象9
10	対象10	Vol.2		2		10	対象10
11	対象11	Vol.2		2		11	対象11
12	対象12	Vol.2		2		12	対象12

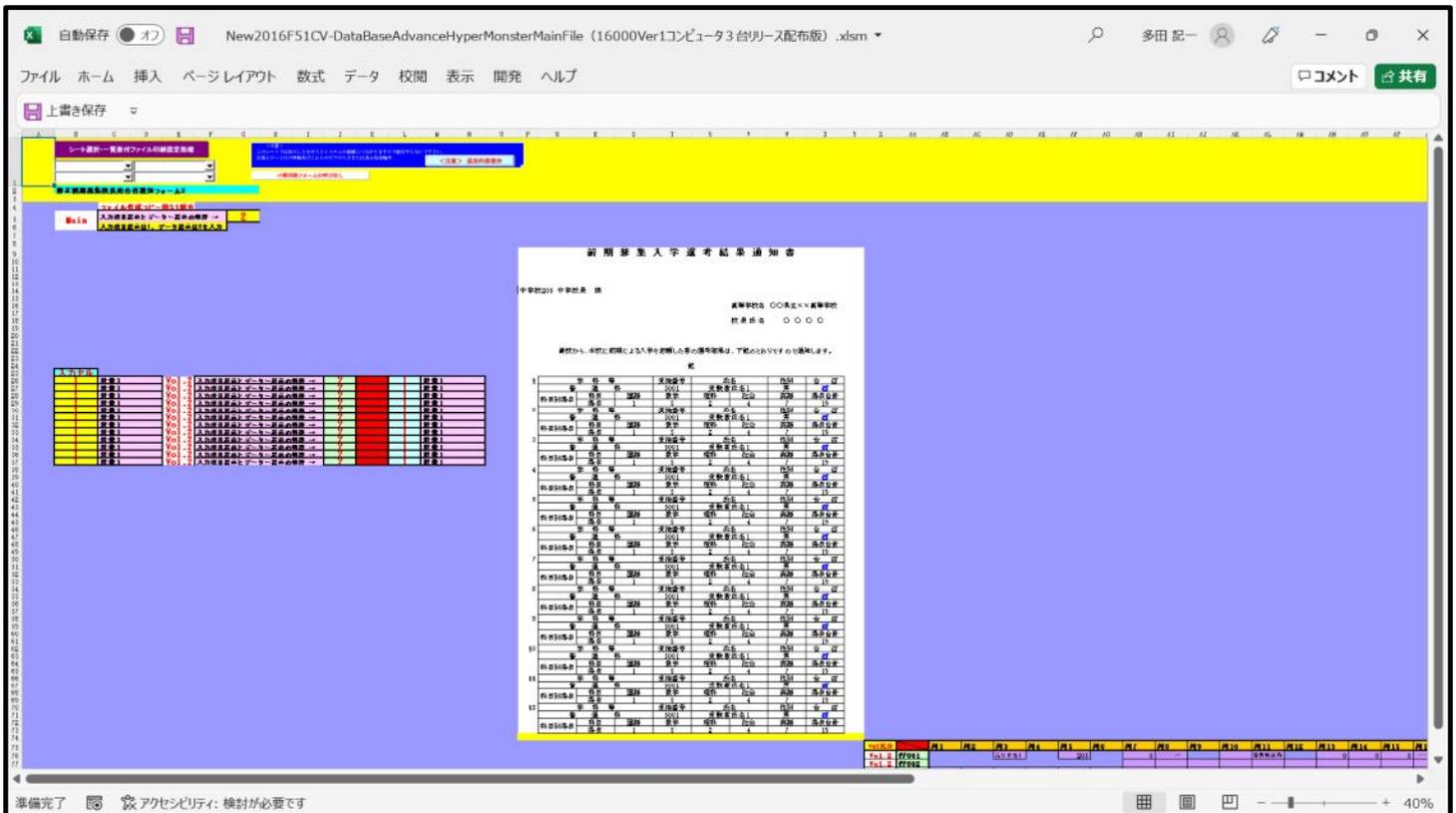
と入力すると[図 1 4 7]の画面の背景色なしの部分は[図 1 4 8]の画面からその下の[図 1 4 9]の画面に変化します。

とくに、[図 1 4 9]の画面の 1~12 の各データはデータファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

における入力シート「入力 AA1 高校入試通知書作成データ」の表の上から 1~12 行のデータです。

[図 1 4 7]



前期募集入学選考結果通知書

中学校205 中学校長 様

高等学校名 ○○県立××高等学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
2	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
3	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
4	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
5	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
6	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
7	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
8	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
9	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
10	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
11	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
12	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19

前期募集入学選考結果通知書

中学校205 中学校長 様

高等学校名 ○○県立××高等学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
2	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5002	受験者氏名2		男	合
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	2	6	3	5	8	24
3	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5003	受験者氏名3		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	3	7	4	6	9	29
4	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5004	受験者氏名4		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	4	8	5	7	10	34
5	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5005	受験者氏名5		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	5	9	6	8	11	39
6	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5006	受験者氏名6		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	6	10	7	9	12	44
7	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5007	受験者氏名7		男	合
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	7	11	8	10	13	49
8	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5008	受験者氏名8		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	8	12	9	11	14	54
9	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5009	受験者氏名9		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	9	13	10	12	15	59
10	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5010	受験者氏名10		男	合
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	10	14	11	13	16	64
11	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5011	受験者氏名11		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	11	15	12	14	17	69
12	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5012	受験者氏名12		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	12	16	13	15	18	74

これで

「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の1行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲をPDFの添付ファイルとしてメール送信する場合の「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式設計の説明は終了いたします。

(5) シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷・メール送信について：

先ず最初に、「一学期中間考査印刷フォーム1」、「修正前期募集校長宛可否通知フォーム2」を印刷、印刷範囲をPDFの添付ファイルとしてメール送信する場合、

シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力をするには2つのシート

「一学期中間考査印刷フォーム1 ソートデータ」

「修正前期募集校長宛可否通知フォーム2 ソートデータ」

のデータを作成する必要があります。それには、それぞれファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

を用いて作成いたします。

シート「一学期中間考査印刷フォーム1 ソートデータ」のデータを作成するには、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

を開き、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」のタブ 処理呼出2 を選択して次の[図150]の画面にします。

[図150]

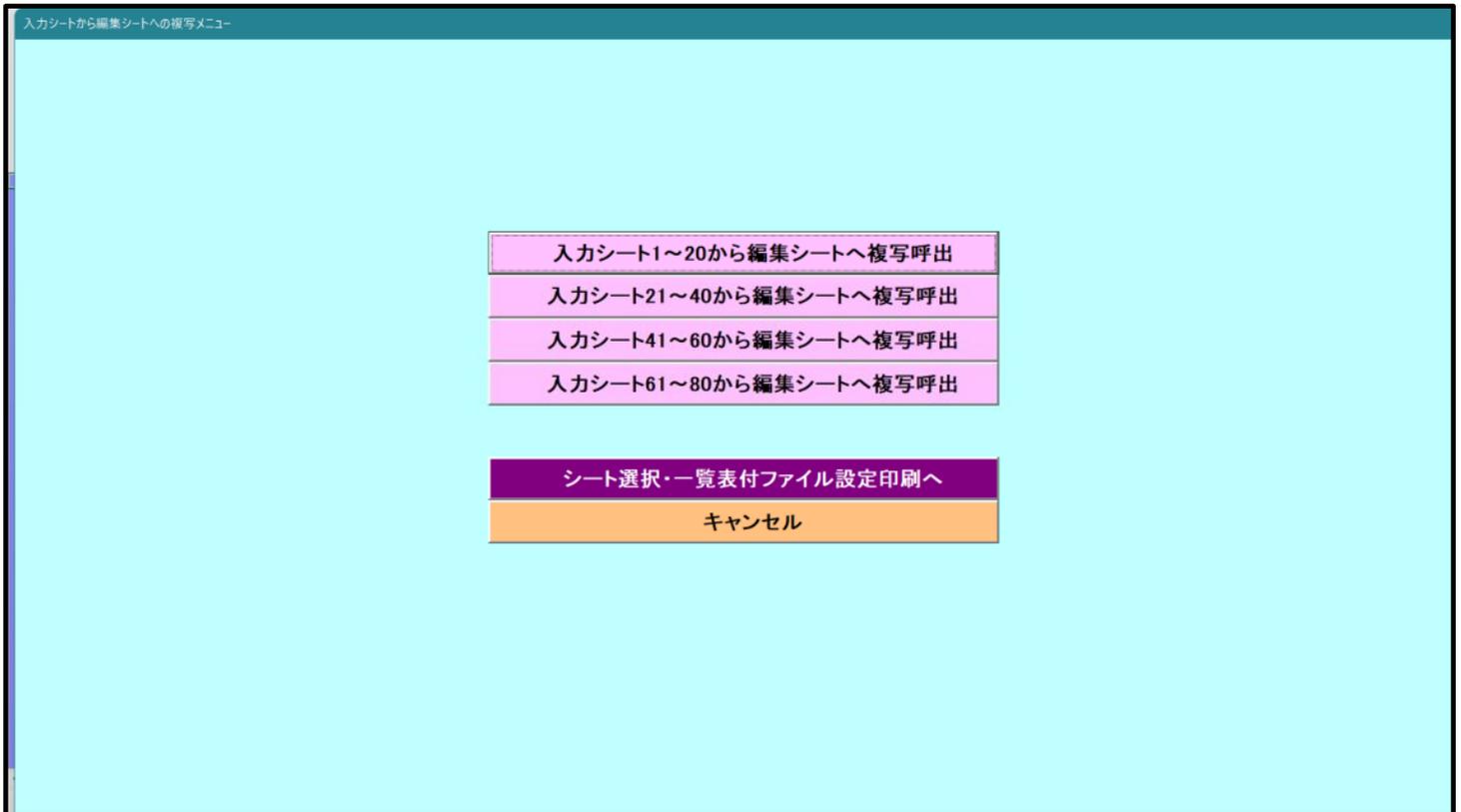


上の[図150]の画面のコマンド

入力シートから編集シートへの複写メニュー呼出

をクリックすると次の[図151]の画面になります。

[図 1 5 1]



そして上の[図 1 5 1]の画面のコマンドボタン

入力シート1～20から編集シートへ複写呼出

をクリックすると更に次の[図 1 5 2]の画面になります。

[図 1 5 2]



上の[図152]の画面のチェックボックス

入力AA1一学期中間考査

にチェックを入れて

入力AA1一学期中間考査

とし、この右側のコンボボックスで

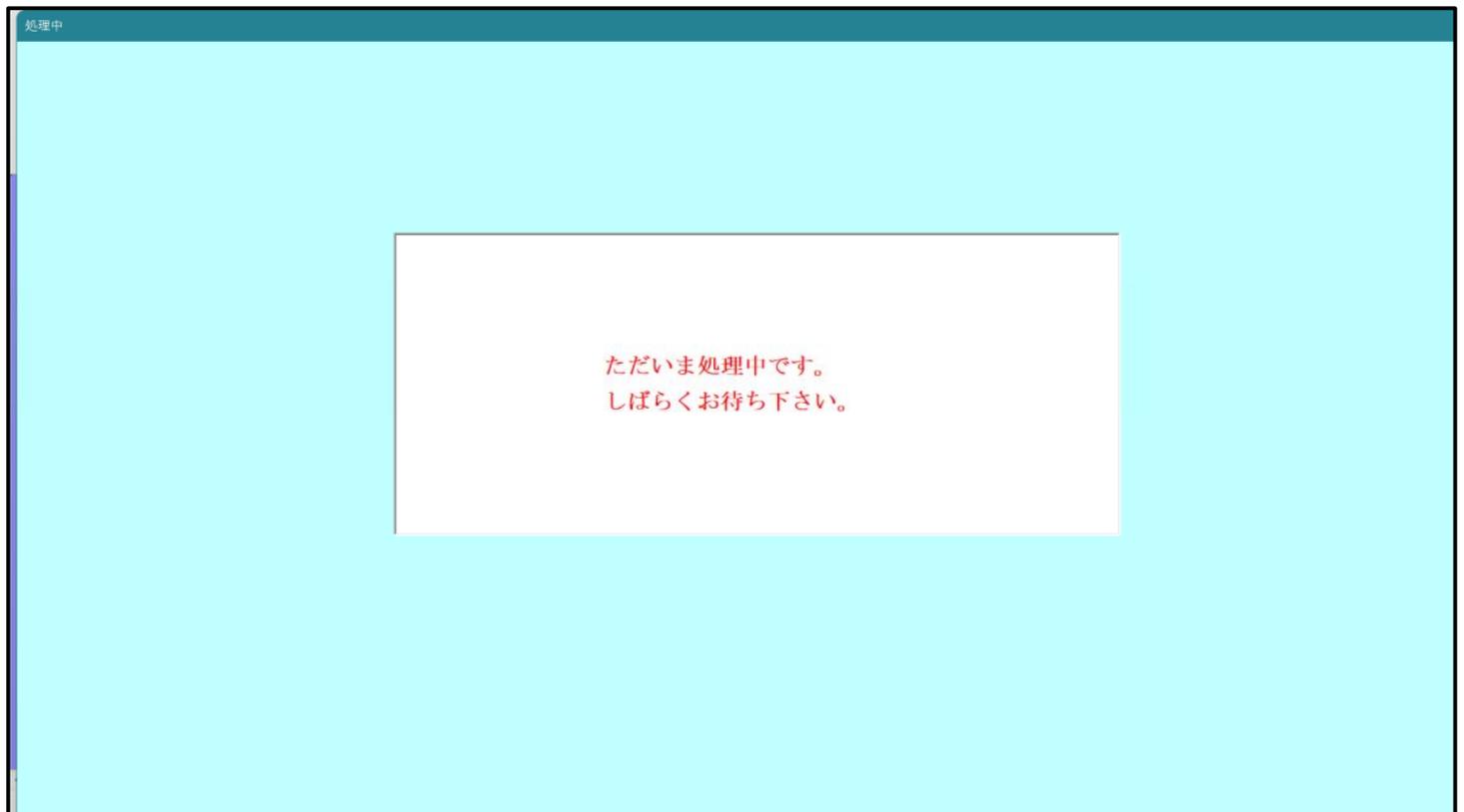
印刷フォーム1ソートデーター

複写処理実行

とシートを選択し、コマンドボタン **複写処理実行** をクリックすると

入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」をシート「印刷フォーム1データー」複写する処理が開始されます。処理が開始されると途中次の[図153]の画面が表示され、更に[図154]の画面が表示されたら複写処理は完了となります。

[図153]



[図 1 5 4]

シート選択・一覧表示付ファイル設定印刷			
Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録	シート選択, 処理呼出1 処理呼出2 処理呼出3 処理呼出4 処理呼出5 処理呼出6 処理呼出7 処理呼出8 入力シートAA, AB, BA, BB選択 入力シートCA, CB, DA, DB選択 印刷		
ファイル作成コピー用選択複写メニュー呼出	入力シートへの空白入力処理呼出		
シート間の複写処理呼出	編集シートへの空白入力処理呼出		
ドロップダウン形式処理呼出	入力シートから空白入力消去処理呼出		
入力シートから編集シートへの複写メニュー呼出	編集シートから空白入力消去処理呼出		
入力シート選択・データ行選択消去呼出	選択入力シート指定列空白埋め込み処理呼出		
編集シートから入力シートへの複写処理メニュー呼出	選択編集シート指定列空白埋め込み処理呼出		
選択編集シート全データ削除初期化呼出	選択入力シート指定列空白消去処理呼出		
選択編集シート行挿入罫線区切りDATA入力準備処理呼出	選択編集シート指定列空白消去処理呼出		
選択編集シート行削除罫線区切りDATA入力準備処理呼出	選択入力シート指定列・行の指定全行への複写処理呼出		
選択編集シートデータ消去呼出	選択編集シート指定列・行の指定全行への複写処理呼出		
選択編集シートIDナンバリング罫線5本区切り処理呼出	アクティブシート列幅調整呼出		
入力シート間の複写メニュー呼出	アクティブシート行高調整呼出		
編集シート間の行及び列単位複写メニュー呼出	小票印刷フォームの呼出		
標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
MeinFileへ移動	セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了

シート「印刷フォーム1データ」を選択すると、次の[図 1 5 5]の画面のようになっています。

[図 1 5 5]

このシートでは次のことを行うとシステムの標準につながりませんので絶対やらないで下さい。
 ①第1行～3行の削除及びこれらの行での入力または消去処理操作

ID	対象	名氏	ぶりふい	年学	スラク	身番	点得語国	点得会社	点得学教	点得料理	点得語英	社会点得	平者驗受	者驗受点	者驗受点
1	対象1	桃太郎	ももたろう	1年	1組	1番	100	100	100	100	100	500	68.285714	71.795918	64.55102
2	対象2	浦島太郎	うらしまたろう	1年	1組	2番	87	80	65	88	45	365	68.285714	71.795918	64.55102
3	対象3	金太郎	きんたろう	1年	1組	3番	33	87	44	56	88	308	68.285714	71.795918	64.55102
4	対象4	犬	いぬ	1年	1組	4番	89	78	28	79	97	371	68.285714	71.795918	64.55102
5	対象5	猿	さる	1年	1組	5番	98	66	80	90	45	379	68.285714	71.795918	64.55102
6	対象6	雉	きじ	1年	1組	6番	45	75	98	45	70	333	68.285714	71.795918	64.55102
7	対象7	鬼ちゃん	おにちゃん	1年	1組	7番	66	79	76	99	65	385	68.285714	71.795918	64.55102
8	対象8	一寸法師	いっすんぼうし	1年	1組	8番	45	45	79	42	55	266	68.285714	71.795918	64.55102
9	対象9	爺さん	じいさん	1年	1組	9番	58	61	56	34	43	252	68.285714	71.795918	64.55102
10	対象10	婆さん	ばあさん	1年	1組	10番	77	70	85	74	98	404	68.285714	71.795918	64.55102
11	対象11	姫	ひめ	2年	2組	1番	60	75	74	89	56	354	68.285714	71.795918	64.55102
12	対象12	ドラエモン	どらえもん	2年	2組	2番	66	69	78	100	77	390	68.285714	71.795918	64.55102
13	対象13	のびのび大	のびのび大	2年	2組	3番	88	98	55	99	81	421	68.285714	71.795918	64.55102
14	対象14	スネ夫	すねお	2年	2組	4番	77	99	49	80	98	403	68.285714	71.795918	64.55102
15	対象15	ジャイアン	じゃいあん	2年	2組	5番	56	100	30	70	34	290	68.285714	71.795918	64.55102
16	対象16	静香ちゃん	しずかちゃん	2年	2組	6番	52	64	11	65	0	192	68.285714	71.795918	64.55102
17	対象17	サザエさん	さざえさん	2年	2組	7番	69	75	45	51	85	325	68.285714	71.795918	64.55102
18	対象18	マスオさん	ますおさん	2年	2組	8番	82	78	69	70	90	389	68.285714	71.795918	64.55102
19	対象19	フグオさん	ふぐおさん	2年	2組	9番	42	41	100	90	45	318	68.285714	71.795918	64.55102
20	対象20	カツオ君	かつおくん	2年	2組	10番	44	48	47	60	66	265	68.285714	71.795918	64.55102
21	対象21	ワカメちゃん	わかめちゃん	2年	3組	1番	99	87	65	77	70	398	68.285714	71.795918	64.55102

見やすくするため、シートの保護を解除し、上の[図 1 5 5]の画面の項目を表している第5行の行高を広げると、次の[図 1 5 6]の画面のようになります。

[図 1 5 6]

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following data table:

ID	対象	氏名	りがめ ないふ	学 年	ク ラ ス	番 号	国 語 得 点	社 会 得 点	数 学 得 点	理 科 得 点	英 語 得 点	得 点 合 計	国 語 平 均 受 験 点	社 会 平 均 受 験 点	数 学 平 均 受 験 点
1	対象1	桃太郎	ももたろう	1年	1組	1番	100	100	100	100	100	500	68.285714	71.795918	64.55102
2	対象2	浦島太郎	うらしまたろう	1年	1組	2番	87	80	65	88	45	365	68.285714	71.795918	64.55102
3	対象3	金太郎	きんたろう	1年	1組	3番	33	87	44	56	88	308	68.285714	71.795918	64.55102
4	対象4	犬	いぬ	1年	1組	4番	89	78	28	79	97	371	68.285714	71.795918	64.55102
5	対象5	猿	さる	1年	1組	5番	98	66	80	90	45	379	68.285714	71.795918	64.55102
6	対象6	雉	きじ	1年	1組	6番	45	75	98	45	70	333	68.285714	71.795918	64.55102
7	対象7	鬼ちゃん	おにちゃん	1年	1組	7番	66	79	76	99	65	385	68.285714	71.795918	64.55102
8	対象8	一寸法師	いっすんぼし	1年	1組	8番	45	45	79	42	55	266	68.285714	71.795918	64.55102
9	対象9	爺さん	じいさん	1年	1組	9番	58	61	56	34	43	252	68.285714	71.795918	64.55102
10	対象10	婆さん	ばあさん	1年	1組	10番	77	70	85	74	98	404	68.285714	71.795918	64.55102
11	対象11	姫	ひめ	2年	2組	1番	60	75	74	89	56	354	68.285714	71.795918	64.55102
12	対象12	ドラエモン	どらえもん	2年	2組	2番	66	69	78	100	77	390	68.285714	71.795918	64.55102
13	対象13	のびのび大	のびのびた	2年	2組	3番	88	98	55	99	81	421	68.285714	71.795918	64.55102
14	対象14	スネ夫	すねお	2年	2組	4番	77	99	49	80	98	403	68.285714	71.795918	64.55102
15	対象15	ジャイアン	じゃいあん	2年	2組	5番	56	100	30	70	34	290	68.285714	71.795918	64.55102
16	対象16	静香ちゃん	しずかちゃん	2年	2組	6番	52	64	11	65	0	192	68.285714	71.795918	64.55102
17	対象17	サザエさん	さざえさん	2年	2組	7番	69	75	45	51	85	325	68.285714	71.795918	64.55102

さて、次に上の[図 1 5 6]の画面のデータファイル
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
 のシート「印刷フォーム1ソートデータ」の内容をファイル
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版).xlsm
 のシート「一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ」に複写します。それには手動でおこないます。
 まず、データファイル
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
 のシート「印刷フォーム1ソートデータ」の表部分 B5~GU55 の範囲をを選択してコピーし、
 をファイル
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版).xlsm
 のシート「一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ」の B5 の位置に貼り付けます。その結果、
 ファイル
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版).xlsm
 のシート「一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ」の状況は次の[図 1 5 7]の画面のようになっています。ただし、第 5 行の行高を広げています。

【図 1 5 7】

ID	対象	氏名	りしめがないふ	学年	クラス	番号	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計	国語平均受験	均点社会者得点	均点受験者得点	均点数学得点
1	対象1	桃太郎	ももたろう	1年	1組	1番	100	100	100	100	100	500	68.285714	71.795918	64.55102	
2	対象2	濱島太郎	うらしまたろう	1年	1組	2番	87	80	65	88	45	365	68.285714	71.795918	64.55102	
3	対象3	金太郎	きんたろう	1年	1組	3番	33	87	44	56	88	308	68.285714	71.795918	64.55102	
4	対象4	犬	いぬ	1年	1組	4番	89	78	28	79	97	371	68.285714	71.795918	64.55102	
5	対象5	猿	さる	1年	1組	5番	98	66	80	90	45	379	68.285714	71.795918	64.55102	
6	対象6	雉	きじ	1年	1組	6番	45	75	98	45	70	333	68.285714	71.795918	64.55102	
7	対象7	鬼ちゃん	おにちゃん	1年	1組	7番	66	79	76	99	65	385	68.285714	71.795918	64.55102	
8	対象8	一寸法師	いっすんぼうし	1年	1組	8番	45	45	79	42	55	266	68.285714	71.795918	64.55102	
9	対象9	爺さん	じいさん	1年	1組	9番	58	61	56	34	43	252	68.285714	71.795918	64.55102	
10	対象10	婆さん	ばあさん	1年	1組	10番	77	70	85	74	98	404	68.285714	71.795918	64.55102	
11	対象11	姫	ひめ	2年	2組	1番	60	75	74	89	56	354	68.285714	71.795918	64.55102	
12	対象12	ドラエモン	どらえもん	2年	2組	2番	66	69	78	100	77	390	68.285714	71.795918	64.55102	
13	対象13	のびのび太	のびのびた	2年	2組	3番	88	98	55	99	81	421	68.285714	71.795918	64.55102	
14	対象14	スネ夫	すねお	2年	2組	4番	77	99	49	80	98	403	68.285714	71.795918	64.55102	
15	対象15	ジャイアン	じゃいあん	2年	2組	5番	56	100	30	70	34	290	68.285714	71.795918	64.55102	
16	対象16	静香ちゃん	しずかちゃん	2年	2組	6番	52	64	11	65	0	192	68.285714	71.795918	64.55102	
17	対象17	サザエさん	ささえさん	2年	2組	7番	69	75	45	51	85	325	68.285714	71.795918	64.55102	

ここまで作業が完了したらデータファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のシート「印刷フォーム 1 ソートデーター」のデーターは削除しましょう。

次にシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデーター」のデーターを作成するには、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

を開き、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」のタブ 処理呼出2 を

選択すると次の【図 1 5 8】の画面になります。

そして上の[図 1 5 9]の画面のコマンドボタン

入力シート1～20から編集シートへ複写呼出

をクリックすると更に次の[図 1 6 0]の画面になります。

[図 1 6 0]

上の[図 1 6 0]の画面のチェックボックス

入力AA1 高校入試通知書等作成データー

にチェックを入れて

入力AA1 高校入試通知書等作成データー

とし、この右側のコンボボックスで

印刷フォーム1ソートデーター

複写処理実行

とシートを選択し、コマンドボタン **複写処理実行** をクリックすると

入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データー」をシート
「印刷フォーム 1 ソートデーター」に複写する処理が開始されます。

処理が開始されると途中次の[図 1 6 1]の画面が表示され、更に[図 1 6 2]の画面が表示されたら
複写処理は完了となります。

[図 1 6 1]



[図 1 6 2]



シート「印刷フォーム1 ソートデータ」を選択すると、次の[図 1 6 3]の画面のようになっています。

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」を印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合について、一覧表付ファイル作成入力設定シート

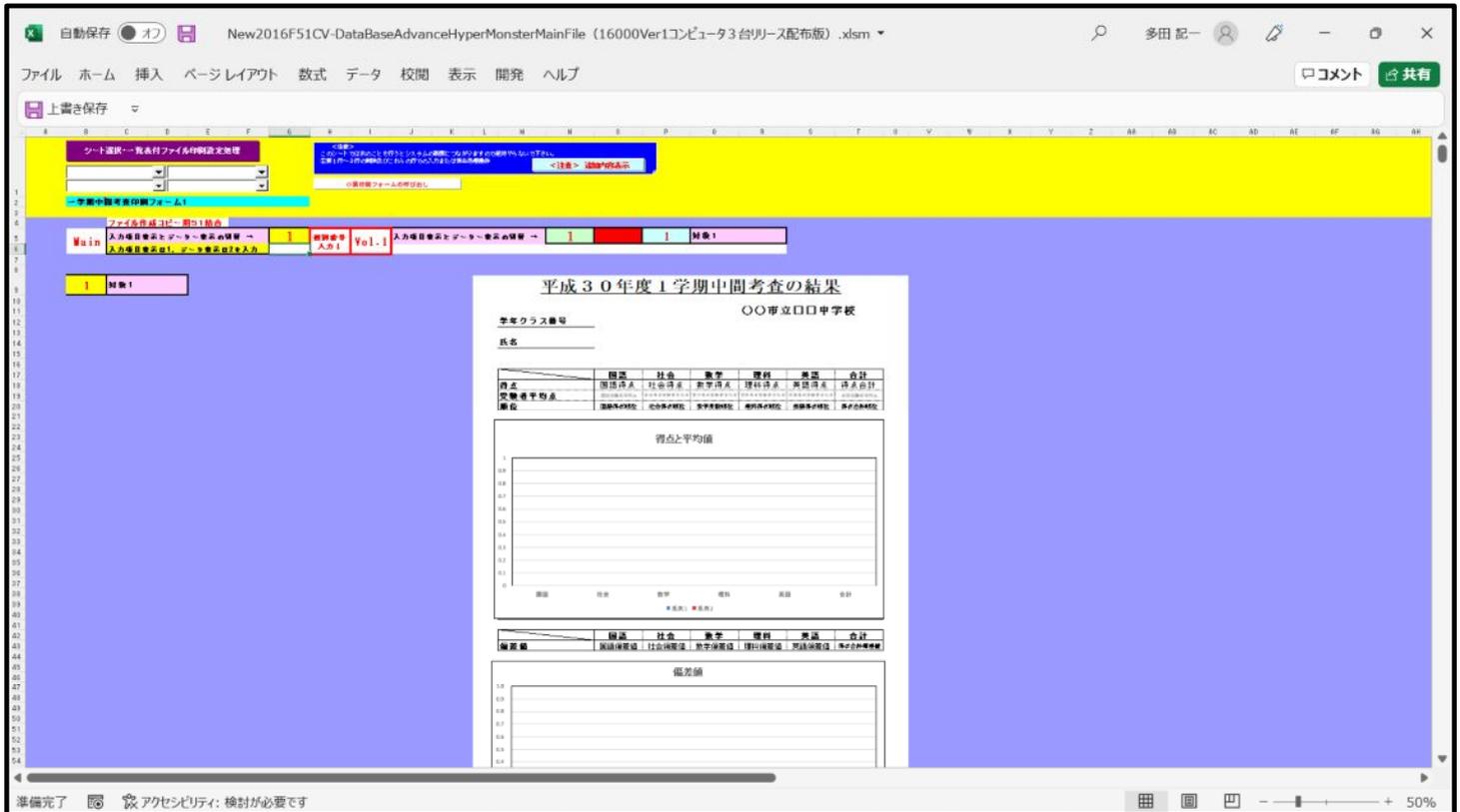
「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定 1」

の入力設定について説明いたします。

フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」について、今一度確認しておきます。

次の[図 1 6 6]の画面は、フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」の画面です。

[図 1 6 6]



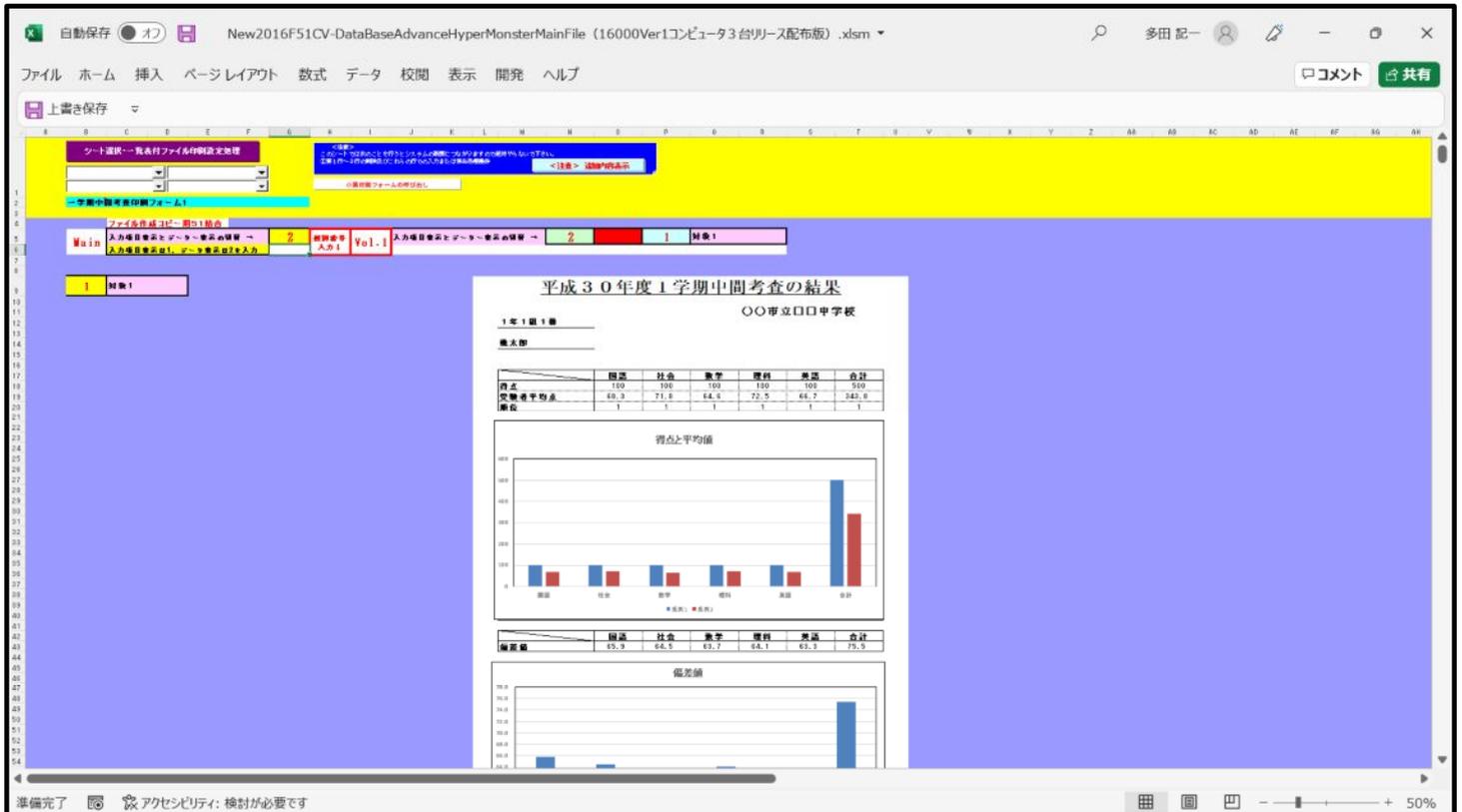
上の[図 1 6 6]の画面の

部分セル **1** の値を **2** と入力し直すと、[図 1 6 6]の画面の背景色を抜いてある右側の部分は、データファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

の入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」における表の第 1 行目のデータが表示されて次の[図 1 6 7]の画面のようになります。

[図 1 6 7]



また、上の[図 1 6 6]の画面の **1** 対象1 の部分のセル **1** の値を **2** と入力し直すと[図 1 6 7]の画面の背景色を抜いてある右側の部分は、データファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm 入力シート「入力 AA1 一学期中間調査」における表の第2行目のデータが表示されて次の[図 1 6 8]の画面のようになります。

上の[図169]

ID	
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21
22	22
23	23

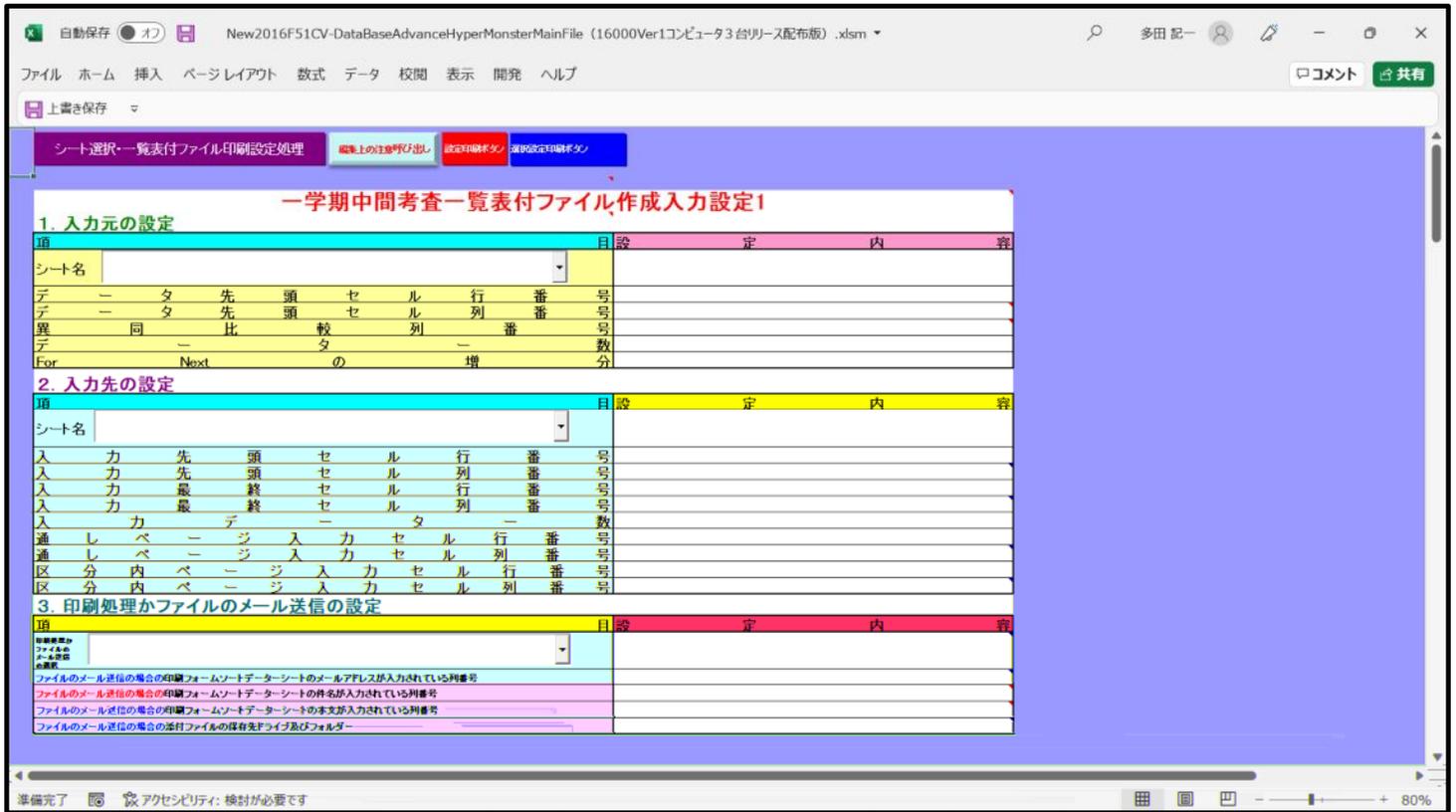
]の画面の23の列において数値部分23を上から順番にコピーし、その値を

上の[図168]の画面の2対象2部分のセル2の位置に貼り付けて
上の[図168]の画面の背景色を抜いてある右側の部分を印刷することができれば自動印刷ができるわけ
です。

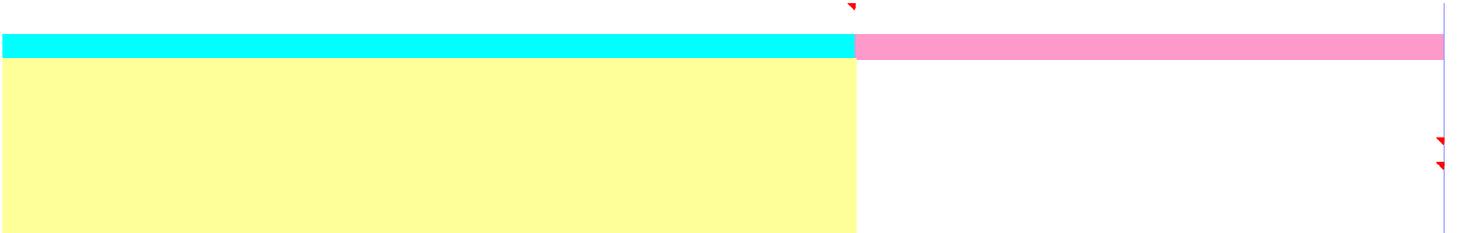
その自動印刷を行うには、一覧表付ファイル作成入力設定シートであるシート「一学期中間考査一覧表付フ
ァイル作成入力設定1」の入力設定が必要です。

次の[図170]の画面は、シート「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」の画面です

【図170】



まず最初に



の部分についての入力設定について説明します。

については、入力元のシートは、ソートデータシート「一学期中間考査印刷フォーム1 ソートデータ」
 ですので、左側のコンボボックスで

と選択すると、右側のセルに
 と入力されます。

ID
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

については、右側のセルに、上の[図 1 6 9]の画面の の列において最も上側の と表示されているセルの番地「B6」の行番号「6」を入力して

データ先頭セル行番号	6
------------	---

とします。また、

データ先頭セル列番号	
------------	--

ID
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

の部分の右側のセルには、上の[図 1 6 9]の画面の の列において最も上側の と表示されているセルの番地「B6」の列「B」の列番号「2」を入力して

データ先頭セル列番号 2

とします。

ただし、列番号は次の表のように定めています。

列	A	B	C	Z	AA	AB
列番号	1	2	3	26	27	28

異同比較列番号

氏名
桃太郎
浦島太郎
金太郎
犬
猿
雉
鬼ちゃん
一寸法師
爺さん
婆さん
姫
ドラエモン
のびのび太
スネ夫
ジャイアン
静香ちゃん
サザエさん
マスオさん
フグオさん
カツオ君
ワカメちゃん
タラちゃん
ジャイアント

の右側のセルには、上の[図 1 6 9]の画面の「ジャイアント」と表示されている列「D」の列番号「4」を入力して

異	同	比	較	列	番	号	4
---	---	---	---	---	---	---	---

とします。

デ	ー	タ	ー	数	
---	---	---	---	---	--

の右側のセルには、上の[図 1 6 9]の画面の表においてデーターをコピーするセルの個数 50 を入力して

デ	ー	タ	ー	数	50
---	---	---	---	---	----

とします。

For	Next	の	増	分	
-----	------	---	---	---	--

の右側のセルには、For Next の増分「1」（通常は 1 です）を入力して

For	Next	の	増	分	1
-----	------	---	---	---	---

とします。

次に

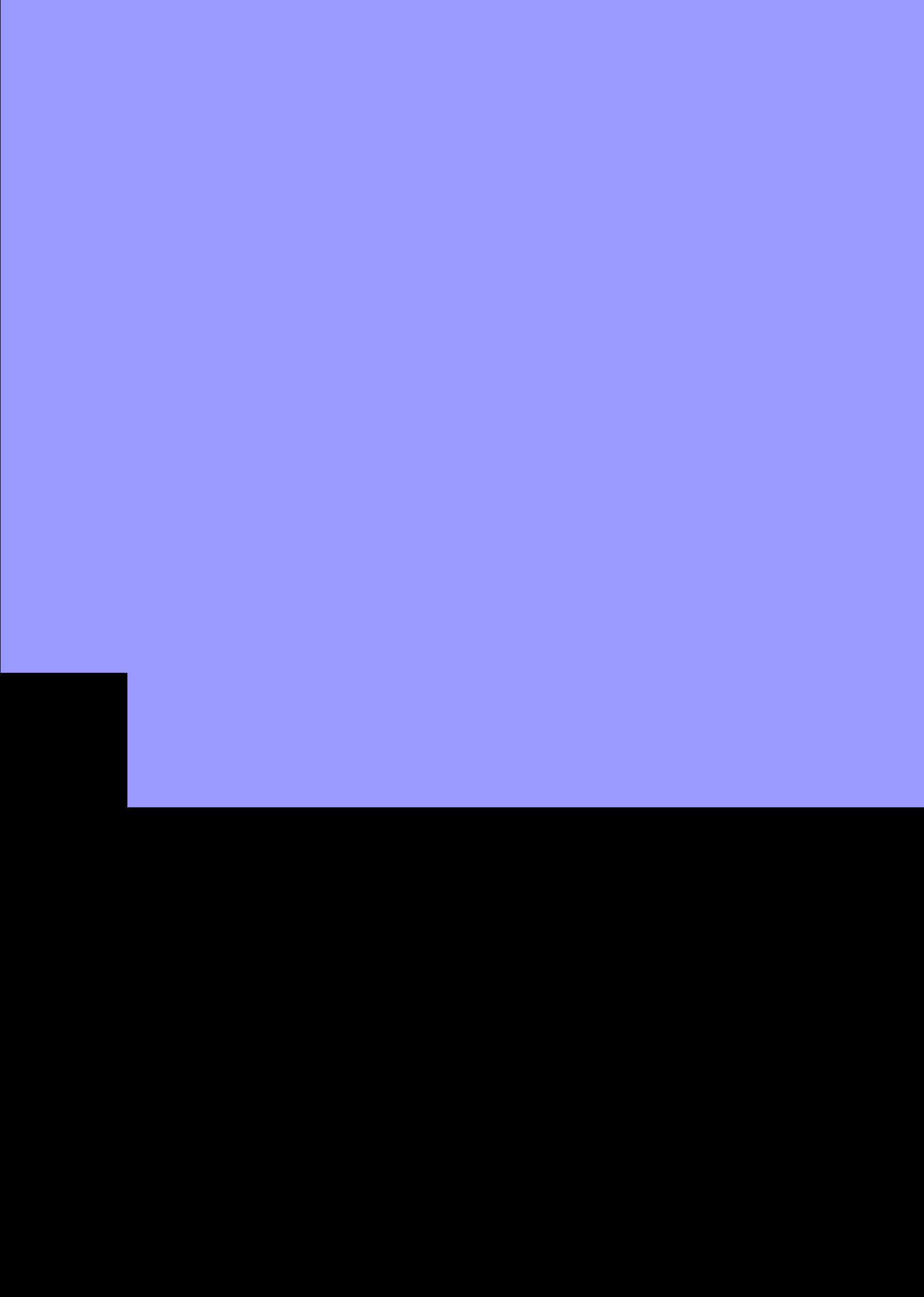
2. 入力先の設定

項	目	設	定	内	容
シート名					
入力先	シート	行	番号		
入力先	シート	列	番号		
入力先	シート	行	番号		
入力先	シート	列	番号		
入力先	シート	行	番号		
入力先	シート	列	番号		
区分内	シート	行	番号		
区分内	シート	列	番号		

の部分についての入力仕方について説明いたします。

シート名	
------	--

の左側のコンボボックスで入力先のシート名「一学期中間考査印刷フォーム 1」を選択し



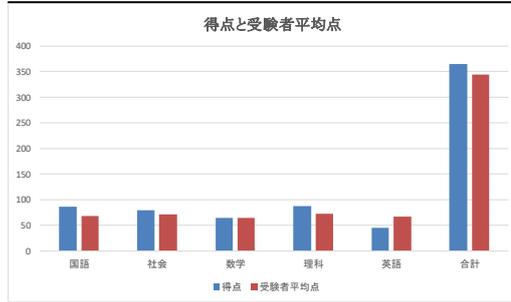
平成30年度1学期中間考査の結果

〇〇市立〇〇中学校

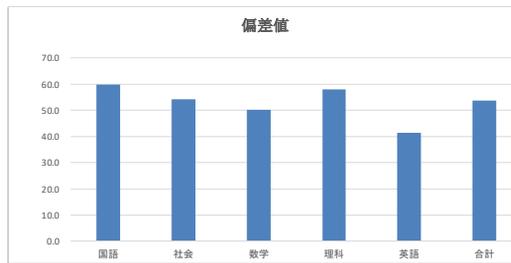
1年1組第2番番

浦島太郎

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
得点	87	80	65	88	45	365
受験者平均点	68.3	71.8	64.6	72.5	66.7	343.8
順位	13	18	29	15	38	22



	国語	社会	数学	理科	英語	合計
偏差値	59.8	54.2	50.1	58.0	41.5	53.8



上の[図168]の画面の部分の下側の

の部分を確認し、通し番号と区分内番号を表示するセルを指定したいと思います。なお、このピンクのセル範囲では、シートを保護しても保護がされないように設定しておく必要があります。

通し番号を表示するセルの番地を「L62」、区分内番号を表示するセルの番地を「Q62」としたいと思います。

ということで、

通しページ入力セル行番号

の右側のセルには、通し番号を表示するセルの番地「L62」の行番号「62」を入力して

通しページ入力セル行番号 62

とします。

通しページ入力セル列番号

の右側のセルには、通し番号を表示するセルの番地「L62」の列番号「11」を入力して

通しページ入力セル列番号 11

とします。

区分内ページ入力セル行番号

の右側のセルには、区分内番号を表示するセルの番地「Q62」の行番号「62」を入力して

区分内ページ入力セル行番号 62

とします。

区分内ページ入力セル列番号

の右側のセルには、区分内番号を表示するセルの番地「Q62」の列番号「16」を入力して

区分内ページ入力セル列番号 16

とします。

そして次に、

3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定

項	目	設	定	内	容
印刷処理かファイルのメール送信の選択					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー					

の部分の入力の仕方の説明をいたします。

印刷処理かファイルのメール送信の選択					
--------------------	--	--	--	--	--

の左側のコンボボックス

印刷処理かファイルのメール送信の選択					
--------------------	--	--	--	--	--

で

印刷処理かファイルのメール送信の選択	印刷する				
--------------------	------	--	--	--	--

を選択すると右側のセルにと
入力され

印刷する

と

印刷処理かファイルのメール送信の選択	印刷する			印刷する	
--------------------	------	--	--	------	--

となります。

単に印刷する場合は、

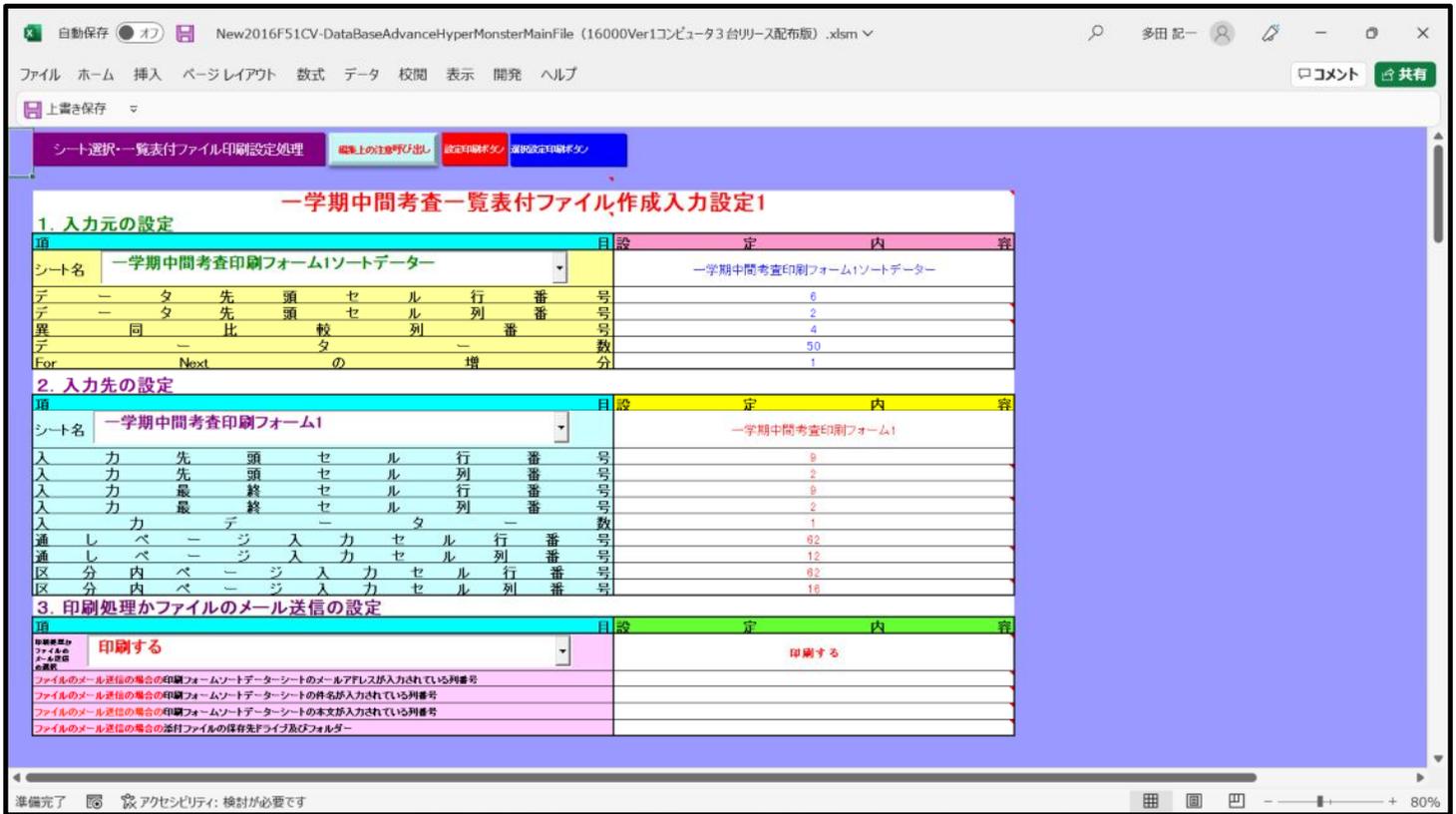
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	

の部分に入力する必要はありません。

つまり、単に印刷を行う場合の一覧表付ファイル作成入力設定シート

「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」の設定入力は、次の[図171]の画面の通りです。

[図 1 7 1]



そして、印刷を実行するには、一覧表付ファイル作成入力設定シート

「1学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」の画面である上の[図 1 7 1]の画面のコマンドボタン

設定印刷ボタン

をクリックしていただければ結構です。

印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合は、



の左側のコンボボックスで



と選択すると右側のセルに
入力されて



となります。

そして、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合には、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータのメールアドレスが入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの件名が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの本文が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	

の右側の5個セル全て入力する必要があります。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータのメールアドレスが入力されている列番号	
---	--

の右側のセルには、印刷シートデータシート「1学期中間考査印刷フォーム1シートデータ」に
入力されているメールの送信先のメールアドレスの列番号を入力します。その列は「AG列」ですので

列番号は「33」なので、



入力し、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号 33

とします。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号

の右側のセルには印刷ソートデータシート「一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ」に入力されているメールの件名の列番号を入力します。その列は「AH列」でその列番号は「34」なので

34 と入力し、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号 34

とします。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号

の右側のセルには印刷ソートデータシート「一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ」に入力されているメールの本文の列番号を入力します。その列は「AI列」でその列番号は「35」なので、

35 と入力し、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号 35

とします。

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー

の右側のセルには、メールを送信するに当たって、一時的に印刷範囲を PDF ファイルとして保存しておくドライブとフォルダーを入力します。「D」ドライブのフォルダー「B」に一時的に保存したいと思いますので、「D:¥B」と

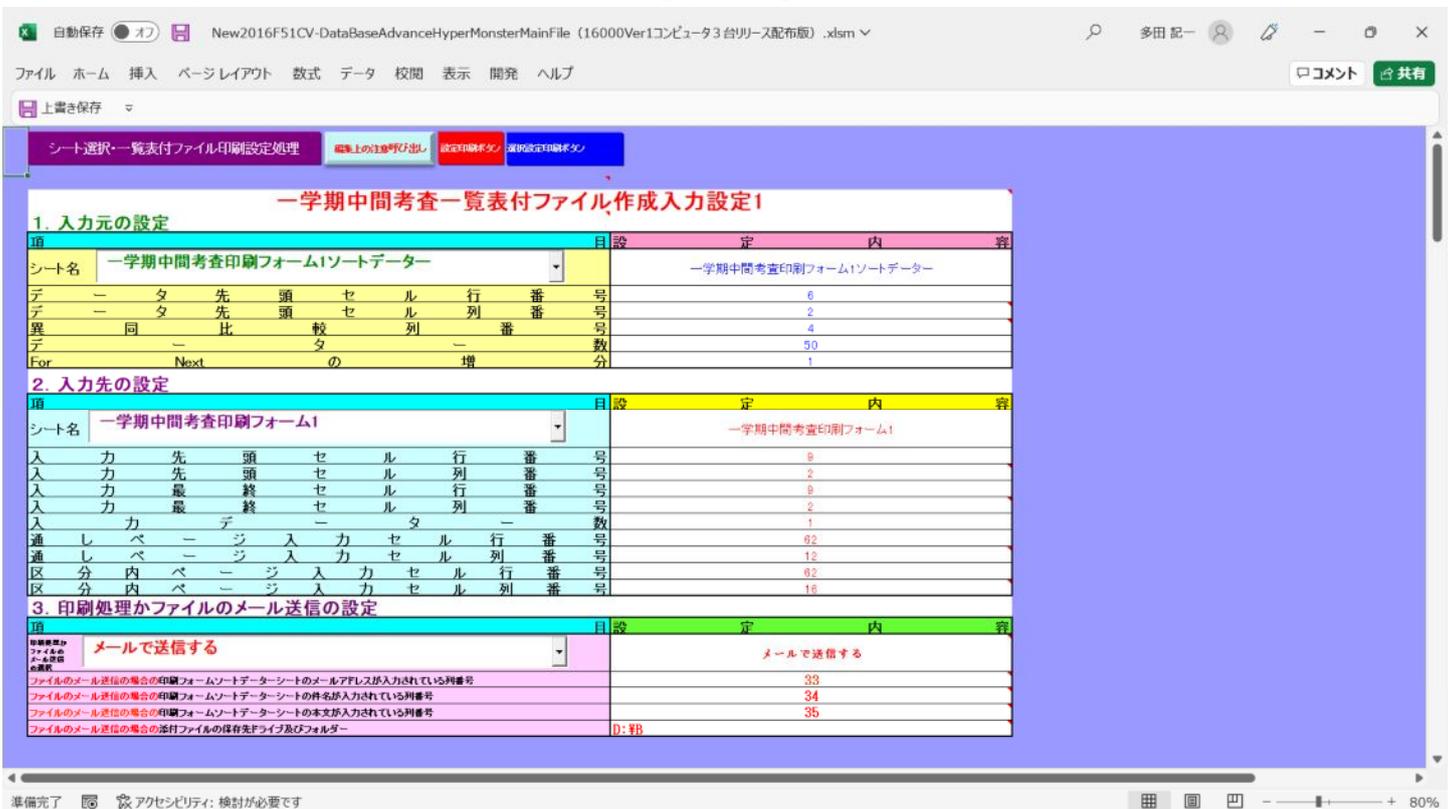
D:¥B と入力し、

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー D:¥B

とします。

つまり、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信をする場合の一覧表付ファイル作成入力設定シート「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」の入力設定は次の[図172]の画面の通りです。

[図172]

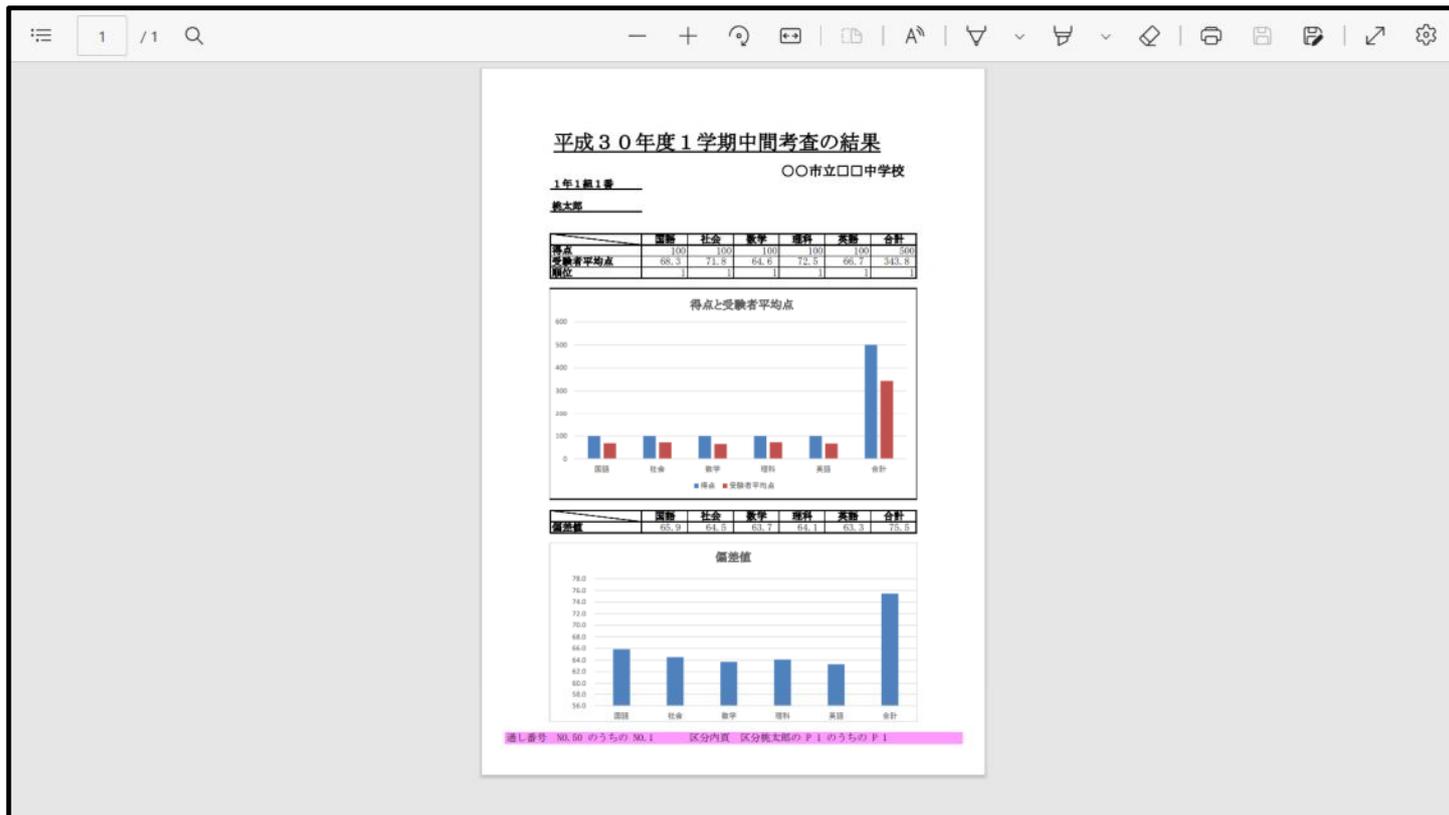


印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信するには、一覧表付ファイル作成入力設定シート「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」の画面である上の[図172]の画面のボタン

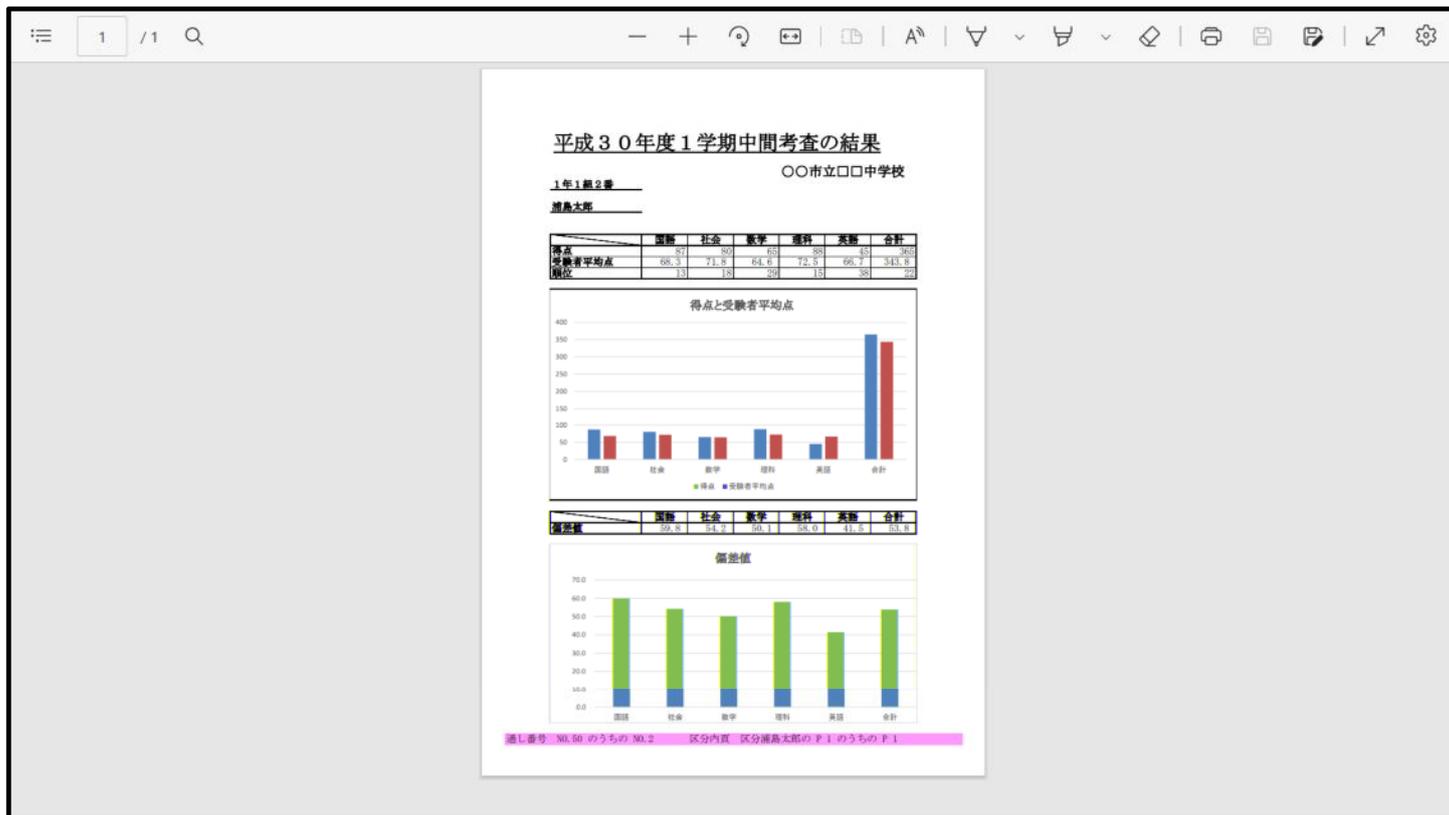
をクリックしていただければ結構です。

因みに、[図 1 7 2]の画面の設定で印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信した場合、メールの 1 件目、2 件目の添付ファイルは、それぞれ次の[図 1 7 3]、[図 1 7 4]の画面のようになっています。

[図 1 7 3]



[図 1 7 4]



添付ファイルなしで件名と本文のみのメール送信する場合は、

の左側のセルのコンボボックスで

と選択します。すると

なります。

の右側の各セルには

と入力します。

の部分の右側のセルは、ブランクのままでも結構ですし

と入力していただいても結構です。

添付ファイルなしで件名と本文のみのメール送信する場合について
「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」の画面であ

設定印刷ボタン

をクリックいただければ結構です。

- ② 「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」
「印刷フォーム」シートで横に複数列に配置して表示しながら印刷、印
ファイルとしてメール送信する場合の入力、印刷、印刷範囲
メール送信する場合：

「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」におけ
「印刷フォーム」シートに複数列配置して表示しながら印刷、印
メール送信する場合の入力、印刷、印刷範囲を PDF の添付フ
する前に、やっておくことを説明させていただきます。

(5) シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷・
の最初の方でデータファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2

のシート「印刷フォーム1 ソートデータ」の内容をファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版) .xlsm

のシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム2 ソートデータ」
しました。

その複写の結果、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版) .xlsm

のシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム2 ソートデータ」
ようになっていました。

【図175】

ID	対象	受験番号	受験生氏名	受験生ふり	受験生性別	コード	受験生出身	受験生市町	受験生校長出身	受験生学科	受験生学科	受験生学科	区分作成命通知	可否等	内定結果	受験生郵便番号
1	対象1	5001	受験者氏名	ふりがな1	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
2	対象2	5002	受験者氏名	ふりがな2	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科	普通科	普通科	専門科以外	合		
3	対象3	5003	受験者氏名	ふりがな3	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
4	対象4	5004	受験者氏名	ふりがな4	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
5	対象5	5005	受験者氏名	ふりがな5	男	105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
6	対象6	5006	受験者氏名	ふりがな6	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
7	対象7	5007	受験者氏名	ふりがな7	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	普通科	専門科以外	合		
8	対象8	5008	受験者氏名	ふりがな8	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
9	対象9	5009	受験者氏名	ふりがな9	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
10	対象10	5010	受験者氏名	ふりがな10	男	1701	中学校1701		〇〇〇〇17	普通科	普通科	普通科	専門科以外	合		
11	対象11	5011	受験者氏名	ふりがな11	男	125	中学校125		〇〇〇〇12	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
12	対象12	5012	受験者氏名	ふりがな12	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
13	対象13	5013	受験者氏名	ふりがな13	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
14	対象14	5014	受験者氏名	ふりがな14	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
15	対象15	5015	受験者氏名	ふりがな15	男	105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	合		
16	対象16	5016	受験者氏名	ふりがな16	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		

上の【図175】の画面では、表のデータが「ID」欄において数値の低い方から高い方に並んでいます。これをソートし直します。最初にシートの保護を解除し、第1キーを「中学校コード」を選択し値の低い方から高い方に、第2キーを「受験番号」を選択し、値の低い方から高い方にそれぞれ設定してそソートします。このようにソートし直すと次の【図176】の画面のようになります。

【図176】

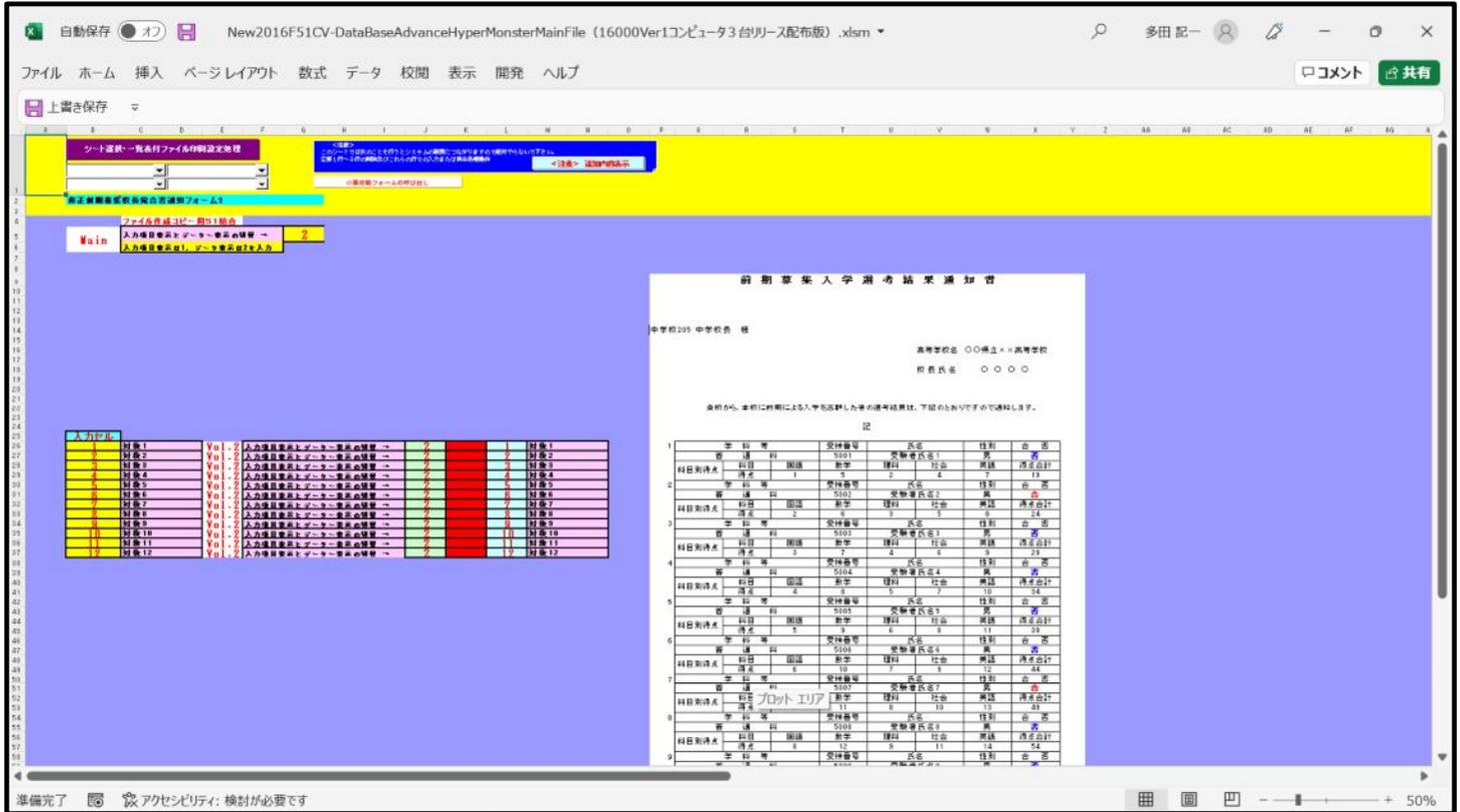
ID	対象	受験番号	受験生氏名	受験生ふり	受験生性別	コード	受験生出身	受験生市町	受験生校長出身	受験生学科	受験生学科	受験生学科	区分作成命通知	可否等	内定結果	受験生郵便番号
303	対象303	7014	受験者氏名	ふりがな303	女	101	中学校101		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
83	対象83	5504	受験者氏名	ふりがな83	女	102	中学校102		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
362	対象362	7073	受験者氏名	ふりがな362	女	102	中学校102		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
68	対象68	5068	受験者氏名	ふりがな68	男	103	中学校103		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
69	対象69	5069	受験者氏名	ふりがな69	男	103	中学校103		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
431	対象431	9010	受験者氏名	ふりがな431	女	103	中学校103		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	合		
64	対象64	5064	受験者氏名	ふりがな64	男	104	中学校104		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
65	対象65	5065	受験者氏名	ふりがな65	男	104	中学校104		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
179	対象179	5600	受験者氏名	ふりがな179	女	104	中学校104		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	合		
180	対象180	5601	受験者氏名	ふりがな180	女	104	中学校104		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
333	対象333	7044	受験者氏名	ふりがな333	女	104	中学校104		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
5	対象5	5005	受験者氏名	ふりがな5	男	105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		
15	対象15	5015	受験者氏名	ふりがな15	男	105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科	普通科	普通科	専門科以外	否		

ところで、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm

の印刷フォームシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム2」は、次の[図177]の画面のようになっていました。但し、シートの表示倍率が50%のものです。

[図177]



上の[図177]の画面の



の部分において、各セルの値は、次の表における左の各番号を表す各データが
ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xslm
のシート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データ」の表における上からの何行目データであるかを

示す数値でした。

上の[図177]の画面の右側の背景色を抜いたうちの表部分

1	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
2	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5002	受験者氏名2		男	合
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	2	6	3	5	8	24
3	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5003	受験者氏名3		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	3	7	4	6	9	29
4	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5004	受験者氏名4		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	4	8	5	7	10	34
5	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5005	受験者氏名5		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	5	9	6	8	11	39
6	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5006	受験者氏名6		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	6	10	7	9	12	44
7	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5007	受験者氏名7		男	合
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	7	11	8	10	13	49
8	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5008	受験者氏名8		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	8	12	9	11	14	54
9	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5009	受験者氏名9		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	9	13	10	12	15	59
10	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5010	受験者氏名10		男	合
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	10	14	11	13	16	64
11	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5011	受験者氏名11		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	11	15	12	14	17	69
12	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5012	受験者氏名12		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	12	16	13	15	18	74

に対し、

例えば、上の[図177]の画面の **3** と入力されているセルに対応する上の表の

3	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5003	受験者氏名3		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	3	7	4	6	9	29

の部分のデータは、

ファイル New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

のシート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データ」の表における上から第3行目のデータを表示しています。

ID	
303	303
83	83
362	362
68	68
69	69
431	431
64	64
65	65
179	179
180	180
333	333
5	5
15	15
57	57
58	58
90	90
129	129

さて、上の[図 1 7 6]の画面の の部分の値を上から順にコピーし、上の[図 1 7 7]

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

の画面の の部分の各セルに上から順に「中学区コード」の値も調べながら貼り付けて、しかも同じ中学区コードが12個以上連続して続いている場合は12個のデータを貼り付けるごとに印刷または印刷範囲を自動PDFの添付ファイルとしてメール送信し、同じ中学区コードが切り替わるごとに印刷処理および印刷範囲を自動PDFの添付ファイルとしてメール送信する処理ができれば自動印刷処理や印刷範囲をPDFの添付ファイルとしてメール送信する自動処理ができることになります。

実は、このような自動処理が「一覧表付ファイル作成入力設定」シートであるシート

「修正前期募集校長宛可否通知一覧表付ファイル作成入力設定2」の入力設定を行うことによって可能です。

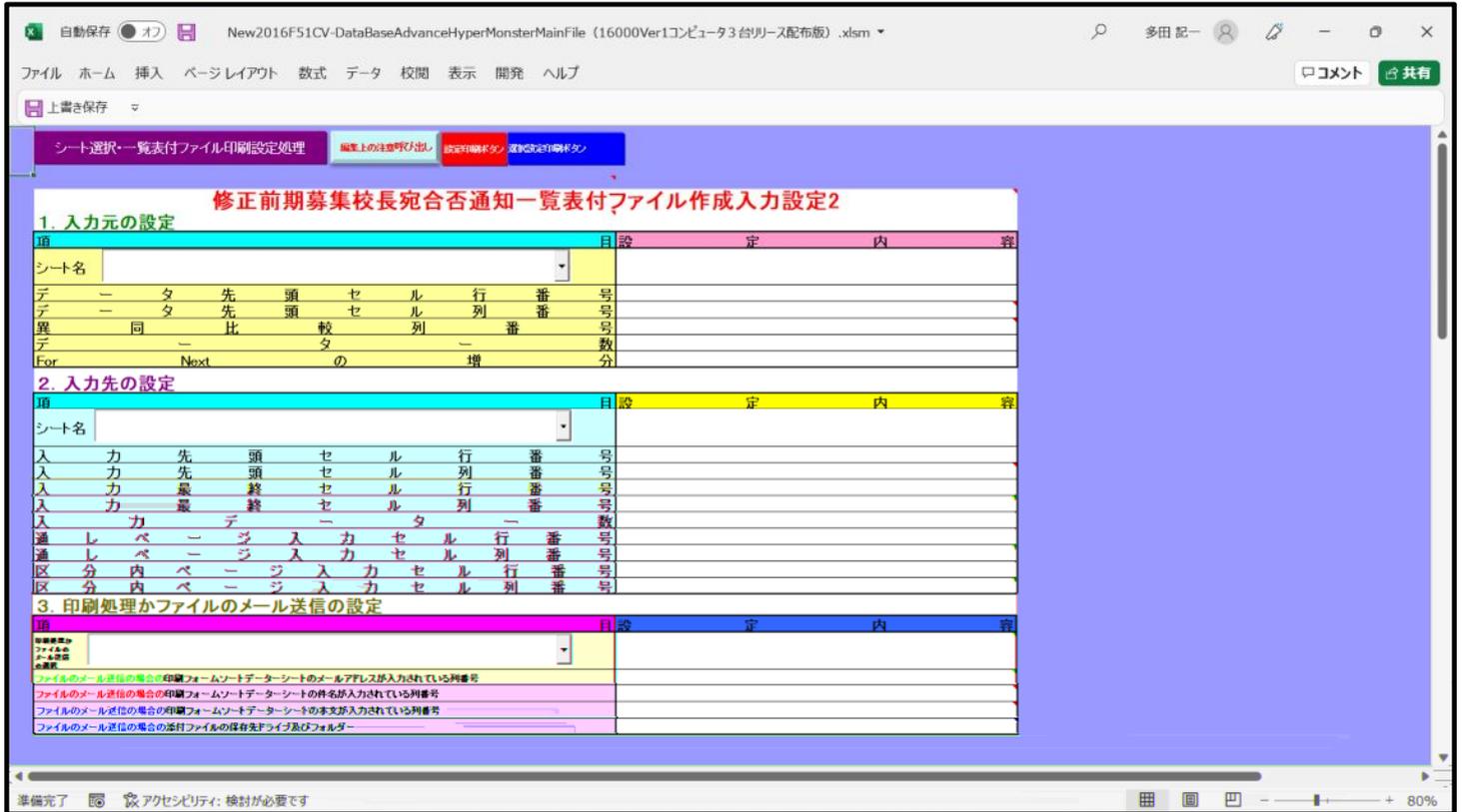
それでは、これから「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」における表の1行当たりをそれぞれ「印刷フォーム」シートに横複数列に配置して表示しながら印刷、印刷範囲をPDFの添付ファイルとしてメール送信する場合の印刷、印刷範囲をPDFの添付ファイルとしてメール送信するシート

「修正前期募集校長宛可否通知一覧表付ファイル作成入力設定2」の入力設定の方法および印刷、印刷範囲をPDFの添付ファイルとしてメール送信する方法を説明していきたいと思ひます。

次の[図 1 7 8]の画面はシート

「修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定2」の画面です。

[図178]



まず、

1. 入力元の設定

項	目	設	定	内	容
シート名					
デ	一	タ	先	頭	セル
デ	一	タ	先	頭	セル
異		同	比	較	列
デ			タ		数
For		Next		の	増

の部分の入力設定に「について説明いたします。」

シート名		
------	--	--

の部分の左側のコンボボックスで

シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ
------	--------------------------

と選択すると右側のセルにも入力されて

シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ
------	--------------------------	--------------------------

となります。

デ	一	タ	先	頭	セル	行	番	号
---	---	---	---	---	----	---	---	---

ID
303
83
362
68
69
431
64
65
179
180
333
5
15
57
58
90
129

の部分の右側のセルには、上の[図 1 7 6]の画面のセルの番地「B6」の行番号「6」を入力して、

データ先頭セル行番号	6
------------	---

とします。また、

データ先頭セル列番号	
------------	--

ID
303
83
362
68
69
431
64
65
179
180
333
5
15
57
58
90
129

の部分の右側のセルには、上の[図 1 7 6]の画面のセルの番地「B6」の列番号「2」を入力して

データ先頭セル列番号	2
------------	---

とします。但し、列番号については、私どもでは次の表のように約束しています。

列	A	B	C	Z	AA	AB
列番号	1	2	3	26	27	28

また、

異	同	比	較	列	番	号	
---	---	---	---	---	---	---	--

の右側のセルには、データが連続して続くのかそれとも異なってしまうのか調査する列の番号を入力

受験
校
生
出
身

しますが、その列として上の[図 1 7 6]の画面の見出しと表示されている列「I」の列番号「9」を入力して、

異	同	比	較	列	番	号	9
---	---	---	---	---	---	---	---

とします。

デ	ー	タ	ー	数	
---	---	---	---	---	--

の右側のセルには、上の[図 1 7 4]の画面の表における有効な処理するデータの個数「474」を入力して

デ	ー	タ	ー	数	474
---	---	---	---	---	-----

とします。

For	Next	の	増	分	
-----	------	---	---	---	--

部分の右側のセルには数値「1」を入力して（通常は1を入力します。）

For	Next	の	増	分	1
-----	------	---	---	---	---

とします。

次に

2. 入力先の設定

項	目	設	定	内	容
シート名					
入力先頭セル行番号					
入力先頭セル列番号					
入力最終セル行番号					
入力最終セル列番号					
入力データー数					
通しベージ入力セル行番号					
通しベージ入力セル列番号					
区分内ベージ入力セル行番号					
区分内ベージ入力セル列番号					

の部分の入力設定について説明いたします。

まず、

シート名	
------	--

については、左側のコンボボックスで

シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2
------	--------------------

と選択すると右側のセルにも入力されて

シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2
------	--------------------	--------------------

となります。

入	力	先	頭	セ	ル	行	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---

入力セル
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

の右側のセルには、上の[図 1 7 7]の画面の[図 1 7 7]の部分の最も下側のセルの番地「B37」の列番号「2」を入力して

12

入	カ	最	終	セ	ル	列	番	号
								2

とします。

入	カ	デ	-	タ	-	数

入力セル
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

の右側のセルには、上の[図 1 7 7]の画面の[図 1 7 7]の部分のセルの個数「12」を入力して

入	カ	デ	-	タ	-	数
						12

とします。

上の[図 1 7 7]の画面の印刷部分は背景色なしの次の[図 1 7 9]の画面の部分です。

前期募集入学選考結果通知書

中学校205 中学校長 様

高等学校名 ○○県立××高等学校

校長氏名 ○○○○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5001	受験者氏名1		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
2	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5002	受験者氏名2		男	合	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	2	6	3	5	8	24
3	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5003	受験者氏名3		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	3	7	4	6	9	29
4	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5004	受験者氏名4		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	4	8	5	7	10	34
5	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5005	受験者氏名5		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	5	9	6	8	11	39
6	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5006	受験者氏名6		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	6	10	7	9	12	44
7	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5007	受験者氏名7		男	合	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	7	11	8	10	13	49
8	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5008	受験者氏名8		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	8	12	9	11	14	54
9	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5009	受験者氏名9		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	9	13	10	12	15	59
10	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5010	受験者氏名10		男	合	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	10	14	11	13	16	64
11	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5011	受験者氏名11		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	11	15	12	14	17	69
12	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5012	受験者氏名12		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	12	16	13	15	18	74

上の[図179]の画面の印刷部分には、シートを保護しても保護がかからない領域を確保し、そして、

その領域に印刷の通し番号と区分内ページを表示するセルを指定する必要があります。
シートを保護しても保護がかからない領域を確保し、そして、その領域に印刷の通し番号と区分内ページを表示するセルを上[図 1 7 9]の画面の黄色で表示されている

の領域内に指定したいと思います。

通し番号を表示するセルは上の[図 1 7 9]の画面の のセルに、区分内ページを表示するセルは にしたいと思います。 のセル番地は「P74」で のセル番地は「U74」です。従って、

通	し	ペ	ー	ジ	入	力	セ	ル	行	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルにはセル番地は「P74」の行番号「74」を入力して

通	し	ペ	ー	ジ	入	力	セ	ル	行	番	号	74
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

とし、

通	し	ペ	ー	ジ	入	力	セ	ル	列	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルにはセル番地は「P74」の列番号「16」を入力して

通	し	ペ	ー	ジ	入	力	セ	ル	列	番	号	16
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

とします。

また、

区	分	内	ペ	ー	ジ	入	力	セ	ル	行	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルにはセル番地は「U74」の行番号「74」を入力して

区	分	内	ペ	ー	ジ	入	力	セ	ル	行	番	号	74
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

とし、

区	分	内	ペ	ー	ジ	入	力	セ	ル	列	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルにはセル番地は「U74」の列番号「20」を入力して

区	分	内	ペ	ー	ジ	入	力	セ	ル	列	番	号	20
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

とします。

最後の

3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定

項	目	設	定	内	容
印刷処理かファイルのメール送信の選択					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータのメールアドレスが入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの件名が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの本文が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー					

の部分の入力設定について説明いたします。

単に印刷処理を行うには

印刷処理かファイルのメール送信の選択					
--------------------	--	--	--	--	--

の左側のコンボボックスで

印刷処理かファイルのメール送信の選択	印刷する	
--------------------	------	--

と選択すると右側のセルに

印刷処理かファイルのメール送信の選択	印刷する		印刷する
--------------------	------	--	------

と入力されます。そして、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータのメールアドレスが入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの件名が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの本文が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	

の部分の右側のセルにはなにも入力しなくても結構です。

設定印刷ボタン

あとは上の[図 1 7 8]の画面の Command ボタン 設定印刷ボタン をクリックしていただければ印刷処理が実行できます。

しかし、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合には、上の印刷の場合の入力設定とは異なります。この場合については、

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	
--------------------------------	--

の左側のコンボボックスで

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	メールで送信する
--------------------------------	-----------------

を選択して

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	メールで送信する	メールで送信する
--------------------------------	-----------------	----------

と設定し、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート のメールアドレスが入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の件名が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の本文が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	

の部分の右側全てのセルにも入力設定する必要があります。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート のメールアドレスが入力されている列番号	
--	--

の右側のセルには、「印刷フォームソートデータ」シートであるシート
「修正前期募集校長宛可否通知フォーム2 ソートデータ」におけるメールアドレスが入力されている
列「S」の列番号「19」を入力して

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート のメールアドレスが入力されている列番号	19
--	----

とします。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の件名が入力されている列番号	
---	--

の右側のセルには、「印刷フォームソートデータ」シートであるシート
「修正前期募集校長宛可否通知フォーム2 ソートデータ」におけるメールアドレスが入力されている
列「T」の列番号「20」を入力して

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の件名が入力されている列番号	20
---	----

とします。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の本文が入力されている列番号	
---	--

の右側のセルには、「印刷フォームソートデータ」シートであるシート
「修正前期募集校長宛可否通知フォーム2 ソートデータ」におけるメールアドレスが入力されている
列「U」の列番号「21」を入力して

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の本文が入力されている列番号	21
---	----

とします。

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	
-------------------------------------	--

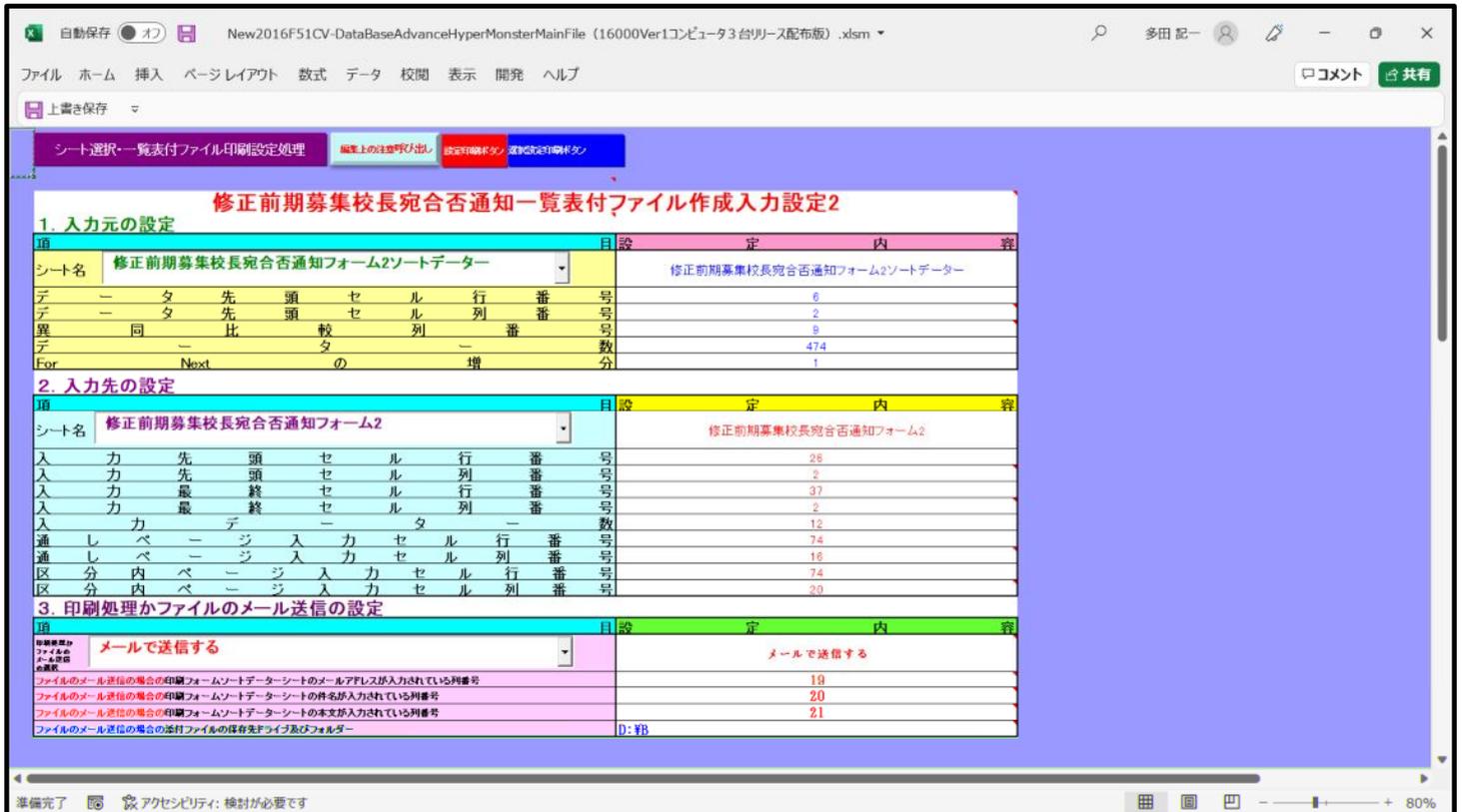
の右側のセルには、メールを送信するに当たって、一時的に印刷範囲を PDF ファイルとして保存しておく
ドライブとフォルダーを入力します。「D」ドライブのフォルダー「B」に一時的に保存したいと思います
ので、「D:¥B」と入力して、

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	D:¥B
-------------------------------------	------

とします。

つまり、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信をする場合の一覧表付ファイル作成入力設定
シート「修正前期募集校長宛可否通知一覧表付ファイル作成入力設定2」の入力設定は次の[図180]の画
面の通りです。

[図 1 8 0]

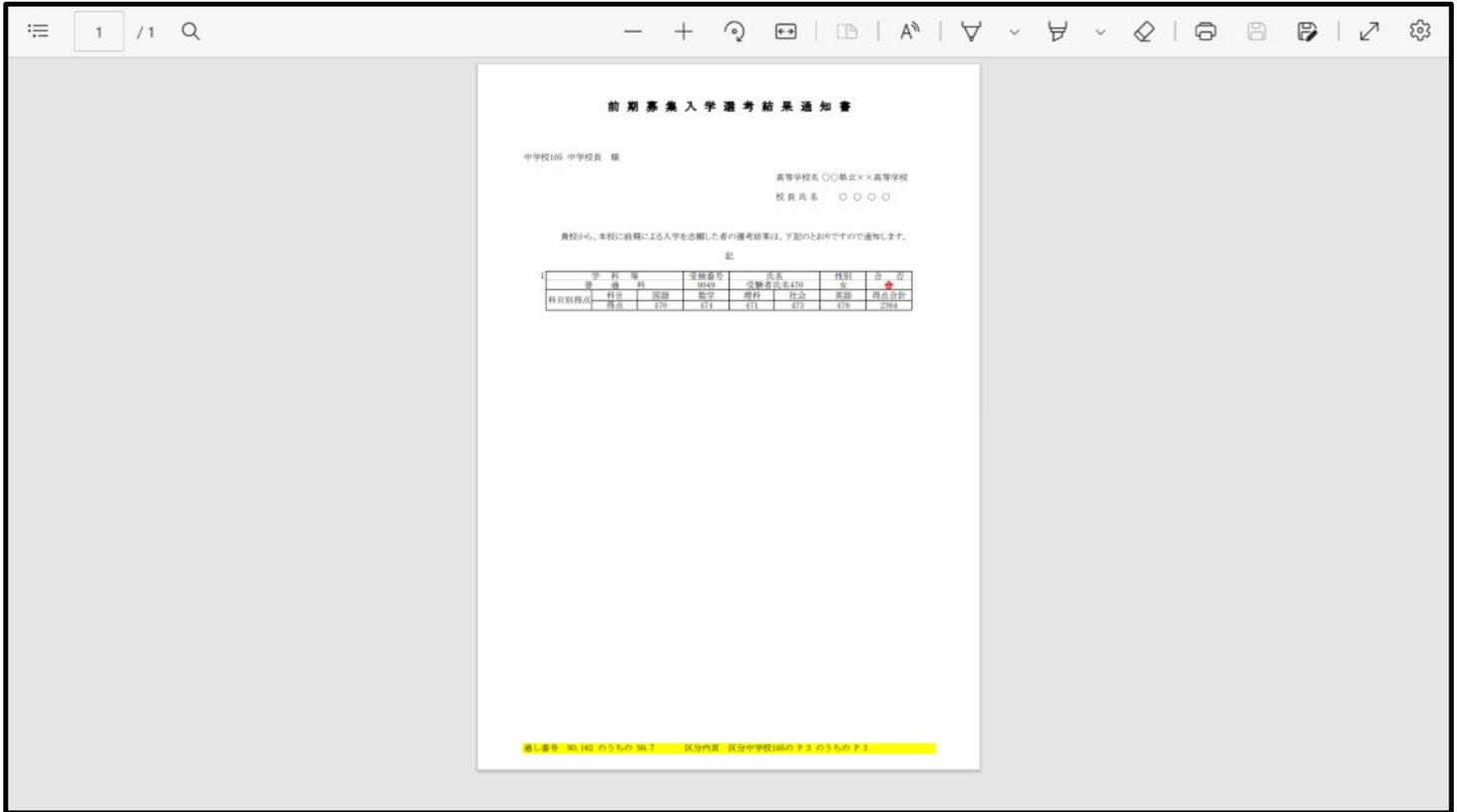


印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信をするには、一覧表付ファイル作成入力設定シート「修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定2」の画面である上の[図 1 8 0]の画面の

コマンドボタン **設定印刷ボタン** をクリックしていただければ結構です。

因みに、上の[図 1 8 0]の画面の設定で印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信した場合、メールの 5 件目、6 件目、7 件目の添付ファイルは、それぞれ次の[図 1 8 1]、[図 1 8 2]、[図 1 8 3]の画面のようになっています。これらは「中学校 105」の校長宛のメールで出願した生徒 25 名の合否の結果のメールです。なお、全てのメールの送信件数は 162 件です。

[図183]



更に、添付ファイルなしで件名と本文のみのメール送信する場合は、

印刷処理がファイルのメール送信の選択	▼	
--------------------	---	--

の左側のセルのコンボボックスで

印刷処理がファイルのメール送信の選択	添付ファイルなし件名本文のみのメール	▼
--------------------	--------------------	---

と選択します。すると

印刷処理がファイルのメール送信の選択	メールで送信する	▼	メールで送信する
--------------------	----------	---	----------

なります。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号	

の右側の各セルには

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号	33
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号	34
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号	35

と入力します。

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	
-------------------------------------	--

の部分の右側のセルは、ブランクのままです

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	D*¥B
-------------------------------------	------

と入力していただいても結構です。

添付ファイルなしで件名と本文のみのメール送信する場合についても、処理を実行するには、シート「修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定2」の画面である上の[図180]の画面の

コマンドボタン 設定印刷ボタン をクリックしていただければ結構です。